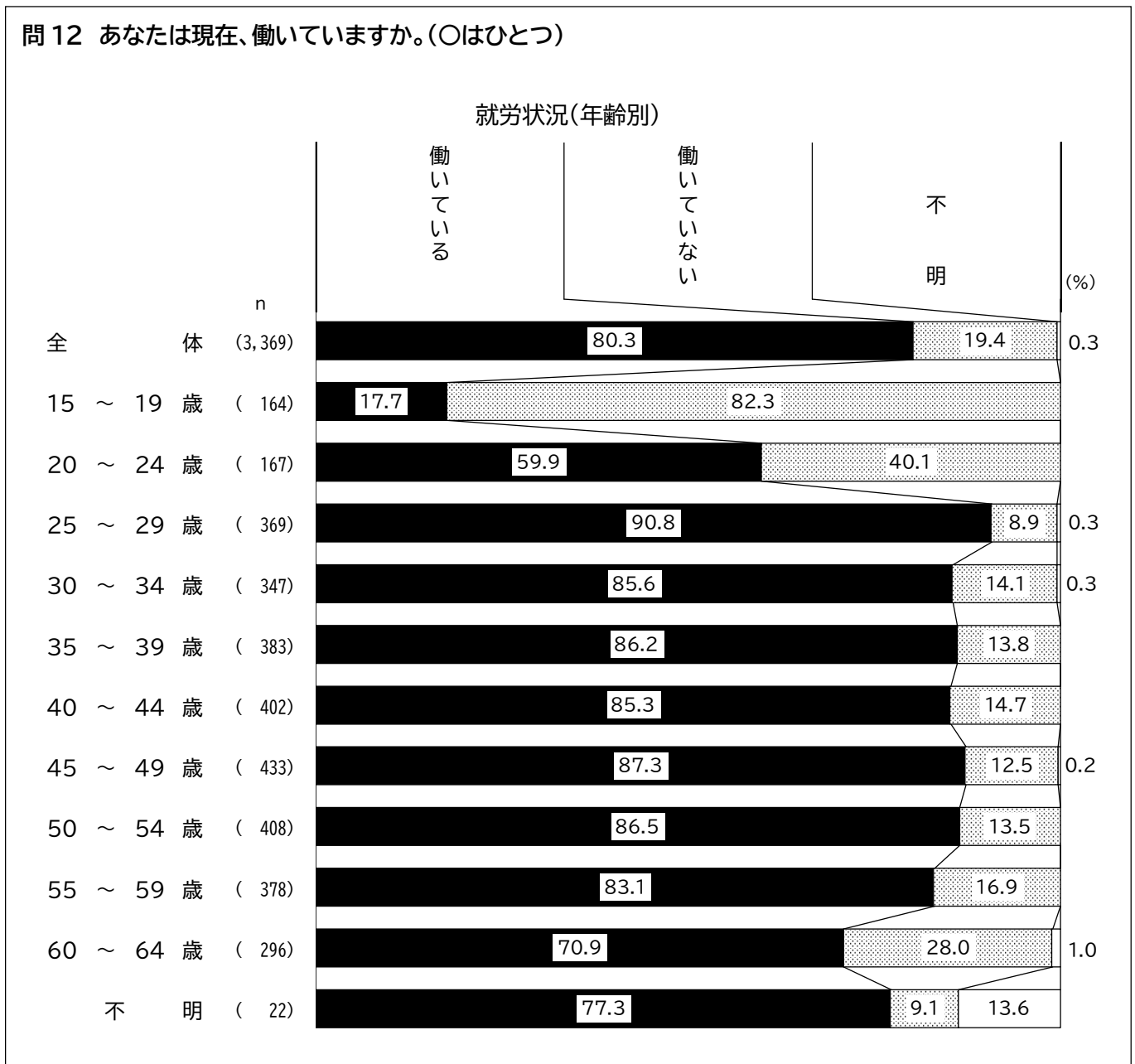


Ⅲ 調査結果の分析

1. 生活の状況について

1.1. 就労状況

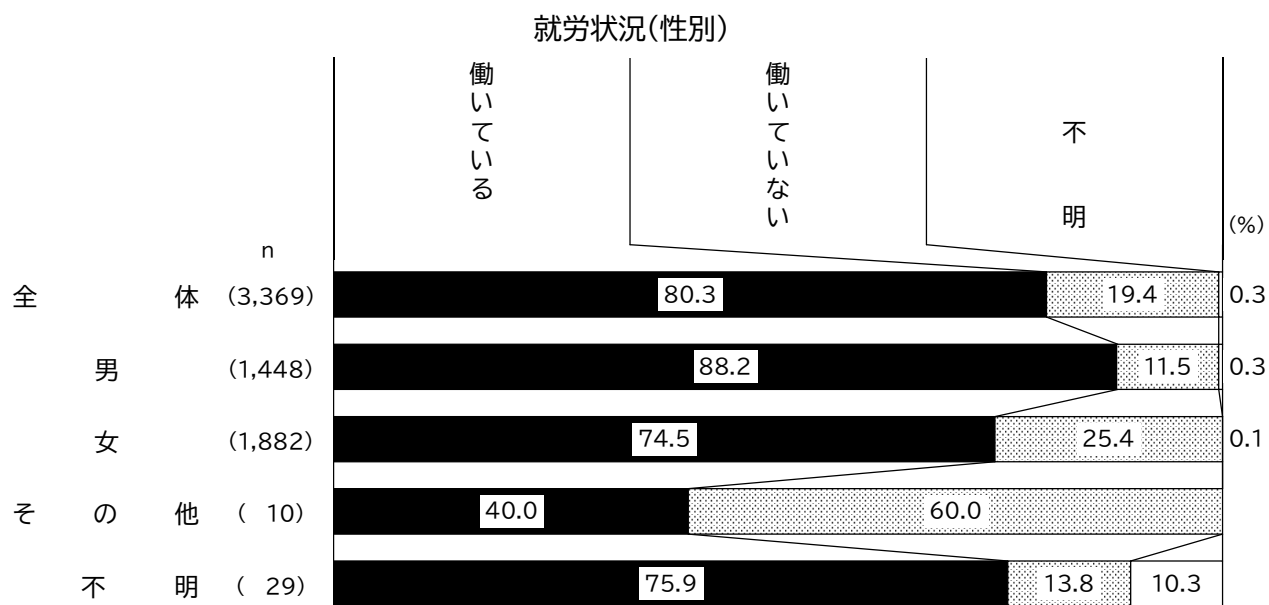
◆就労状況は、「働いている」が8割



就労状況は、「働いている」が80.3%、「働いていない」が19.4%となっている。

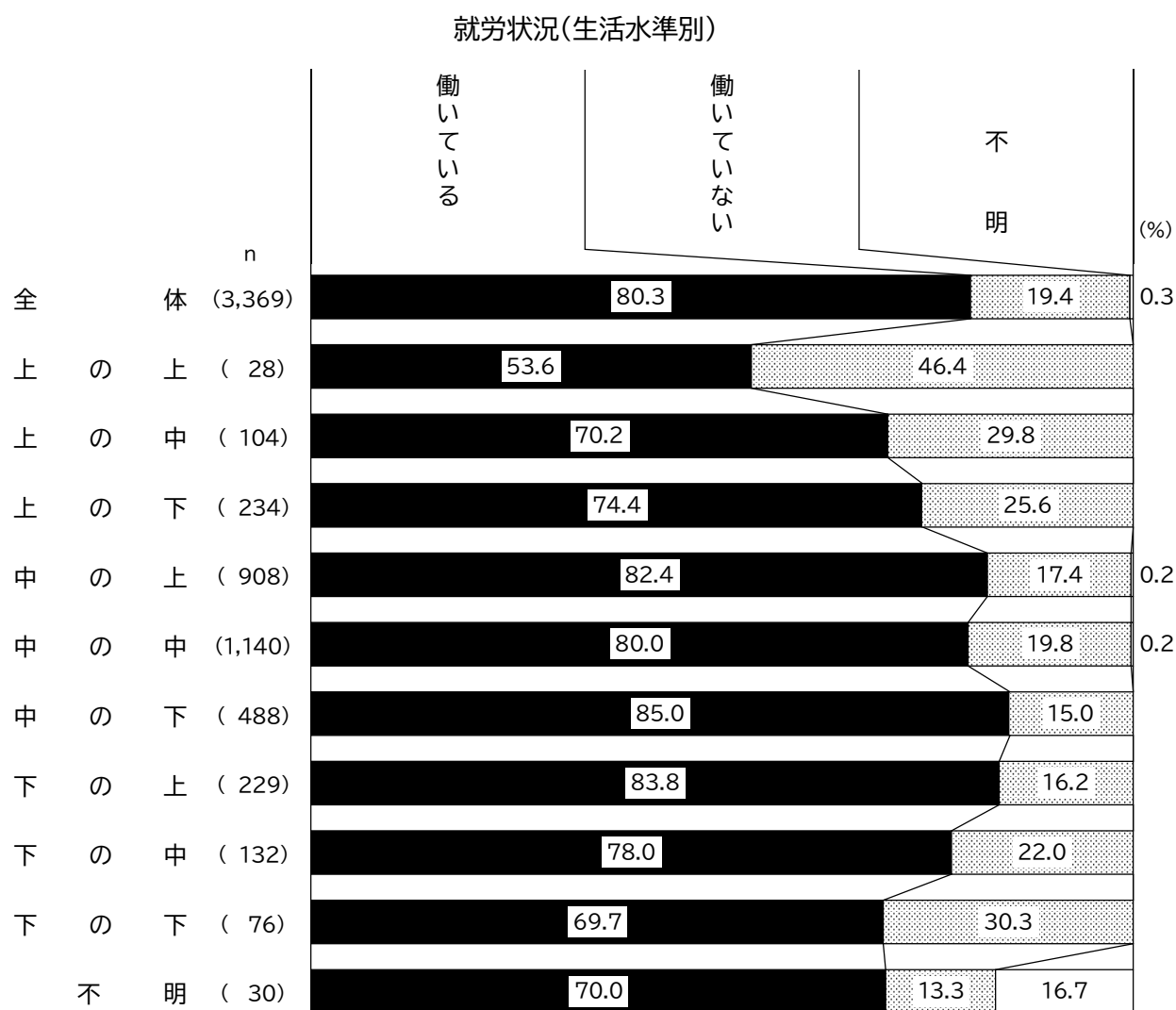
年齢別にみると、「働いている」は「25~29歳」で90.8%と最も高くなっている。「60~64歳」でも70%以上の人が働いていることがわかる。

問 12 あなたは現在、働いていますか。(○はひとつ)



「働いている」割合は「男性」が 88.2%、「女性」が 74.5%で、13.7 ポイントの差がある。

問 12 あなたは現在、働いていますか。(〇はひとつ)

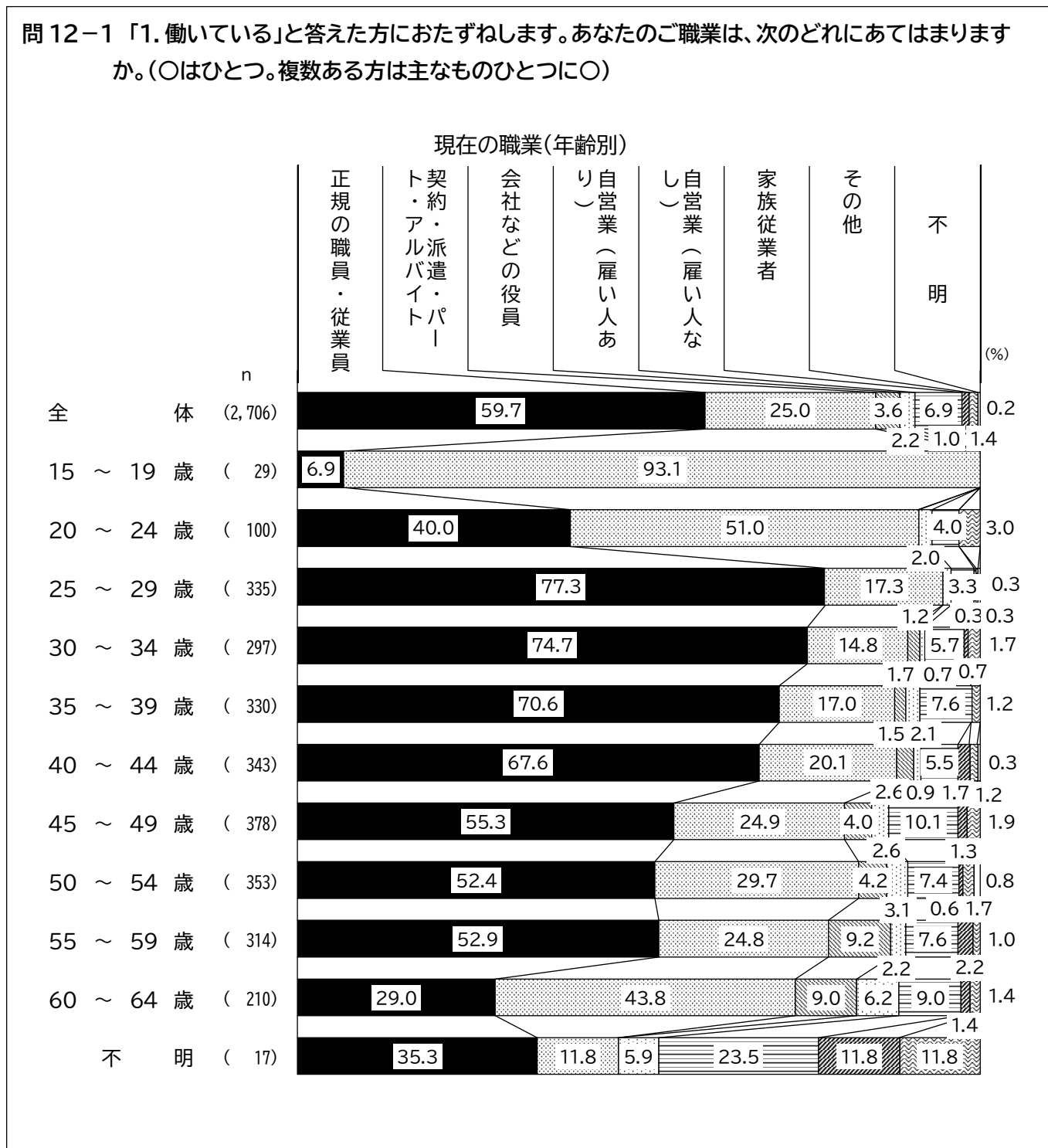


生活水準別にみると、「働いている」は「中の下」で85.0%と最も高くなっている。一方、「働いていない」は「上の上」で46.4%、「下の下」で30.3%と高い割合を示している。

1.1.1.現在の職業

◆現在の職業は、「正規の職員・従業員」が6割弱

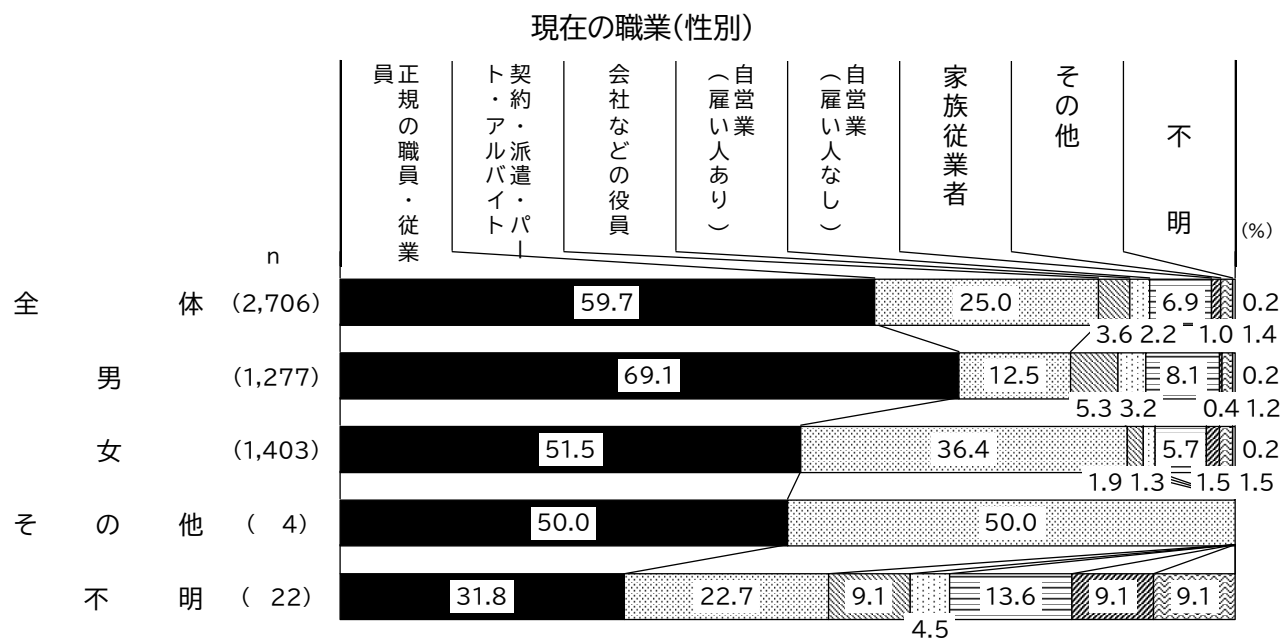
問12-1 「1.働いている」と答えた方におたずねします。あなたのご職業は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ。複数ある方は主なものひとつに○)



現在の職業は、「正規の職員・従業員」(59.7%)が最も高く、次いで、「契約・派遣・パート・アルバイト」(25.0%)、「自営業(雇いなし)」(6.9%)となっている。

年齢別にみると、「正規の職員・従業員」は「25～29歳」で77.3%と最も高くなっている。一方、「契約・派遣・パート・アルバイト」は「15～19歳」で93.1%、「20～24歳」で51.0%、「60～64歳」で43.8%と高い割合を示している。

問 12-1 「1. 働いている」と答えた方におたずねします。あなたのご職業は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ。複数ある方は主なものひとつに○)

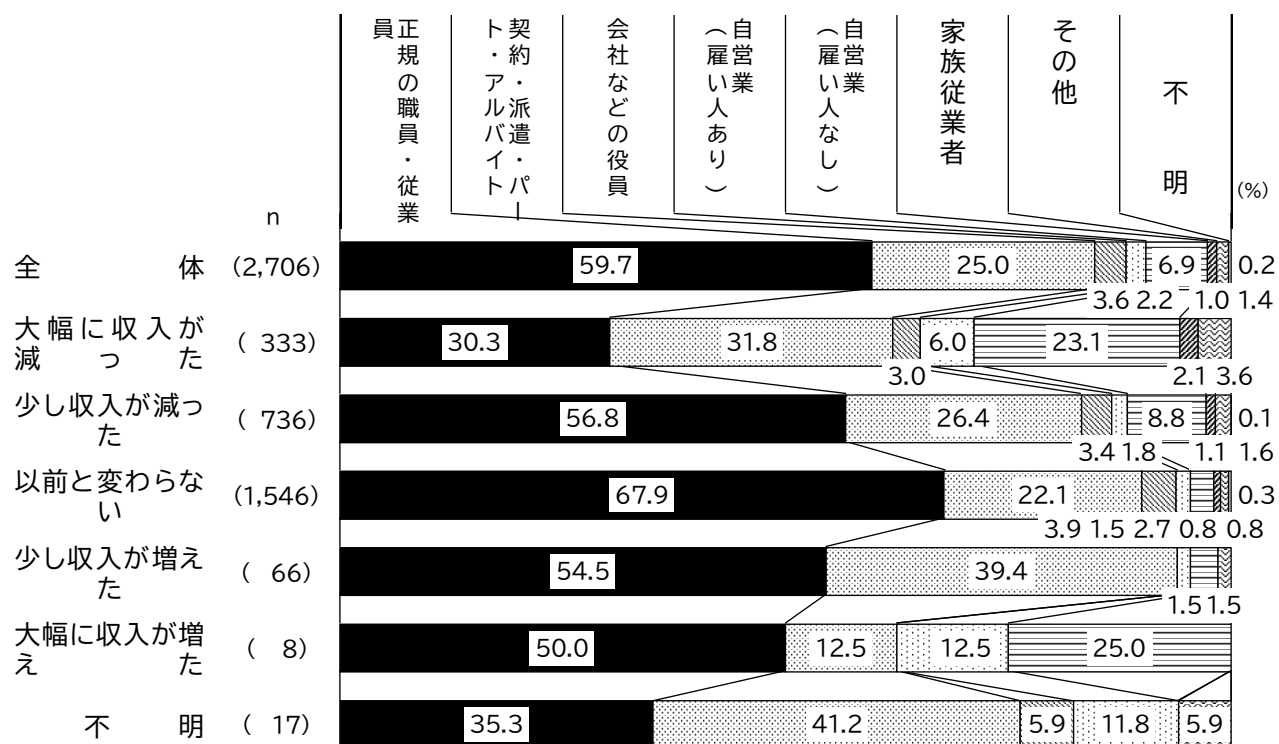


性別にみると、男女ともに「正規の職員・従業員」は半数を超えているが、「男性」が69.1%であるのに対し、「女性」は約半数の51.5%にとどまっている。

一方、「契約・派遣・パート・アルバイト」は「女性」で36.4%となっており、「男性」より23.9ポイントも高い。

問 12-1 「1. 働いている」と答えた方におたずねします。あなたのご職業は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ。複数ある方は主なものひとつに○)

現在の職業(新型コロナウイルスの影響による収入の変化別)

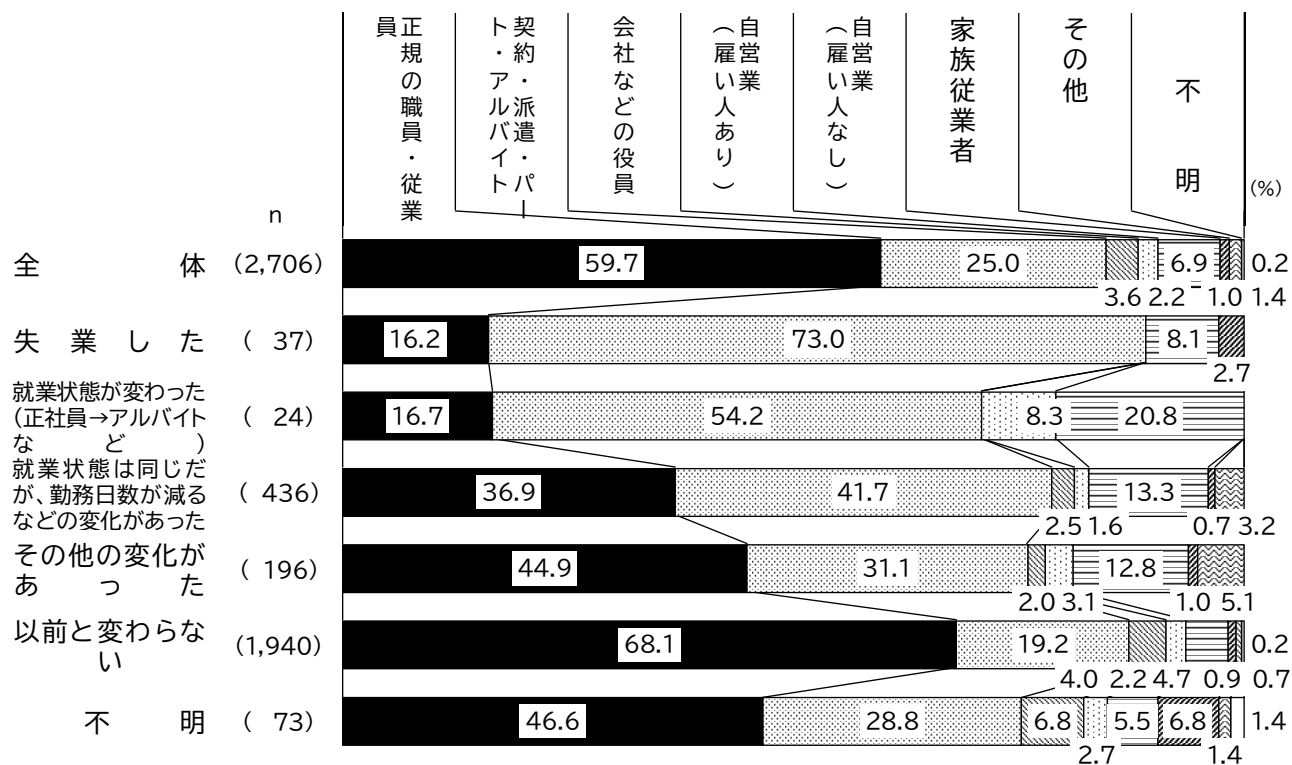


新型コロナウイルスの影響による収入の変化別に職業をみると、「大幅に収入が減った」のは「正規の職員・従業員」が30.3%、「契約・派遣・パート・アルバイト」が31.8%、「自営業(雇い人なし)」が23.1%となっており、この3つで85.2%を占める。

一方、「以前と変わらない」については、「正規の職員・従業員」が67.9%と高い割合を示している。

問 12-1 「1. 働いている」と答えた方におたずねします。あなたのご職業は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ。複数ある方は主なもののひとつに○)

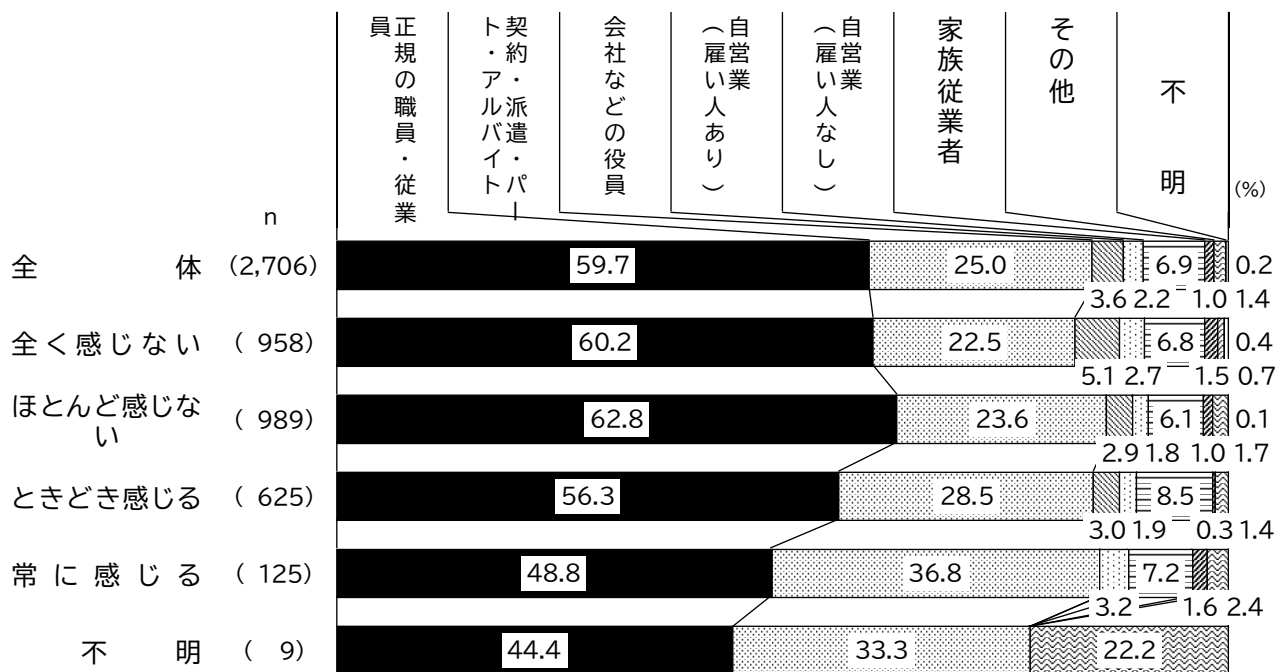
現在の職業(新型コロナウイルスの影響による就業状態の変化別)



新型コロナウイルスの影響による就業状態の変化別に職業をみると、「失業した」人のうち、73.0%は「契約・派遣・パート・アルバイト」である。これに対し、「以前と変わらない」と回答した人の68.1%は「正規の職員・従業員」である。

問 12-1 「1.働いている」と答えた方におたずねします。あなたのご職業は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ。複数ある方は主なもののひとつに○)

現在の職業(孤立を感じるか別)



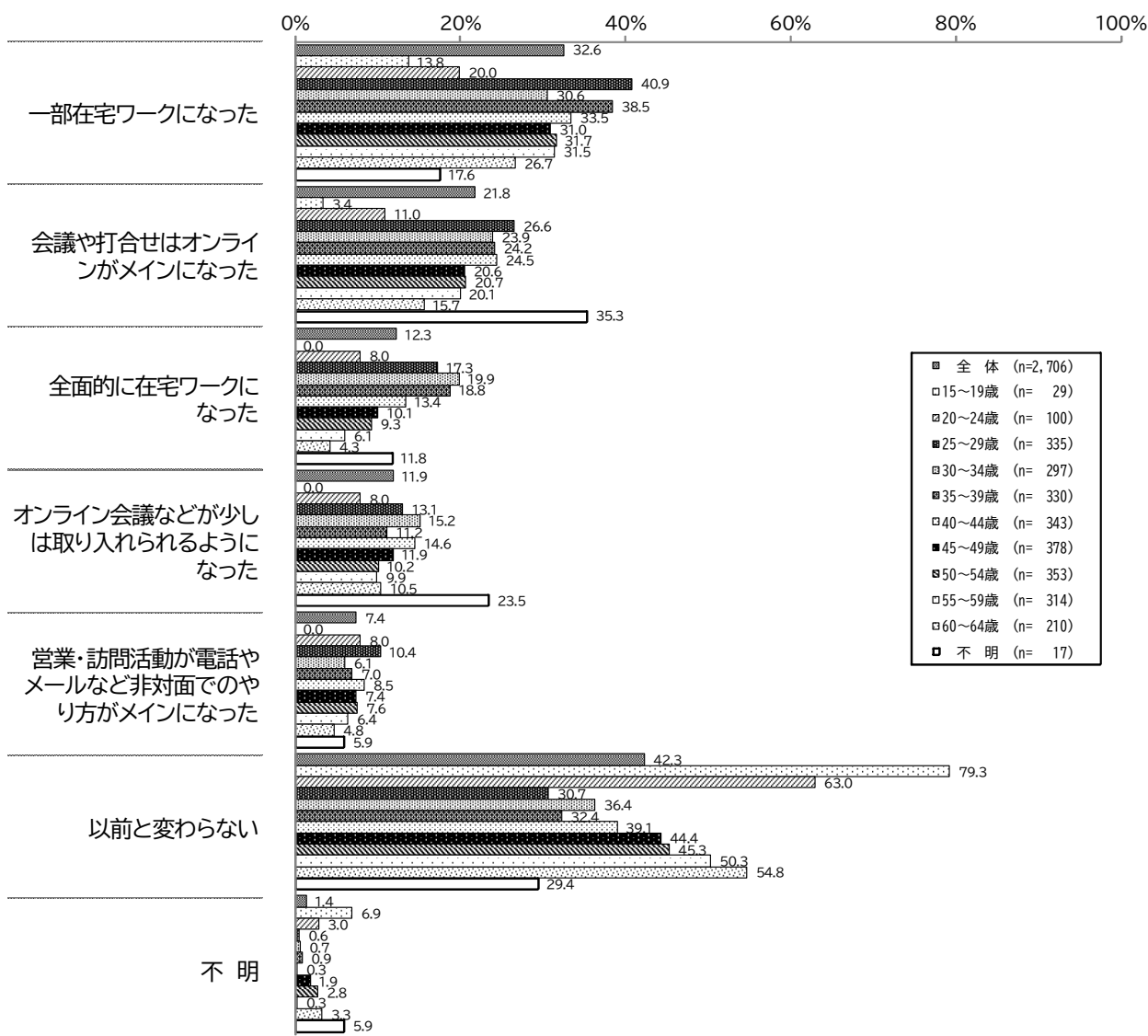
孤立を感じるか別に職業をみると、「正規の職員・従業員」の割合は、「全く感じない」「ほとんど感じない」では6割以上であるが、「ときどき感じる」では56.3%、「常に感じる」では48.8%となっており、孤立を感じる度合いが強いほど、その割合は低下している。

1.1.2.新型コロナウイルス感染症流行の影響による働き方の変化

◆新型コロナウイルス感染症流行の影響による働き方の変化で、最も高いのは「以前と変わらない」が4割強、次いで「一部在宅ワークになった」が3割強

問12-3 「1.働いている」と答えた方におたずねします。新型コロナウイルス感染症の影響で今年3月以降、働き方は変わりましたか。(あてはまるもの全てに○)

新型コロナウイルス感染症流行の影響による働き方の変化(年齢別)

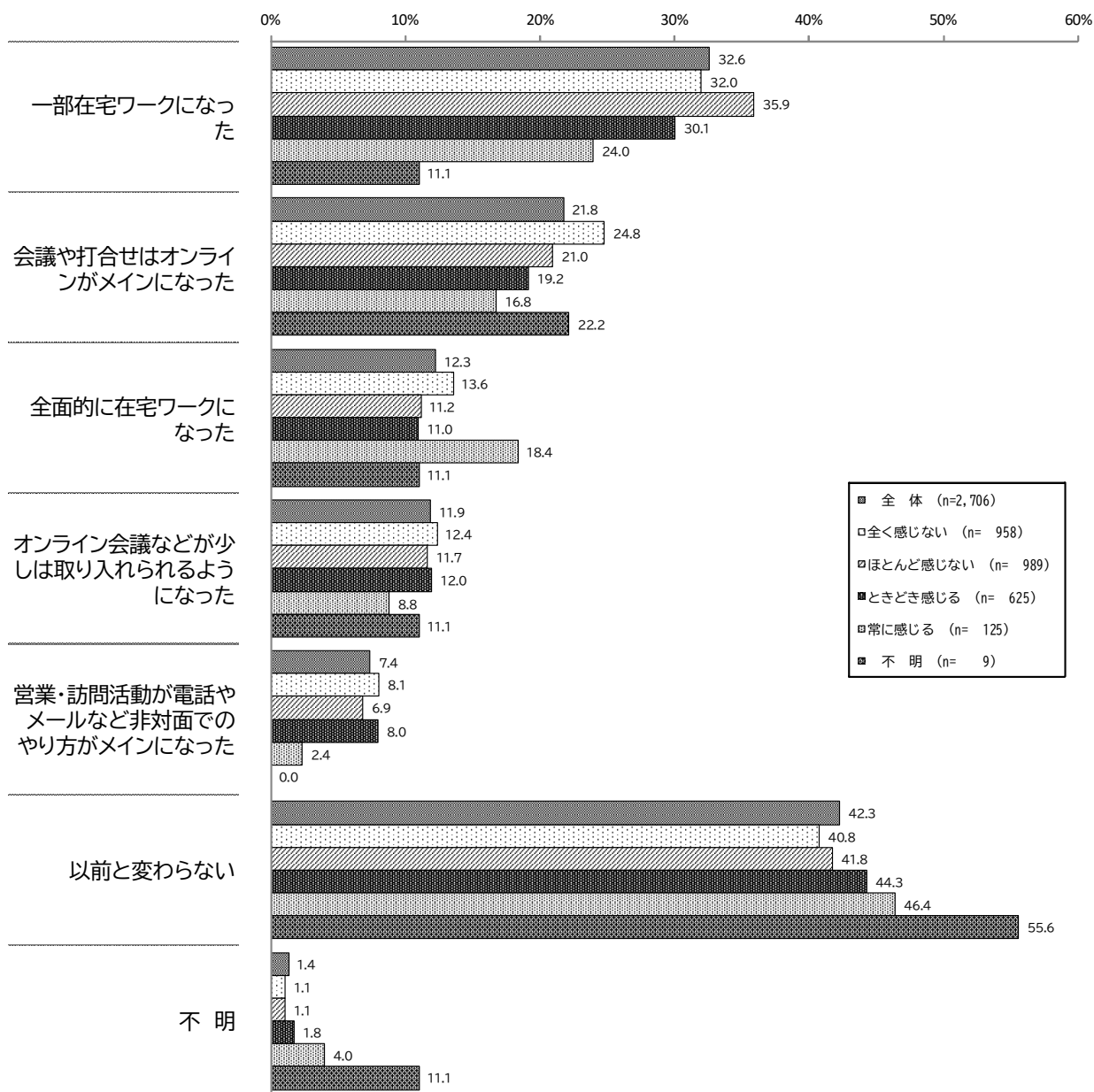


新型コロナウイルス感染症流行の影響による働き方の変化については、「以前と変わらない」(42.3%)が最も高く、次いで、「一部在宅ワークになった」(32.6%)、「会議や打合せはオンラインがメインになった」(21.8%)となっている。

年齢別にみると、「以前と変わらない」は「15~19歳」で79.3%、「20~24歳」で63.0%、「一部在宅ワークになった」は「25~29歳」で40.9%と高くなっている。

問 12-3 「1. 働いている」と答えた方におたずねします。新型コロナウイルス感染症の影響で今年3月以降、働き方は変わりましたか。(あてはまるもの全てに○)

新型コロナウイルス感染症流行の影響による働き方の変化(孤立を感じるか別)



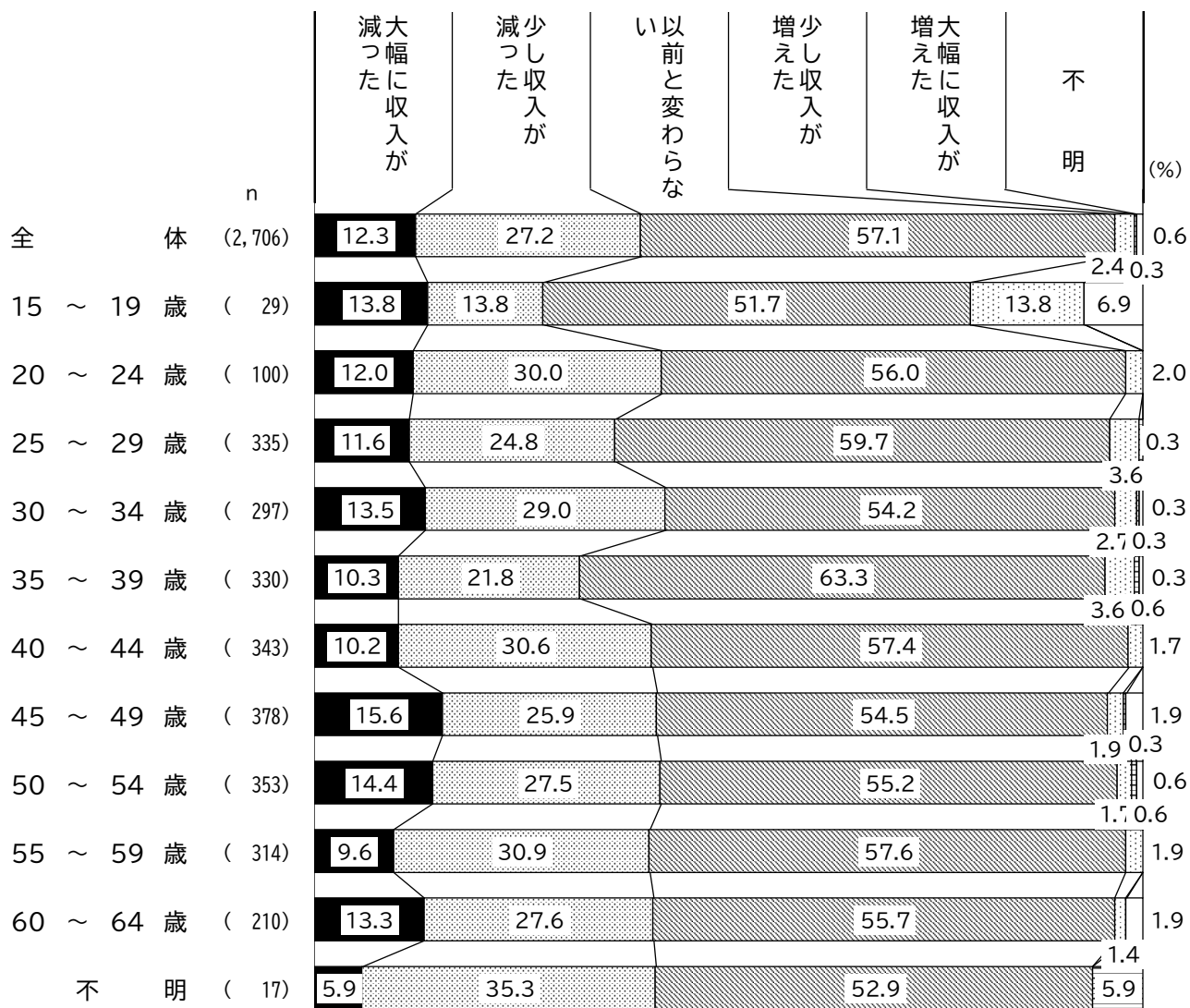
働き方の変化を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」と回答した人の18.4%は「全面的に在宅ワークになった」と回答しており、「全く感じない」(13.6%)、「ほとんど感じない」(11.2%)、「ときどき感じる」(11.0%)と比較すると高い割合を示している。

1.1.3.新型コロナウイルス感染症流行の影響による収入の変化

◆新型コロナウイルス感染症流行の影響による収入の変化は「以前と変わらない」が6割弱

問 12-4 「1. 働いている」と答えた方におたずねします。新型コロナウイルス感染症の影響で収入に変化はありましたか。(○はひとつ)

新型コロナウイルス感染症流行の影響による収入の変化(年齢別)



新型コロナウイルス感染症流行の影響による収入の変化は、「以前と変わらない」(57.1%)が最も高く、次いで、「少し収入が減った」(27.2%)、「大幅に収入が減った」(12.3%)と続く。

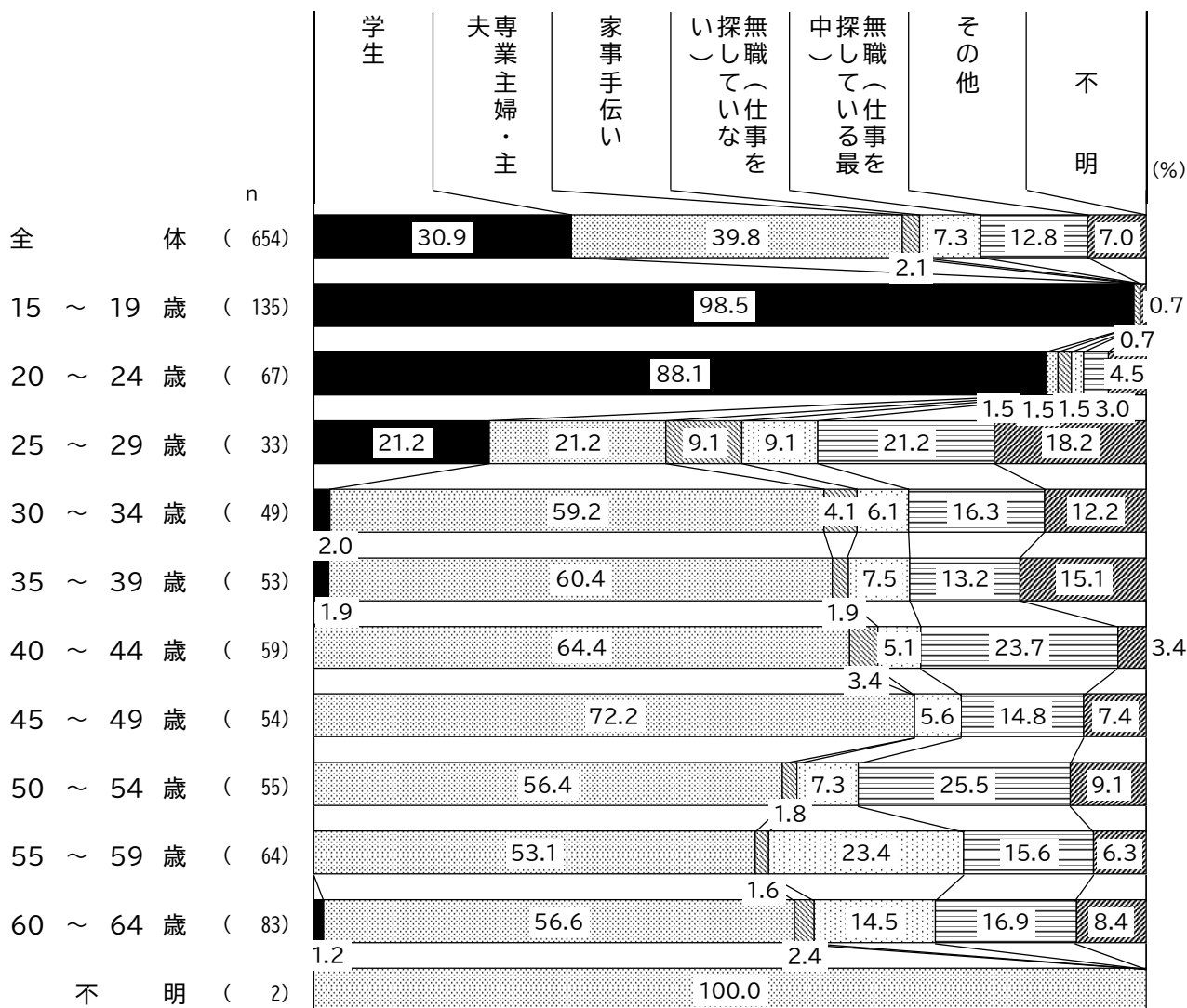
年齢別にみると、「以前と変わらない」は「35~39歳」で63.3%と最も高くなっているのに対し、「大幅に収入が減った」は「45~49歳」で15.6%と最も高くなっている。

1.2.働いていない人の現在の状況

◆働いていない人の現在の状況は「専業主婦・主夫」が 4 割弱

問13 問12で「2. 働いていない」と答えた方におたずねします。あなたの今の状況は以下のうちどれですか。(〇はひとつ)

働いていない方の現在の状況(年齢別)



「働いていない」人の現在の状況は、「専業主婦・主夫」(39.8%)が最も高く、次いで、「学生」(30.9%)、「無職(仕事を探している最中)」(12.8%)となっている。

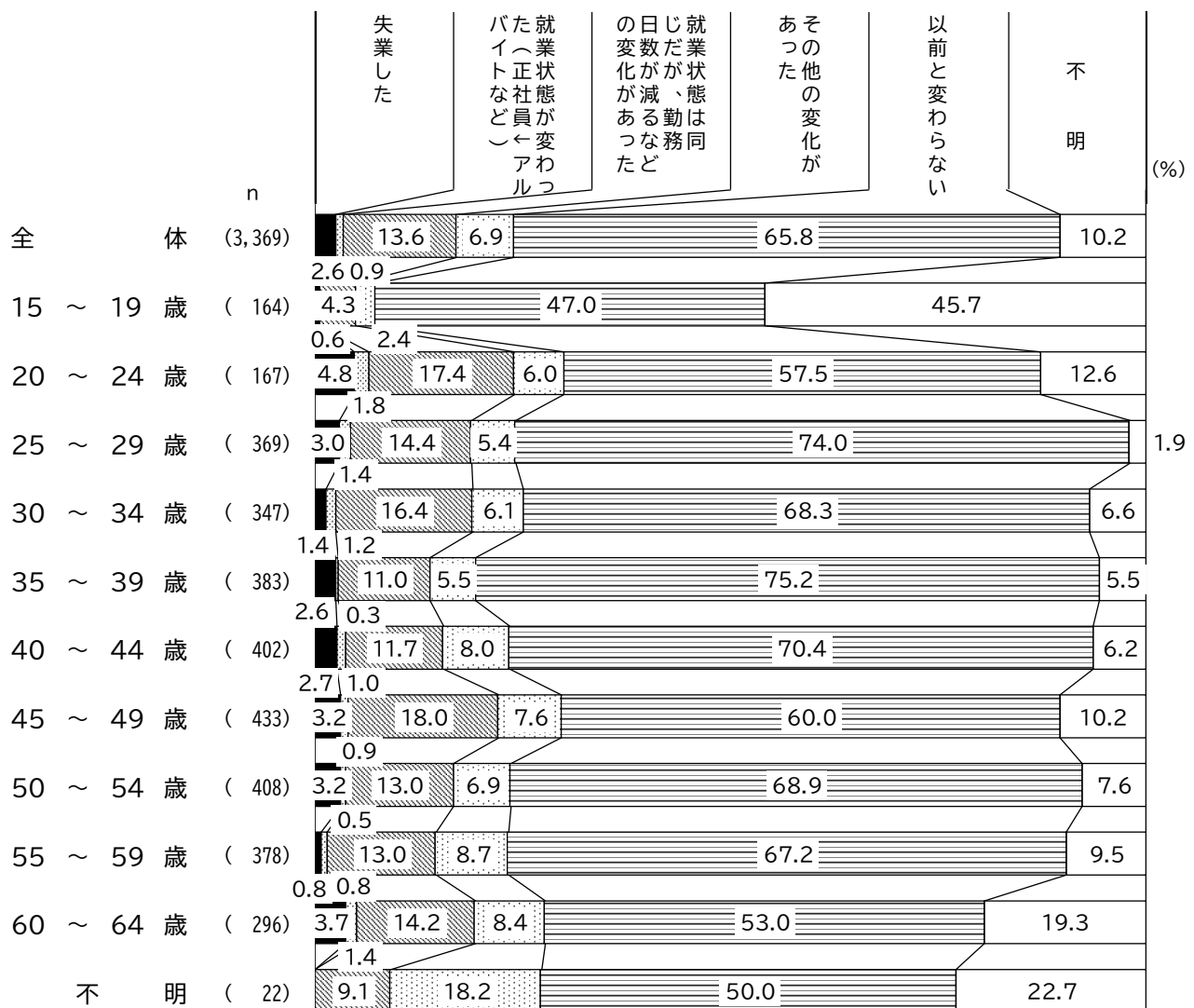
年齢別にみると、「専業主婦・主夫」の回答率が最も高いのは「45～49歳」で72.2%、「無職(仕事を探している最中)」の回答率が最も高いのは「50～54歳」で25.5%である。

1.3.新型コロナウイルス感染症流行の影響による就業状態の変化

◆新型コロナウイルス感染症流行の影響による就業状態の変化は「以前と変わらない」が6割半ば

問 14 現在働いている方、あるいは以前働いていた方におたずねします。今年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で就業状態は変わりましたか。(〇はひとつ)

新型コロナウイルス感染症流行の影響による就業状態の変化(年齢別)

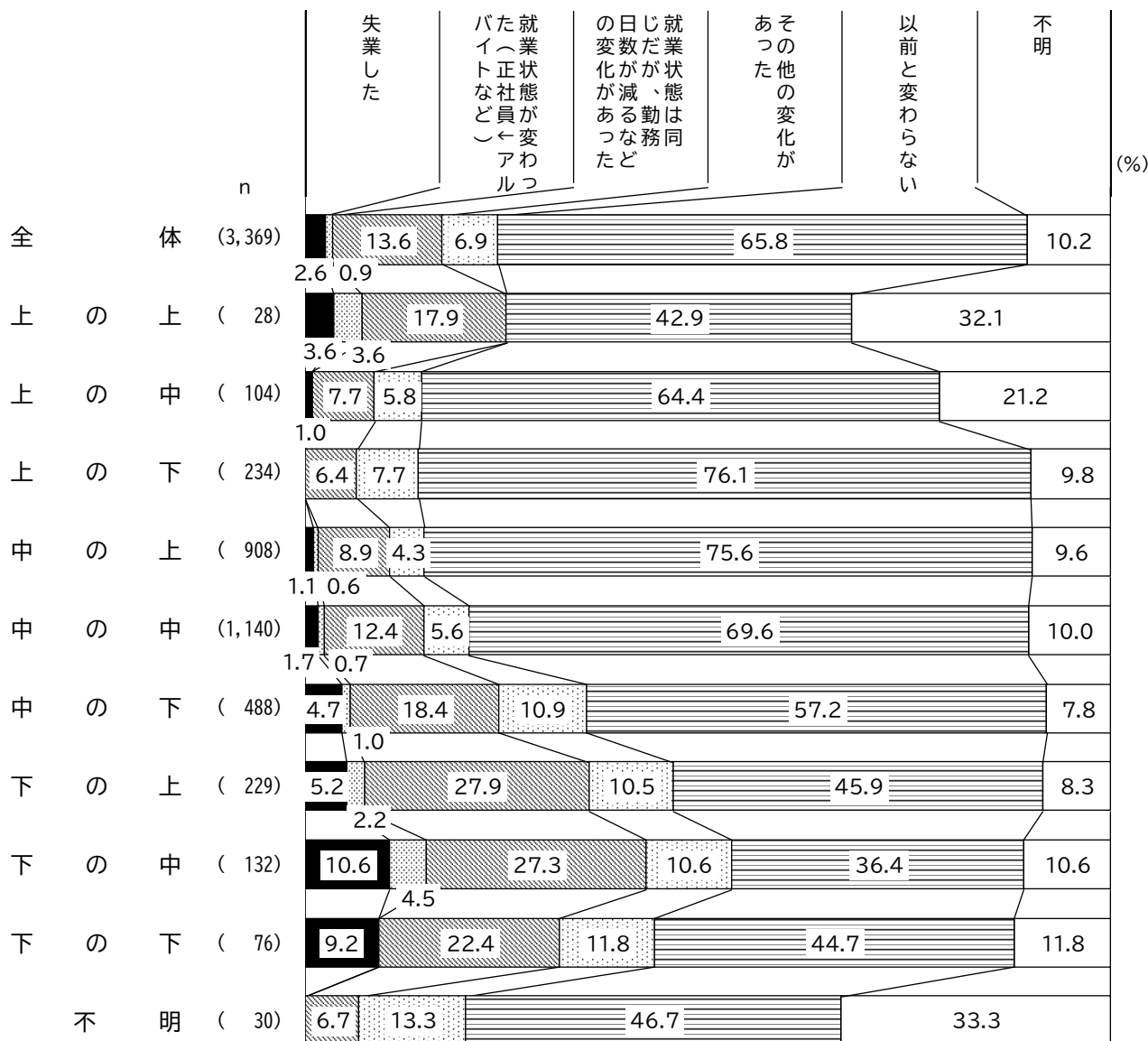


新型コロナウイルス感染症流行の影響による就業状態の変化は、「以前と変わらない」(65.8%)が最も高く、次いで、「就業状態は同じだが、勤務日数が減るなどの変化があった」(13.6%)、「その他の変化があった」(6.9%)となっている。

年齢別にみると、「以前と変わらない」の回答率が最も高いのは「35～39歳」で75.2%、「就業状態は同じだが、勤務日数が減るなどの変化があった」の回答率が最も高いのは「45～49歳」で18.0%である。

問 14 現在働いている方、あるいは以前働いていた方におたずねします。今年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で就業状態は変わりましたか。(〇はひとつ)

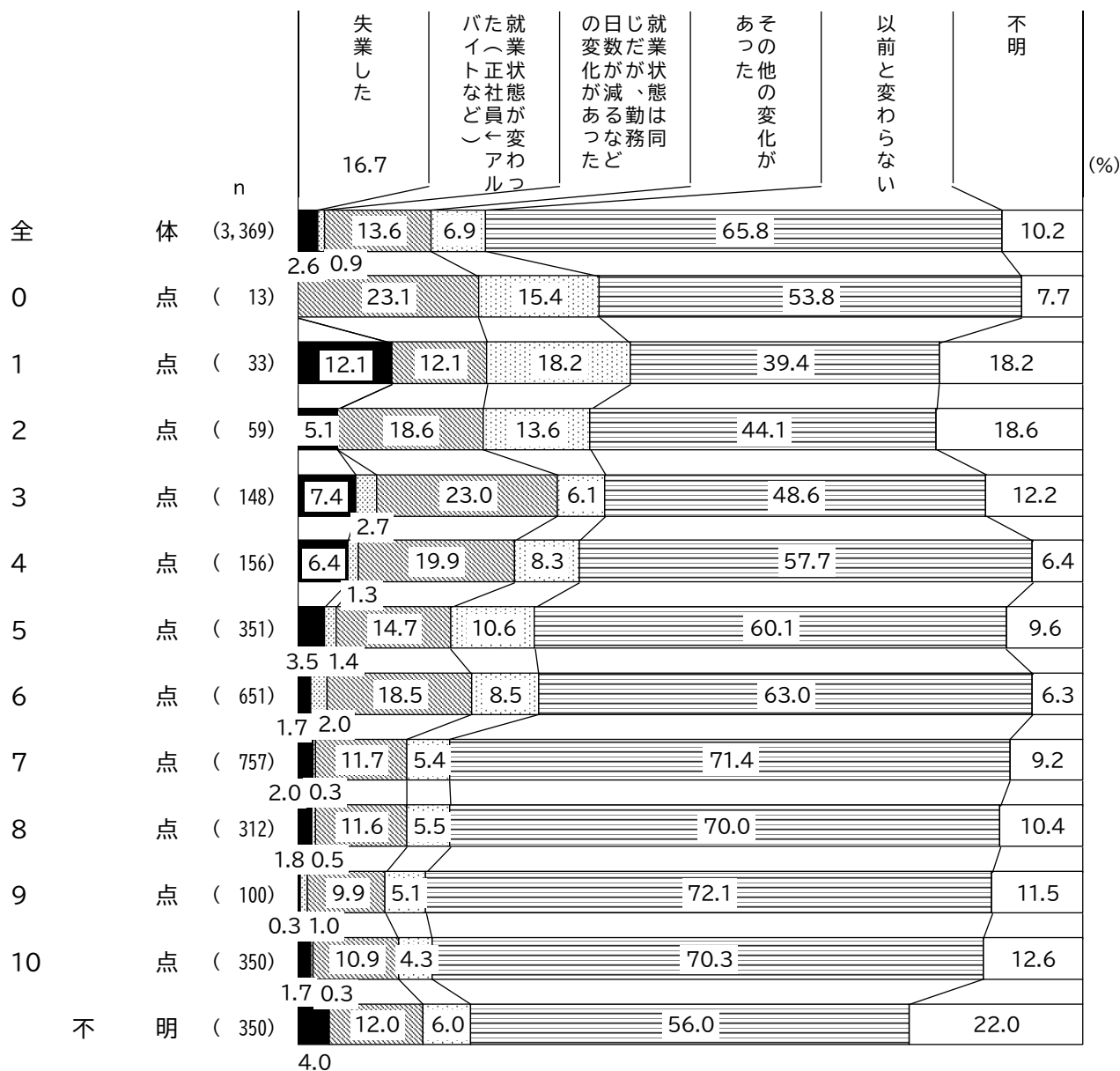
新型コロナウイルス感染症流行の影響による就業状態の変化(生活水準別)



生活水準別にみると、「以前と変わらない」の回答率が最も高いのは「上の下」で76.1%、次いで「中の上」で75.6%となっている。「就業状態は同じだが、勤務日数が減るなどの変化があった」の回答率が高いのは「下の上」で27.9%、「下の中」で27.3%、「下の下」で22.4%である。「失業した」の回答率が高いのは「下の中」で10.6%、「下の下」で9.2%となっており、生活水準が厳しいと回答した人ほど新型コロナウイルス感染症の影響による就業状態の変化が大きいことがうかがえる。

問 14 現在働いている方、あるいは以前働いていた方におたずねします。今年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で就業状態は変わりましたか。(〇はひとつ)

新型コロナウイルス感染症流行の影響による就業状態の変化(幸福度別)



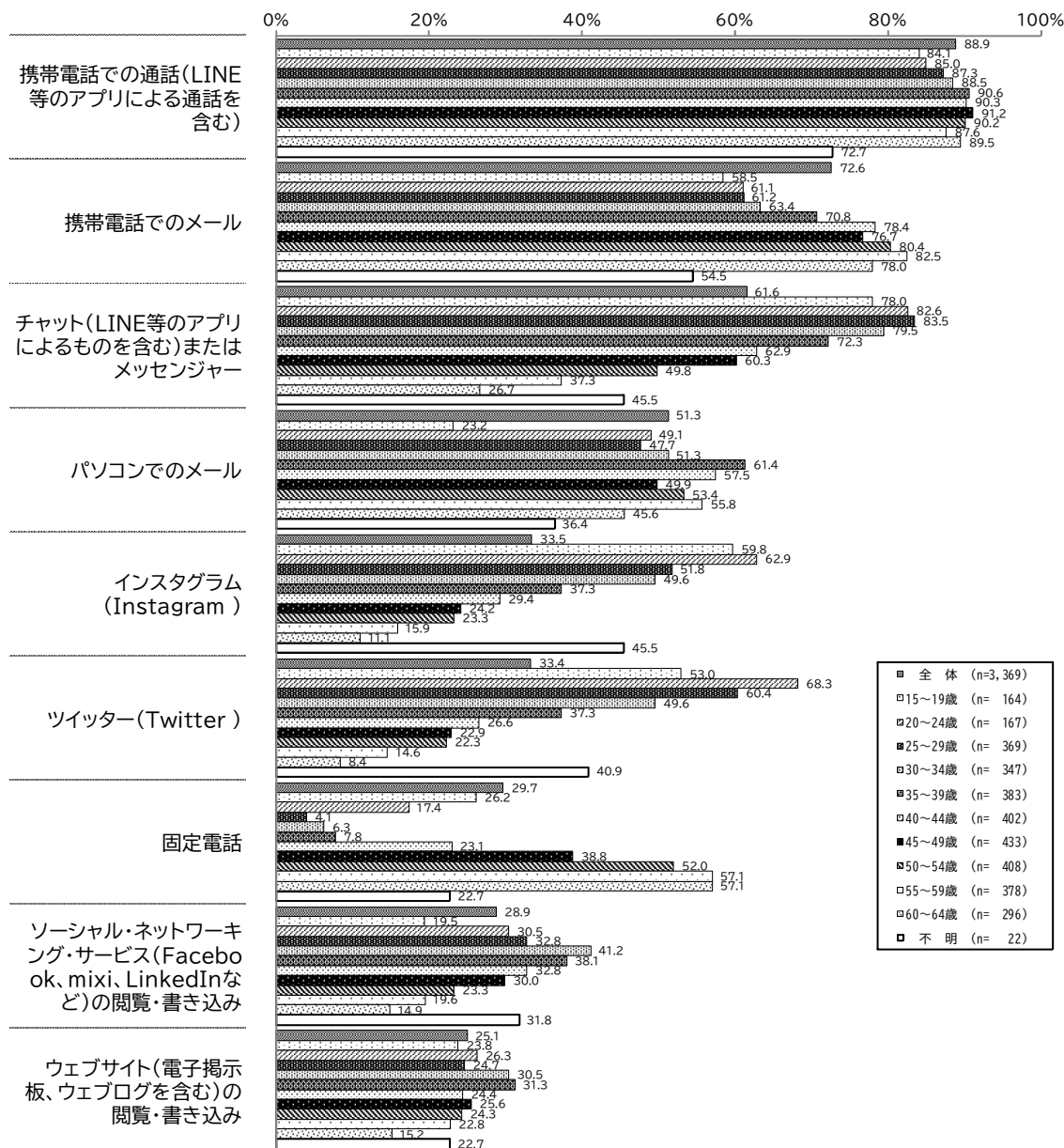
幸福度別にみると、「以前と変わらない」の回答率が高いのは幸福度を「9点」と回答した人で72.1%、次いで「7点」で71.4%となっている。「就業状態は同じだが、勤務日数が減るなどの変化があった」の回答率が高いのは「0点」で23.1%、「3点」で23.0%、「4点」で19.9%である。

1.4. 普段利用している通信手段

◆ 普段利用している通信手段は、「携帯電話での通話(LINE 等のアプリによる通話を含む)」が 9 割近く

問 15 以下の通信手段の中で、あなたがふだん利用しているもの全てに○をお付けください。
(あてはまるもの全てに○)

普段利用している通信手段(年齢別)

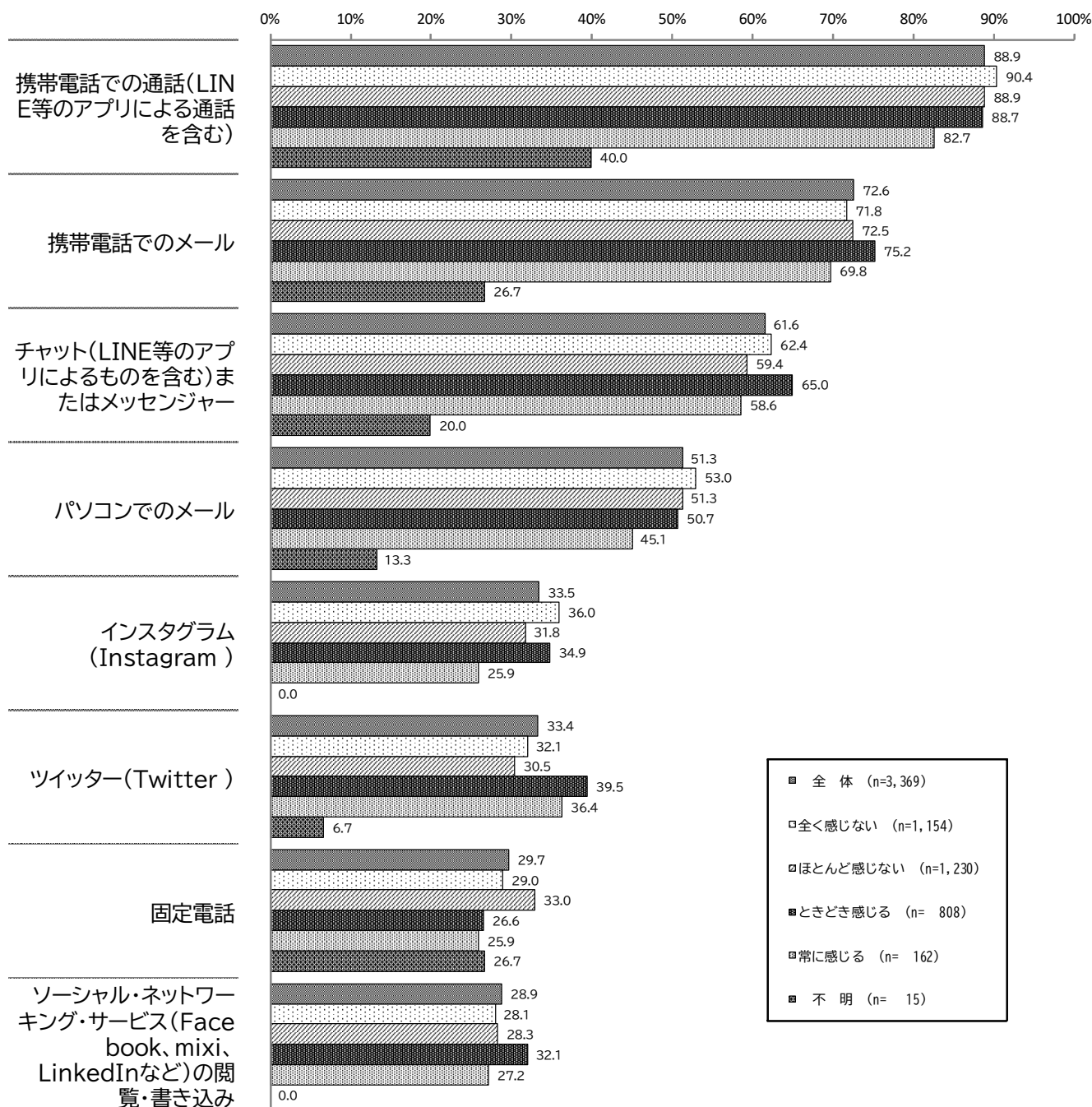


普段利用している通信手段は、「携帯電話での通話(LINE 等のアプリによる通話を含む)」(88.9%)が最も高く、次いで、「携帯電話でのメール」(72.6%)、「チャット(LINE 等のアプリによるものを含む)またはメッセンジャー」(61.6%)となっている。

年齢別にみると、「チャット(LINE 等のアプリによる通話を含む)またはメッセンジャー」の回答率が最も高いのは「25~29歳」で83.5%、「携帯電話でのメール」は「55~59歳」で82.5%、「パソコンでのメール」は「35~39歳」で61.4%となっている。

問 15 以下の通信手段の中で、あなたがふだん利用しているもの全てに○をお付けください。
 (あてはまるもの全てに○)

普段利用している通信手段(孤立を感じるか別)



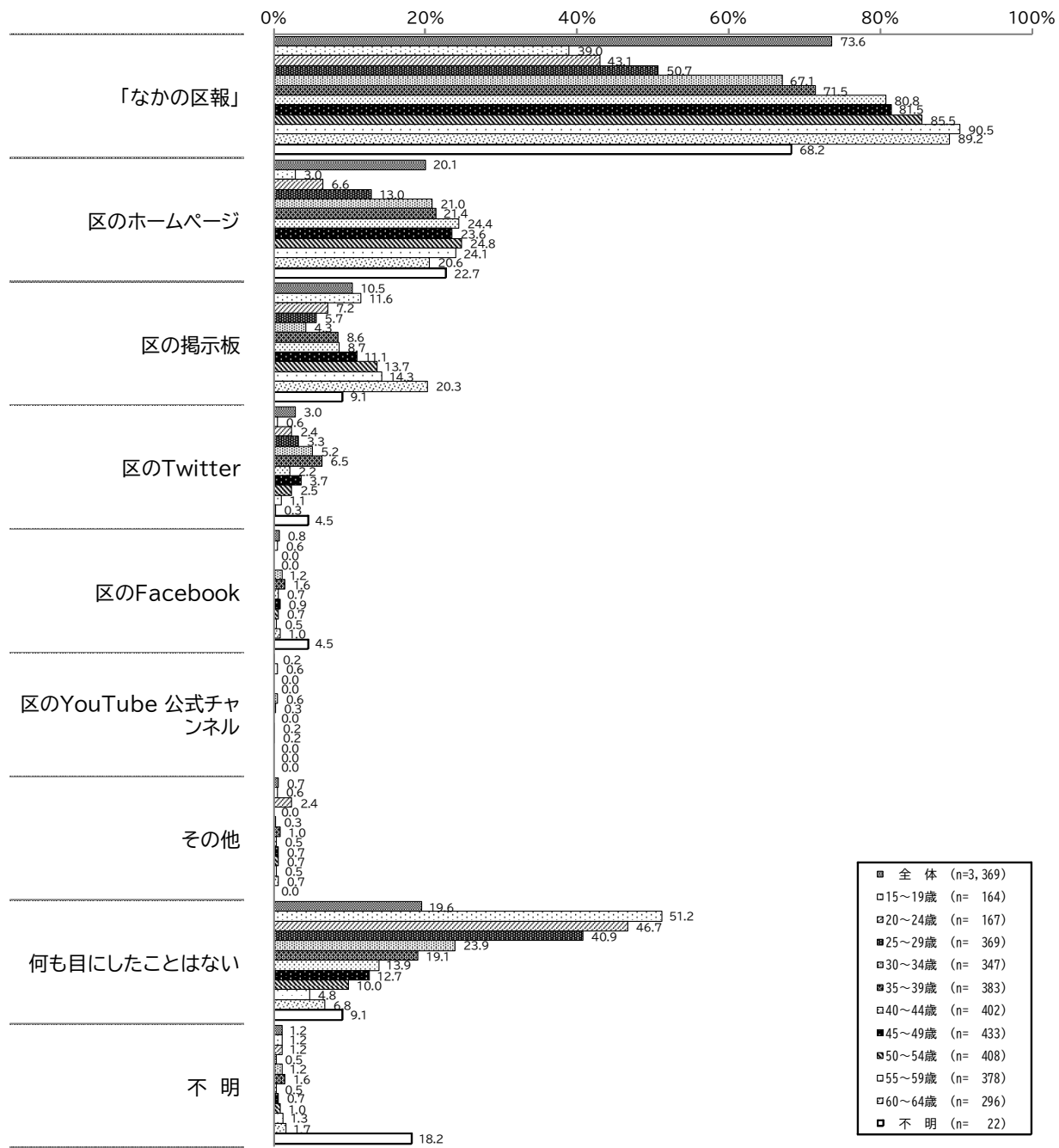
利用する通信手段を、孤立を感じるか別にみると、「ツイッター」を利用していると回答している人のなかでは孤立していると「ときどき感じる」(39.5%)、「常に感じる」(36.4%)が、「全く感じない」(32.1%)、「ほとんど感じない」(30.5%)と比較すると高い回答率となっている。また、「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」を利用している人のなかでは、孤立を「ときどき感じる」(32.1%)が相対的に高い回答率を示している。

1.5. 普段目に行っている中野区の広報媒体

◆ 普段目に行っている中野区の広報媒体は、「なかの区報」が7割半ば近く

問 16 以下の中野区の広報媒体の中で、あなたがふだん目に行っているもの全てに○をお付けください。
(あてはまるもの全てに○)

普段目に行っている中野区の広報媒体(年齢別)



普段目に行っている中野区の広報媒体は、「なかの区報」(73.6%)が最も高く、次いで、「区のホームページ」(20.1%)、「区の掲示板」(10.5%)となっている。

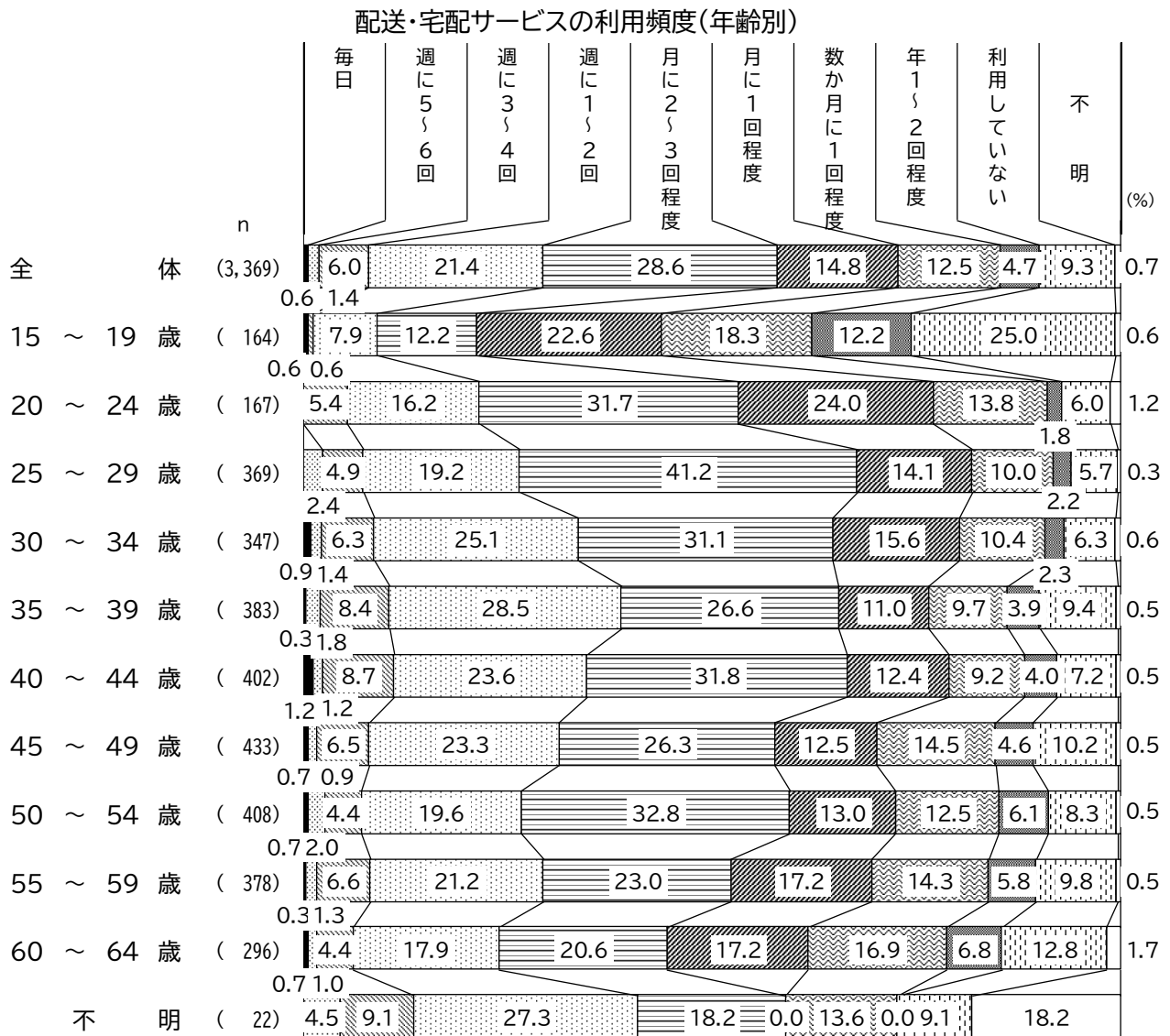
年齢別にみると、「なかの区報」の回答率は年齢が上がるほど高くなり、最も高いのは「55~59歳」(90.5%)、次いで「60~64歳」(89.2%)である。一方、「何も目にしたことはない」と回答した割合は「55~59歳」(4.8%)が最も低く、年齢が若くなるほど回答率は上昇し、「15~19歳」で51.2%と最も高くなっている。

1.6. 配送・宅配サービスの利用頻度

◆ 配送・宅配サービスの利用頻度は、「月に2～3回程度」が3割近く

問 17 あなたは配送・宅配サービスをどのぐらいの頻度で利用していますか。(○はひとつ)

※インターネットで購入した物品の配送や食事のデリバリーなど、全て含みます。



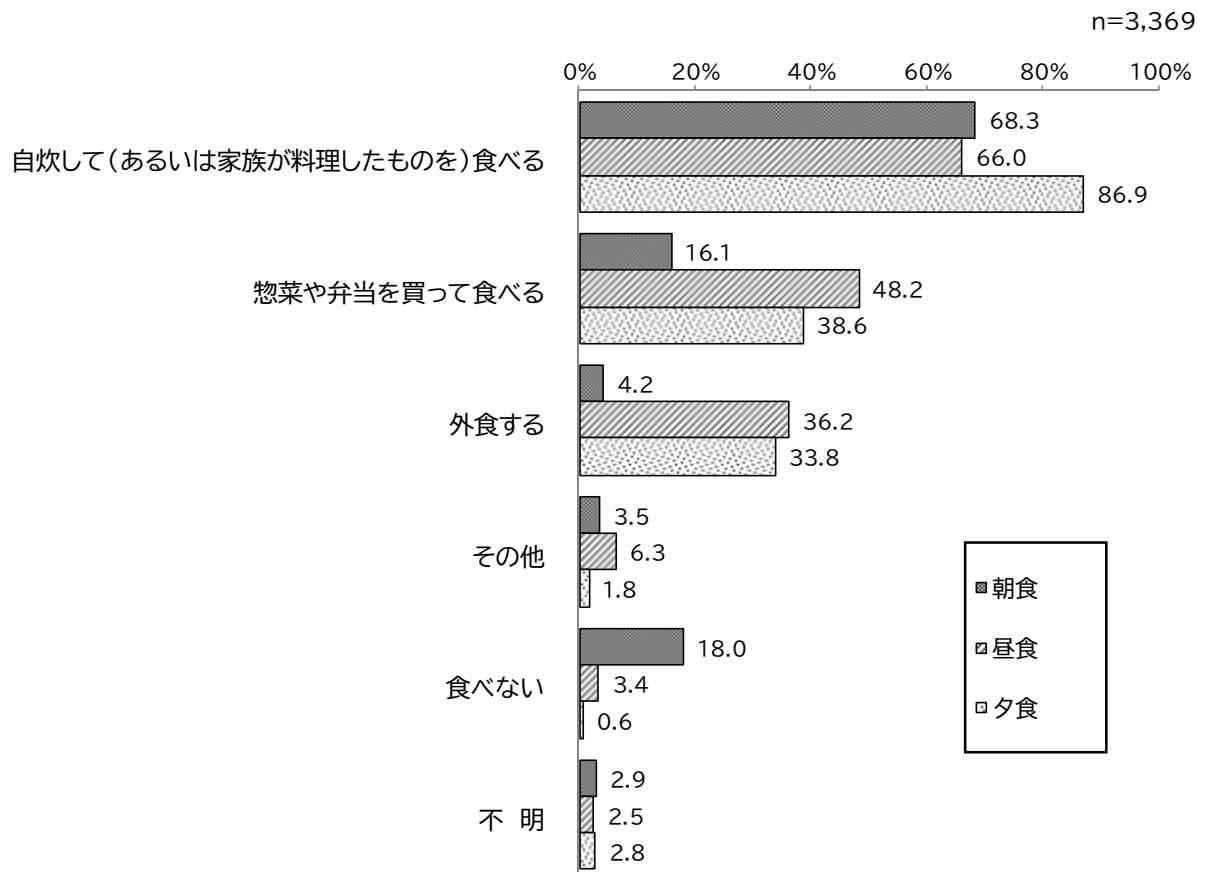
配送・宅配サービスの利用頻度は、「月に2～3回程度」(28.6%)が最も高く、次いで、「週に1～2回」(21.4%)、「月に1回程度」(14.8%)となっている。

年齢別にみると、「週に1～2回」の回答率が最も高いのは「35～39歳」で28.5%、「月に2～3回程度」は「25～29歳」で41.2%と最も高くなっている。

1.7.食事のとり方

◆食事のとり方は、「自炊して(あるいは家族が料理したものを)食べる」が夕食で 8 割半ばを超え、「惣菜や弁当を買って食べる」が昼食で 5 割近く、「食べない」が朝食で 2 割近く

問 18 あなたはふだん食事をどうしていますか。(あてはまるもの全て回答)

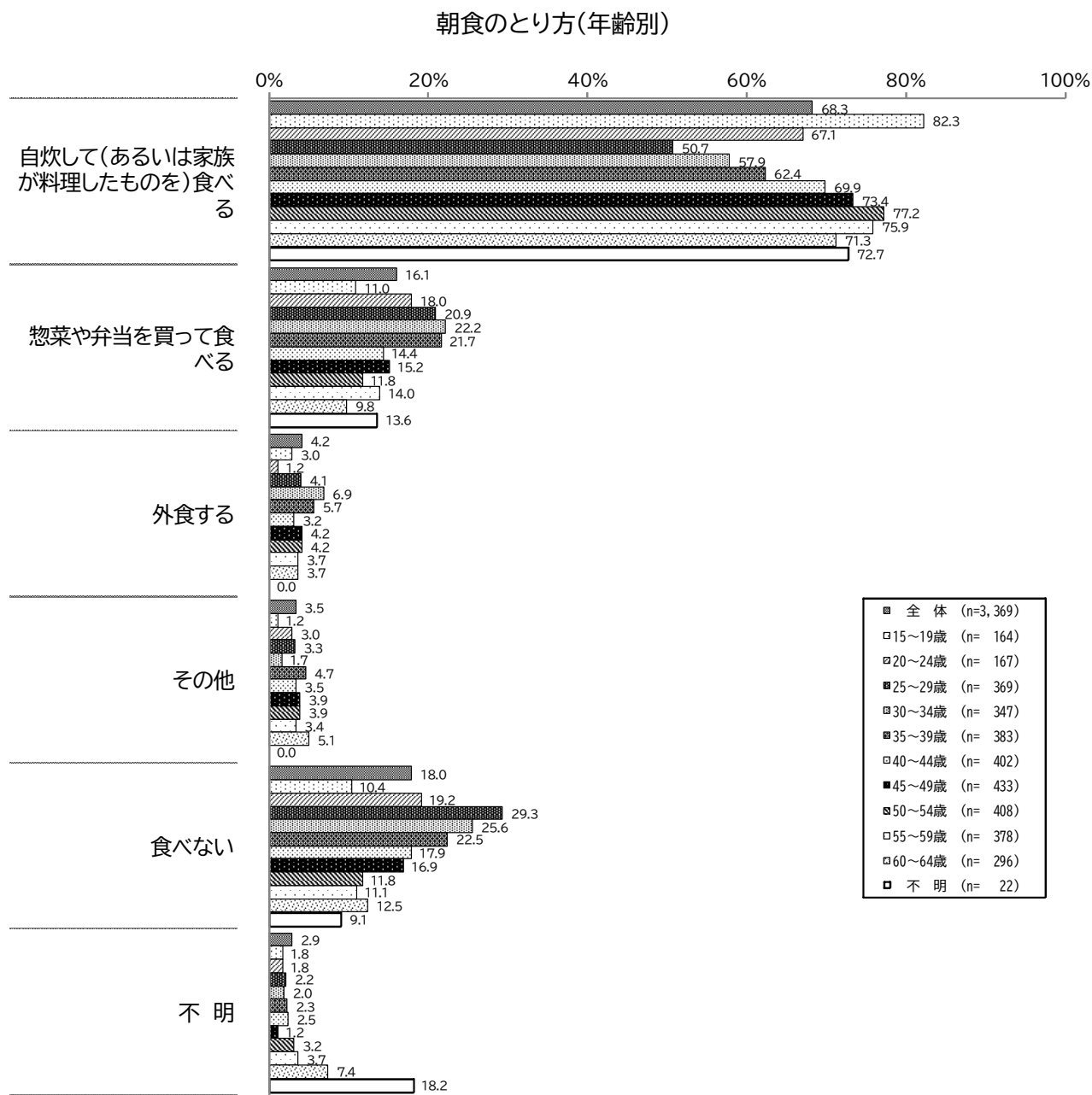


食事のとり方は、「朝食」では回答率が高い順に、「自炊して(あるいは家族が料理したものを)食べる」が 68.3%、「食べない」が 18.0%、「惣菜や弁当を買って食べる」が 16.1%となっている。

「昼食」では、「自炊して(あるいは家族が料理したものを)食べる」が 66.0%、「惣菜や弁当を買って食べる」が 48.2%、「外食する」が 36.2%となっている。

「夕食」では、「自炊して(あるいは家族が料理したものを)食べる」が 86.9%、「惣菜や弁当を買って食べる」が 38.6%、「外食する」が 33.8%となっている。

問 18 あなたはふだん食事をどうしていますか。(あてはまるもの全て回答)

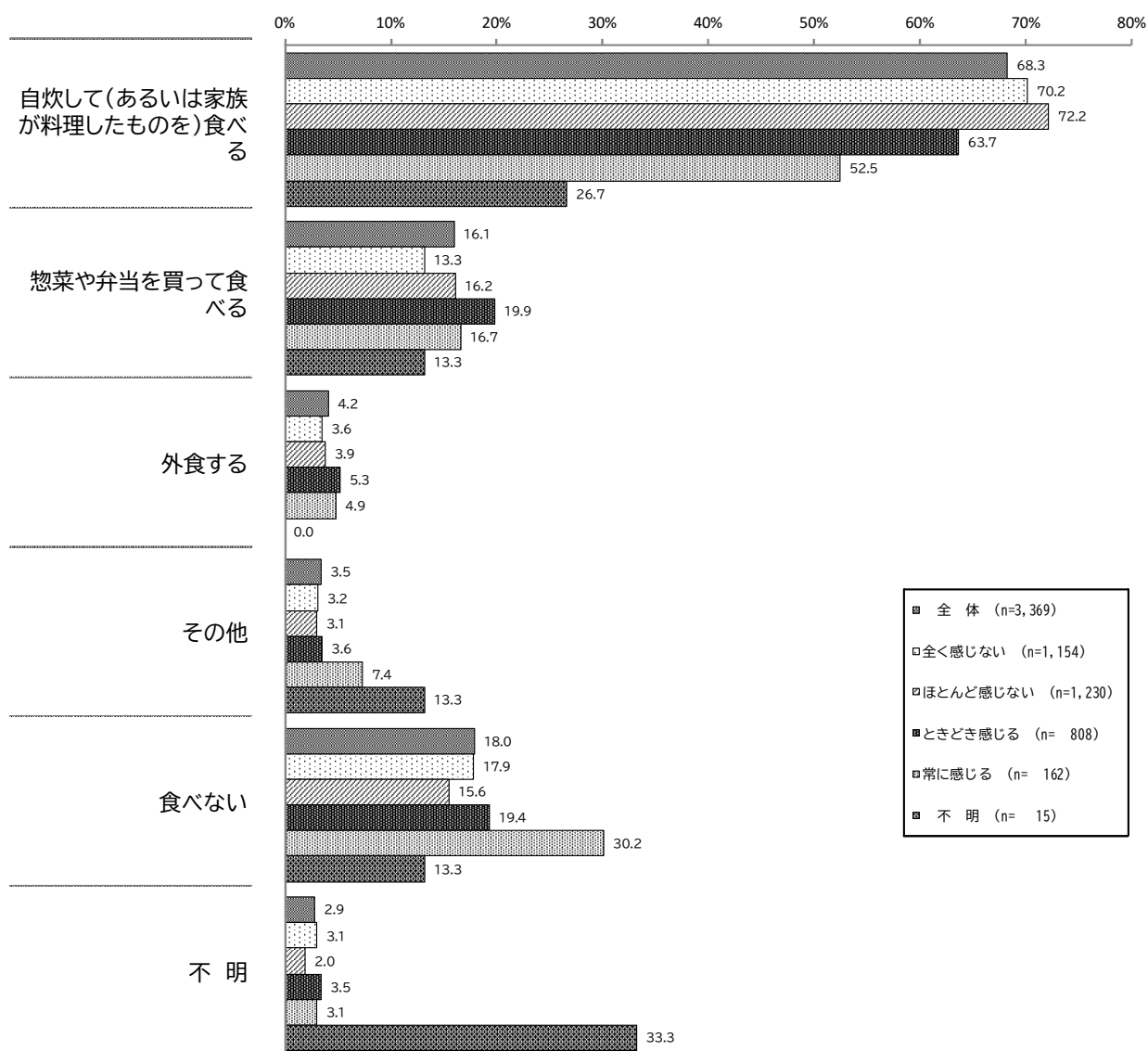


朝食のとり方を年齢別にみると、「自炊して(あるいは家族が料理したものを)食べる」の回答率が最も高いのは「15~19歳」で82.3%、逆に最も低いのは「25~29歳」で50.7%となっている。

「食べない」の回答率が最も高いのは「25~29歳」で29.3%となっており、この年齢層では3割弱の人が朝食を食べていない。

問 18 あなたはふだん食事をどうしていますか。(それぞれ数字を記入)

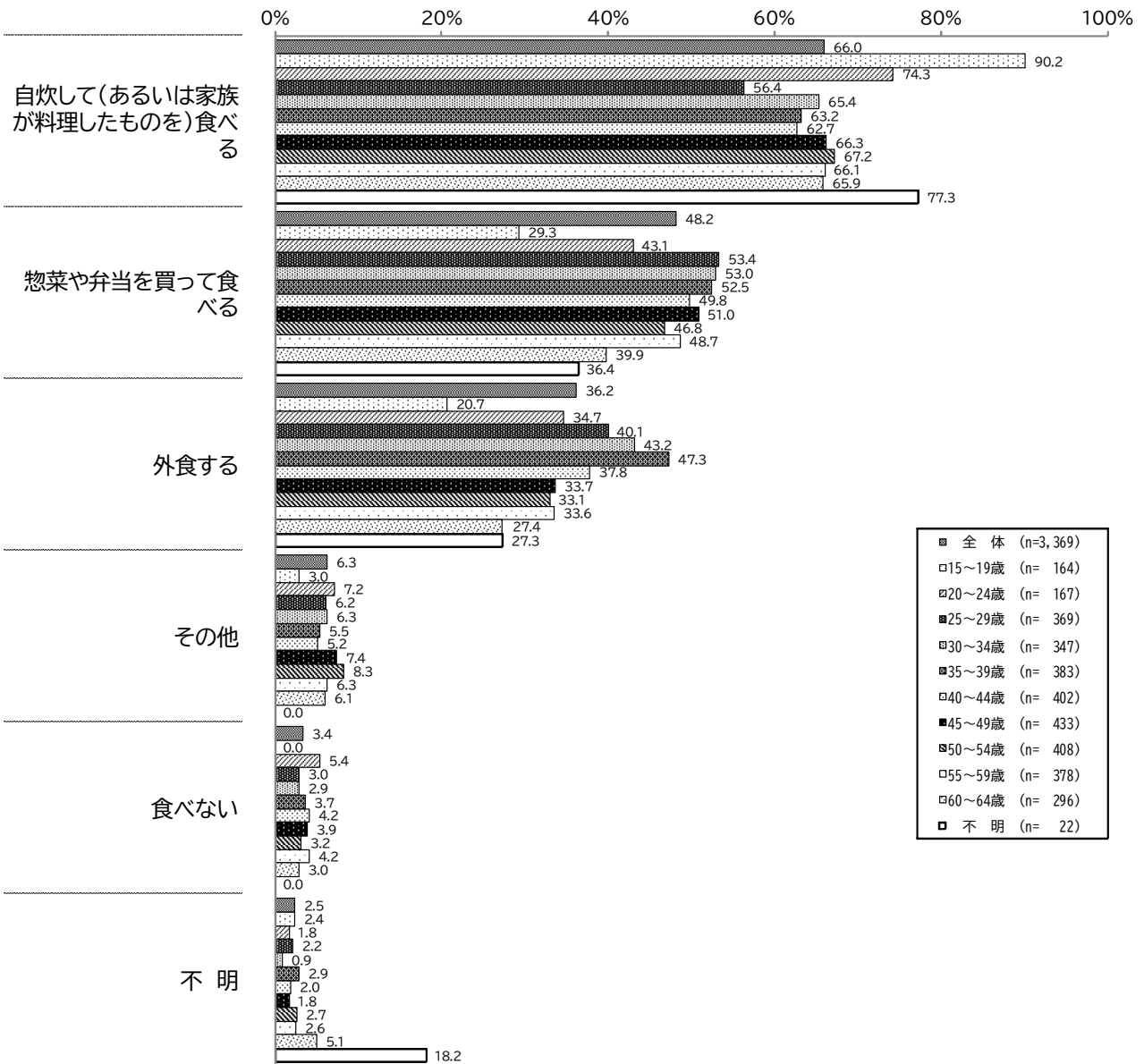
朝食のとり方 (孤立を感じるか別)



朝食のとり方を、孤立を感じるか別にをみると、孤立を「常に感じる」人の 30.2%が朝食を「食べない」と回答しており、高い回答率を示している。

問 18 あなたはふだん食事をどうしていますか。(あてはまるもの全て回答)

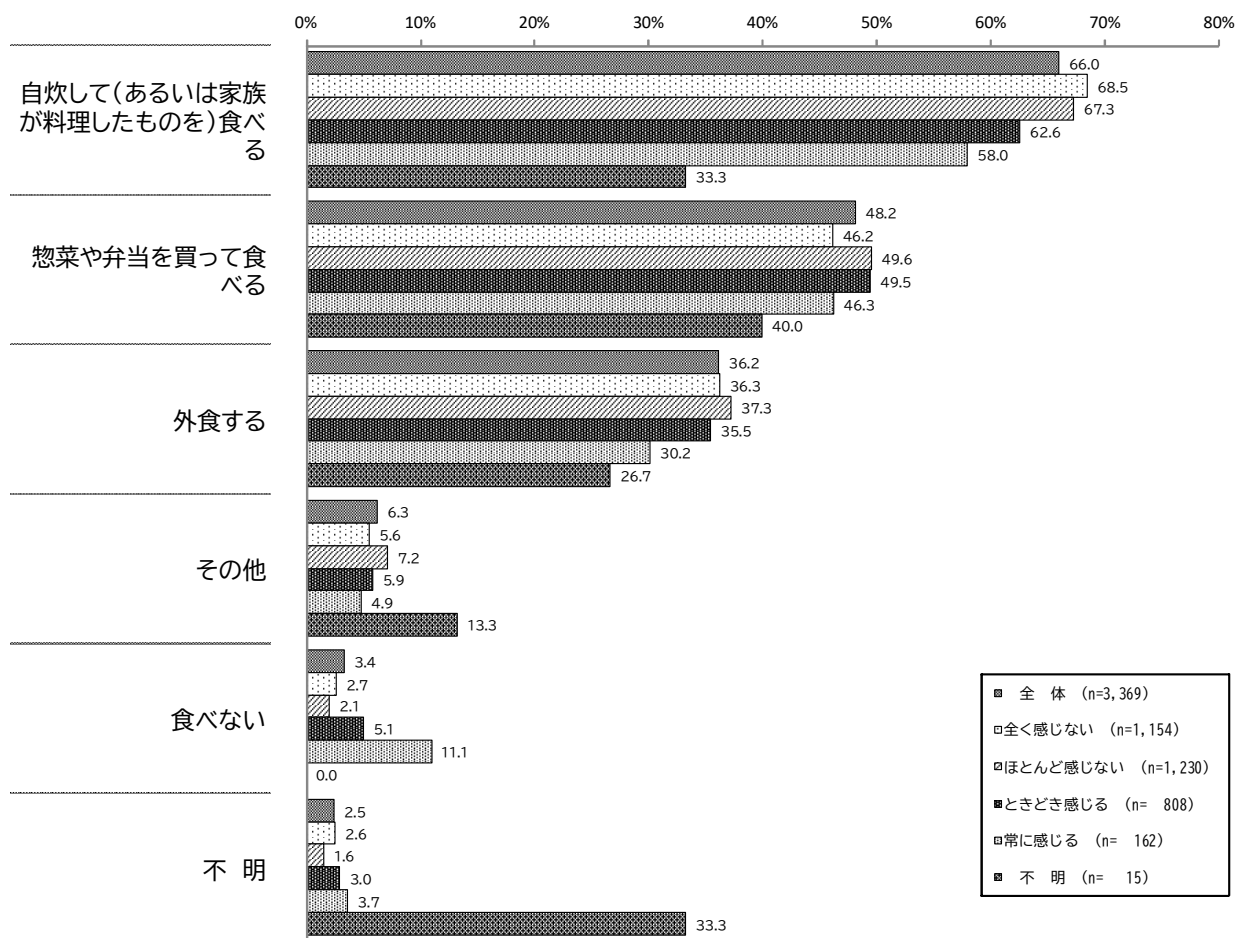
昼食のとり方(年齢別)



昼食のとり方を年齢別にみると、「自炊して(あるいは家族が料理したものを)食べる」の回答率が最も高いのは「15~19歳」で90.2%となっている。一方、「惣菜や弁当を買って食べる」は「25~29歳」で53.4%、「外食する」は「35~39歳」で47.3%と最も高くなっている。

問 18 あなたはふだん食事をどうしていますか。(あてはまるもの全て回答)

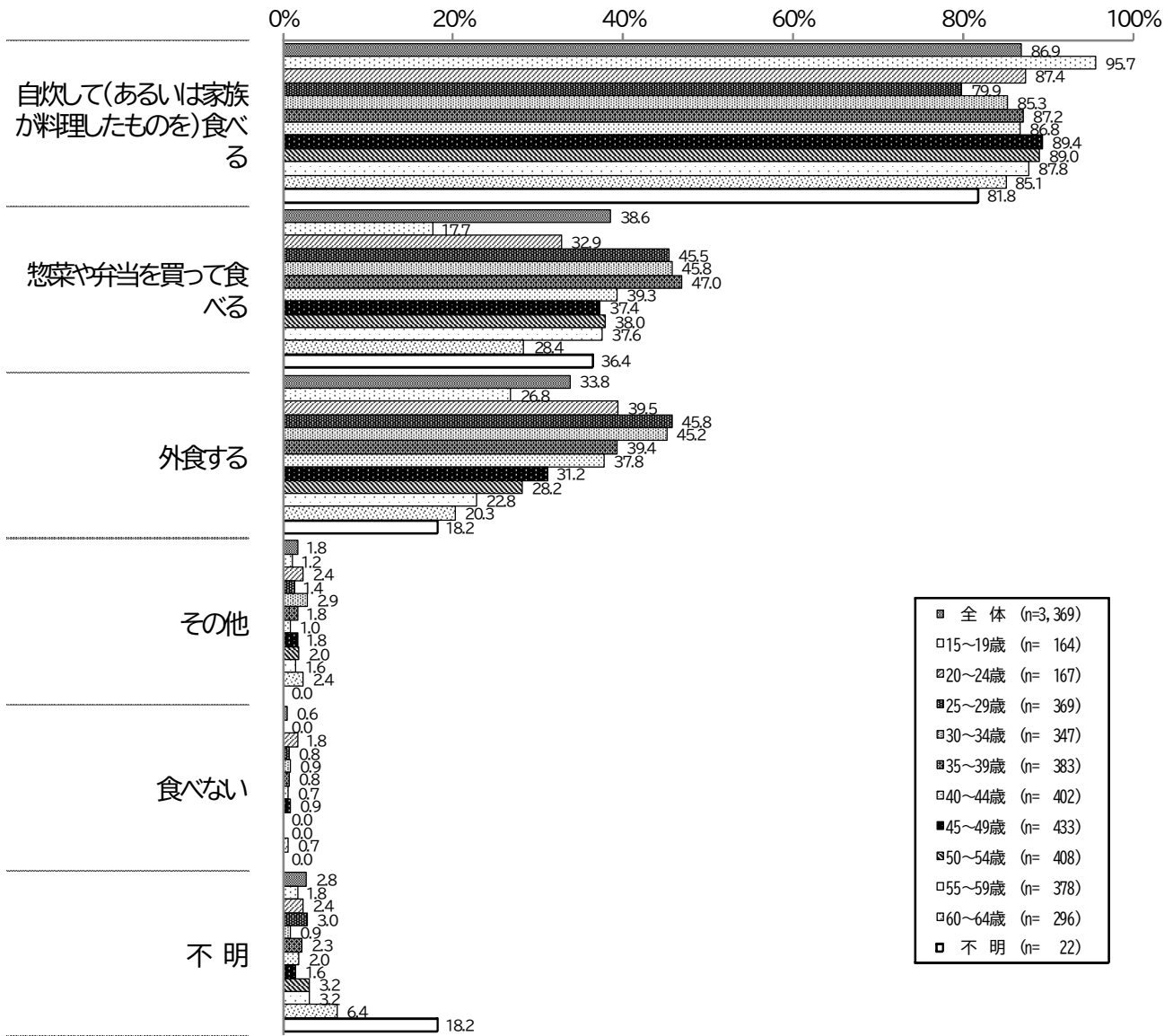
昼食のとり方(孤立を感じるか別)



昼食のとり方を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常を感じる」人の11.1%が昼食を「食べない」と回答しており、「食べない」人のうちで高い回答率を示している。

問 18 あなたはふだん食事をどうしていますか。(それぞれ数字を記入)

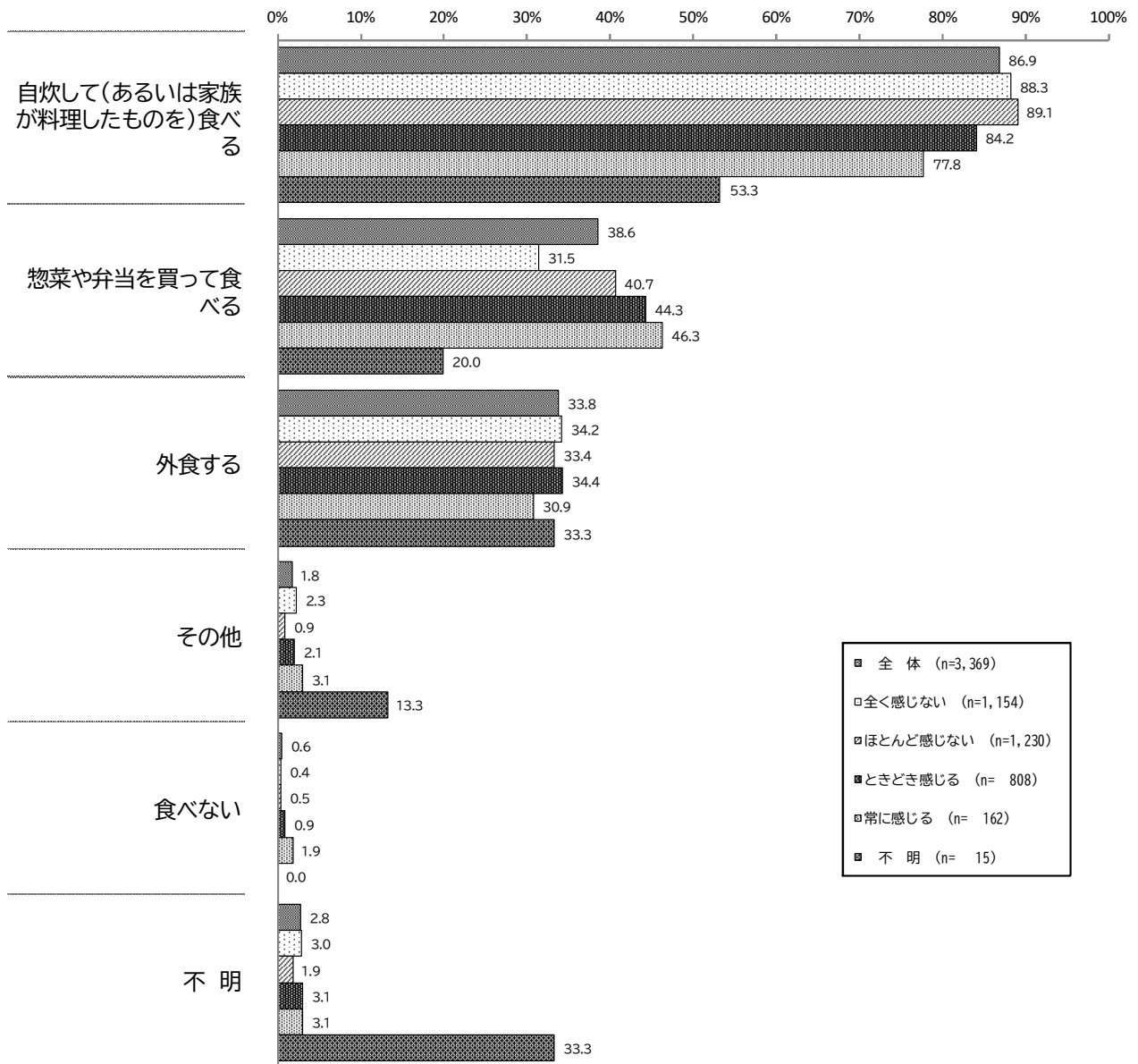
夕食のとり方(年齢別)



夕食のとり方を年齢別にみると、「自炊して(あるいは家族が料理したものを)食べる」の回答率が高いのは「15～19歳」で95.7%、「惣菜や弁当を買って食べる」は「35～39歳」で47.0%、「外食する」は「25～29歳」で45.8%となっている。

問 18 あなたはふだん食事をどうしていますか。(あてはまるもの全て回答)

夕食のとり方(孤立を感じるか別)

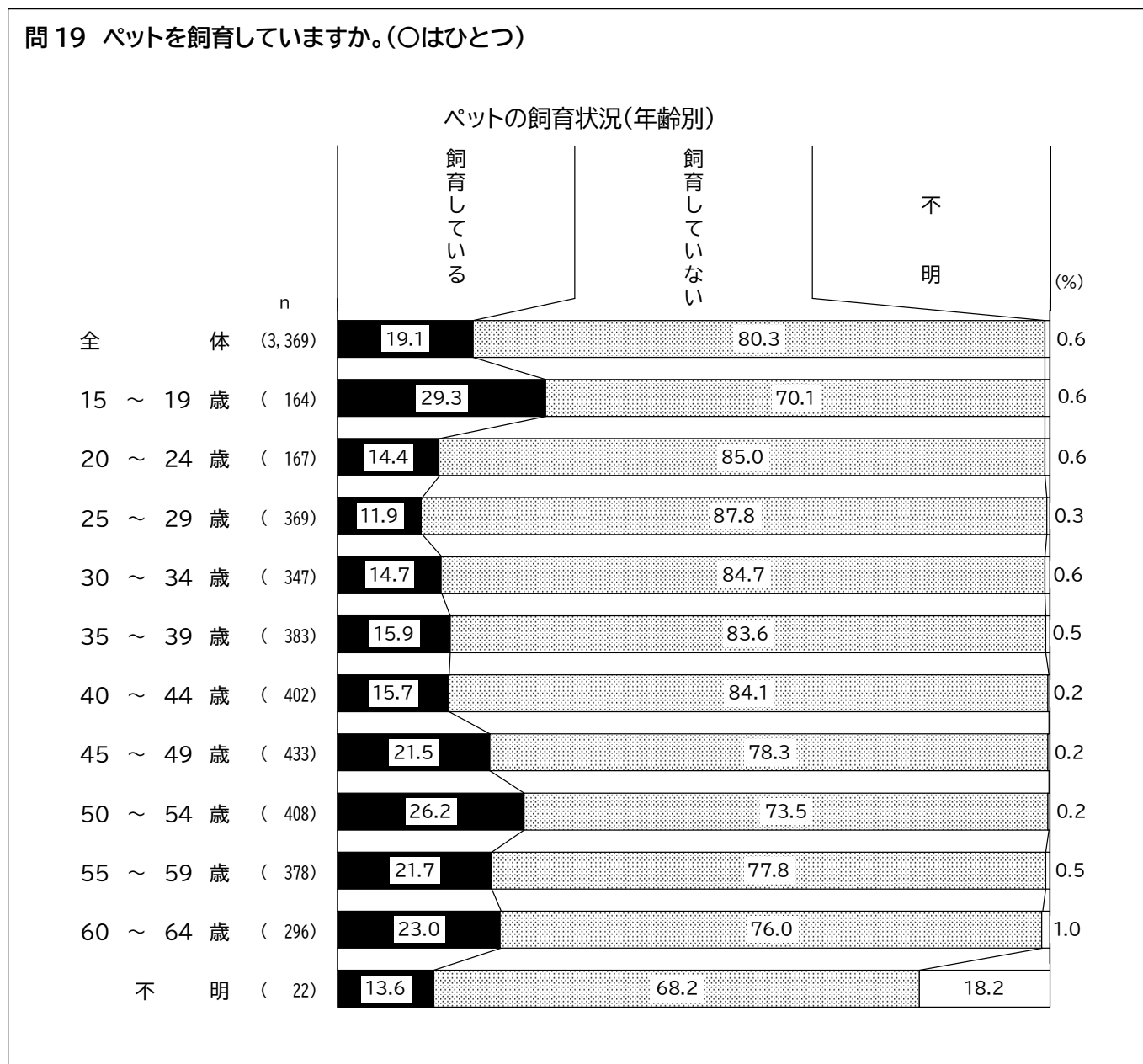


夕食のとり方を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常を感じる」人の46.3%が「惣菜や弁当を買って食べる」と回答しており、「惣菜や弁当を買って食べる」人のうちで高い回答率を示している。

1.8.ペットの飼育状況

◆ペットの飼育状況は「飼育していない」が8割

問19 ペットを飼育していますか。(〇はひとつ)



ペットの飼育状況は、「飼育している」(19.1%)、「飼育していない」(80.3%)となっている。

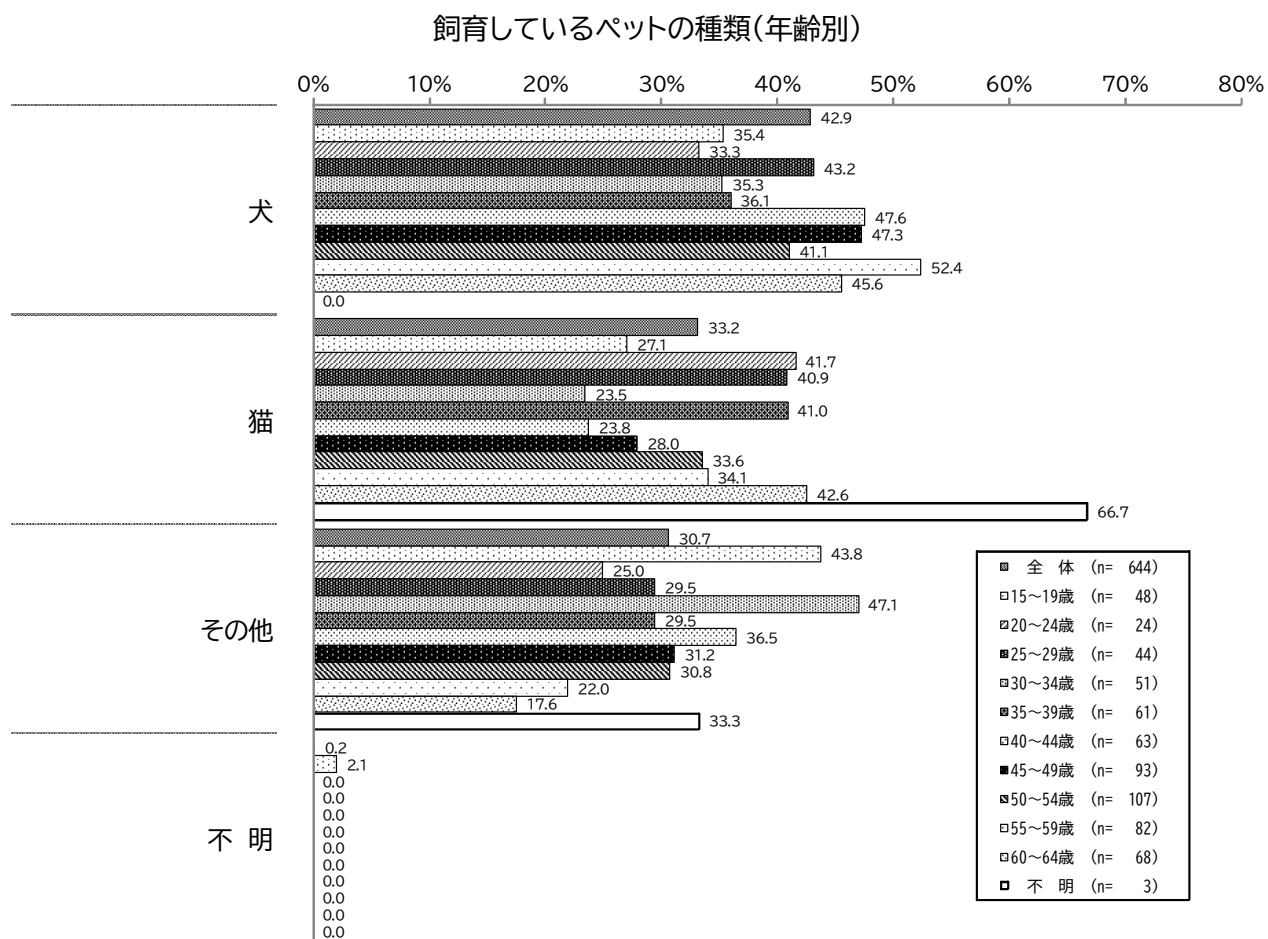
年齢別にみると、「飼育していない」の回答率が最も高いのは「25～29歳」で87.8%であるのに対し、「飼育している」の回答率が最も高いのは「15～19歳」の29.3%、次いで「50～54歳」の26.2%となっており、ちょうど親世代と子世代にあたる2つの年齢層で高い回答率を示している。

1.8.1.飼育しているペットの種類

◆飼育しているペットの種類は、「犬」が4割強

問 19-1 「1. 飼育している」と答えた方におたずねします。何を飼育していますか。

(あてはまるものすべてに○)



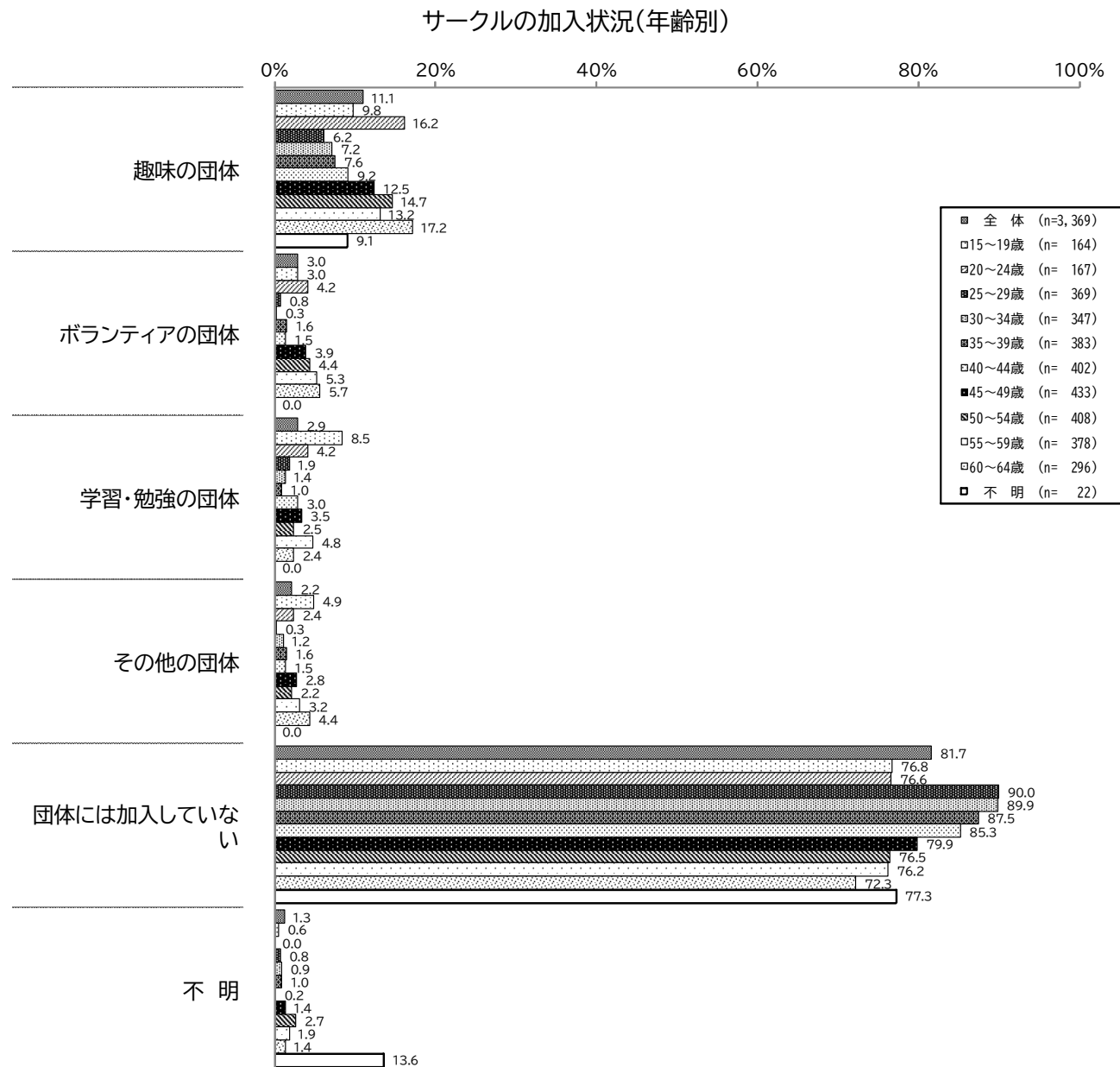
飼育しているペットの種類は、「犬」(42.9%)、「猫」(33.2%)となっている。

年齢別にみると、「犬」の回答率が最も高いのは「55~59歳」(52.4%)、「猫」は「60~64歳」(42.6%)となっている。

1.9.団体・サークルの加入状況

◆団体・サークルの加入状況で、最も高いのは「趣味の団体」が1割強

問 20 あなたは何か団体やサークルに加入して活動していますか。



サークルの加入状況は、「趣味の団体」(11.1%)が最も高く、次いで、「ボランティアの団体」(3.0%)、「学習・勉強の団体」(2.9%)と続く。一方、「団体には加入していない」は、81.7%となっている。

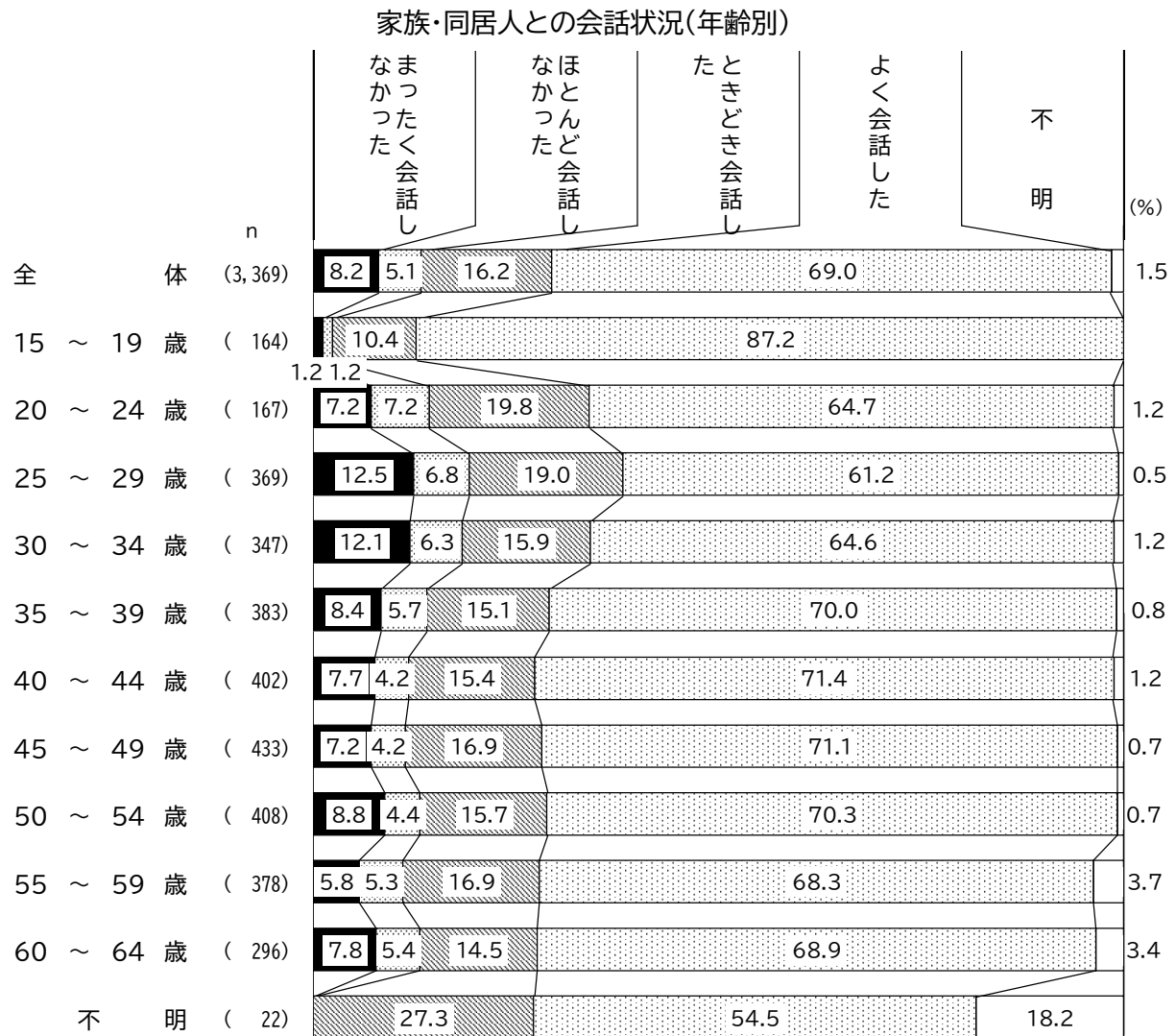
年齢別にみると、「趣味の団体」の回答率が最も高いのは「60~64歳」で17.2%である。一方、「団体には加入していない」の回答率が最も高いのは「25~29歳」(90.0%)、最も低いのは「60~64歳」(72.3%)である。

1.10.最近1か月間に会話をした相手

◆最近1か月間に会話をした相手は、家族・同居人とは「よく会話した」が7割弱、近隣住人とは「まったく会話しなかった」が5割近く、友人とは「ときどき会話した」が4割半ば近く

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

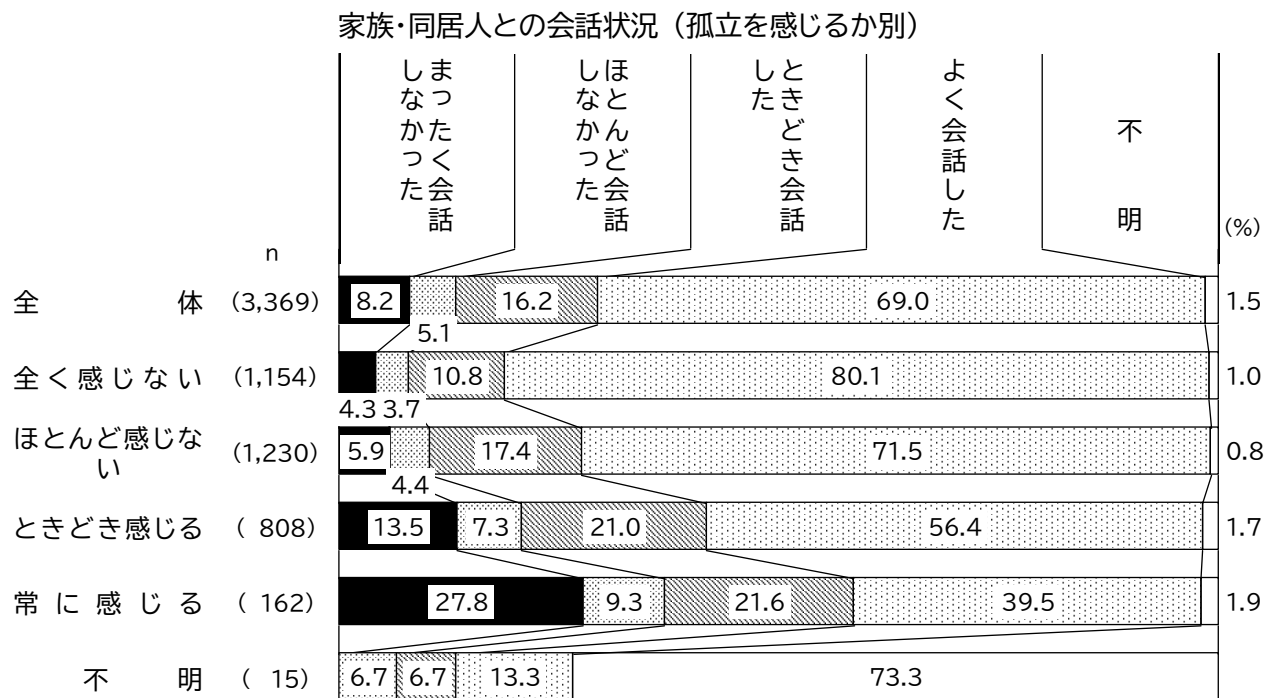
※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。



家族・同居人との会話状況を年齢別にみると、「よく会話した」は「15~19歳」(87.2%)、「ときどき会話した」は「20~24歳」(19.8%)、「ほとんど会話しなかった」は「20~24歳」(7.2%)、「まったく会話しなかった」は「25~29歳」(12.5%)でそれぞれ回答率が最も高い。

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。

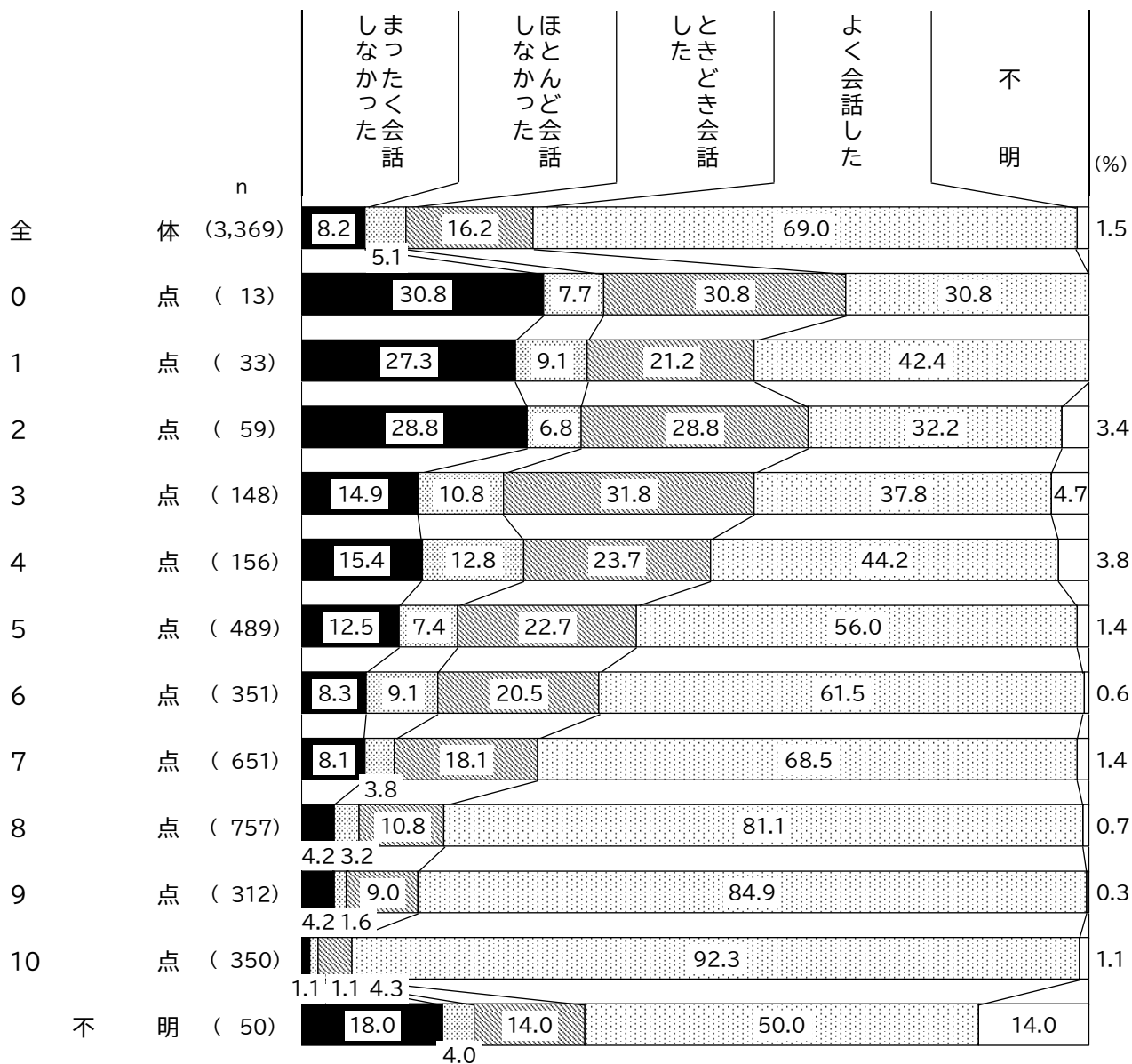


家族・同居人との会話の状況を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「全く感じない」人の80.1%は「よく会話した」と回答している。一方、孤立を「常に感じる」人の27.8%は「まったく会話をしなかった」と回答しており、孤立感が強いほど「まったく会話をしなかった」「ほとんど会話をしなかった」の回答率は高い。

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。

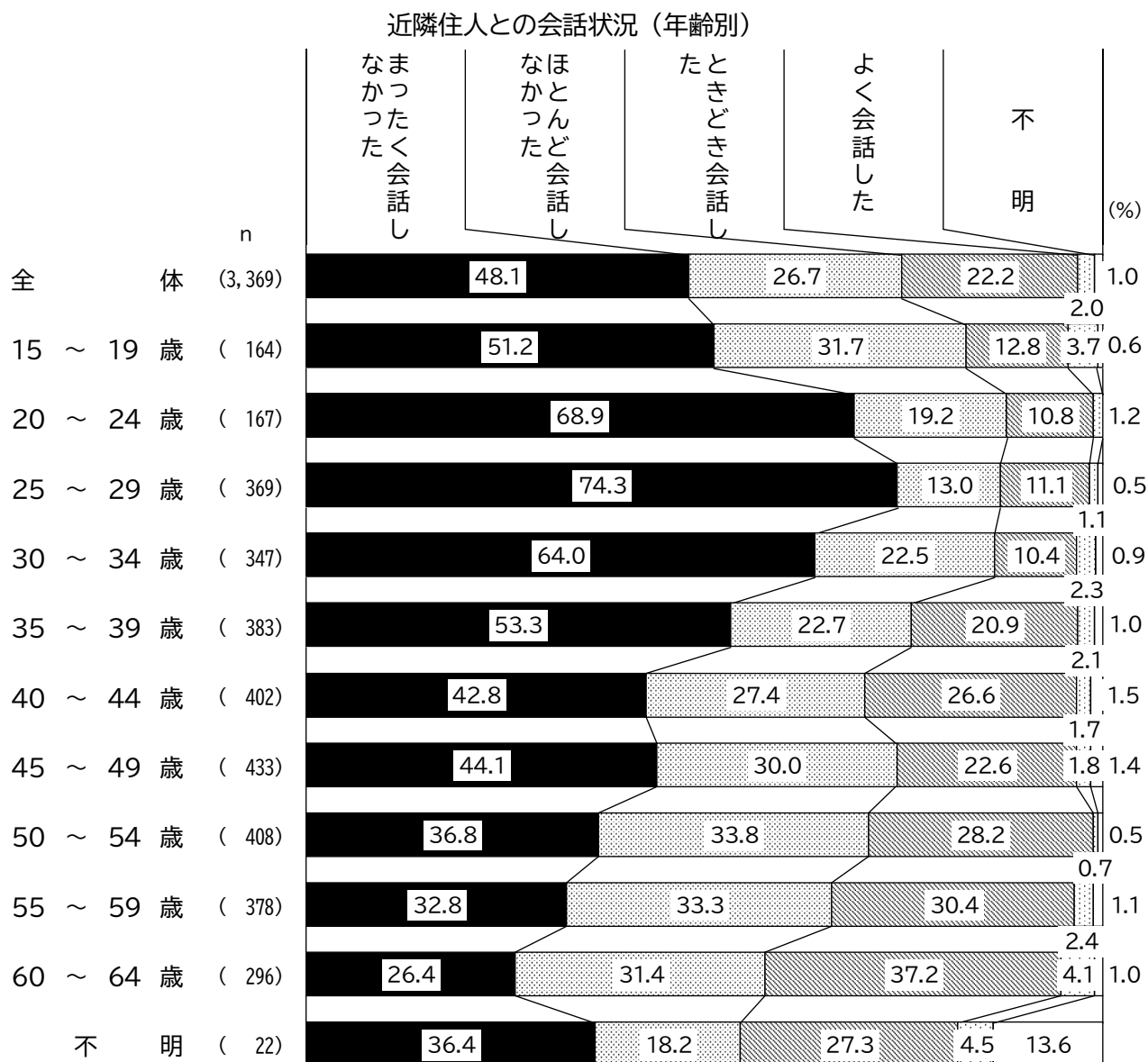
家族・同居人との会話状況（幸福度別）



幸福度別にみると、「よく会話した」の回答率が高いのは幸福度を「10点」と回答した人で92.3%となっており、幸福度が高いほど、家族・同居人と「よく会話した」と回答する割合が高い。一方、「まったく会話しなかった」と回答した割合は、幸福度「0点」では30.8%、「1点」で27.3%、「2点」で28.8%となっており、幸福度2点以下の回答者では「まったく会話しなかった」の回答率が高い。

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。

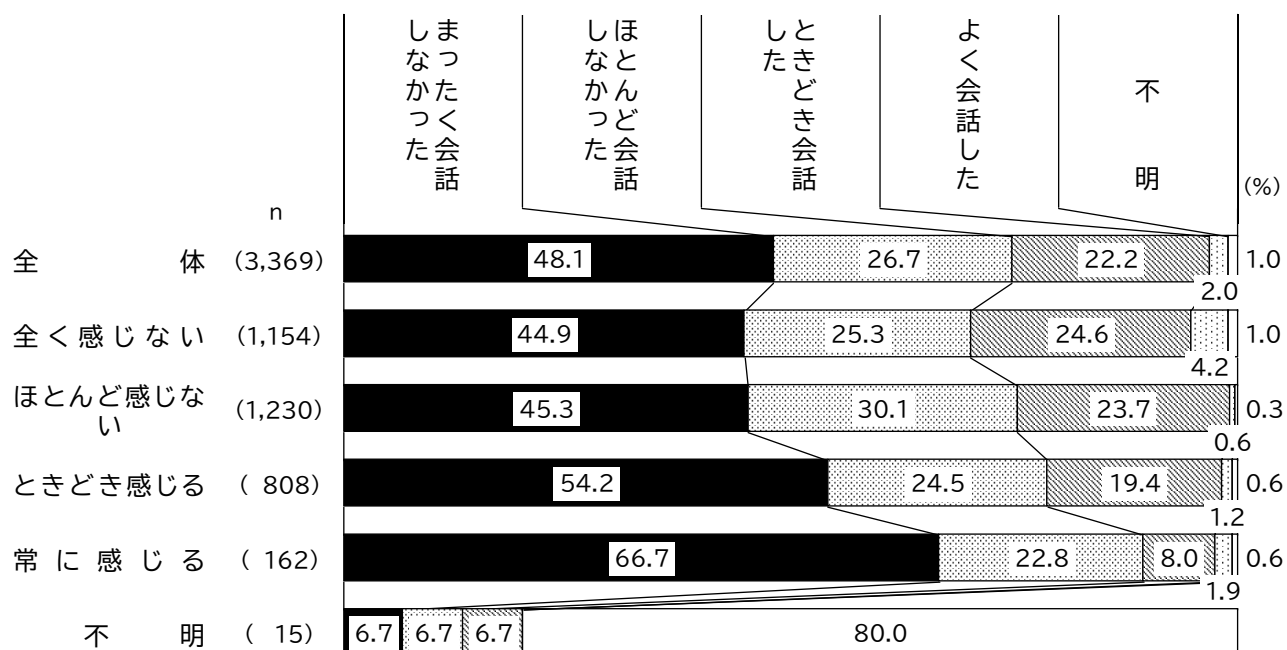


近隣住人との会話状況を年齢別にみると、「まったく会話しなかった」は「25～29歳」(74.3%)、「ほとんど会話しなかった」は「50～54歳」(33.8%)、「ときどき会話し」は「60～64歳」(37.2%)、「よく会話し」は「60～64歳」(4.1%)でそれぞれ回答率が最も高い。

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。

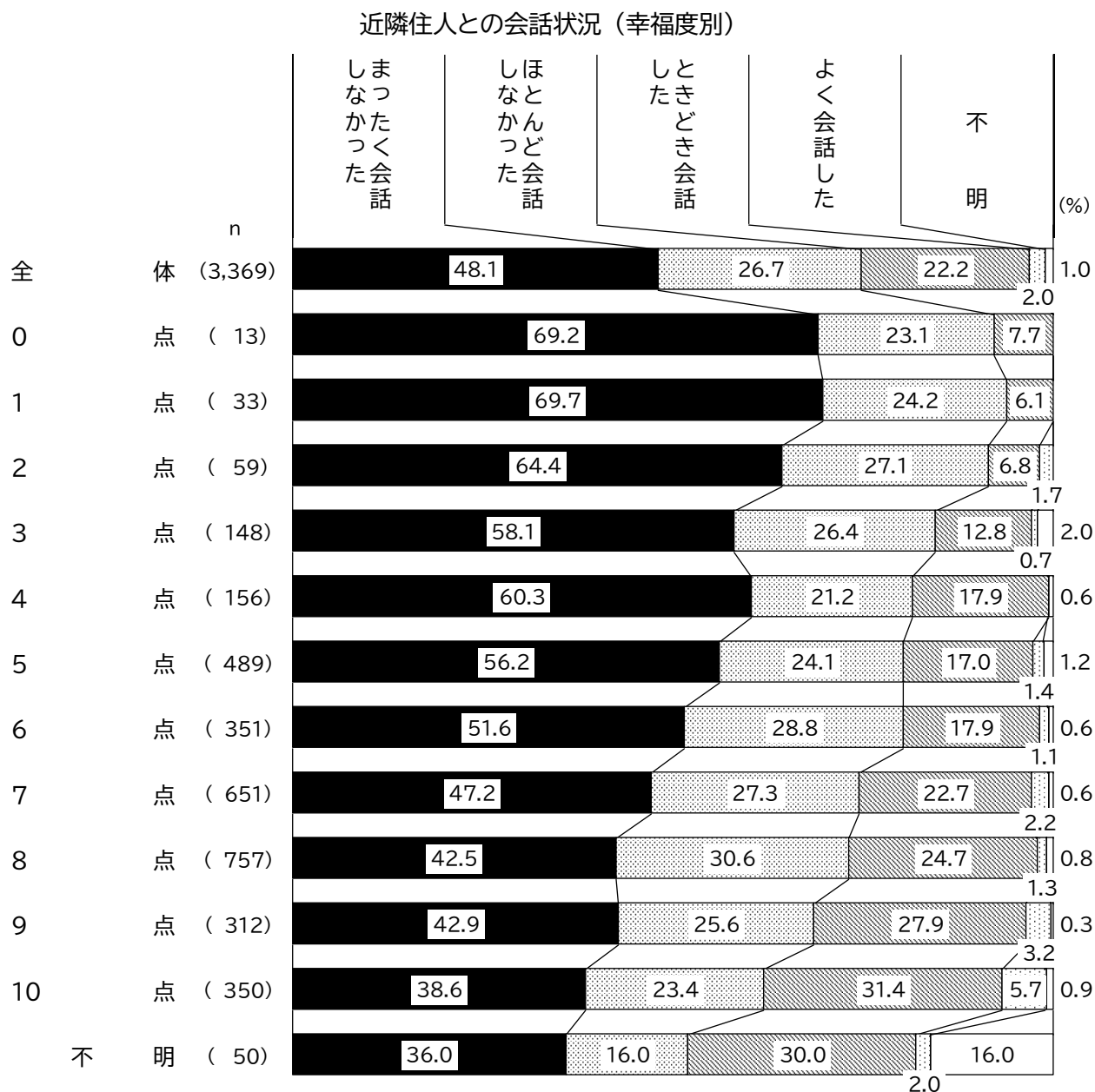
近隣住人との会話状況（孤立を感じるか別）



孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の66.7%は近隣住人と「まったく会話しなかった」が、孤立を「全く感じない」人のうち、近隣住人と「まったく会話しなかった」のは44.9%にとどまっており、21.8ポイントの差がある。

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ〇はひとつ)

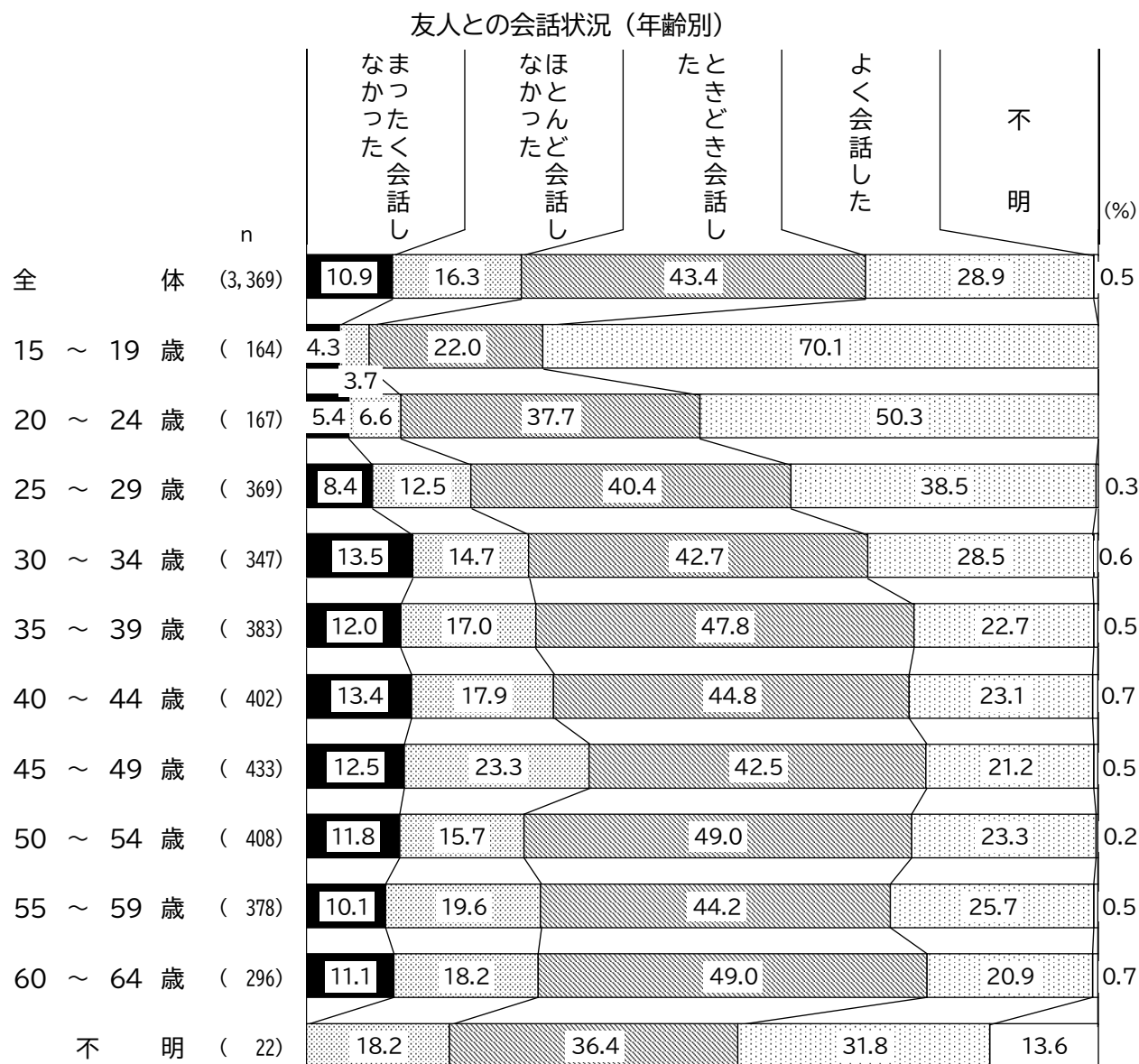
※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。



幸福度別にみると、「まったく会話しなかった」の回答率は「0点」(69.2%)、「1点」(69.7%)、「2点」(64.4%)となっている。これに対し、「ときどき会話した」の回答率が高いのは「9点」(27.9%)、「10点」(31.4%)、「よく会話した」の回答率が高いのは「10点」(5.7%)となっており、幸福度が高い回答者ほど、近隣住人と会話した割合が高い傾向がみられる。

問 21 最近一か月に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。

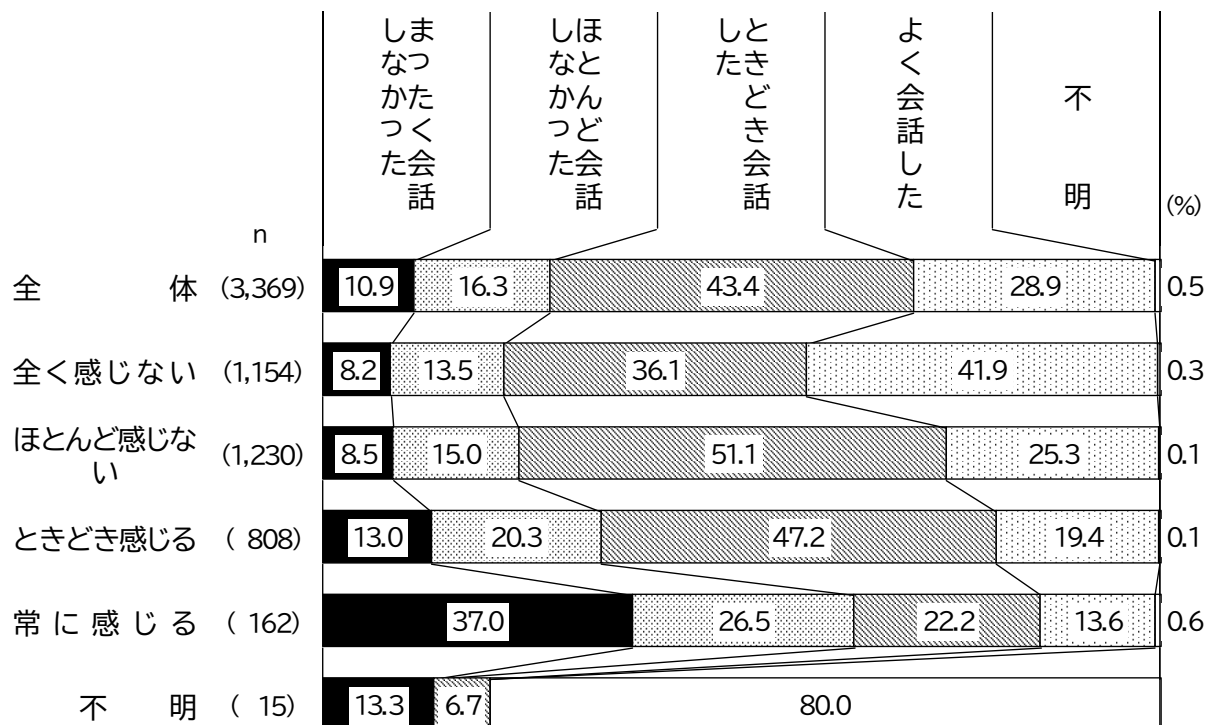


友人との会話状況を年齢別にみると、「よく会話し」は「15～19歳」(70.1%)、「たどきどき会話し」は「50～54歳」「60～64歳」(ともに49.0%)、「ほとんど会話しなかった」は「45～49歳」(23.3%)、「まったく会話しなかった」は「30～34歳」(13.5%)で、それぞれ回答率が最も高い。

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。

友人との会話状況（孤立を感じるか別）

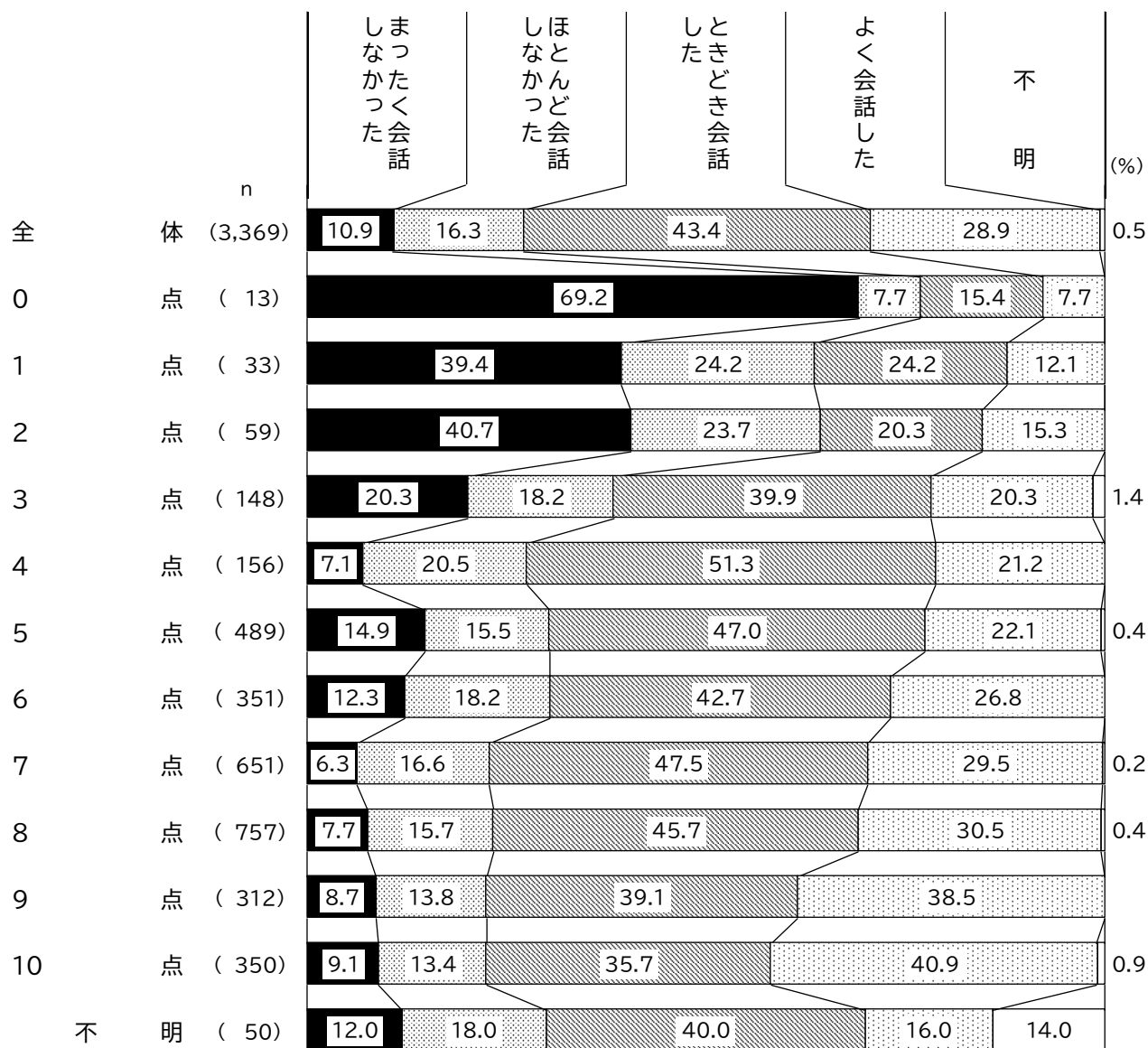


孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の37.0%が「まったく会話しなかった」と回答しており、それ以外の人と比較して非常に高い回答率を示している。逆に、孤立を「全く感じない」人の41.9%が「よく会話をした」、36.1%が「ときどき会話をした」、合計78.0%が友人と会話している。

問 21 最近一か月間に以下の人たちと会話しましたか。(それぞれ○はひとつ)

※ここでの会話は対面あるいは電話での会話を指し、LINEやメールなど、文字での会話は含みません。

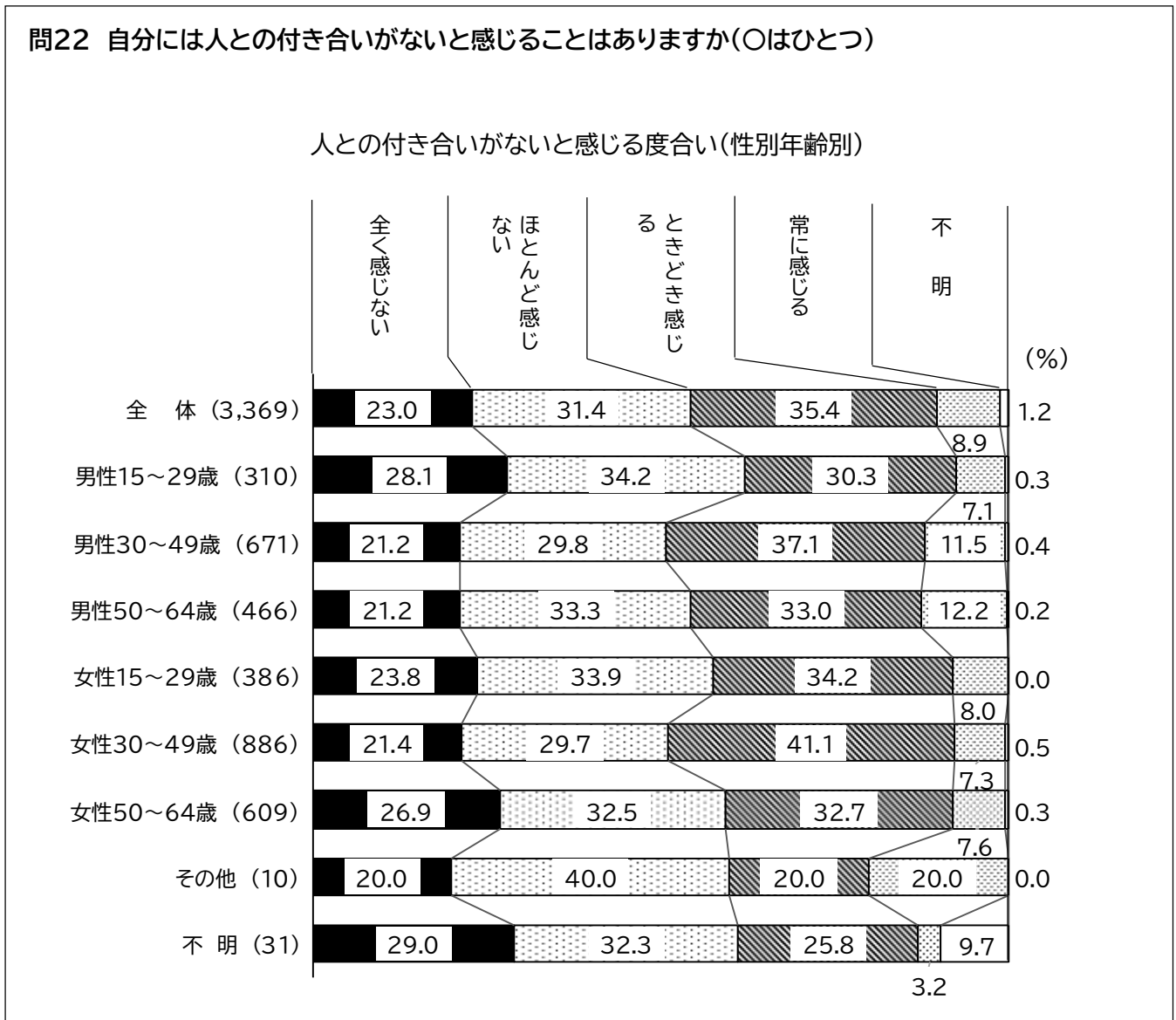
友人との会話状況（幸福度別）



幸福度別にみると、幸福度を「0点」と回答した人の69.2%が友人と「まったく会話をしなかった」と回答しており、「1点」以上の人と比較すると突出して高い回答率となっている。逆に幸福度が「10点」の人は「よく会話した」と回答した割合が40.9%と最も高く、幸福度が高いほど「よく会話した」の回答率も高い。

1.11.人との付き合いがないと感じるか

◆人との付き合いがないと感じるかは「ときどき感じる」が3割半ば

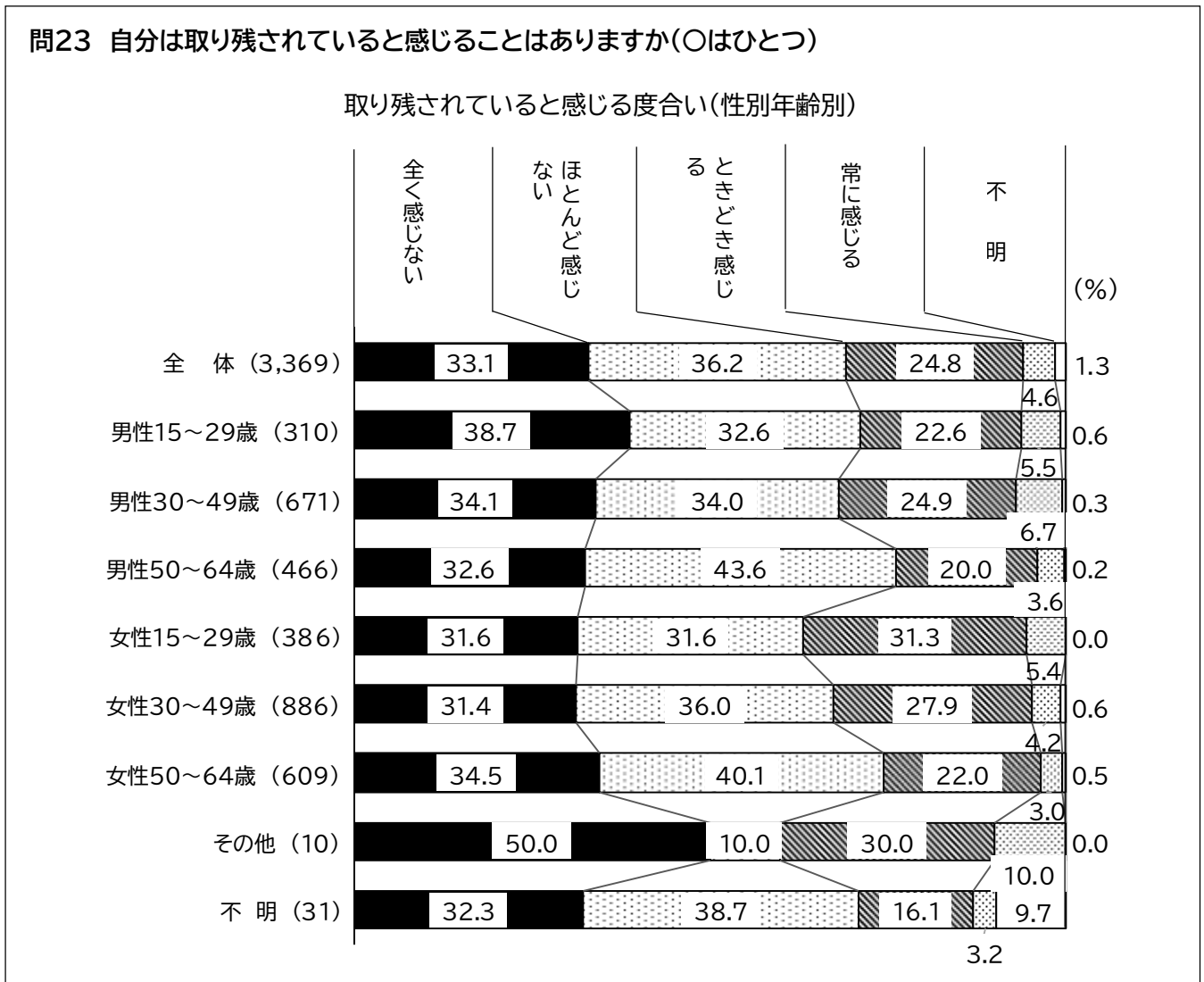


人との付き合いを性別年齢別にみると、人との付き合いがないと「常に感じる」と回答した割合が最も高いのは、「男性 50~64 歳」(12.2%)、次いで「男性 30~49 歳」(11.5%)、「ときどき感じる」は、「女性 30~49 歳」(41.1%)であり、中高年層で比較的高い。

これに対し、「全く感じない」は、「男性 15~29 歳」(28.1%)と「女性 50~64 歳」(26.9%)で高い回答率を示している。

1.12.取り残されていると感じるか

◆取り残されていると感じるかは「ほとんど感じない」が3割半ば超

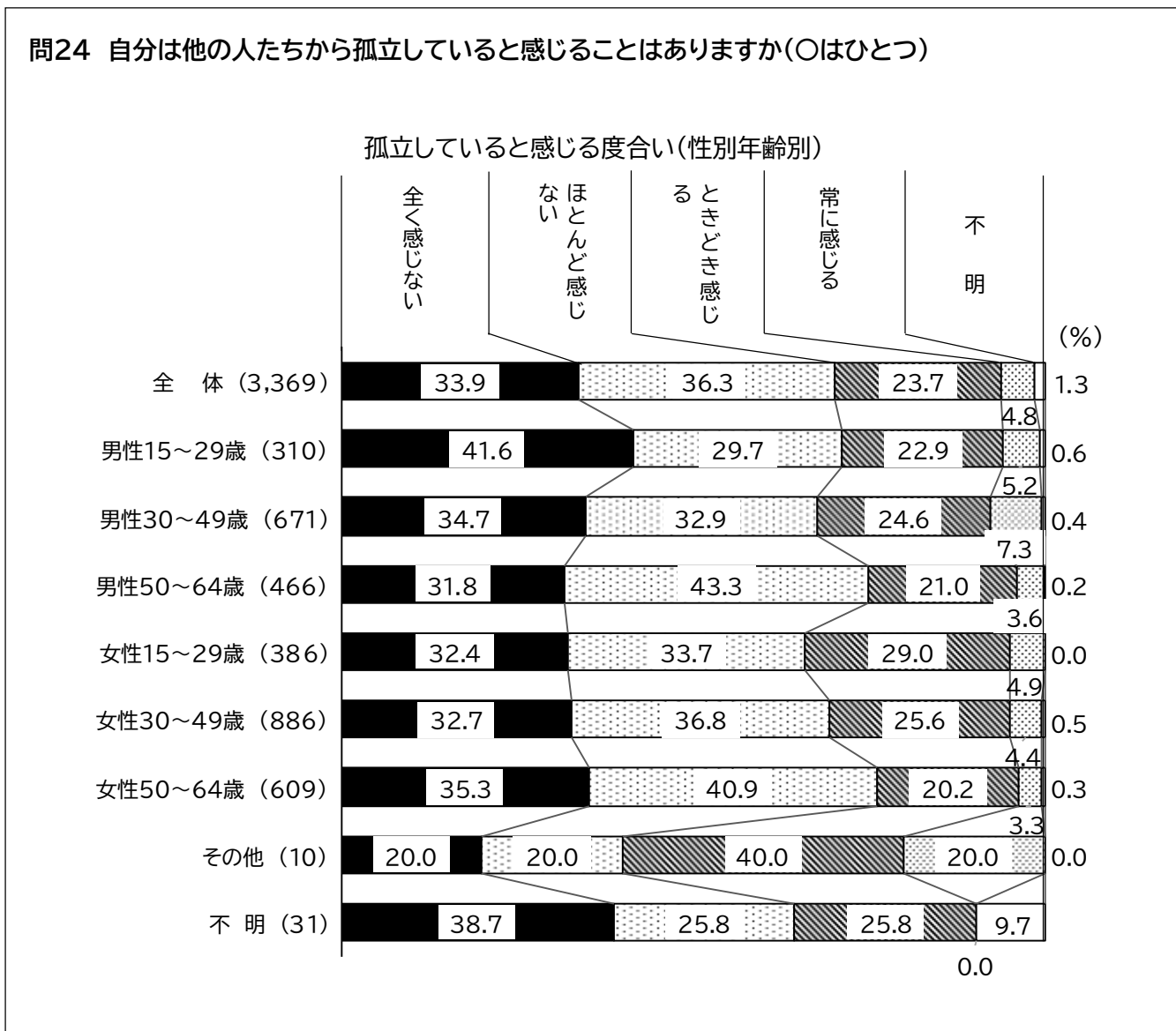


自分が取り残されているかどうかを性別年齢別にみると、自分は取り残されていると「常に感じる」のは「男性 30～49 歳」(6.7%)で最も高く、最も低い「女性 50～64 歳」(3.0%)の約 2.2 倍となっている。「ときどき感じる」のは「女性 15～29 歳」(31.3%)と「女性 30～49 歳」(27.9%)で高くなっている。

これに対し、「ほとんど感じない」は「男性 50～64 歳」(43.6%)、「全く感じない」は「男性 15～29 歳」(38.7%)と最も高い割合を示している。

1.13.他の人たちから孤立していると感じるか

◆他の人たちから孤立していると感じるかは「ほとんど感じない」が3割半ば超

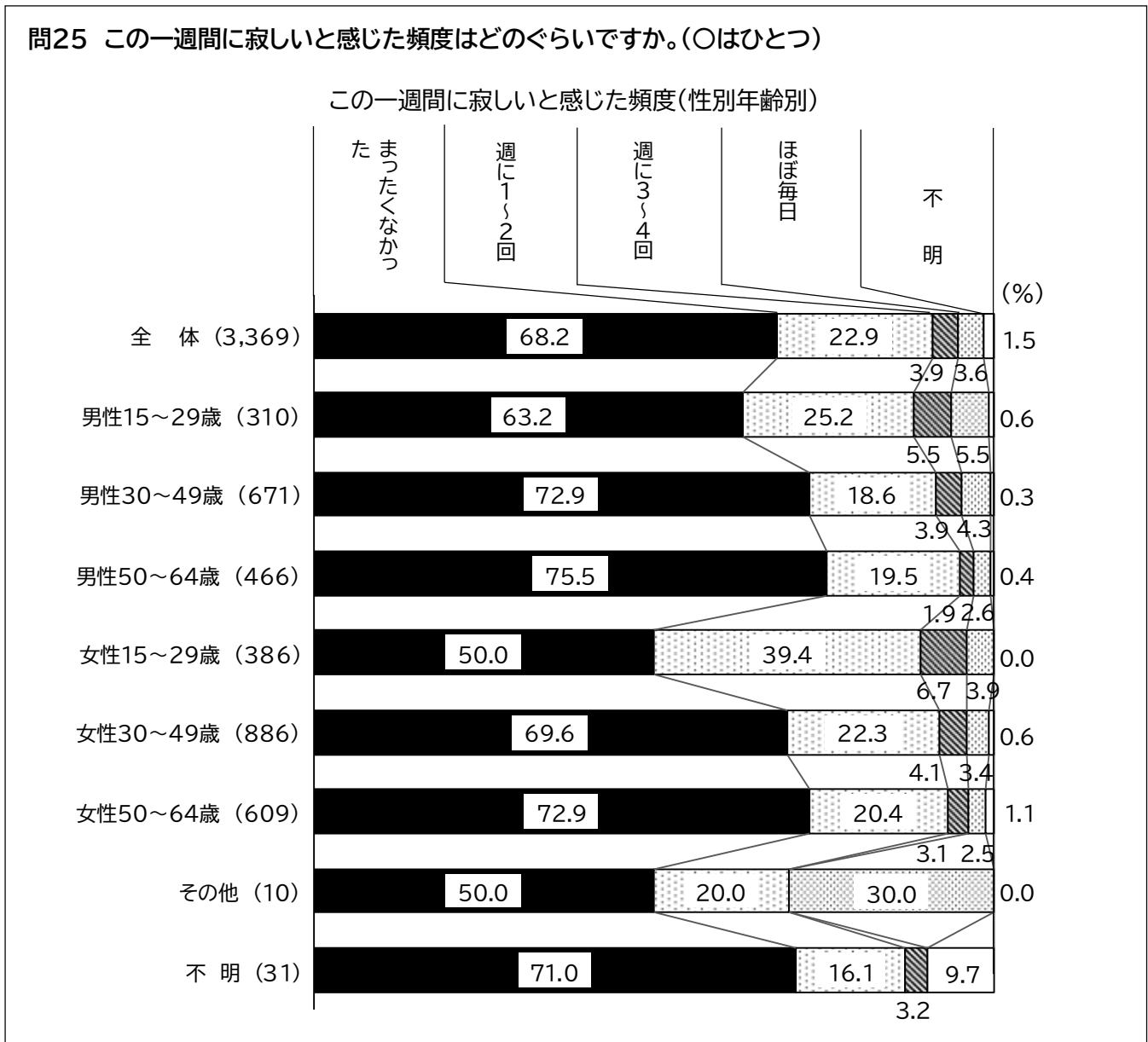


自分は他の人たちから孤立していると感じるかどうかを性別年齢別にみると、「常に感じる」の回答率が高いのは、問22(人との付き合いがないと感じる)、問23(取り残されていると感じる)でも高い回答率を示している「男性30~49歳」(7.3%)であり、最も低かった「女性50~64歳」(3.3%)の約2.2倍となっている。「ときどき感じる」は「女性15~29歳」(29.0%)で最も高い割合を示している。

これに対し、「ほとんど感じない」は問23と同様に「男性50~64歳」(43.3%)で最も高く、「全く感じない」は「男性15~29歳」(41.6%)で最も高い割合を示している。

1.14.最近一週間に寂しいと感じた頻度

◆最近一週間に寂しいと感じた頻度は「まったくなかった」が7割近く



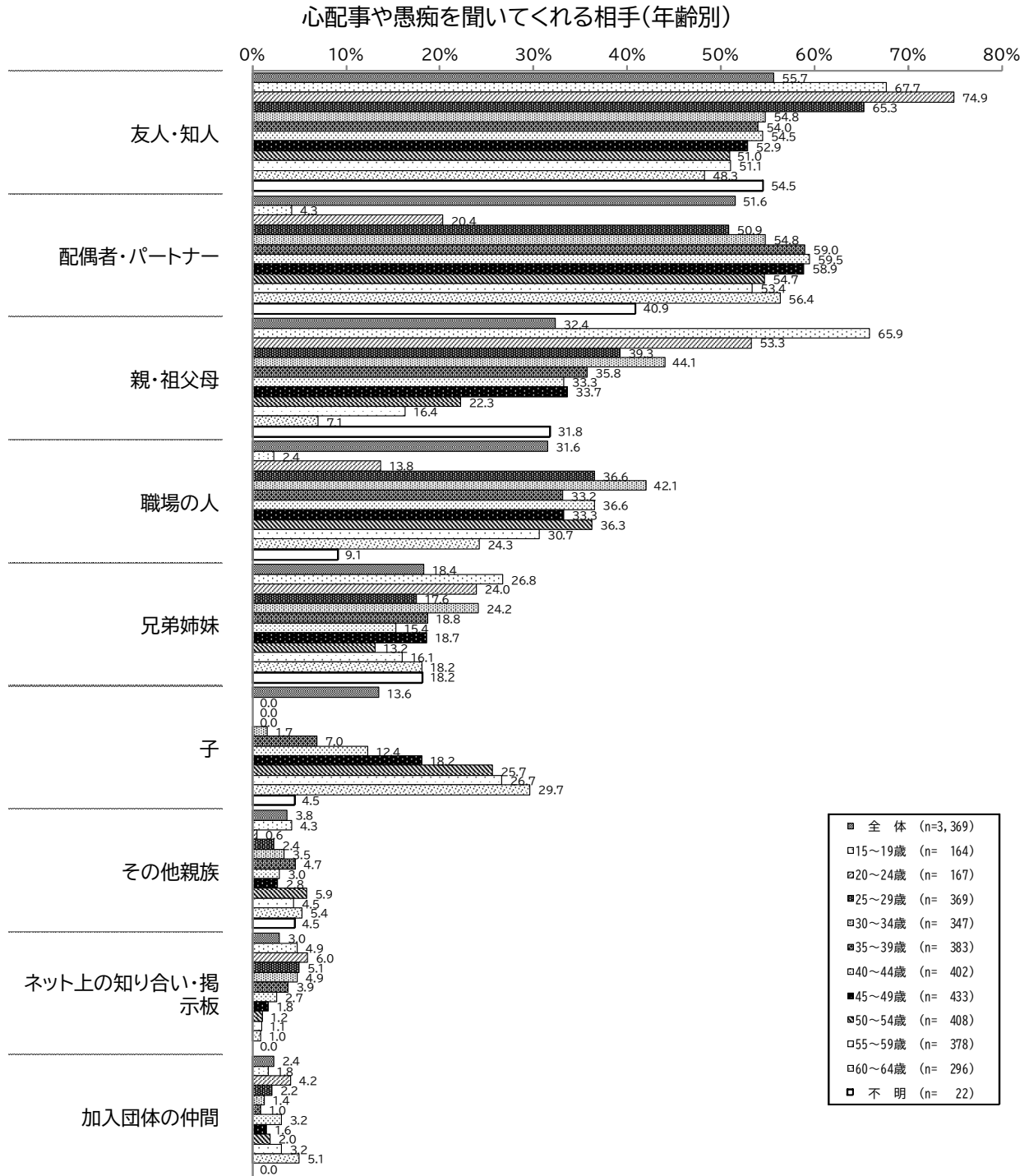
この一週間に寂しいと感じた頻度を性別年齢別にみると、問22~24の回答傾向とは異なり、「ほぼ毎日」の回答率が最も高いのは「男性15~29歳」(5.5%)で、最も低い「女性50~64歳」(2.5%)の2.2倍となっている。また、「週に3~4日」は「女性15~29歳」(6.7%)で最も高い回答率を示しており、若い世代で寂しいと感じる人が多い傾向が読み取れる。

これに対し、「まったくなかった」は「男性50~64歳」(75.5%)で最も高く、次いで「女性50~64歳」、「男性30~49歳」(ともに72.9%)と続いている。

1.15.心配事や愚痴を聞いてくれる相手

◆心配事や愚痴を聞いてくれる相手は、「友人・知人」が5割半ば

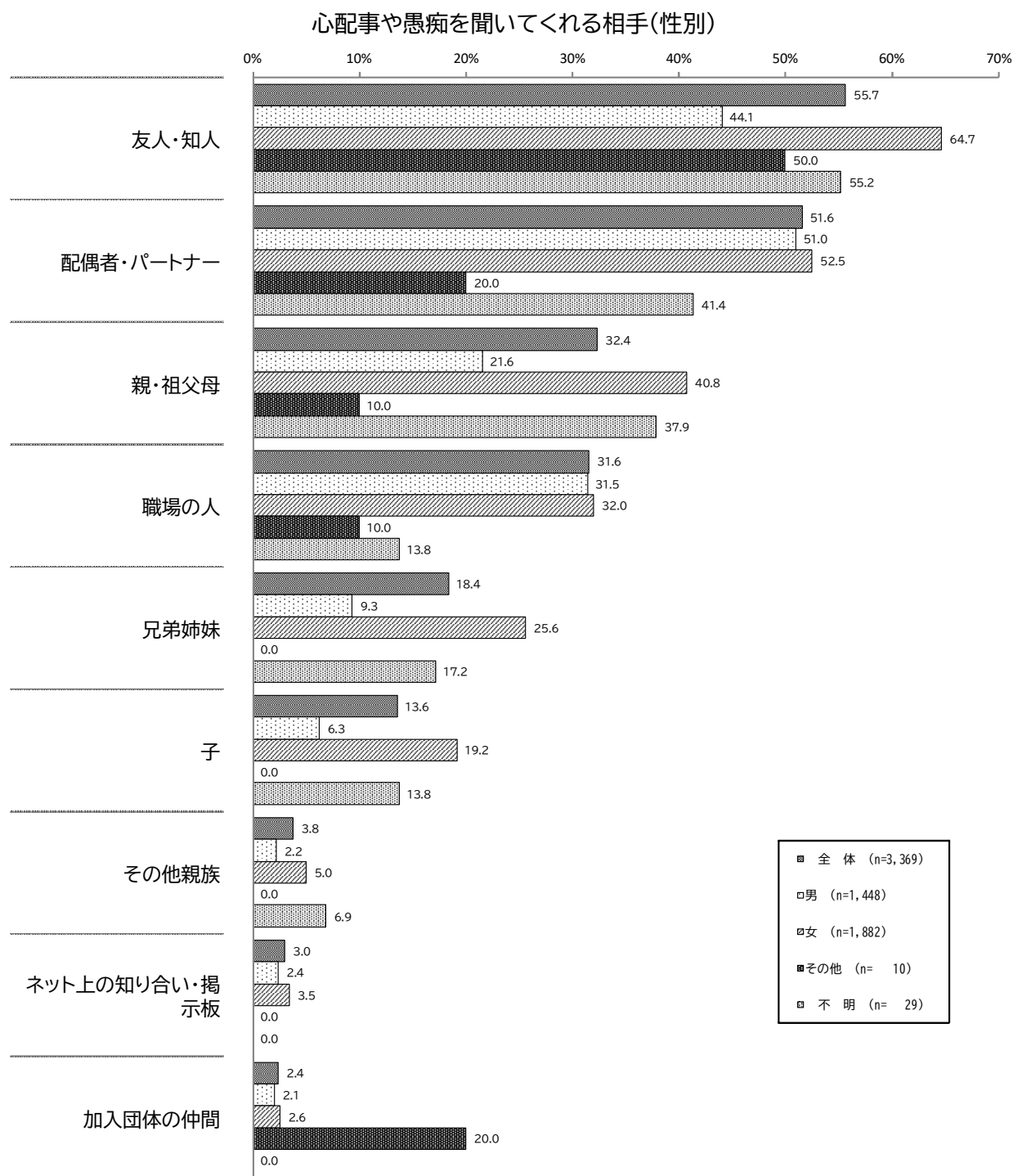
問 26 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれるのは誰ですか。(あてはまるもの全てに○)



心配事や愚痴を聞いてくれる相手は、「友人・知人」(55.7%)が最も高く、次いで、「配偶者・パートナー」(51.6%)、「親・祖父母」(32.4%)となっている。

年齢別にみると、「友人・知人」は「20~24歳」(74.9%)、「親・祖父母」は「15~19歳」(65.9%)、「職場の人」は「30~34歳」(42.1%)でそれぞれ回答率が最も高い。

問 26 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれるのは誰ですか。(あてはまるもの全てに○)



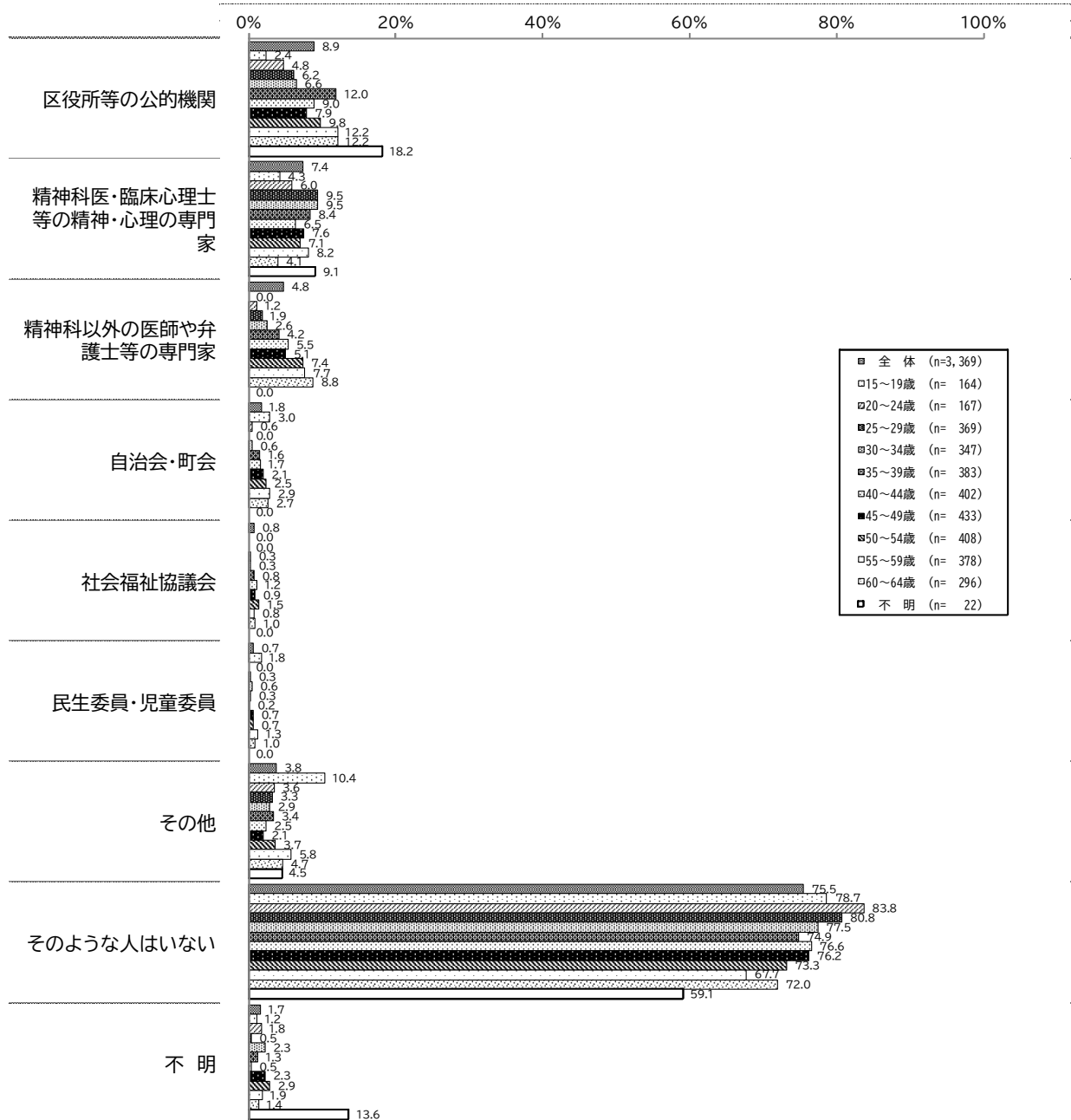
性別にみると、「友人・知人」と回答した割合は「男性」が44.1%であるのに対し、「女性」が64.7%となっており、20.6ポイントも差がある。「配偶者・パートナー」と「職場の人」の回答率では性別による大きな差はみられないが、「親・祖父母」「兄弟姉妹」「子」の項目では、女性の方が回答率が高く、女性のほうが家族に対して心配事や愚痴を話している割合が高い。

1.16.相談する相手・相談機関(家族や友人・知人を除く)

◆家族や友人・知人以外に相談する相手・相談機関は、「そのような人はいない」が7割半ば

問 27 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手・相談機関はありますか。
(あてはまるもの全てに○)

相談する相手・相談機関(家族や友人・知人を除く)(年齢別)

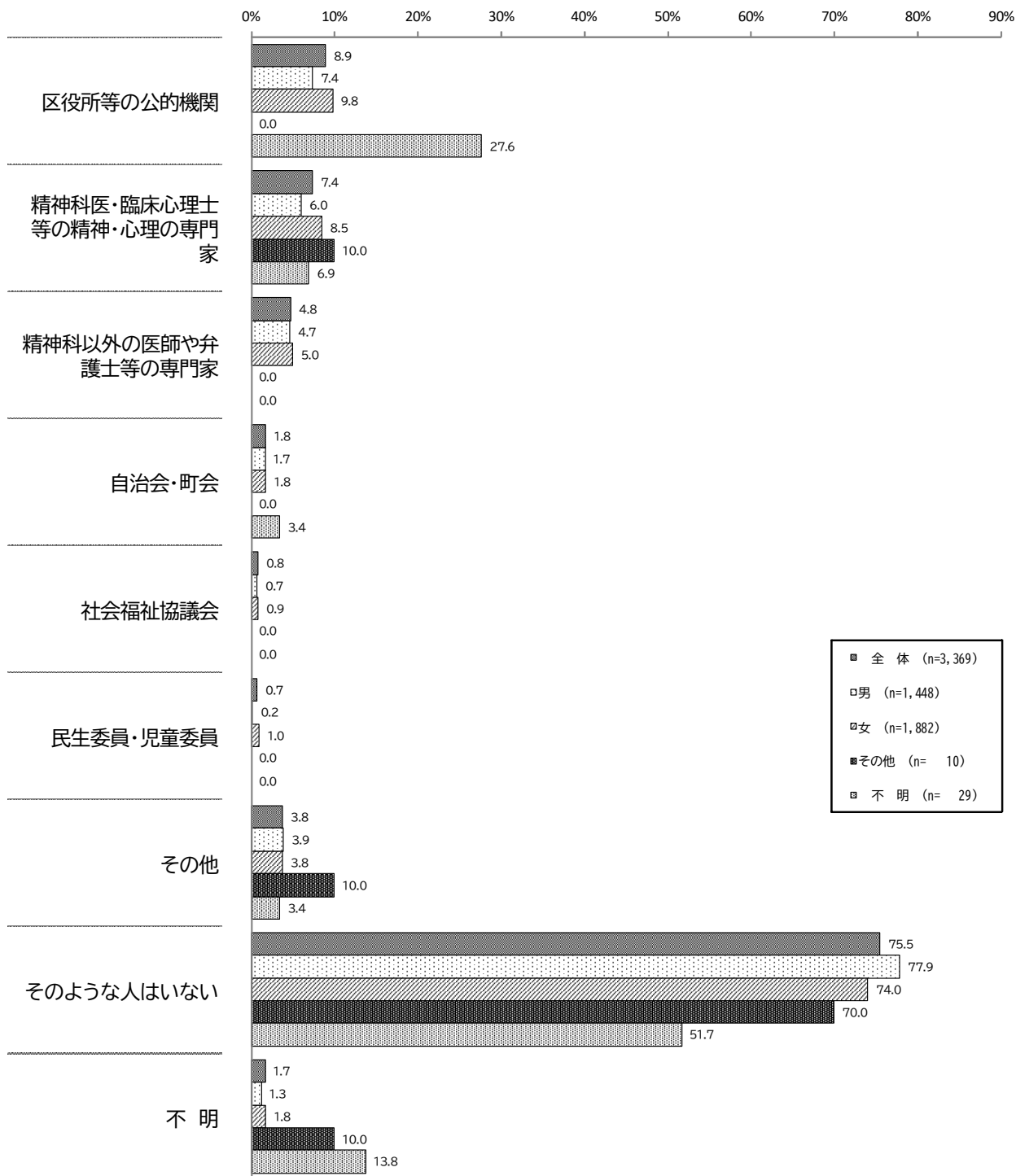


相談する相手・相談機関(家族や友人・知人を除く)は、「区役所等の公的機関」(8.9%)、「精神科医・臨床心理士等の精神・心理の専門家」(7.4%)、「精神科以外の医師や弁護士等の専門家」(4.8%)となっている。一方、「そのような人はいない」は75.5%となっており、約4分の3の人は家族や友人・知人以外に相談する相手がない。

年齢別にみると、「区役所等の公的機関」の回答率は「55~59歳」「60~64歳」(ともに12.2%)で最も高く、逆に「そのような人はいない」の回答率は「20~24歳」(83.8%)で最も高い割合を示している。

問 27 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手・相談機関はありますか。
 (あてはまるもの全てに○)

相談する相手・相談機関(家族や友人・知人を除く)(性別)



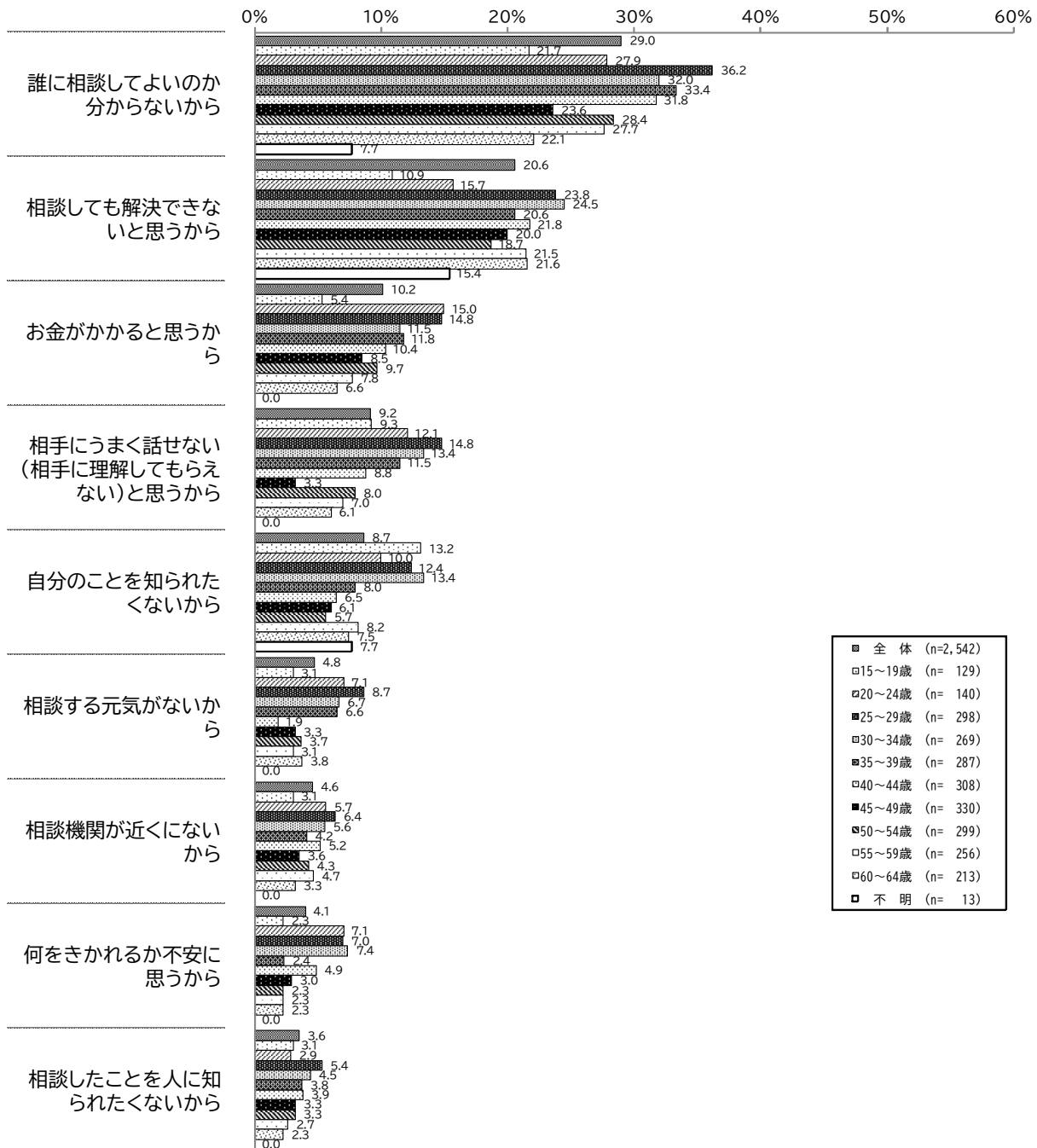
性別にみると、「そのような人はいない」の回答率は、「男性」77.9%、「女性」74.0%となっており、どちらも7割を超えている。

1.16.1.誰にも相談しない理由

◆誰にも相談しない理由は、「誰も相談してよいのか分からないから」が3割弱

問 27-1 「8. そのような人はいない」と答えた方におたずねします。誰にも相談しない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

誰にも相談しない理由(年齢別)



誰にも相談しない理由は、「誰に相談してよいのか分からないから」(29.0%)が最も高く、次いで、「相談しても解決できないと思うから」(20.6%)、「お金がかかると思うから」(10.2%)となっている。

年齢別にみると、「誰に相談してよいのか分からないから」は「25~29歳」(36.2%)、「相談しても解決できないと思うから」は「30~34歳」(24.5%)で、それぞれ回答率が最も高い。

1.18.現在や将来について不安に思うこと(自由回答)

◆現在や将来について不安に思うことで一番多いのは、金銭面での不安

問 29 現在や将来について不安に思うことはありますか。ご自由にお書きください。

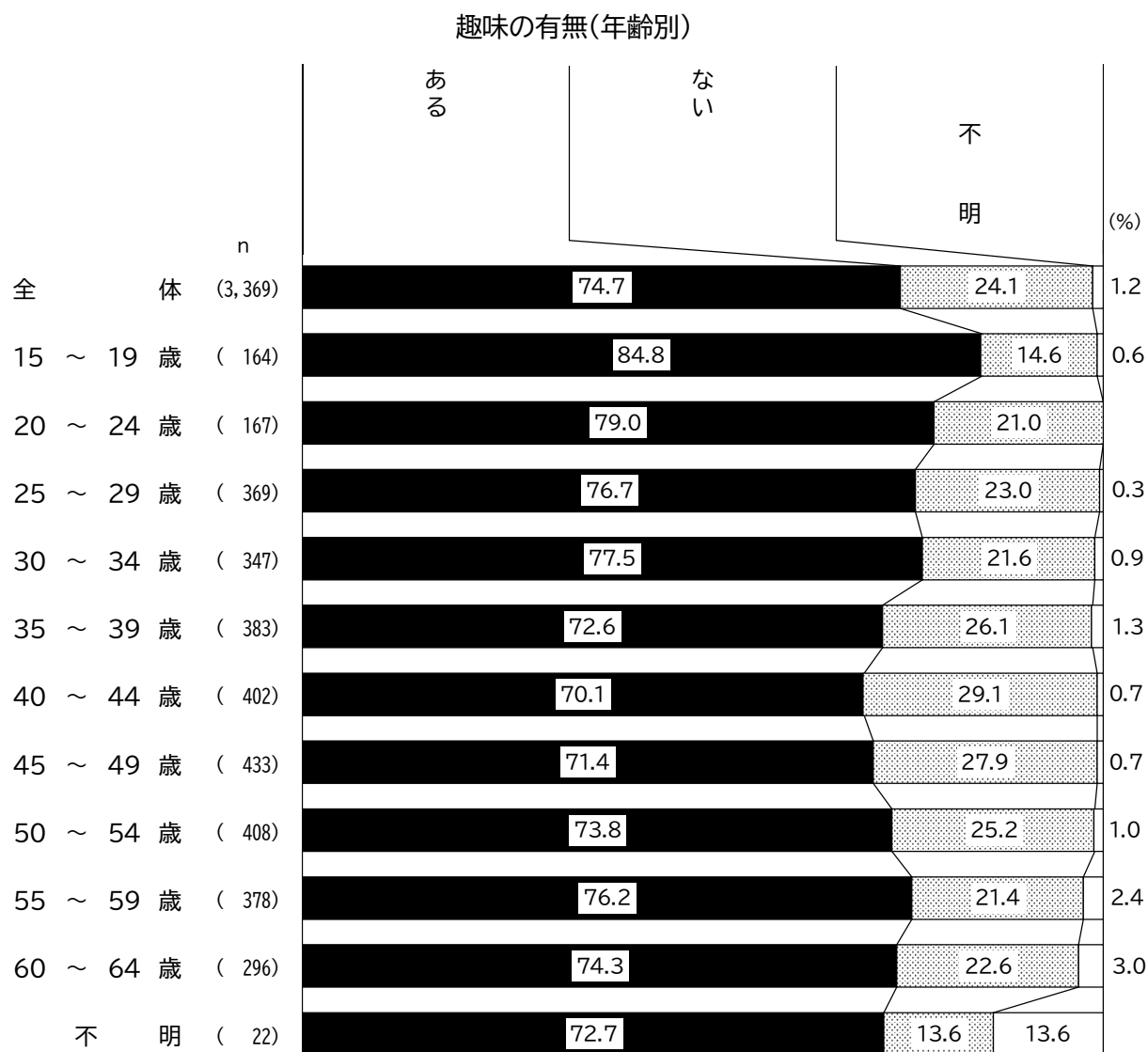
分類項目名	回答数(件)	内容の抜粋
金銭面	331	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の収入の維持 ・家族の経済的な問題 ・老後の経済的な問題 ・保険料や税金について ・賃料など生活的な問題
老後	228	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蓄について ・医療、介護について ・自分の暮らしや子供の将来について ・自分の健康について ・退職後の生活について
コロナ関連	213	<ul style="list-style-type: none"> ・収入面の不安 ・子供の進学面の不安 ・健康面(自分、家族)の不安について
健康	132	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の健康面の不安 ・将来的な健康面の不安
仕事	130	<ul style="list-style-type: none"> ・収入面の不安 ・就職(転職)活動について ・キャリアアップ ・キャリアビジョン
子育て	94	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭面の不安 ・子供の成長 ・子供の健康面の不安
家族	87	<ul style="list-style-type: none"> ・介護面の不安 ・高齢化
住まい	61	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅ローン ・近隣の住宅環境 ・住宅費用
結婚・出産	58	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚後の生活 ・出産後の生活
進学	22	<ul style="list-style-type: none"> ・進路面の不安
その他	134	<ul style="list-style-type: none"> ・生活全般の不安

現在や将来について不安に思うことは「金銭面」が 331 件と最も多く、次いで、「老後」が 228 件、「コロナ関連」が 213 件となっている。

1.19.趣味の有無

◆趣味の有無は、「ある」が7割半ば近く

問 30 趣味はありますか。(○はひとつ)

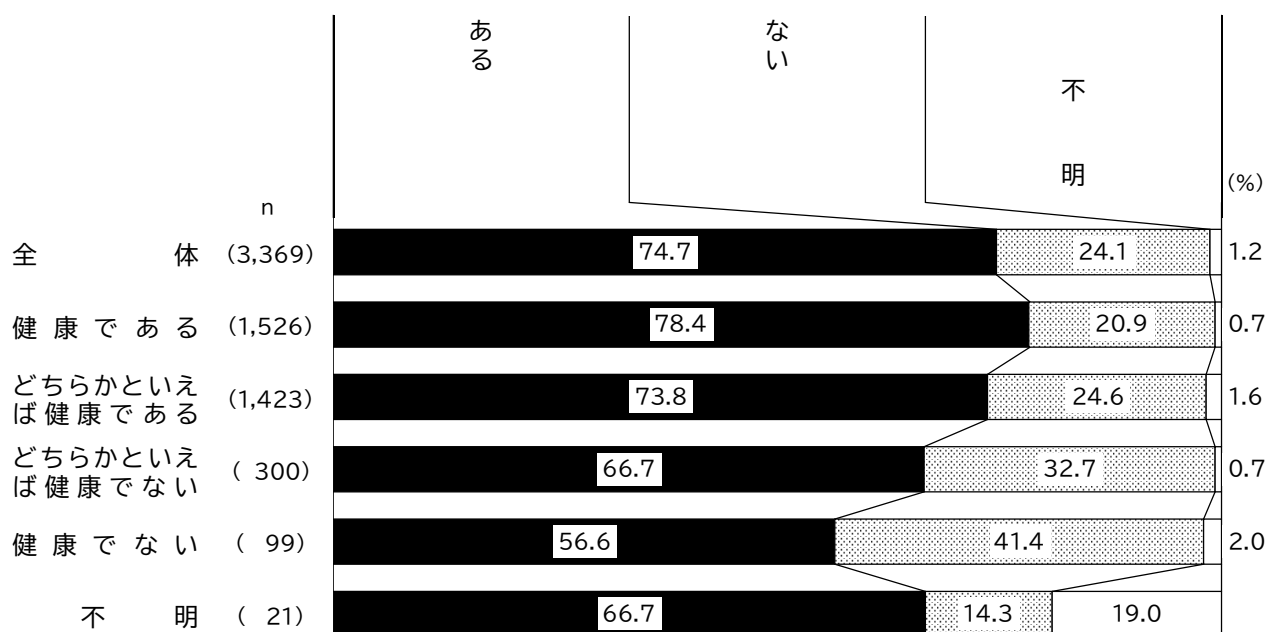


趣味の有無は、「ある」(74.7%)、「ない」(24.1%)となっている。

年齢別にみると、「ある」と回答した割合は「15~19歳」で84.8%と最も高い割合を示している。一方、「ない」は「40~44歳」で29.1%と最も高い。

問 30 趣味はありますか。(○はひとつ)

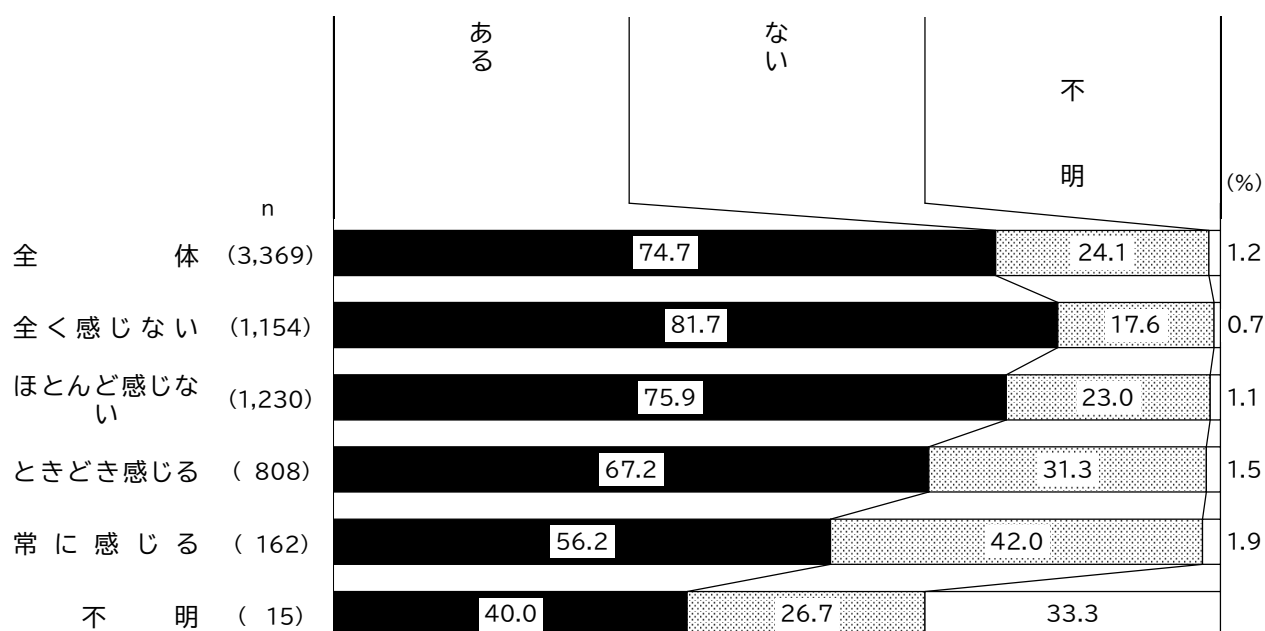
趣味の有無(健康状態別)



健康状態別にみると、「健康である」人の78.4%は趣味が「ある」と回答しているが、「健康でない」人は56.6%にとどまっており、21.8ポイントの差がある。

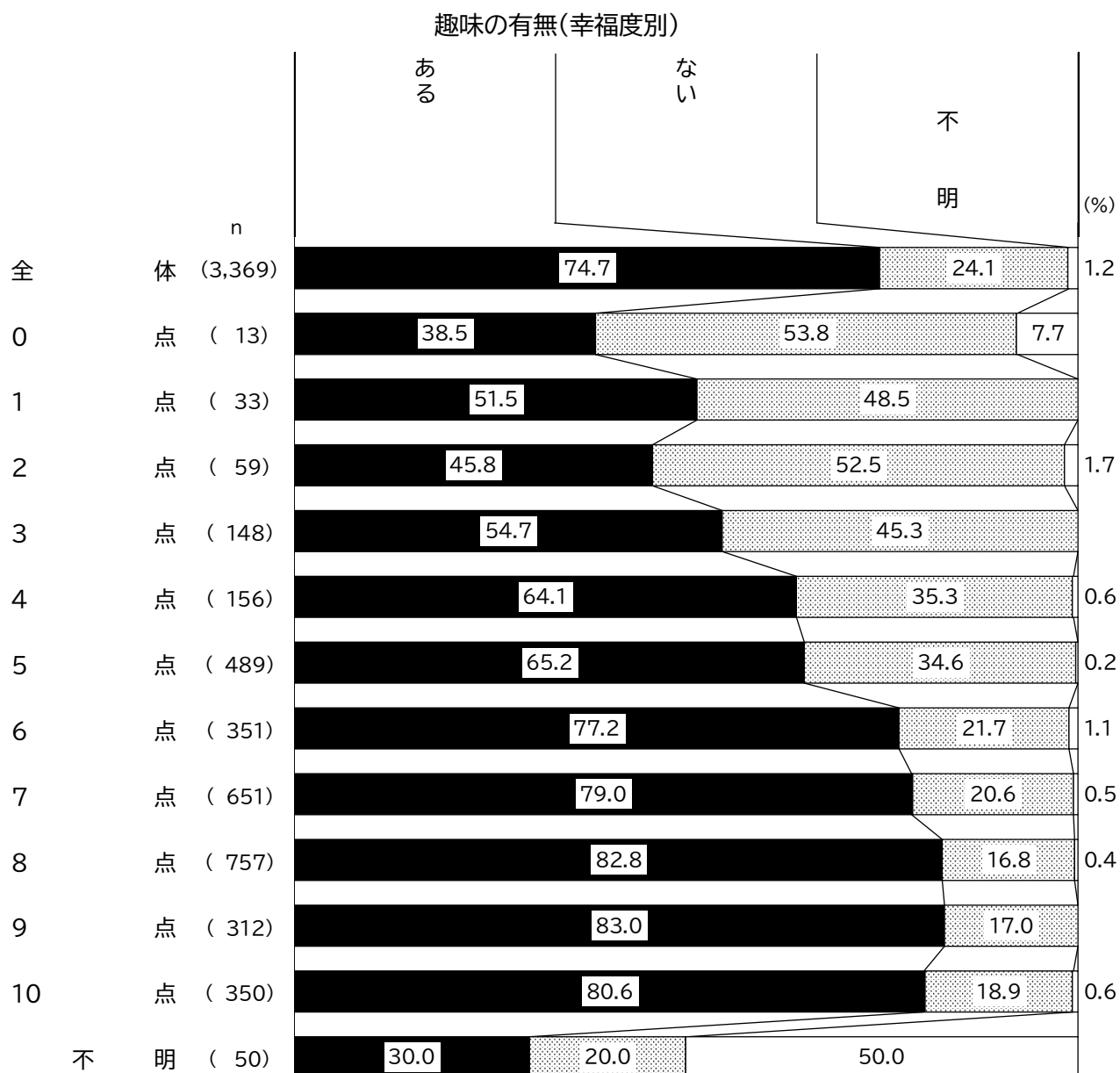
問 30 趣味はありますか。(○はひとつ)

趣味の有無(孤立を感じるか別)



孤立を感じるか別にみると、孤立を「全く感じない」人の81.7%は趣味が「ある」と回答し、高い回答率を示している。一方、孤立を「常に感じる」人では趣味が「ある」と回答した割合は56.2%に留まっている。

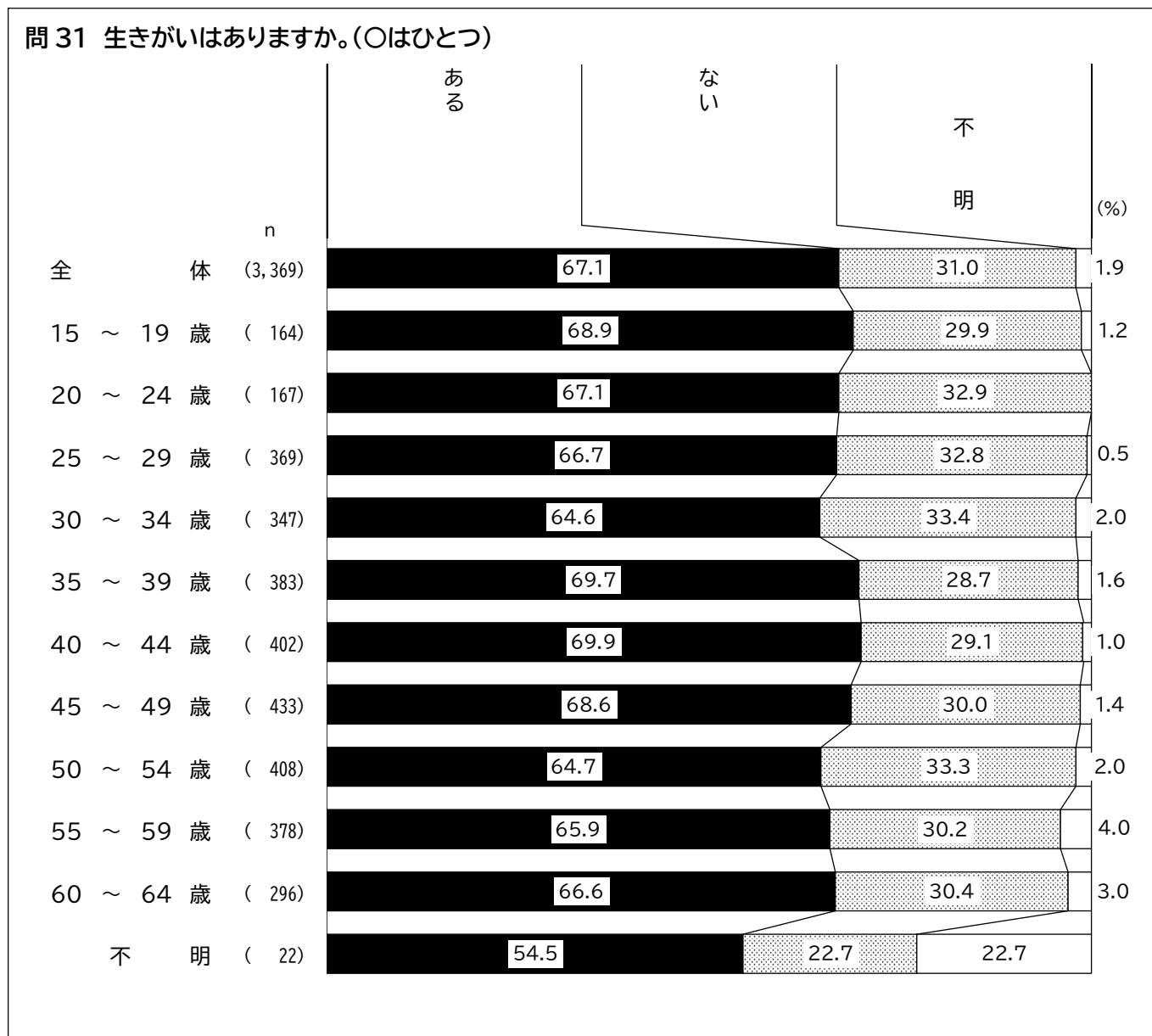
問 30 趣味はありますか。(○はひとつ)



幸福度別にみると、趣味が「ある」と回答した割合が最も高いのは「9点」(83.0%)、次いで「8点」(82.8%)、「10点」(80.6%)となっており、幸福度が「8点」以上では、趣味が「ある」割合は8割以上となっている。一方、趣味が「ない」と回答した割合が高いのは、幸福度「0点」(53.8%)、「1点」(48.5%)、「2点」(52.5%)であり、幸福度が「2点」以下になると、趣味が「ない」の回答率が特に高い。

1.20.生きがいの有無

◆生きがいの有無は、「ある」が6割半ば超

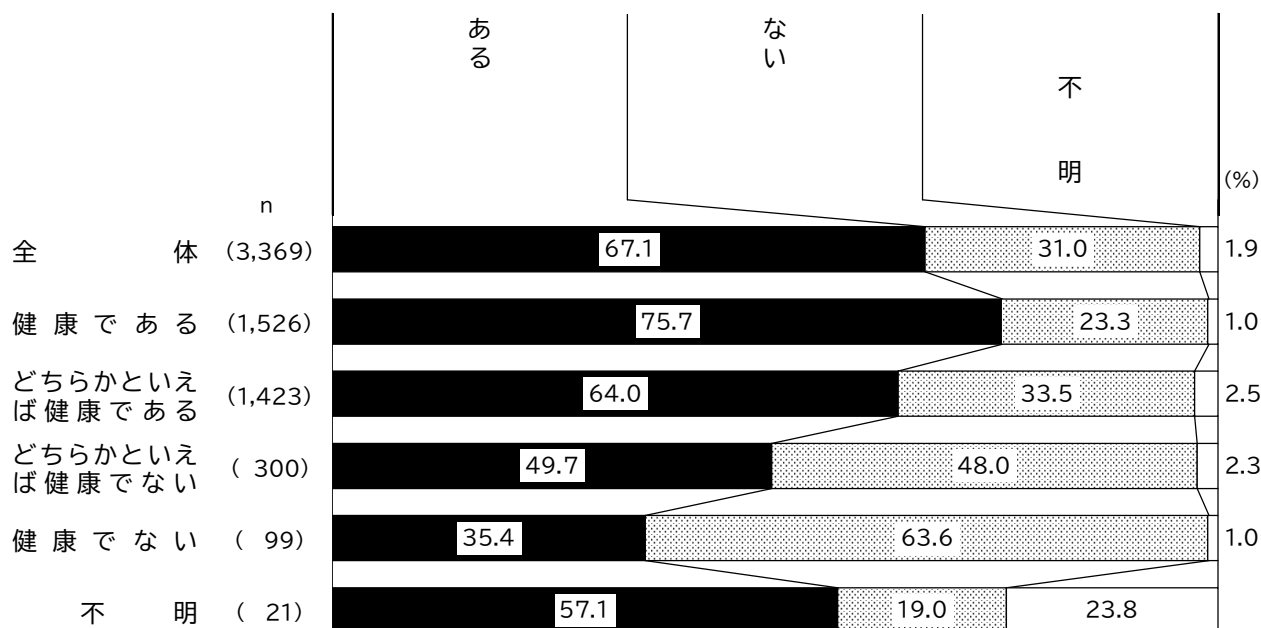


生きがいの有無は、「ある」(67.1%)、「ない」(31.0%)となっており、約3分の2の人は生きがいが「ある」と答えている。

年齢別にみると、「ある」と回答した割合が最も高いのは「40～44歳」で69.9%、次いで「35～39歳」で69.7%であるが、どの年代でも6割を超えており、年齢による大きな差はみられない。

問 31 生きがいがありますか。(〇はひとつ)

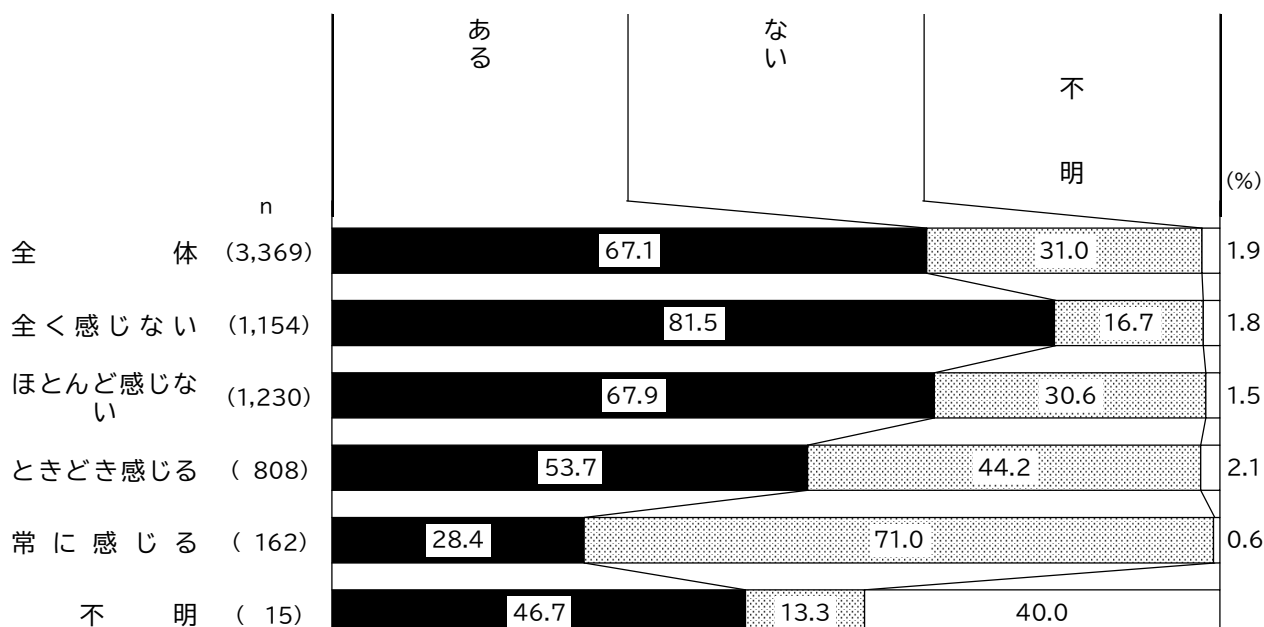
生きがいの有無(健康状態別)



健康状態別でみると、「健康である」人の75.7%は生きがいが「ある」と回答している。逆に「健康でない」人の63.6%は生きがいが「ない」と回答しており、健康状態が悪いほど、生きがいが「ない」と回答する割合が高い。

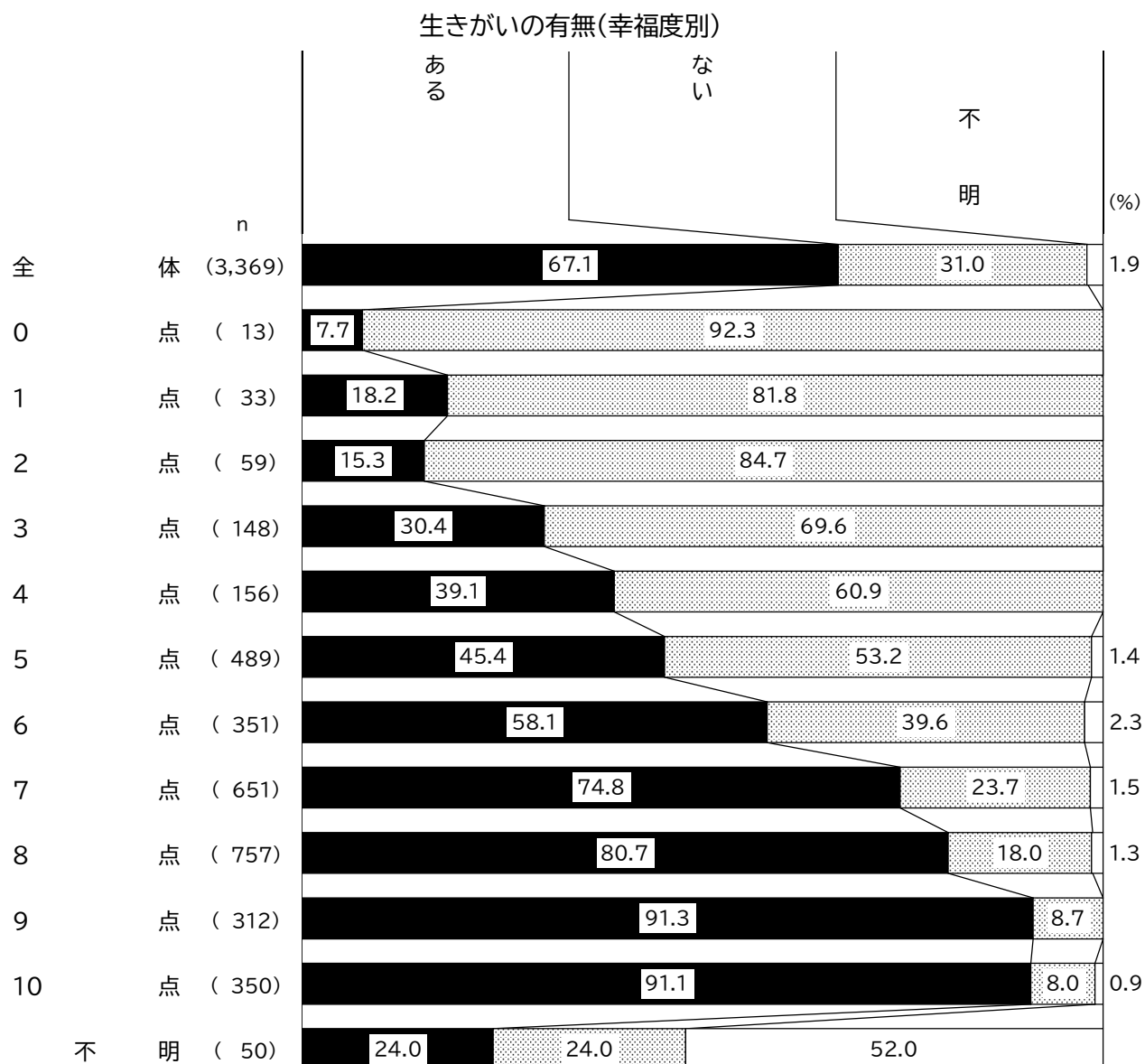
問 31 生きがいがありますか。(〇はひとつ)

生きがいの有無(孤立を感じるか別)



孤立を感じるか別にみると、孤立を「全く感じない」人の81.5%は生きがいが「ある」と回答しているのに対し、孤立を「常に感じる」人では71.0%が生きがいが「ない」と回答している。

問 31 生きがいがありますか。(〇はひとつ)



幸福度別にみると、生きがいが「ある」と回答した割合が最も高いのは「9点」(91.3%)、次いで「10点」(91.1%)となっており、生きがいの有無は、おおむね幸福度に比例している。

1.21.幸福度

◆幸福度は「8点」が2割強

問 32 あなたは、現在どの程度幸せだと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてお答えください。(○はひとつ)

幸福度(年齢別)

		全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	不明
全体		369	13	33	59	148	156	489	351	651	757	312	360	50
		1000	04	10	18	44	46	145	104	193	225	93	104	15
15-19歳		164	0	1	0	5	3	21	16	34	35	20	25	4
		1000	00	06	00	30	18	128	98	207	213	122	152	24
20-24歳		167	0	0	3	6	17	27	20	26	35	14	18	1
		1000	00	00	18	36	102	162	120	156	210	84	108	06
25-29歳		369	0	2	4	19	16	42	53	79	84	28	40	2
		1000	00	05	11	51	43	114	144	214	228	76	108	05
30-34歳		347	0	0	13	18	16	52	33	59	77	36	40	3
		1000	00	00	37	52	46	150	95	170	222	104	115	09
35-39歳		383	3	0	4	20	19	67	35	64	72	44	47	8
		1000	08	00	10	52	50	175	91	167	188	115	123	21
40-44歳		402	3	2	6	20	12	61	37	83	84	38	50	6
		1000	07	05	15	50	30	152	92	206	209	95	124	15
45-49歳		433	1	10	7	16	19	66	36	96	98	35	42	7
		1000	02	23	16	37	44	152	83	222	226	81	97	16
50-54歳		408	4	7	11	14	16	51	46	78	98	44	33	6
		1000	10	17	27	34	39	125	113	191	240	108	81	15
55-59歳		378	0	8	4	14	22	58	42	82	94	23	25	6
		1000	00	21	11	37	58	153	111	217	249	61	66	16
60-64歳		296	2	3	7	16	15	41	32	48	72	30	26	4
		1000	07	10	24	54	51	139	108	162	243	101	88	14
不明		22	0	0	0	0	1	3	1	2	8	0	4	3
		1000	00	00	00	00	45	136	45	91	364	00	182	136

幸福度は、「8点」(22.5%)と回答した割合が最も高く、次いで、「7点」(19.3%)、「5点」(14.5%)と続く。

年齢別にみると、「10点」と回答した割合が最も高いのは「15～19歳」(15.2%)、「9点」も「15～19歳」(12.2%)、「8点」は「55～59歳」(24.9%)、「7点」は「45～49歳」(22.2%)となっている。

問 32 あなたは、現在どの程度幸せだと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点としてお答えください。(○はひとつ)

幸福度(生活水準別)

		全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	不明
全体		339	13	33	59	148	156	489	351	651	757	312	350	50
		1000	04	10	18	44	46	145	104	193	225	93	104	15
生活水準別	上の上	28	0	0	0	1	0	1	0	4	2	7	13	0
		1000	00	00	00	36	00	36	00	143	71	250	464	00
	上の中	104	0	0	0	4	1	4	5	19	29	18	22	2
		1000	00	00	00	38	10	38	48	183	279	173	212	19
	上の下	234	0	0	1	3	3	12	14	46	85	39	30	1
		1000	00	00	04	13	13	51	60	197	363	167	128	04
	中の上	908	0	1	3	10	18	82	85	201	279	106	114	9
		1000	00	01	03	11	20	90	94	221	307	117	126	10
	中の中	1140	2	6	8	32	38	177	135	234	258	105	131	14
		1000	02	05	07	28	33	155	118	205	226	92	115	12
	中の下	488	3	3	9	32	51	120	61	91	70	20	22	6
		1000	06	06	18	66	105	246	125	186	143	41	45	12
	下の上	229	0	3	10	31	27	47	35	37	18	10	9	2
		1000	00	13	44	135	118	205	153	162	79	44	39	09
	下の中	132	1	6	13	27	13	25	13	16	7	4	2	5
		1000	08	45	98	205	98	189	98	121	53	30	15	38
下の下	76	7	14	15	8	4	14	2	1	2	2	2	5	
	1000	92	184	197	105	53	184	26	13	26	26	26	66	
不明	30	0	0	0	0	1	7	1	2	7	1	5	6	
	1000	00	00	00	00	33	233	33	67	233	33	167	200	

生活水準別にみると、「10点」と回答した割合が最も高いのは「上の上」(46.4%)、「9点」も「上の上」(25.0%)、「8点」は「上の下」(36.3%)、「7点」は「中の上」(22.1%)、「6点」は「下の上」(15.3%)、「5点」は「中の下」(24.6%)、「4点」は「下の上」(11.8%)、「3点」は「下の中」(20.5%)、「2点」は「下の下」(19.7%)、「1点」も「下の下」(18.4%)、「0点」も「下の下」(9.2%)となっており、生活水準と幸福度の間には相互関連性がみられる。

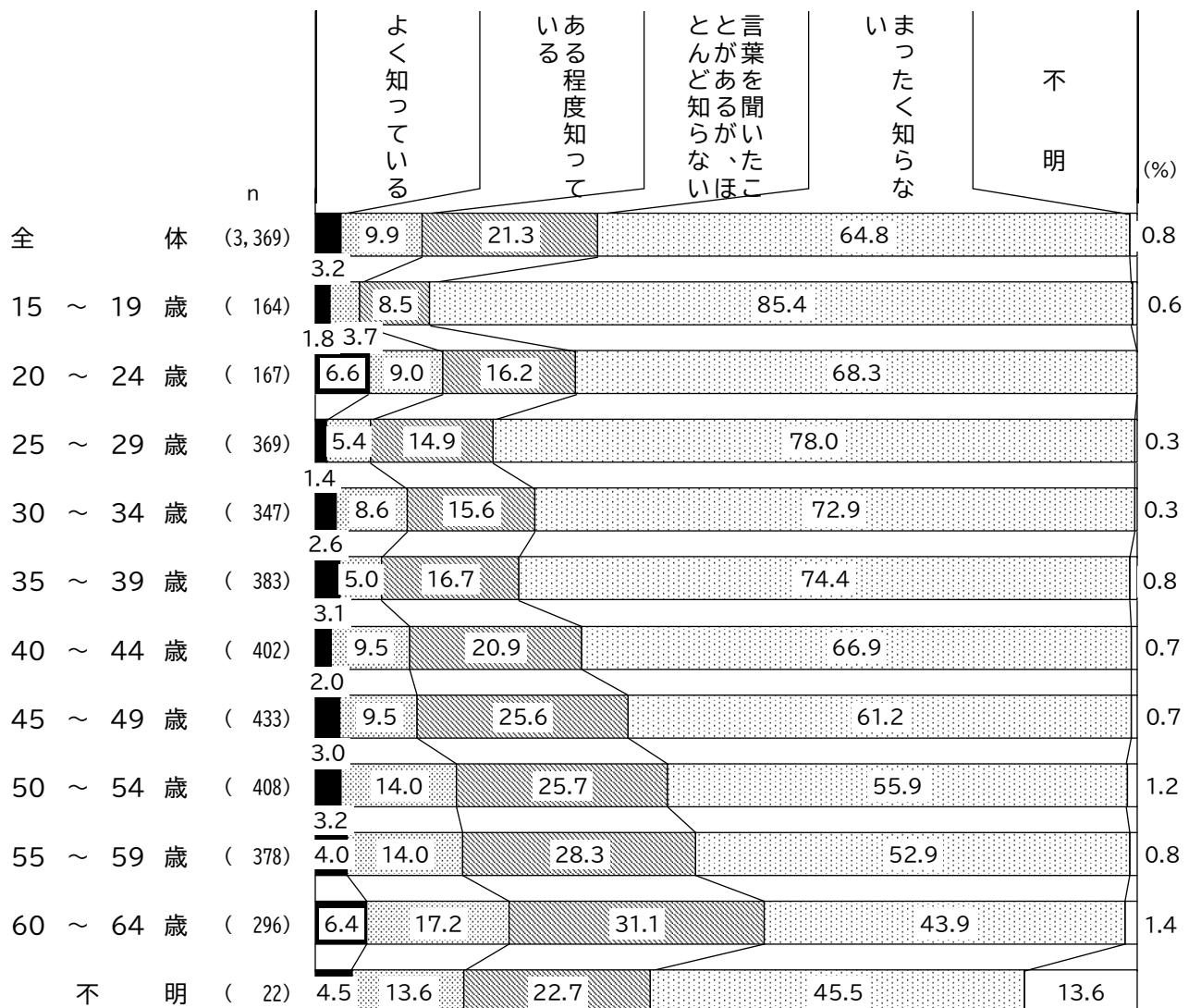
2. 区内の相談機関について

2.1.「地域包括ケアシステム」の認知度

◆「地域包括ケアシステム」の認知度は、「知らない」が8割半ば超

問 33 あなたは「地域包括ケアシステム」をご存じですか。(〇はひとつ)

「地域包括ケアシステム」の認知度(年齢別)



「地域包括ケアシステム」の認知度は、「言葉を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」(21.3%)と「まったく知らない」(64.8%)を合わせた<知らない>が86.1%、「よく知っている」(3.2%)と「ある程度知っている」(9.9%)を合わせた<知っている>が13.1%となっている。

年齢別にみると、「言葉を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」は「60～64歳」で31.1%、「まったく知らない」は「15～19歳」で85.4%と最も高い割合を示している。

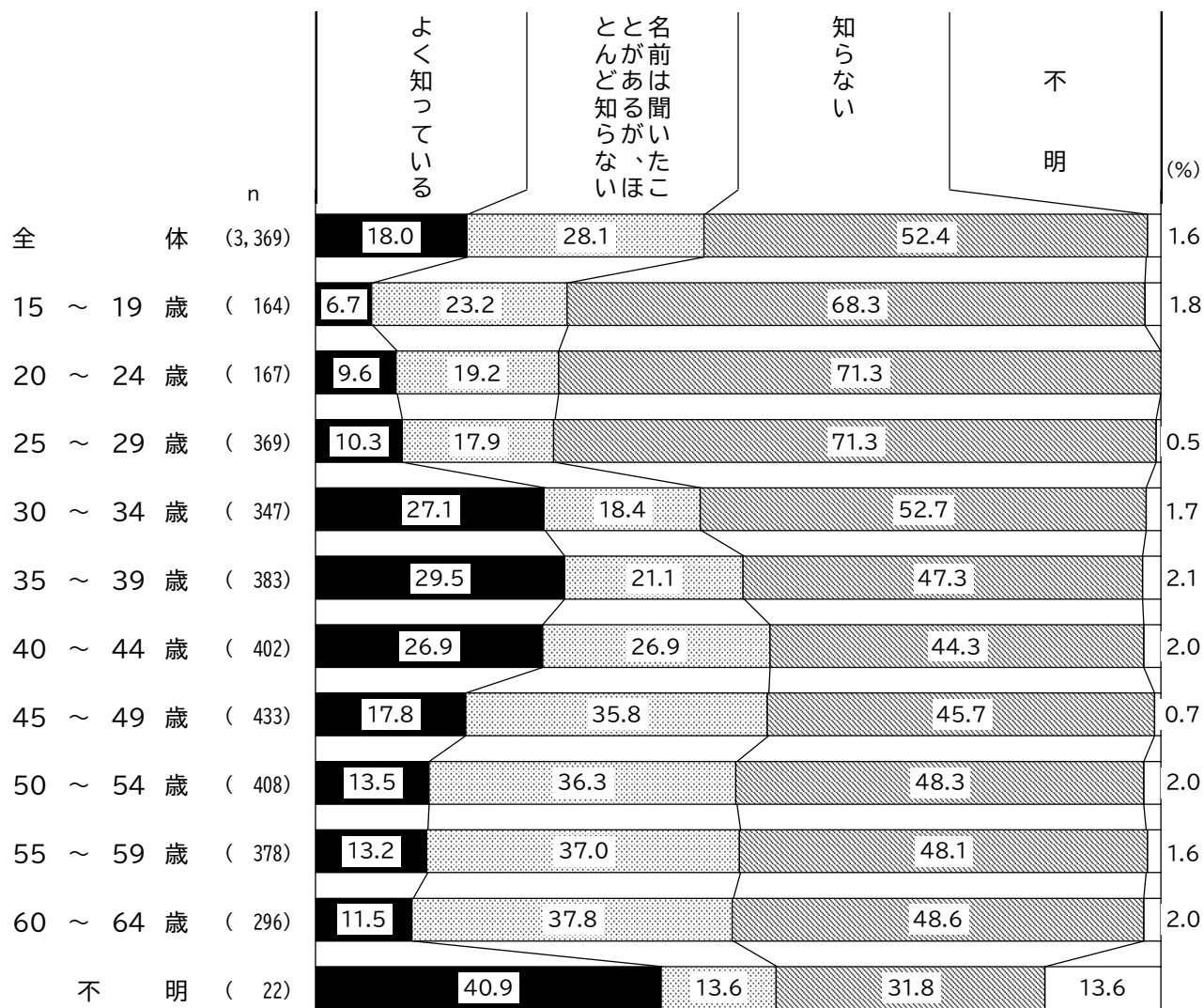
2.2.「すこやか福祉センター」の認知度

◆「すこやか福祉センター」の認知度は、「ほとんど知らない」「知らない」を合わせて 8 割、利用回数は、「1～2 回」が 3 割半ばを超え

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

「すこやか福祉センター」の認知度(年齢別)



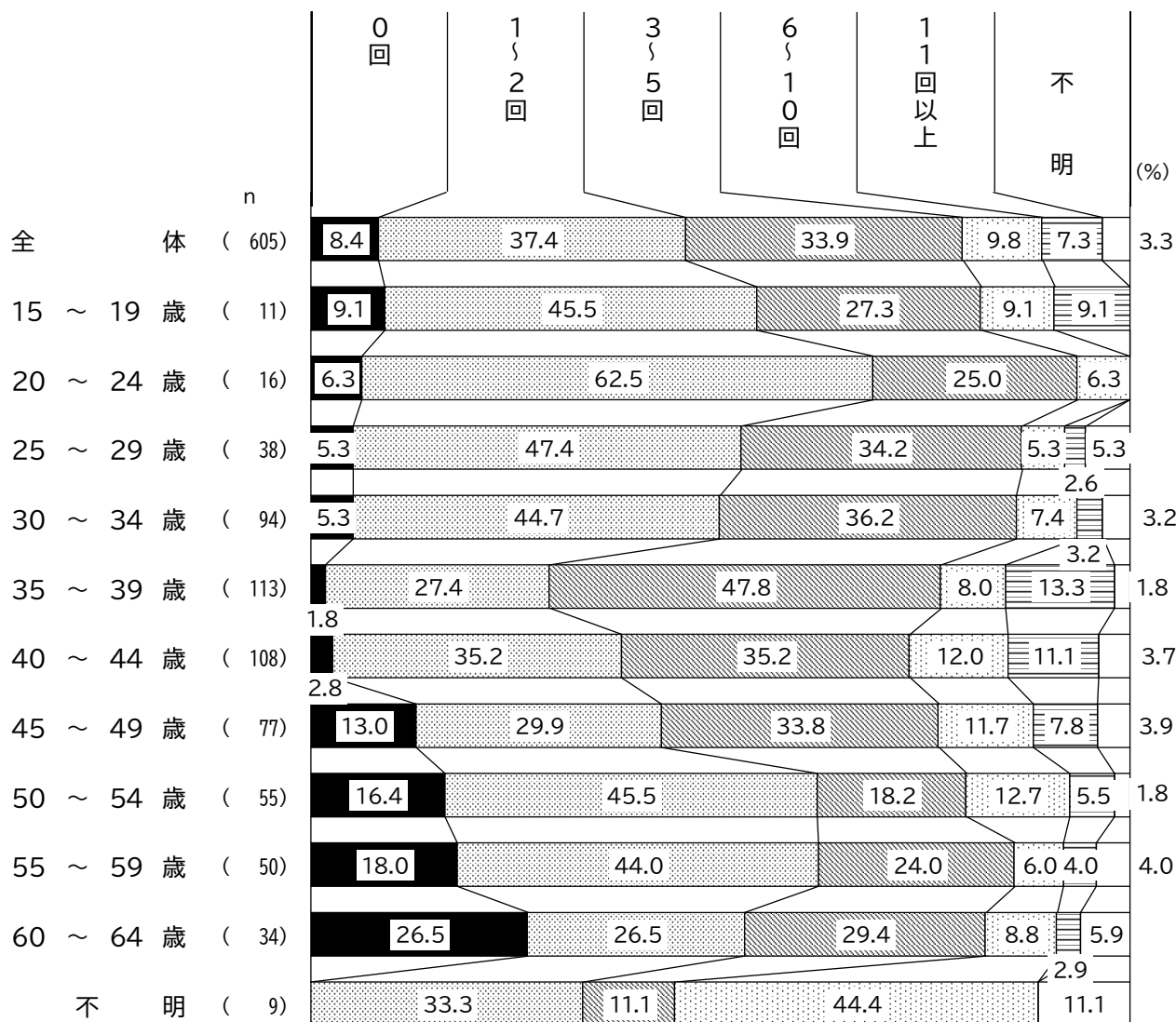
「すこやか福祉センター」の認知度は、「名前を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」(28.1%)と「知らない」(52.4%)を合わせると 80.5%、「よく知っている」が 18.0%となっている。

認知度を年齢別にみると、「よく知っている」は「35～39 歳」で 29.5%、「名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない」は「60～64 歳」で 37.8%と最も高い割合を示している。一方、「知らない」は「20～29 歳」で 71.3%と最も高い割合を示している。

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「すこやか福祉センター」を「よく知っている」と回答した人)

「すこやか福祉センター」の利用回数 (年齢別)



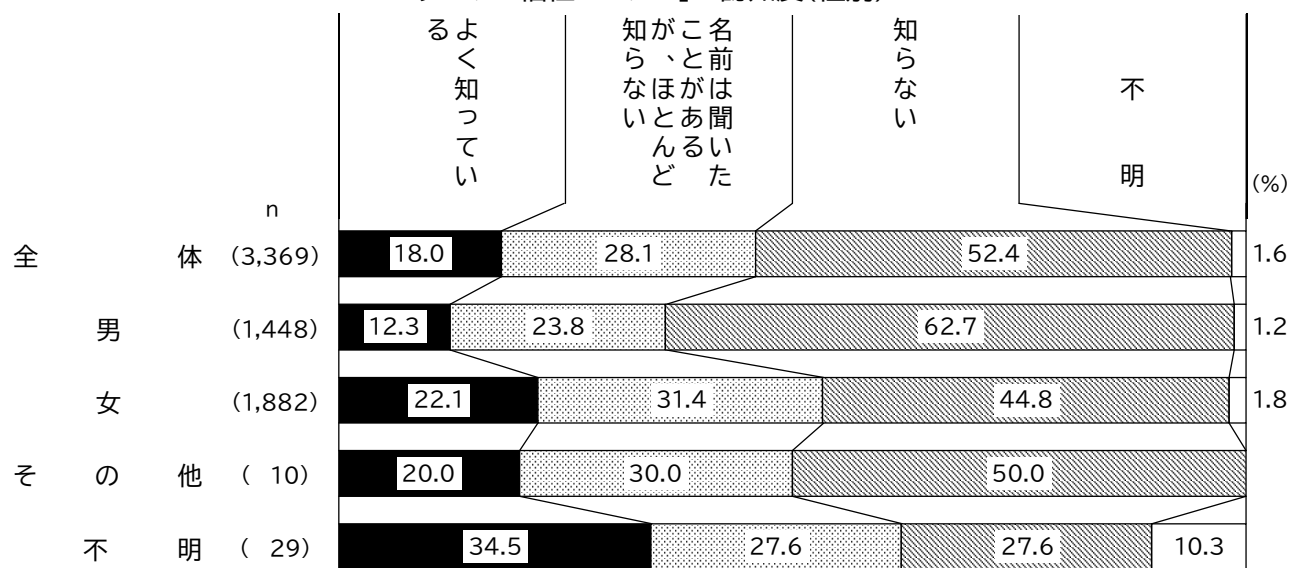
「すこやか福祉センター」の利用回数は、「1~2回」(37.4%)が最も高く、次いで「3~5回」(33.9%)、「6~10回」(9.8%)となっている。

利用回数を年齢別にみると、「0回」は「60~64歳」で26.5%と最も高く、「35~39歳」で1.8%、「40~44歳」で2.8%と低い。一方「3~5回」と回答した割合が最も高いのは「35~39歳」(47.8%)、次いで「30~34歳」(36.2%)となっており、子育て世代で比較的回答率が高い。

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「すこやか福祉センター」の認知度(性別)

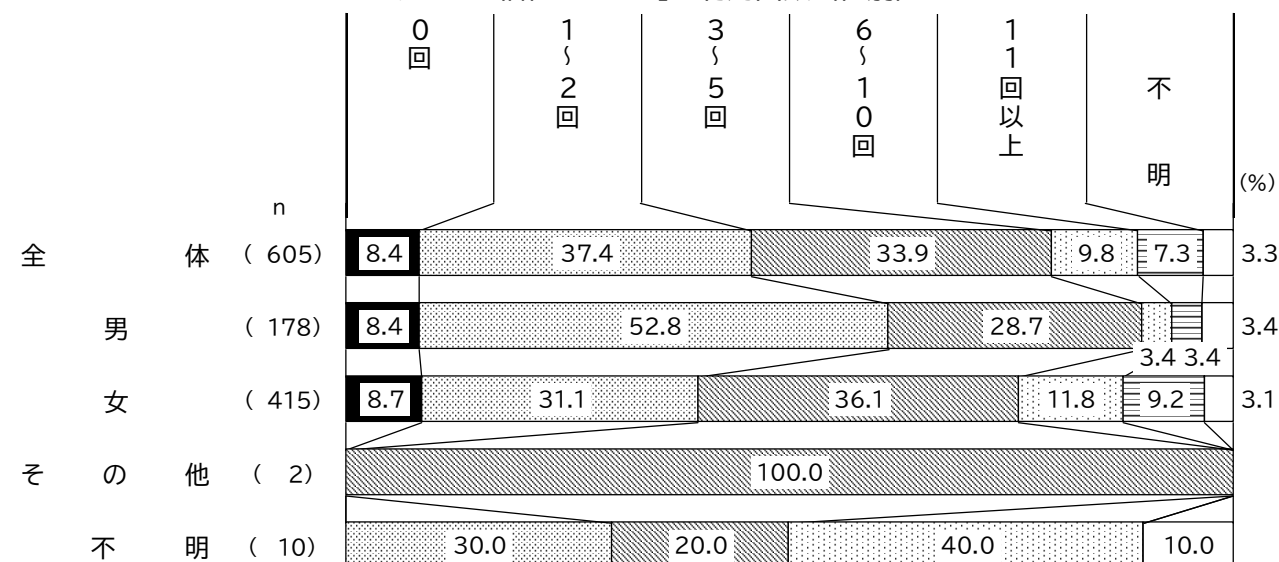


認知度を性別にみると、「知らない」と回答した割合は「男性」(62.7%)、「女性」(44.8%)となっており、「男性」の認知度が低い。

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・利用回数(「すこやか福祉センター」を「よく知っている」と回答した人)

「すこやか福祉センター」の利用回数(性別)



利用回数を性別にみると、「1~2回」は「男性」の回答率が52.8%と高く、「3~5回」は「女性」の回答率が36.1%と高い。

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

「すこやか福祉センター」の認知度(居住地別)

		全 体	よく知って いる	名前は聞いたことがあ るが、ほとん ど知らない	知らない	不 明
全 体		3369	605	947	1764	53
		100.0	18.0	28.1	52.4	1.6
居 住 地	南台	198	37	60	100	1
		100.0	18.7	30.3	50.5	0.5
	弥生町	211	50	74	87	0
		100.0	23.7	35.1	41.2	0.0
	本町	332	46	107	175	4
		100.0	13.9	32.2	52.7	1.2
	中央	273	69	71	131	2
		100.0	25.3	26.0	48.0	0.7
	東中野	261	40	74	138	9
		100.0	15.3	28.4	52.9	3.4
	中野	308	50	82	171	5
		100.0	16.2	26.6	55.5	1.6
	上高田	184	32	39	113	0
		100.0	17.4	21.2	61.4	0.0
	新井	207	29	51	124	3
		100.0	14.0	24.6	59.9	1.4
	沼袋	136	20	34	80	2
		100.0	14.7	25.0	58.8	1.5
	松が丘	34	6	11	16	1
		100.0	17.6	32.4	47.1	2.9
	江原町	79	14	22	40	3
		100.0	17.7	27.8	50.6	3.8
	江古田	126	28	42	49	7
	100.0	22.2	33.3	38.9	5.6	
丸山	40	10	13	16	1	
	100.0	25.0	32.5	40.0	2.5	
野方	193	26	57	109	1	
	100.0	13.5	29.5	56.5	0.5	
大和町	174	23	33	114	4	
	100.0	13.2	19.0	65.5	2.3	
若宮	122	23	38	61	0	
	100.0	18.9	31.1	50.0	0.0	
白鷺	125	36	33	54	2	
	100.0	28.8	26.4	43.2	1.6	
鷺宮	175	37	44	93	1	
	100.0	21.1	25.1	53.1	0.6	
上鷺宮	172	28	55	86	3	
	100.0	16.3	32.0	50.0	1.7	
不 明	19	1	7	7	4	
	100.0	5.3	36.8	36.8	21.1	

認知度を居住地別にみると、「よく知っている」と回答した割合は「白鷺」(28.8%)で最も高い。一方、「知らない」は「大和町」(65.5%)で最も高い割合を示している。

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「すこやか福祉センター」を「よく知っている」と回答した人)

「すこやか福祉センター」の利用回数(居住地別)

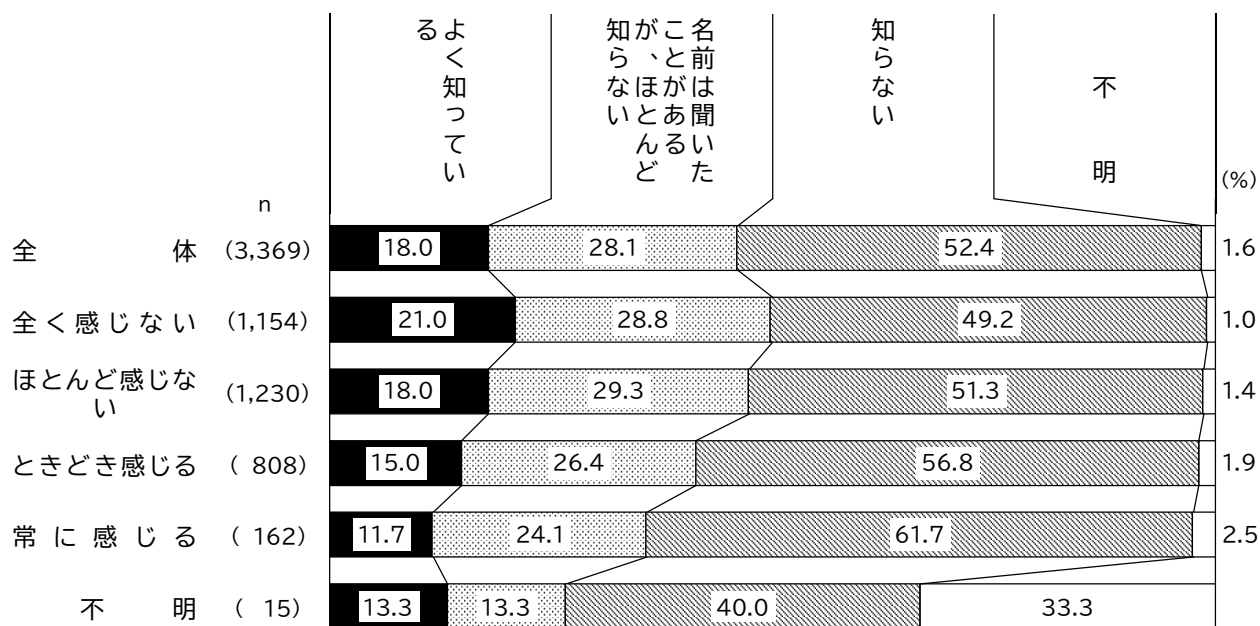
		全 体	0回	1~2回	3~5回	6~10回	11回以上	不 明
全 体		605	51	226	205	59	44	20
		100.0	8.4	37.4	33.9	9.8	7.3	3.3
居 住 地	南台	37	6	13	10	4	1	3
		100.0	16.2	35.1	27.0	10.8	2.7	8.1
	弥生町	50	6	20	16	4	3	1
		100.0	12.0	40.0	32.0	8.0	6.0	2.0
	本町	46	4	20	10	4	4	4
		100.0	8.7	43.5	21.7	8.7	8.7	8.7
	中央	69	3	23	33	6	3	1
		100.0	4.3	33.3	47.8	8.7	4.3	1.4
	東中野	40	2	19	10	5	2	2
		100.0	5.0	47.5	25.0	12.5	5.0	5.0
	中野	50	5	16	14	6	8	1
		100.0	10.0	32.0	28.0	12.0	16.0	2.0
	上高田	32	3	16	9	1	2	1
		100.0	9.4	50.0	28.1	3.1	6.3	3.1
	新井	29	3	9	12	4	1	0
		100.0	10.3	31.0	41.4	13.8	3.4	0.0
	沼袋	20	2	8	3	3	3	1
		100.0	10.0	40.0	15.0	15.0	15.0	5.0
	松が丘	6	0	4	2	0	0	0
		100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
江原町	14	2	5	7	0	0	0	
	100.0	14.3	35.7	50.0	0.0	0.0	0.0	
江古田	28	2	7	11	5	3	0	
	100.0	7.1	25.0	39.3	17.9	10.7	0.0	
丸山	10	1	3	3	2	0	1	
	100.0	10.0	30.0	30.0	20.0	0.0	10.0	
野方	26	0	8	11	2	4	1	
	100.0	0.0	30.8	42.3	7.7	15.4	3.8	
大和町	23	4	8	7	2	2	0	
	100.0	17.4	34.8	30.4	8.7	8.7	0.0	
若宮	23	2	10	7	2	1	1	
	100.0	8.7	43.5	30.4	8.7	4.3	4.3	
白鷺	36	2	9	17	5	1	2	
	100.0	5.6	25.0	47.2	13.9	2.8	5.6	
鷺宮	37	1	15	13	3	5	0	
	100.0	2.7	40.5	35.1	8.1	13.5	0.0	
上鷺宮	28	3	13	9	1	1	1	
	100.0	10.7	46.4	32.1	3.6	3.6	3.6	
不 明	1	0	0	1	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

利用回数を居住地別にみると、「1~2回」の回答率が高いのは「松が丘」で66.7%、「3~5回」は「江原町」で50.0%となっている。

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「すこやか福祉センター」の認知度(孤立を感じるか別)

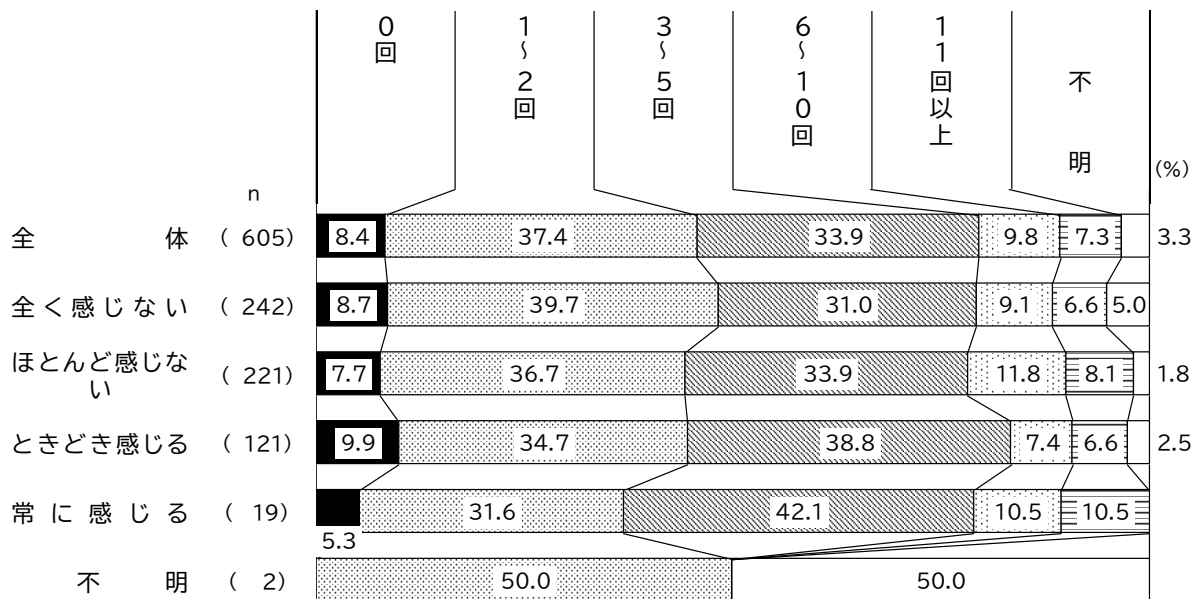


認知度を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の61.7%は「知らない」と回答している。

問 34 あなたは、「すこやか福祉センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・利用回数(「すこやか福祉センター」を「よく知っている」と回答した人)

「すこやか福祉センター」の利用回数(孤立を感じるか別)



「すこやか福祉センター」を「よく知っている」と回答した人のうち、利用回数を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の42.1%は「3~5回」と回答している。

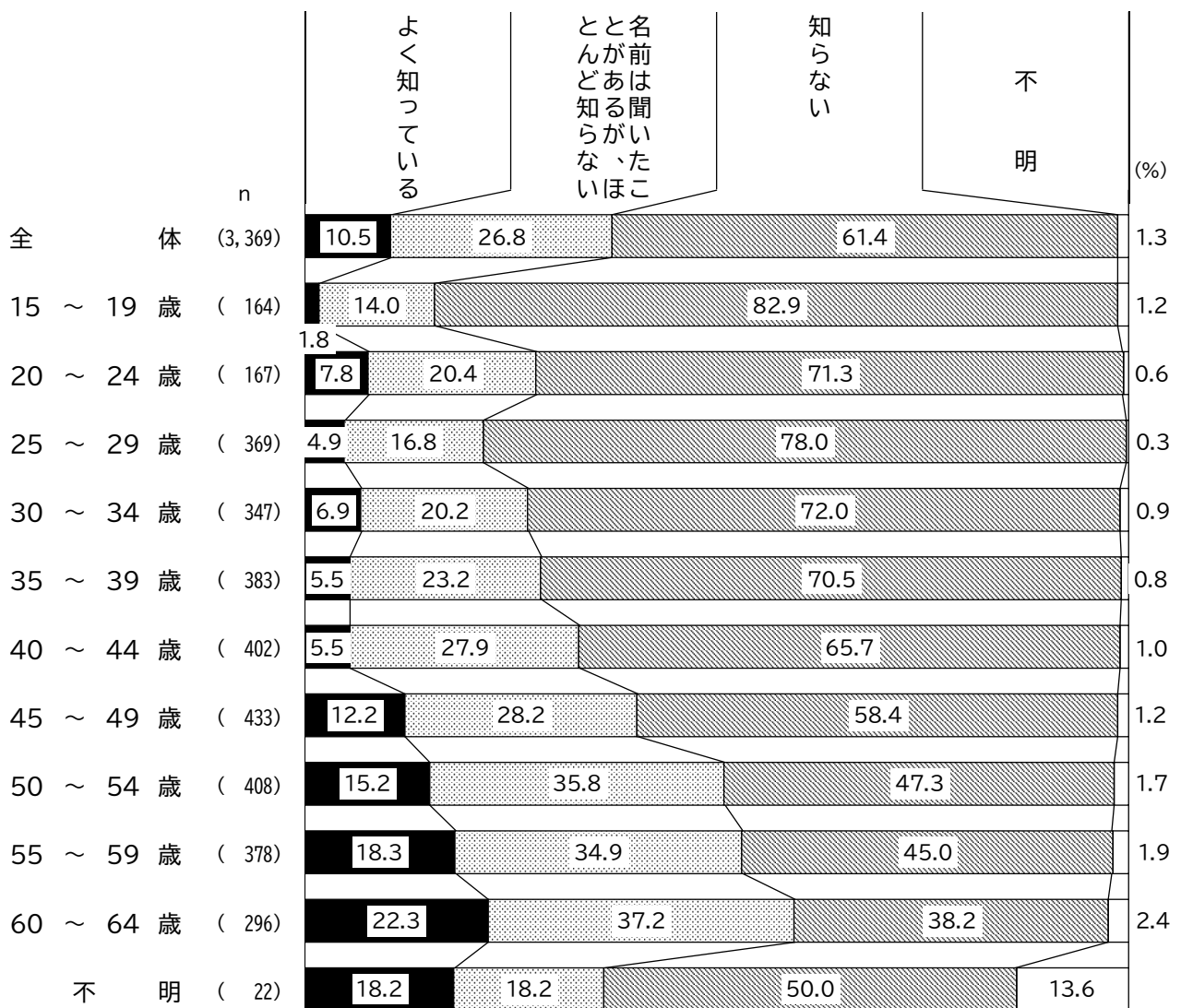
2.3.「地域包括支援センター」の認知度

◆「地域包括支援センター」の認知度は、「ほとんど知らない」「知らない」を合わせて9割近く、利用回数は、「1～2回」が5割弱

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

「地域包括支援センター」の認知度(年齢別)

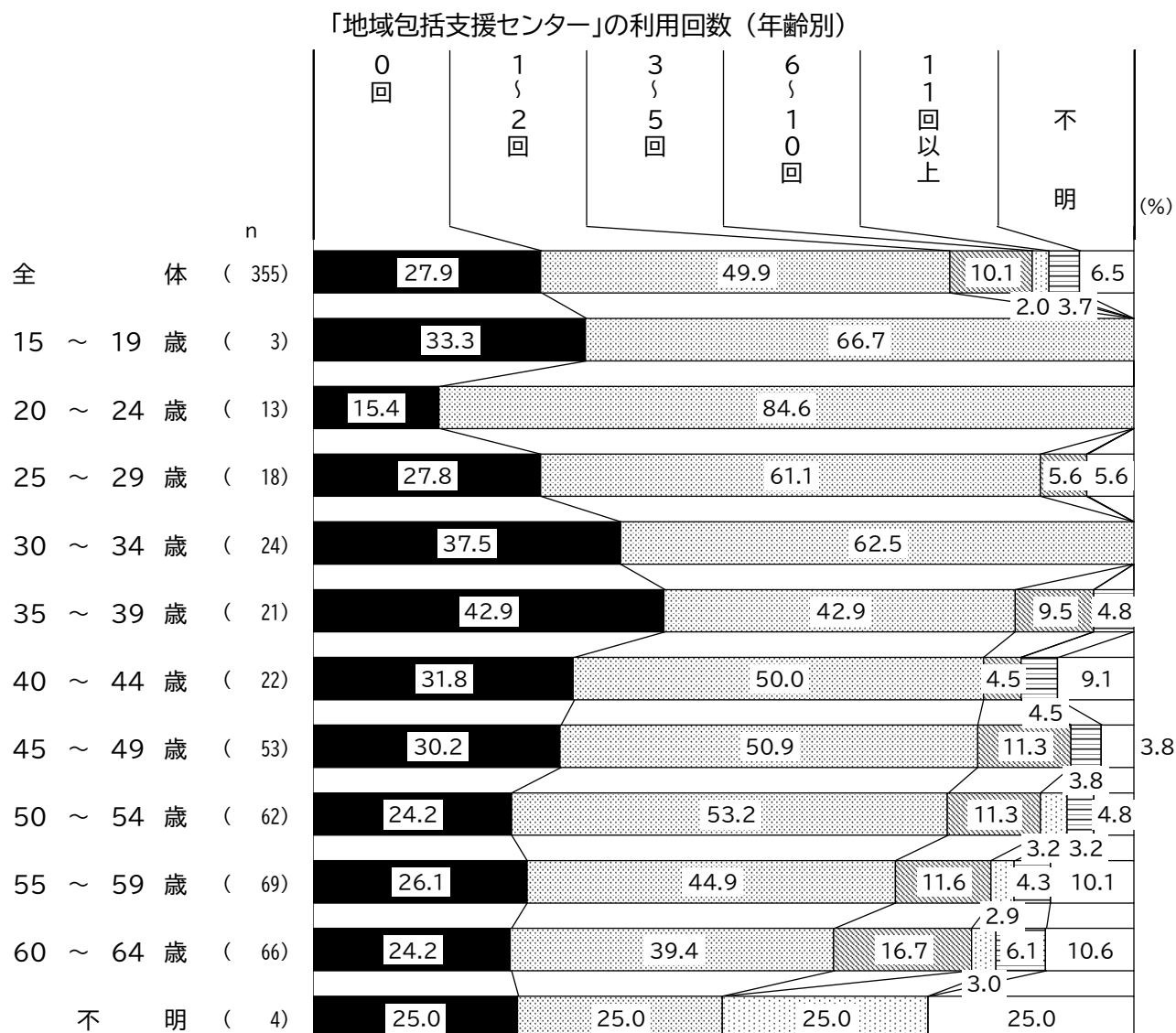


「地域包括支援センター」の認知度は、「名前を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」(26.8%)と「知らない」(61.4%)を合わせると88.2%、「よく知っている」が10.5%となっている。

認知度を年齢別にみると、「よく知っている」と回答した割合が最も高いのは「60～64歳」の22.3%、「名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない」の回答率が高いのも「60～64歳」で37.2%である。一方、「知らない」は15～19歳で82.9%と最も高くなっており、おおむね年齢が若いほど、「知らない」と回答する割合が高い。

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・利用回数(「地域包括支援センター」を「よく知っている」と回答した人)

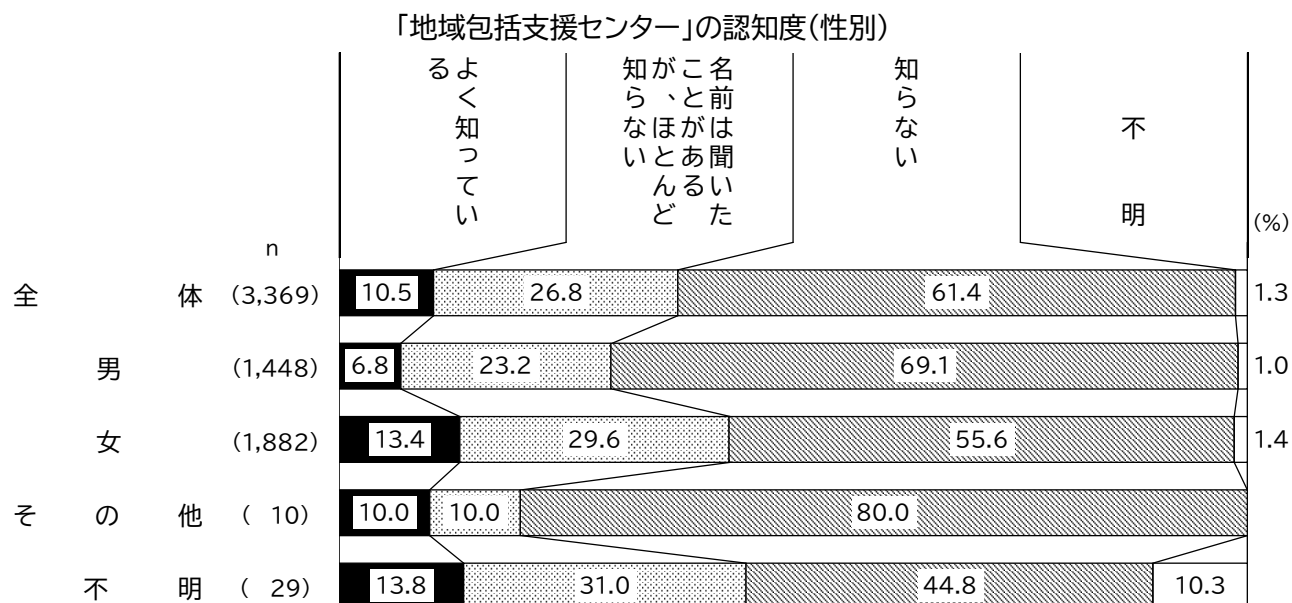


「地域包括支援センター」の利用回数は、「1~2回」(49.9%)が最も高く、次いで、「0回」(27.9%)、「3~5回」(10.1%)となっている。

利用回数を年齢別にみると、「0回」の回答率は「35~39歳」で42.9%、「1~2回」は「20~24歳」で84.6%と最も高い割合を示している。

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

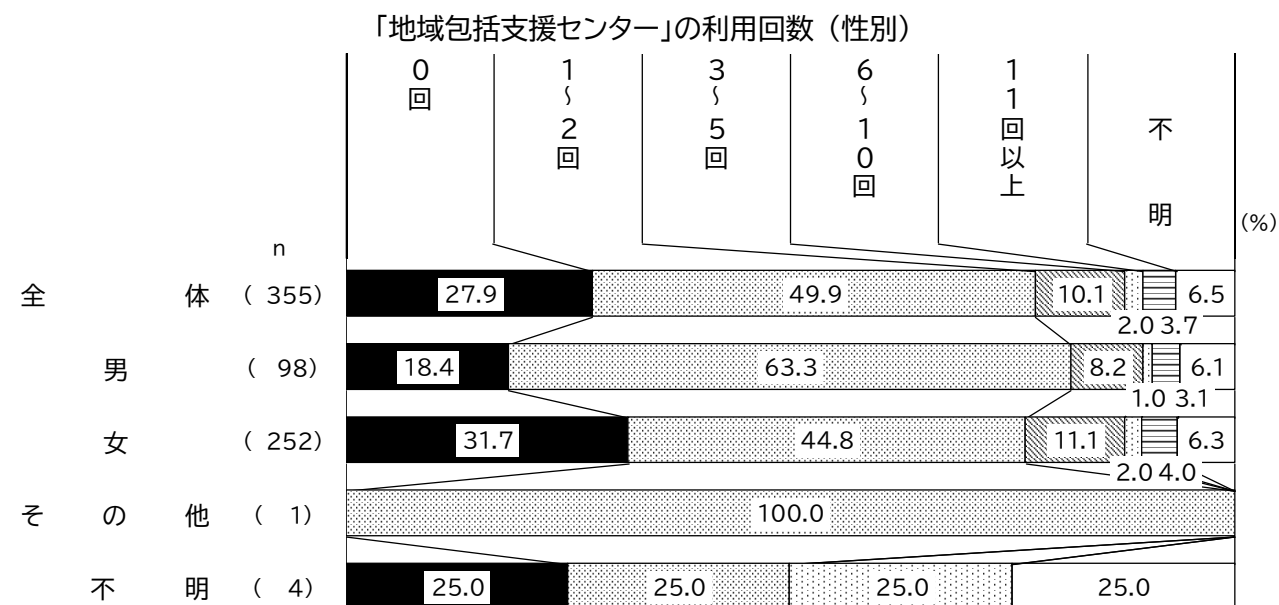
・認知度



認知度を性別にみると、「知らない」と回答したのは「男性」で69.1%、「女性」で55.6%となっており、「男性」の認知度が低い。

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・利用回数(「地域包括支援センター」を「よく知っている」と回答した人)



利用回数を性別にみると、「0回」と回答した割合は「女性」(31.7%)の方が「男性」(18.4%)よりも高く、「1~2回」は「男性」(63.3%)の方が「女性」(44.8%)よりも高い。

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「地域包括支援センター」の認知度(居住地別)

		全 体	よく知って いる	名前は聞いたことがあ るが、ほとん ど知らない	知らない	不 明
全 体		3369	355	904	2067	43
		100.0	10.5	26.8	61.4	1.3
居 住 地	南台	198	25	56	116	1
		100.0	12.6	28.3	58.6	0.5
	弥生町	211	26	68	117	0
		100.0	12.3	32.2	55.5	0.0
	本町	332	35	96	196	5
		100.0	10.5	28.9	59.0	1.5
	中央	273	30	73	167	3
		100.0	11.0	26.7	61.2	1.1
	東中野	261	32	77	145	7
		100.0	12.3	29.5	55.6	2.7
	中野	308	25	79	201	3
		100.0	8.1	25.6	65.3	1.0
	上高田	184	15	40	129	0
		100.0	8.2	21.7	70.1	0.0
	新井	207	21	52	132	2
		100.0	10.1	25.1	63.8	1.0
	沼袋	136	14	33	88	1
		100.0	10.3	24.3	64.7	0.7
	松が丘	34	4	13	16	1
		100.0	11.8	38.2	47.1	2.9
江原町	79	13	18	44	4	
	100.0	16.5	22.8	55.7	5.1	
江古田	126	10	26	85	5	
	100.0	7.9	20.6	67.5	4.0	
丸山	40	6	13	21	0	
	100.0	15.0	32.5	52.5	0.0	
野方	193	21	45	125	2	
	100.0	10.9	23.3	64.8	1.0	
大和町	174	14	39	119	2	
	100.0	8.0	22.4	68.4	1.1	
若宮	122	12	37	73	0	
	100.0	9.8	30.3	59.8	0.0	
白鷺	125	14	30	80	1	
	100.0	11.2	24.0	64.0	0.8	
鷺宮	175	16	50	108	1	
	100.0	9.1	28.6	61.7	0.6	
上鷺宮	172	19	52	100	1	
	100.0	11.0	30.2	58.1	0.6	
不 明	19	3	7	5	4	
	100.0	15.8	36.8	26.3	21.1	

認知度を居住地別にみると、「知らない」の回答率が最も高いのは「上高田」(70.1%)、「名前は聞いたことがあるがほとんど知らない」は「松が丘」(38.2%)、「よく知っている」は「江原町」(16.5%)となっている。

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「地域包括支援センター」を「よく知っている」と回答した人)

「地域包括支援センター」の利用回数(居住地別)

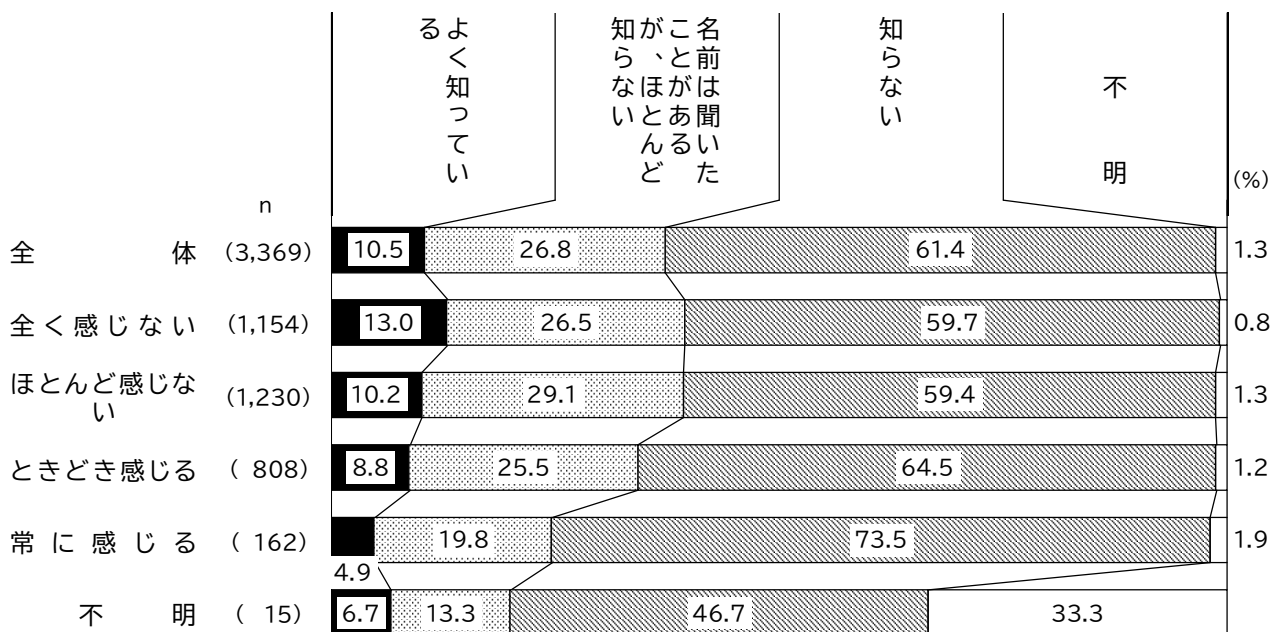
		全体	0回	1~2回	3~5回	6~10回	11回以上	不明
全体		355	99	177	36	7	13	23
		100.0	27.9	49.9	10.1	2.0	3.7	6.5
居住地	南台	25	5	10	7	0	1	2
		100.0	20.0	40.0	28.0	0.0	4.0	8.0
	弥生町	26	9	11	2	2	0	2
		100.0	34.6	42.3	7.7	7.7	0.0	7.7
	本町	35	13	17	0	0	3	2
		100.0	37.1	48.6	0.0	0.0	8.6	5.7
	中央	30	5	20	3	1	1	0
		100.0	16.7	66.7	10.0	3.3	3.3	0.0
	東中野	32	8	19	0	1	2	2
		100.0	25.0	59.4	0.0	3.1	6.3	6.3
	中野	25	6	13	1	1	1	3
		100.0	24.0	52.0	4.0	4.0	4.0	12.0
	上高田	15	6	8	0	0	1	0
		100.0	40.0	53.3	0.0	0.0	6.7	0.0
	新井	21	7	7	4	0	0	3
		100.0	33.3	33.3	19.0	0.0	0.0	14.3
	沼袋	14	4	5	3	0	0	2
		100.0	28.6	35.7	21.4	0.0	0.0	14.3
	松が丘	4	1	2	1	0	0	0
		100.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	江原町	13	2	7	3	0	1	0
		100.0	15.4	53.8	23.1	0.0	7.7	0.0
	江古田	10	3	5	0	1	1	0
		100.0	30.0	50.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	丸山	6	2	1	1	0	0	2
		100.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3
野方	21	3	12	5	0	0	1	
	100.0	14.3	57.1	23.8	0.0	0.0	4.8	
大和町	14	6	6	0	1	0	1	
	100.0	42.9	42.9	0.0	7.1	0.0	7.1	
若宮	12	0	7	3	0	1	1	
	100.0	0.0	58.3	25.0	0.0	8.3	8.3	
白鷺	14	7	7	0	0	0	0	
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
鷺宮	16	4	9	2	0	1	0	
	100.0	25.0	56.3	12.5	0.0	6.3	0.0	
上鷺宮	19	7	10	1	0	0	1	
	100.0	36.8	52.6	5.3	0.0	0.0	5.3	
不明	3	1	1	0	0	0	1	
	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	

利用回数を居住地別にみると、「0回」の回答率が最も高いのは「白鷺」(50.0%)、「1~2回」は「中央」(66.7%)、「3~5回」は「南台」(28.0%)となっている。

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「地域包括支援センター」の認知度(孤立を感じるか別)

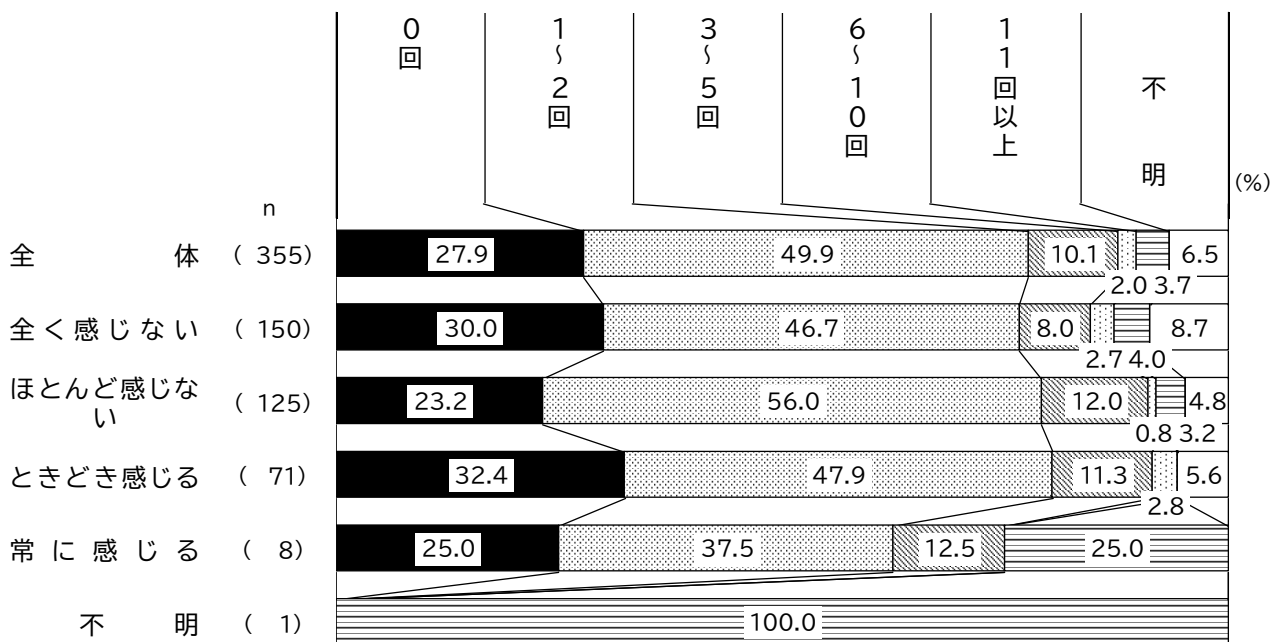


認知度を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の73.5%は「知らない」と回答している。

問 35 あなたは、「地域包括支援センター」をご存じですか。(〇はひとつ)

・利用回数(「地域包括支援センター」を「よく知っている」と回答した人)

「地域包括支援センター」の利用回数(孤立を感じるか別)



利用回数を、孤立を感じるか別にみると、「1~2回」と回答した割合が最も高いのは、孤立を「ほとんど感じない」人で56.0%となっている。

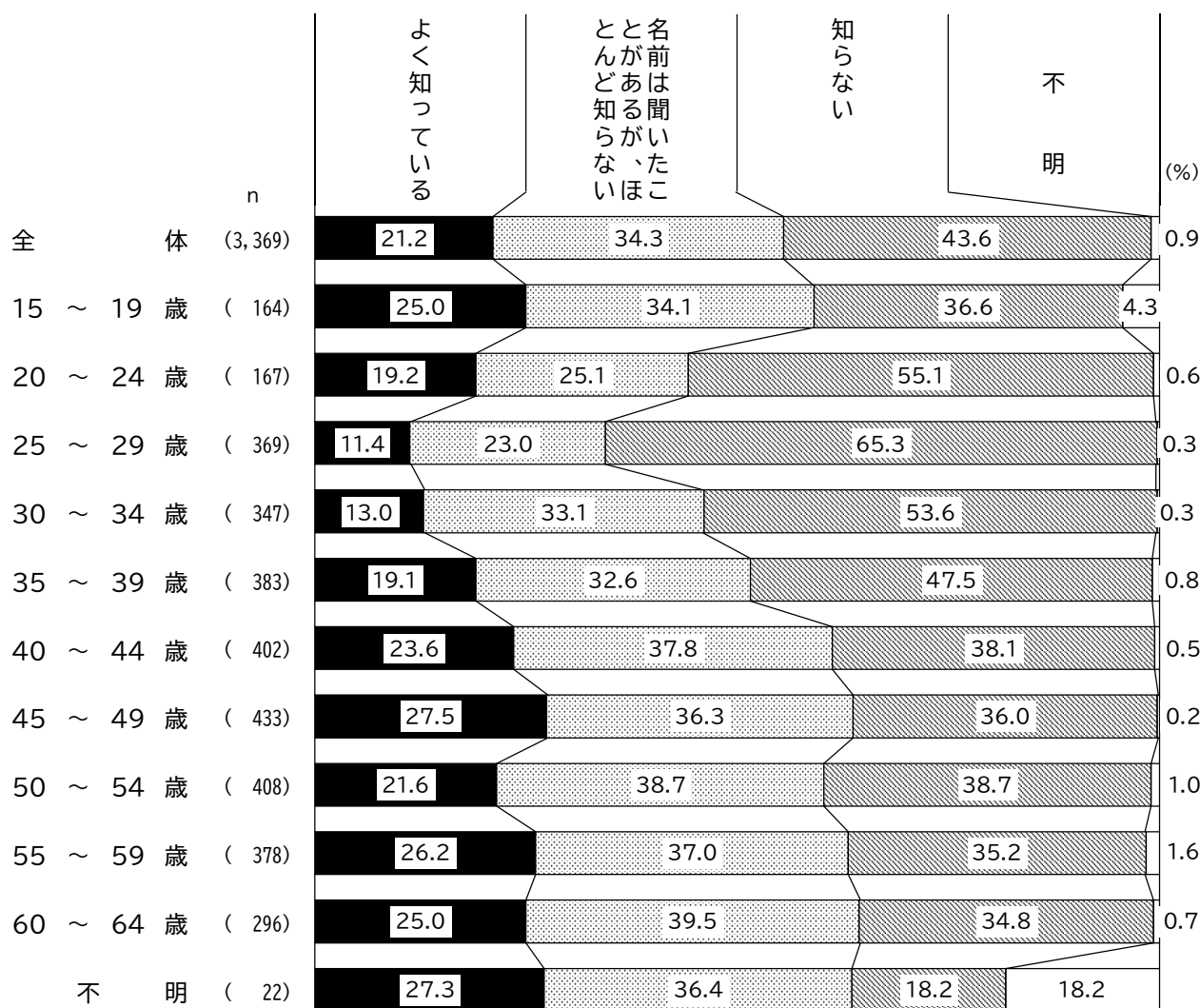
2.4.「区民活動センター」の認知度

◆「区民活動センター」の認知度は、「ほとんど知らない」「知らない」を合わせて7割半ば超、利用回数は、「3～5回」が3割強

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

「区民活動センター」の認知度(年齢別)



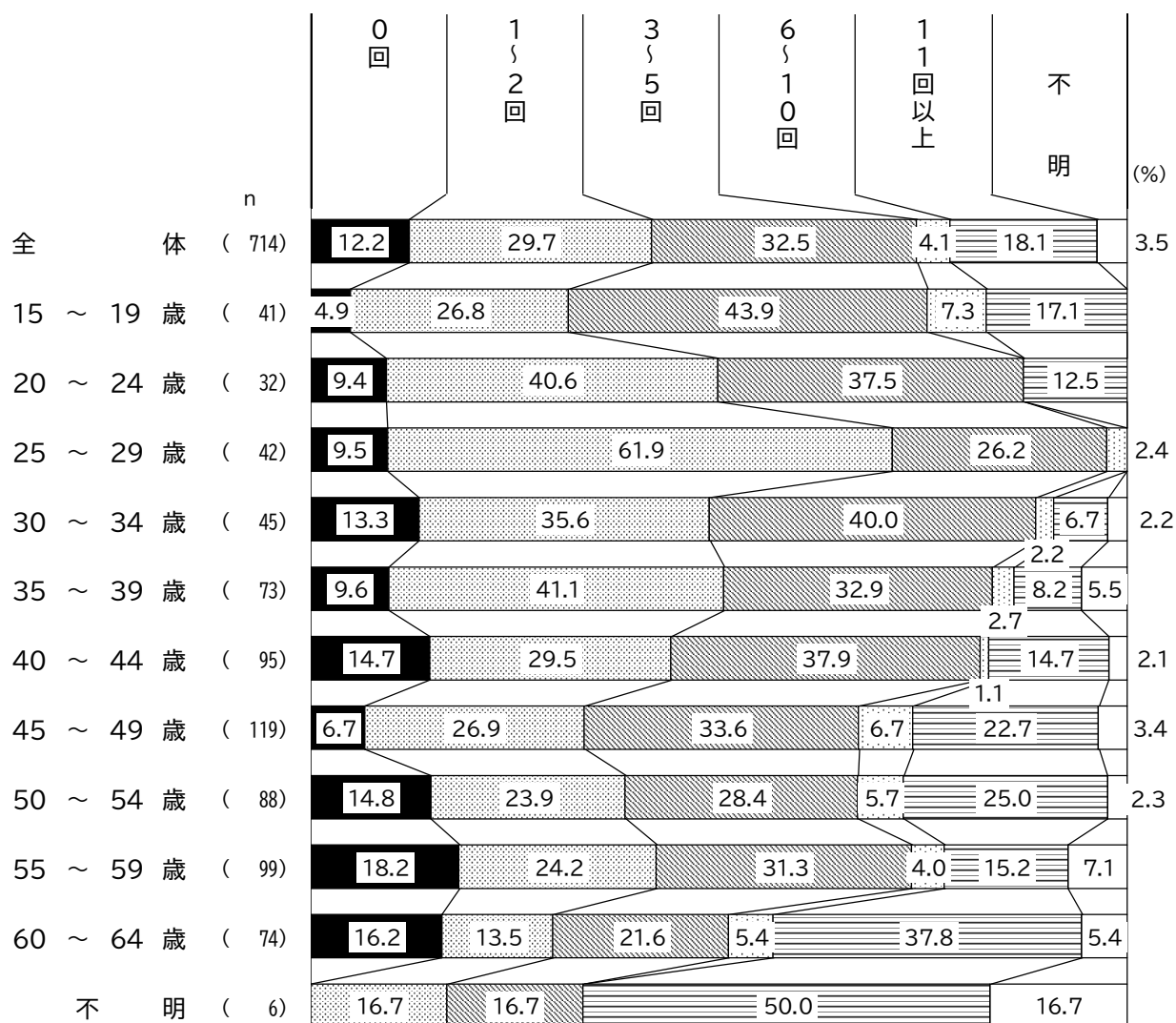
「区民活動センター」の認知度は、「名前を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」(34.3%)と「知らない」(43.6%)を合わせると77.9%、「よく知っている」が21.2%となっている。

認知度を年齢別にみると、「よく知っている」は「45～49歳」(27.5%)、「名前を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」は「60～64歳」(39.5%)、「知らない」は「25～29歳」(65.3%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「区民活動センター」を「よく知っている」と回答した人)

「区民活動センター」の利用回数 (年齢別)

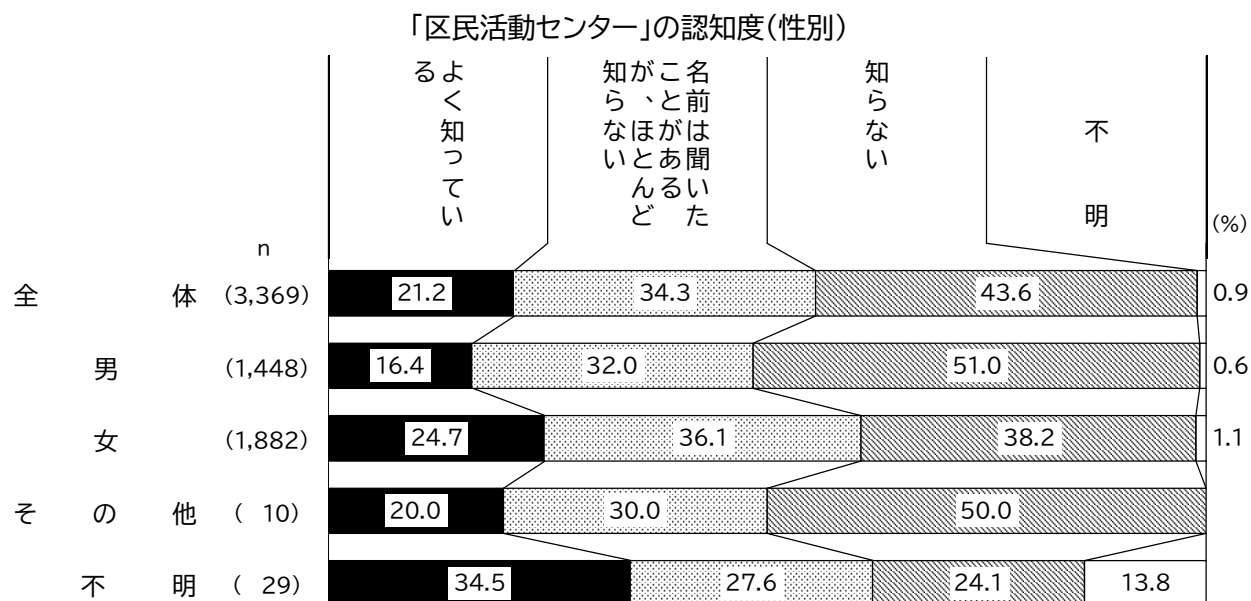


「区民活動センター」の利用回数は、「3~5回」(32.5%)が最も高く、次いで、「1~2回」(29.7%)、「11回以上」(18.1%)となっている。

利用回数を年齢別にみると、「1~2回」は「25~29歳」(61.9%)で、「11回以上」は「60~64歳」(37.8%)で、それぞれ最も回答率が高くなっている。

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

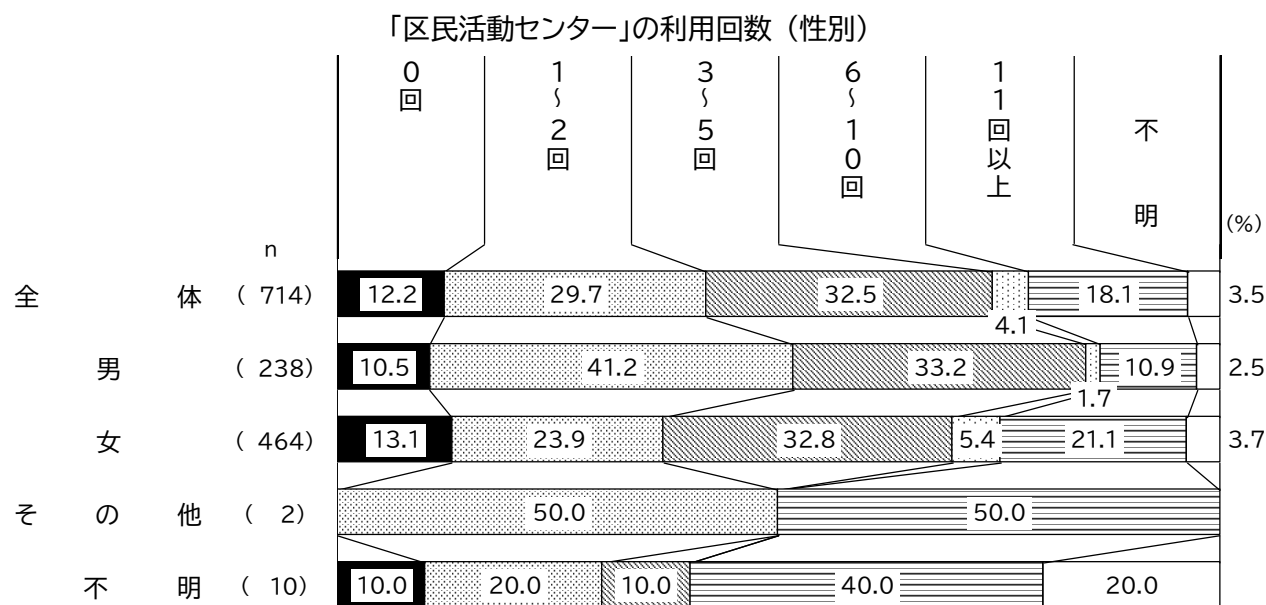
・認知度



認知度を性別にみると、「知らない」と回答した割合は「男性」51.0%、「女性」38.2%となっており、「男性」の認知度が低い。

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「区民活動センター」を「よく知っている」と回答した人)



利用回数を性別にみると、「1~2回」は「男性」で41.2%、「11回以上」は「女性」で21.1%とそれぞれ高い回答率となっている。

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

「区民活動センター」の認知度(居住地別)

		全 体	よく知って いる	名前は聞いた ことがあるが、ほとん ど知らない	知らない	不 明
全 体		3369	714	1155	1468	32
		100.0	21.2	34.3	43.6	0.9
居 住 地	南台	198	37	73	87	1
		100.0	18.7	36.9	43.9	0.5
	弥生町	211	45	78	86	2
		100.0	21.3	37.0	40.8	0.9
	本町	332	63	110	157	2
		100.0	19.0	33.1	47.3	0.6
	中央	273	43	97	131	2
		100.0	15.8	35.5	48.0	0.7
	東中野	261	48	116	94	3
		100.0	18.4	44.4	36.0	1.1
	中野	308	38	96	172	2
		100.0	12.3	31.2	55.8	0.6
	上高田	184	43	56	85	0
		100.0	23.4	30.4	46.2	0.0
	新井	207	51	65	90	1
		100.0	24.6	31.4	43.5	0.5
	沼袋	136	27	44	64	1
		100.0	19.9	32.4	47.1	0.7
	松が丘	34	7	11	15	1
		100.0	20.6	32.4	44.1	2.9
江原町	79	36	20	21	2	
	100.0	45.6	25.3	26.6	2.5	
江古田	126	31	55	39	1	
	100.0	24.6	43.7	31.0	0.8	
丸山	40	8	14	17	1	
	100.0	20.0	35.0	42.5	2.5	
野方	193	37	58	94	4	
	100.0	19.2	30.1	48.7	2.1	
大和町	174	36	64	74	0	
	100.0	20.7	36.8	42.5	0.0	
若宮	122	25	52	45	0	
	100.0	20.5	42.6	36.9	0.0	
白鷺	125	37	32	56	0	
	100.0	29.6	25.6	44.8	0.0	
鷺宮	175	37	53	81	4	
	100.0	21.1	30.3	46.3	2.3	
上鷺宮	172	60	59	52	1	
	100.0	34.9	34.3	30.2	0.6	
不 明	19	5	2	8	4	
	100.0	26.3	10.5	42.1	21.1	

認知度を居住地別にみると、「よく知っている」の回答率が高いのは「江原町」(45.6%)、「上鷺宮」(34.9%)、「白鷺」(29.6%)である。逆に「知らない」の回答率が高いのは「中野」(55.8%)で唯一、半数を超えている。

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「区民活動センター」を「よく知っている」と回答した人)

「区民活動センター」の利用回数(居住地別)

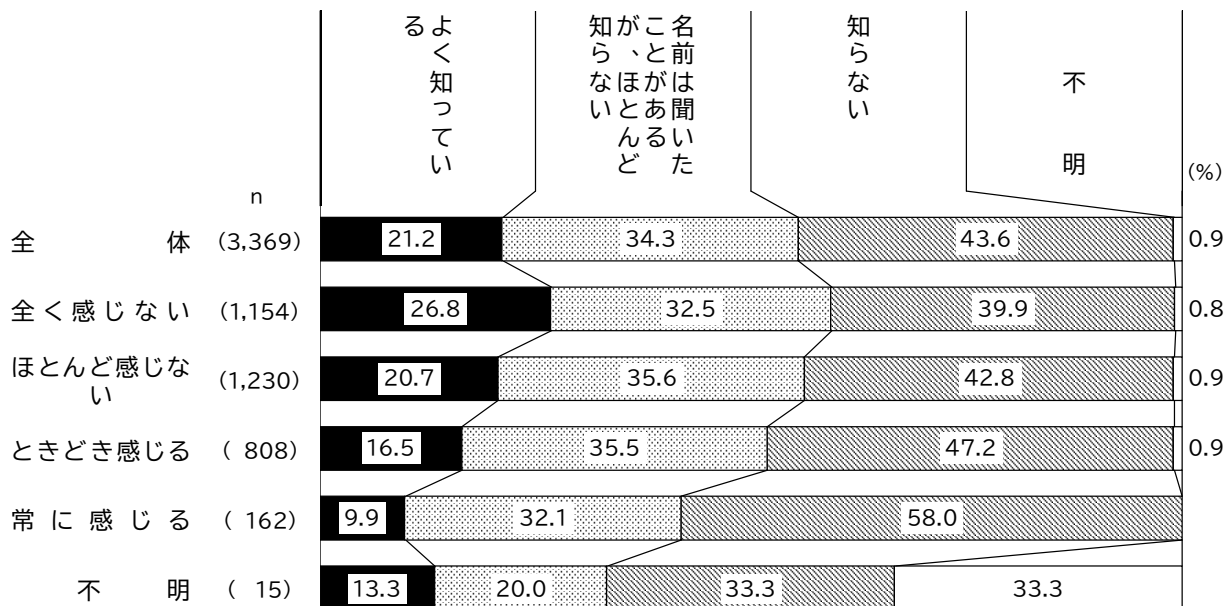
		全 体	0回	1~2回	3~5回	6~10回	11回以上	不 明
全 体		714	87	212	232	29	129	25
		100.0	12.2	29.7	32.5	4.1	18.1	3.5
居 住 地	南台	37	2	9	15	2	5	4
		100.0	5.4	24.3	40.5	5.4	13.5	10.8
	弥生町	45	11	21	11	1	1	0
		100.0	24.4	46.7	24.4	2.2	2.2	0.0
	本町	63	8	16	20	5	10	4
		100.0	12.7	25.4	31.7	7.9	15.9	6.3
	中央	43	2	17	16	0	7	1
		100.0	4.7	39.5	37.2	0.0	16.3	2.3
	東中野	48	2	18	16	3	7	2
		100.0	4.2	37.5	33.3	6.3	14.6	4.2
	中野	38	7	10	12	1	8	0
		100.0	18.4	26.3	31.6	2.6	21.1	0.0
	上高田	43	5	9	16	1	12	0
		100.0	11.6	20.9	37.2	2.3	27.9	0.0
	新井	51	2	14	18	2	13	2
		100.0	3.9	27.5	35.3	3.9	25.5	3.9
	沼袋	27	3	7	9	1	5	2
		100.0	11.1	25.9	33.3	3.7	18.5	7.4
	松が丘	7	2	2	1	0	2	0
		100.0	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0
江原町	36	4	14	12	1	5	0	
	100.0	11.1	38.9	33.3	2.8	13.9	0.0	
江古田	31	5	6	11	1	7	1	
	100.0	16.1	19.4	35.5	3.2	22.6	3.2	
丸山	8	1	1	5	0	1	0	
	100.0	12.5	12.5	62.5	0.0	12.5	0.0	
野方	37	5	9	8	3	11	1	
	100.0	13.5	24.3	21.6	8.1	29.7	2.7	
大和町	36	5	14	9	0	6	2	
	100.0	13.9	38.9	25.0	0.0	16.7	5.6	
若宮	25	2	10	9	0	2	2	
	100.0	8.0	40.0	36.0	0.0	8.0	8.0	
白鷺	37	6	13	6	1	9	2	
	100.0	16.2	35.1	16.2	2.7	24.3	5.4	
鷺宮	37	4	7	19	1	6	0	
	100.0	10.8	18.9	51.4	2.7	16.2	0.0	
上鷺宮	60	10	14	19	6	9	2	
	100.0	16.7	23.3	31.7	10.0	15.0	3.3	
不 明	5	1	1	0	0	3	0	
	100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	

利用回数を居住地別にみると、「1~2回」は「弥生町」(46.7%)、「3~5回」は「鷺宮」(51.4%)、「11回以上」は「野方」(29.7%)でそれぞれ最も回答率が高い。

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

「区民活動センター」の認知度(孤立を感じるか別)

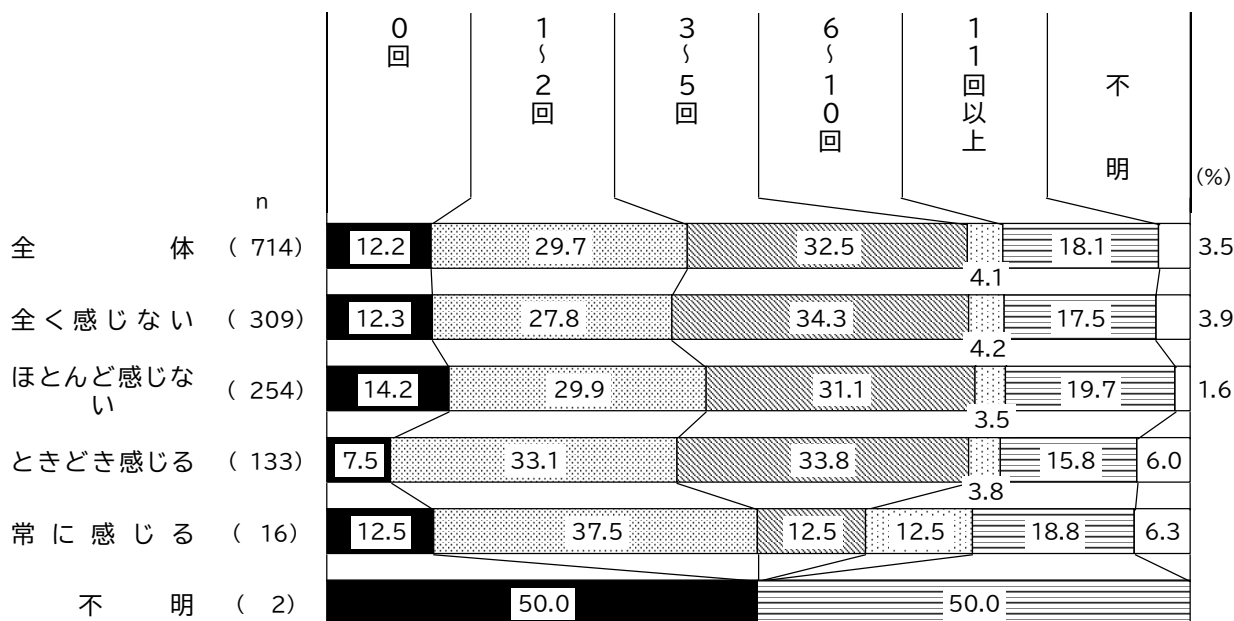


認知度を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の58.0%は「知らない」と回答している。逆に「よく知っている」と回答した割合が高いのは孤立を「全く感じない」人で26.8%である。

問 36 あなたは、「区民活動センター」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「区民活動センター」を「よく知っている」と回答した人)

「区民活動センター」の利用回数(孤立を感じるか別)



孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人では「1~2回」と回答した割合が37.5%と最も高い割合を示している。

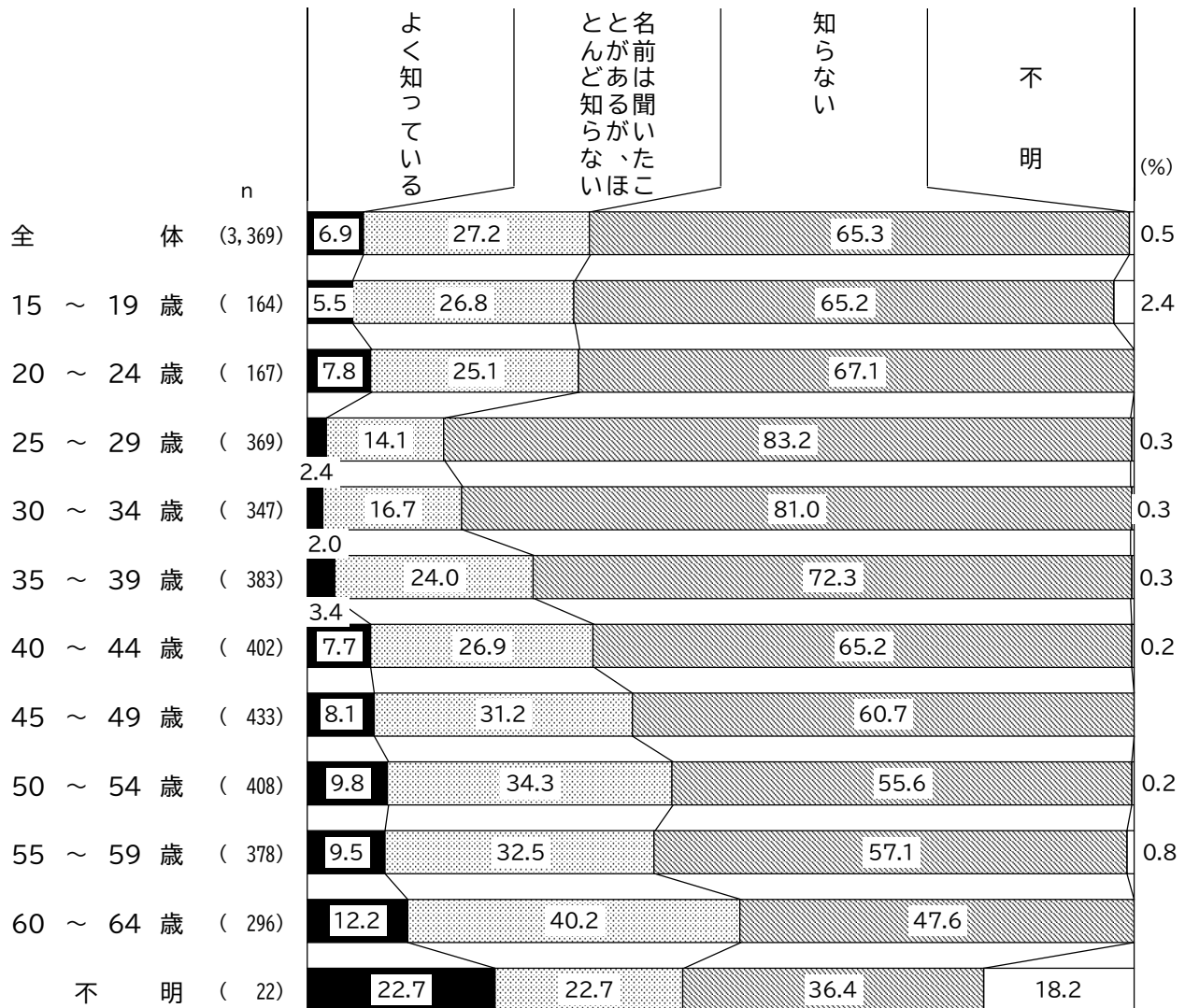
2.5.「高齢者会館」の認知度

◆「高齢者会館」の認知度は、「ほとんど知らない」「知らない」を合わせて9割強、利用回数は、「0回」が4割半ば近く

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

高齢者会館の認知度(年齢別)

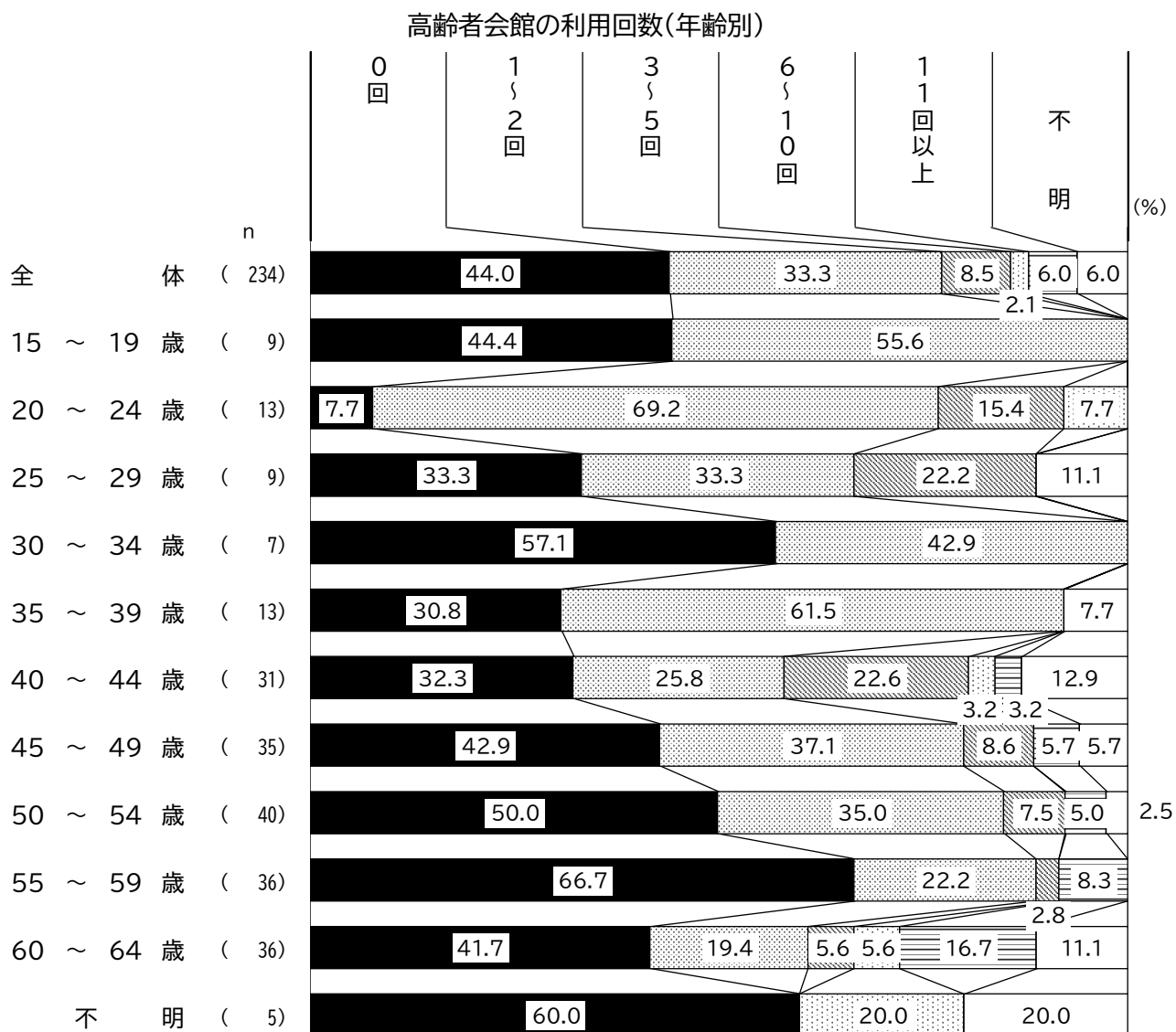


「高齢者会館」の認知度は、「名前を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」(27.2%)と「知らない」(65.3%)を合わせると 92.5%、「よく知っている」が 6.9%となっている。

認知度を年齢別にみると、「よく知っている」は「60~64 歳」(12.2%)、「名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない」は「60~64 歳」(40.2%)、「知らない」は「25~29 歳」(83.2%)で回答率が最も高い。

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「高齢者会館」を「よく知っている」と回答した人)

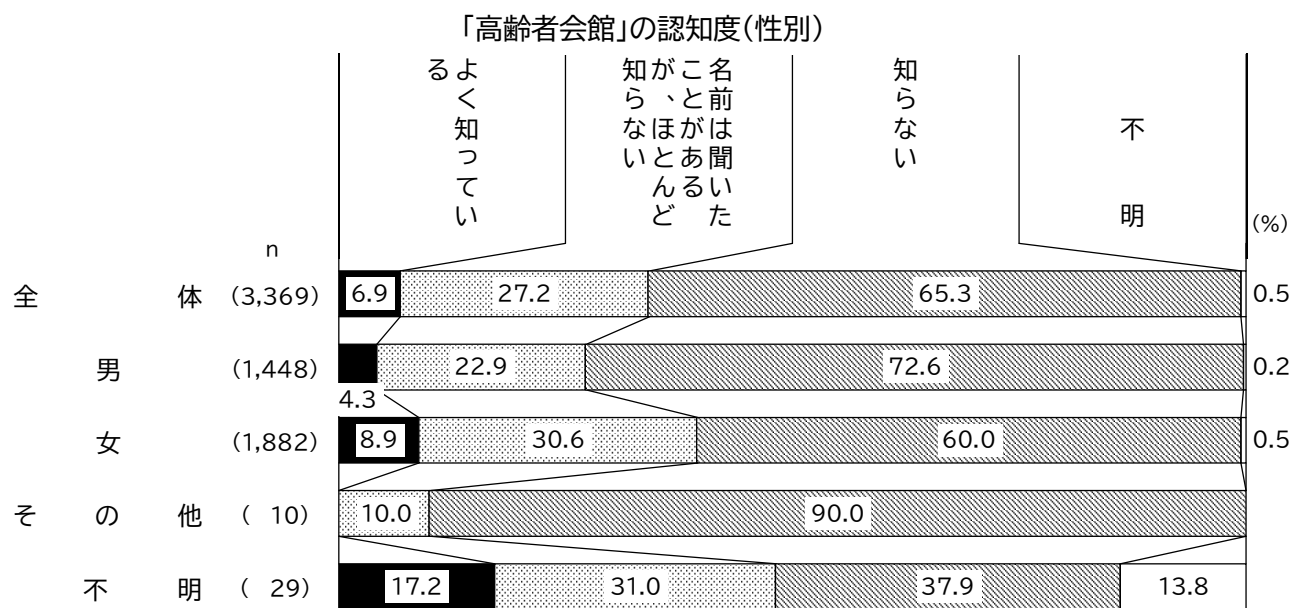


「高齢者会館」の利用回数は、「0回」(44.0%)が最も高く、次いで、「1~2回」(33.3%)、「3~5回」(8.5%)となっている。

利用回数を年齢別にみると、「0回」は「55~59歳」(66.7%)、「1~2回」は「20~24歳」(69.2%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(○はひとつ)

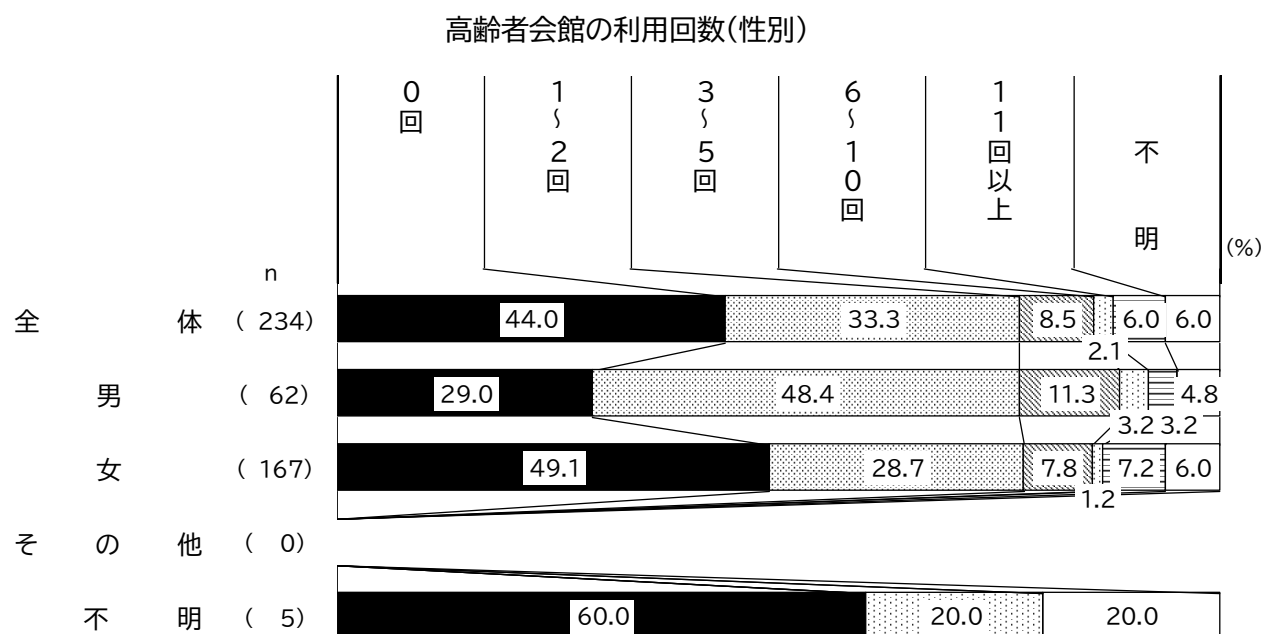
・認知度



認知度を性別にみると、「知らない」と回答した割合は「男性」(72.6%)、「女性」(60.0%)で、「男性」の認知度が低い。

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数



利用回数を性別にみると、「0回」は「女性」(49.1%)、「1~2回」は「男性」(48.4%)でそれぞれ回答率が高い。

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(○はひとつ)

・認知度

「高齢者会館」の認知度(居住地別)

		全 体	よく知って いる	名前は聞いたことがあ るが、ほとん ど知らない	知らない	不 明
全 体		3369	234	918	2201	16
		100.0	6.9	27.2	65.3	0.5
居 住 地	南台	198	12	69	117	0
		100.0	6.1	34.8	59.1	0.0
	弥生町	211	13	63	134	1
		100.0	6.2	29.9	63.5	0.5
	本町	332	15	71	244	2
		100.0	4.5	21.4	73.5	0.6
	中央	273	9	63	200	1
		100.0	3.3	23.1	73.3	0.4
	東中野	261	10	80	169	2
		100.0	3.8	30.7	64.8	0.8
	中野	308	15	89	203	1
		100.0	4.9	28.9	65.9	0.3
	上高田	184	34	56	93	1
		100.0	18.5	30.4	50.5	0.5
	新井	207	13	49	145	0
		100.0	6.3	23.7	70.0	0.0
	沼袋	136	10	26	99	1
		100.0	7.4	19.1	72.8	0.7
	松が丘	34	2	9	23	0
		100.0	5.9	26.5	67.6	0.0
江原町	79	3	12	64	0	
	100.0	3.8	15.2	81.0	0.0	
江古田	126	6	29	91	0	
	100.0	4.8	23.0	72.2	0.0	
丸山	40	6	15	18	1	
	100.0	15.0	37.5	45.0	2.5	
野方	193	22	53	116	2	
	100.0	11.4	27.5	60.1	1.0	
大和町	174	14	43	117	0	
	100.0	8.0	24.7	67.2	0.0	
若宮	122	15	46	61	0	
	100.0	12.3	37.7	50.0	0.0	
白鷺	125	10	45	70	0	
	100.0	8.0	36.0	56.0	0.0	
鷺宮	175	17	55	103	0	
	100.0	9.7	31.4	58.9	0.0	
上鷺宮	172	6	39	127	0	
	100.0	3.5	22.7	73.8	0.0	
不 明	19	2	6	7	4	
	100.0	10.5	31.6	36.8	21.1	

認知度を居住地別にみると、「知らない」は「江原町」(81.0%)、「上鷺宮」(73.8%)、「本町」(73.5%)、「よく知っている」は「上高田」(18.5%)、「丸山」(15.0%)でそれぞれ回答率が高い。

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(○はひとつ)

・利用回数(「高齢者会館」を「よく知っている」と回答した人)

高齢者会館の利用回数(居住地別)

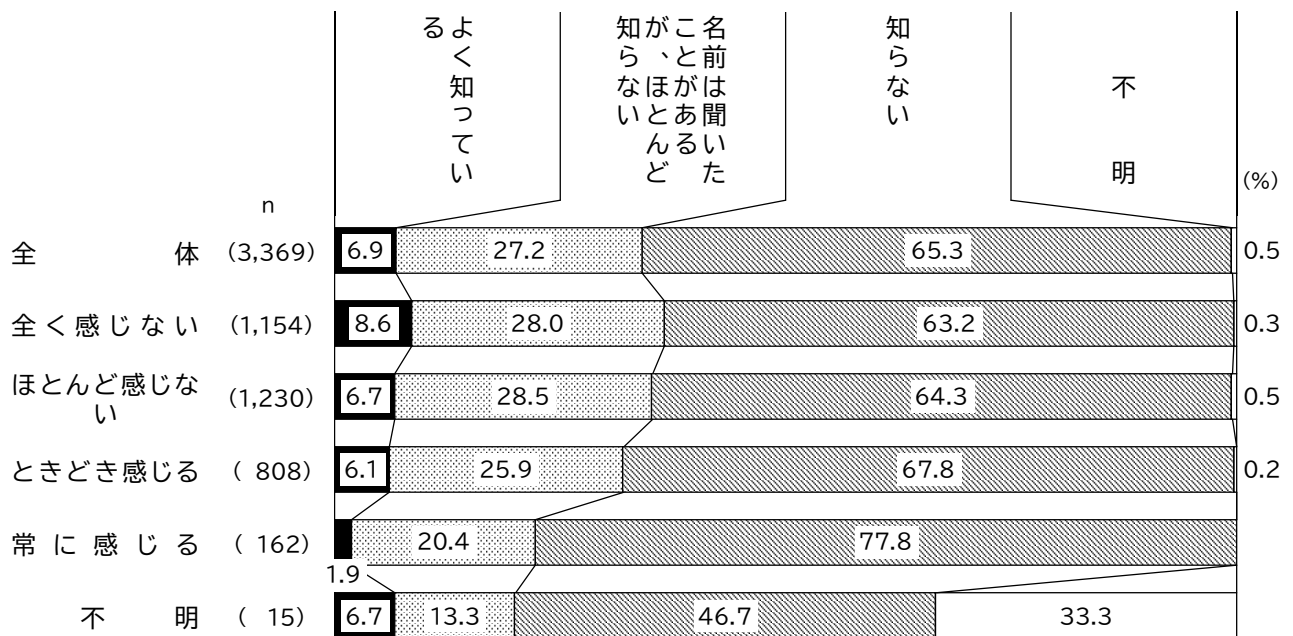
		全 体	0回	1~2回	3~5回	6~10回	11回以上	不 明
全 体		234	103	78	20	5	14	14
		100.0	44.0	33.3	8.5	2.1	6.0	6.0
居 住 地	南台	12	4	3	2	1	1	1
		100.0	33.3	25.0	16.7	8.3	8.3	8.3
	弥生町	13	6	6	0	0	0	1
		100.0	46.2	46.2	0.0	0.0	0.0	7.7
	本町	15	7	5	1	0	1	1
		100.0	46.7	33.3	6.7	0.0	6.7	6.7
	中央	9	3	5	0	0	1	0
		100.0	33.3	55.6	0.0	0.0	11.1	0.0
	東中野	10	4	1	0	1	3	1
		100.0	40.0	10.0	0.0	10.0	30.0	10.0
	中野	15	8	4	0	0	0	3
		100.0	53.3	26.7	0.0	0.0	0.0	20.0
	上高田	34	10	10	8	0	3	3
		100.0	29.4	29.4	23.5	0.0	8.8	8.8
	新井	13	2	6	3	1	1	0
		100.0	15.4	46.2	23.1	7.7	7.7	0.0
	沼袋	10	6	2	1	0	0	1
		100.0	60.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	松が丘	2	2	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
江原町	3	2	1	0	0	0	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
江古田	6	3	3	0	0	0	0	
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
丸山	6	3	3	0	0	0	0	
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
野方	22	15	5	0	1	0	1	
	100.0	68.2	22.7	0.0	4.5	0.0	4.5	
大和町	14	7	3	2	0	1	1	
	100.0	50.0	21.4	14.3	0.0	7.1	7.1	
若宮	15	6	7	1	0	1	0	
	100.0	40.0	46.7	6.7	0.0	6.7	0.0	
白鷺	10	4	4	0	1	1	0	
	100.0	40.0	40.0	0.0	10.0	10.0	0.0	
鷺宮	17	4	9	2	0	1	1	
	100.0	23.5	52.9	11.8	0.0	5.9	5.9	
上鷺宮	6	5	1	0	0	0	0	
	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
不 明	2	2	0	0	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

利用回数を居住地別にみると、「1~2回」は「中央」(55.6%)、「3~5回」は「上高田」(23.5%)で最も回答率が高い。

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「高齢者会館」の認知度(孤立を感じるか別)

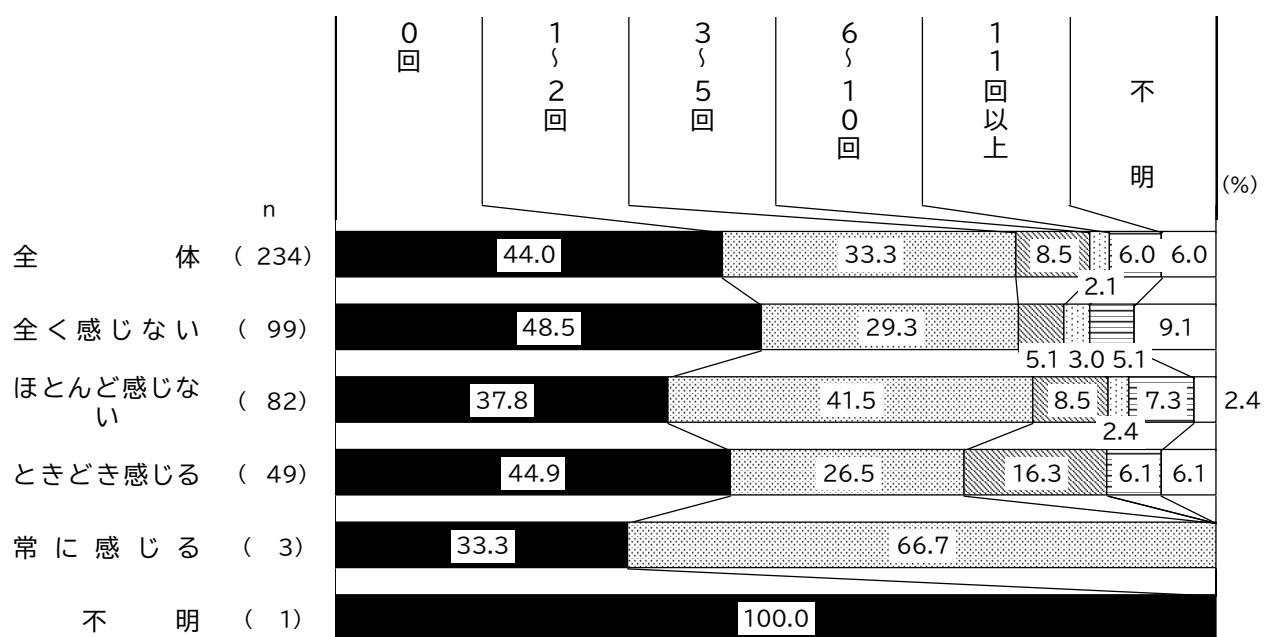


認知度を、孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の77.8%は「知らない」と回答している。

問 37 あなたは、「高齢者会館」をご存じですか。(〇はひとつ)

・利用回数(「高齢者会館」を「よく知っている」と回答した人)

高齢者会館の利用回数(孤立を感じるか別)



利用回数を孤立を感じるか別にみると、「0回」は「全く感じない」(48.5%)、「1~2回」は「ほとんど感じない」(41.5%)、「3~5回」は「ときどき感じる」(16.3%)で、それぞれ最も回答率が高い。

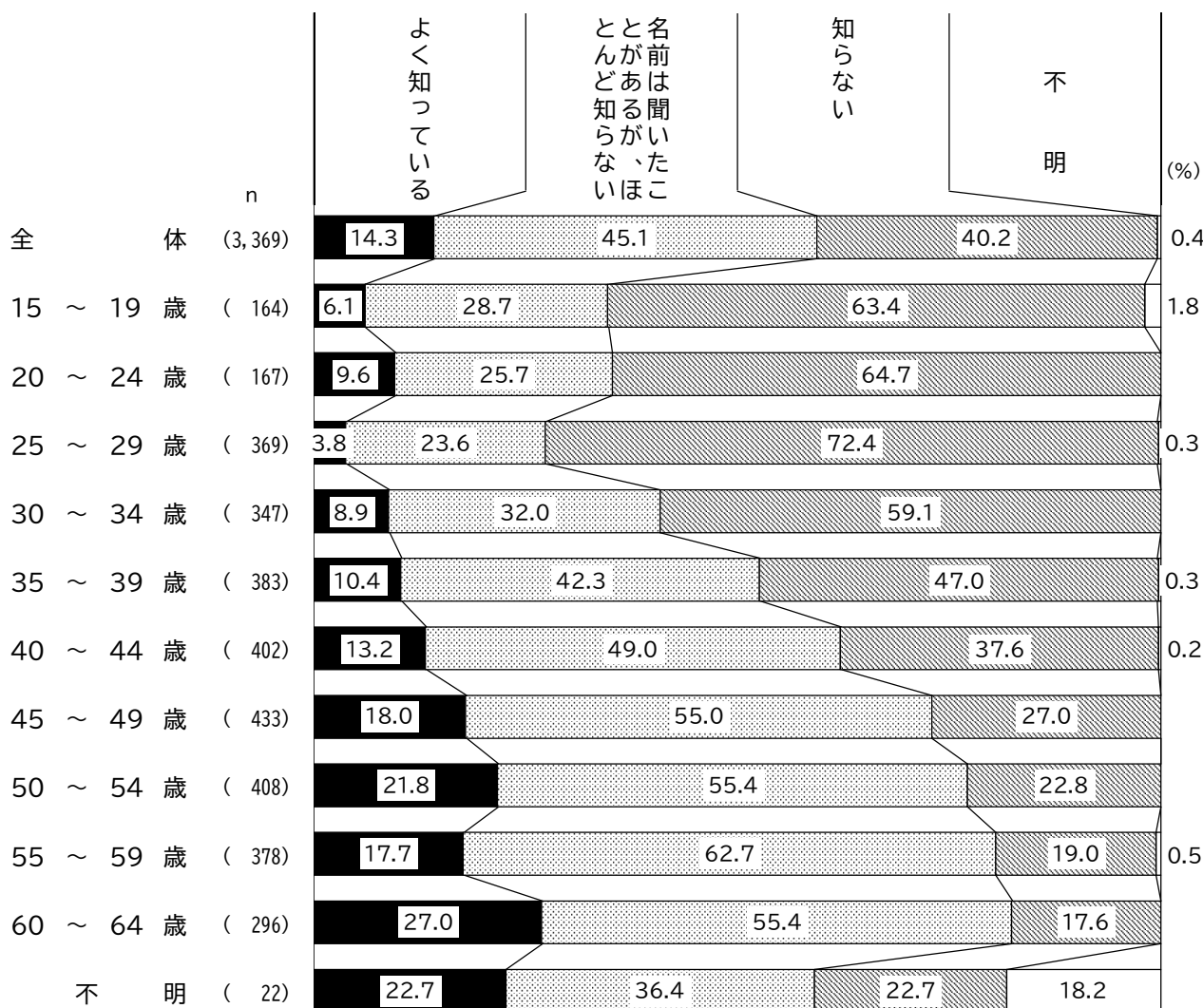
2.6.「民生委員・児童委員」の認知度

◆「民生委員・児童委員」の認知度は、「ほとんど知らない」「知らない」を合わせて8割半ば

問 38 あなたは、「民生委員・児童委員」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「民生委員・児童委員」の認知度(年齢別)



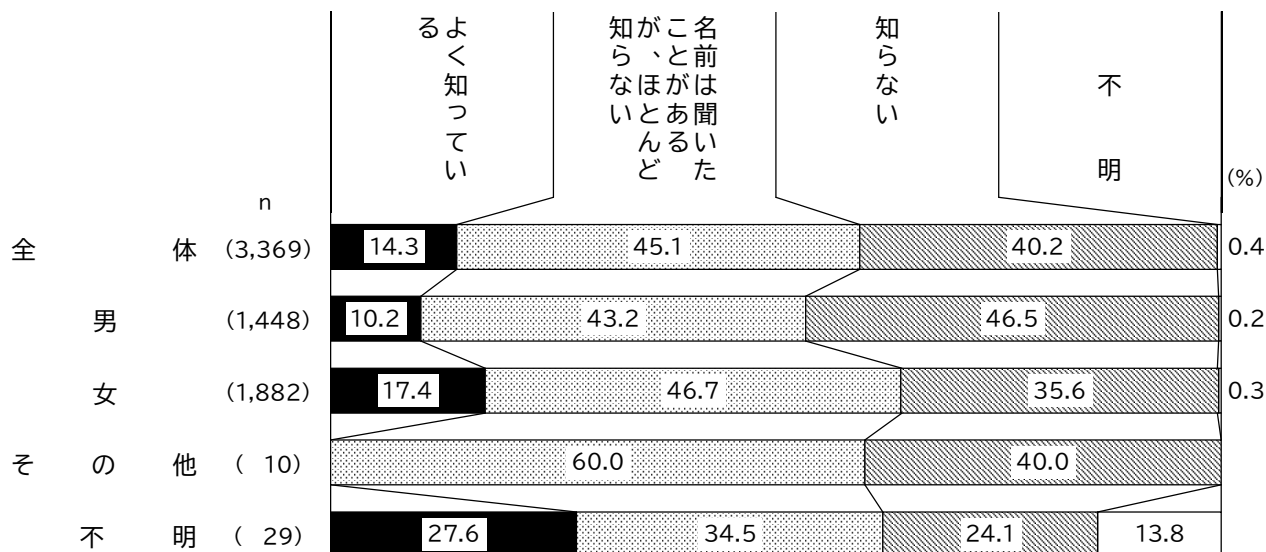
「民生委員・児童委員」の認知度は、「名前を聞いたことがあるが、ほとんど知らない」(45.1%)と「知らない」(40.2%)を合わせると85.3%、「よく知っている」が14.3%となっている。

年齢別にみると、「よく知っている」は「60～64歳」(27.0%)、「名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない」は「55～59歳」(62.7%)、「知らない」は「25～29歳」(72.4%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 38 あなたは、「民生委員・児童委員」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「民生委員・児童委員」の認知度(性別)

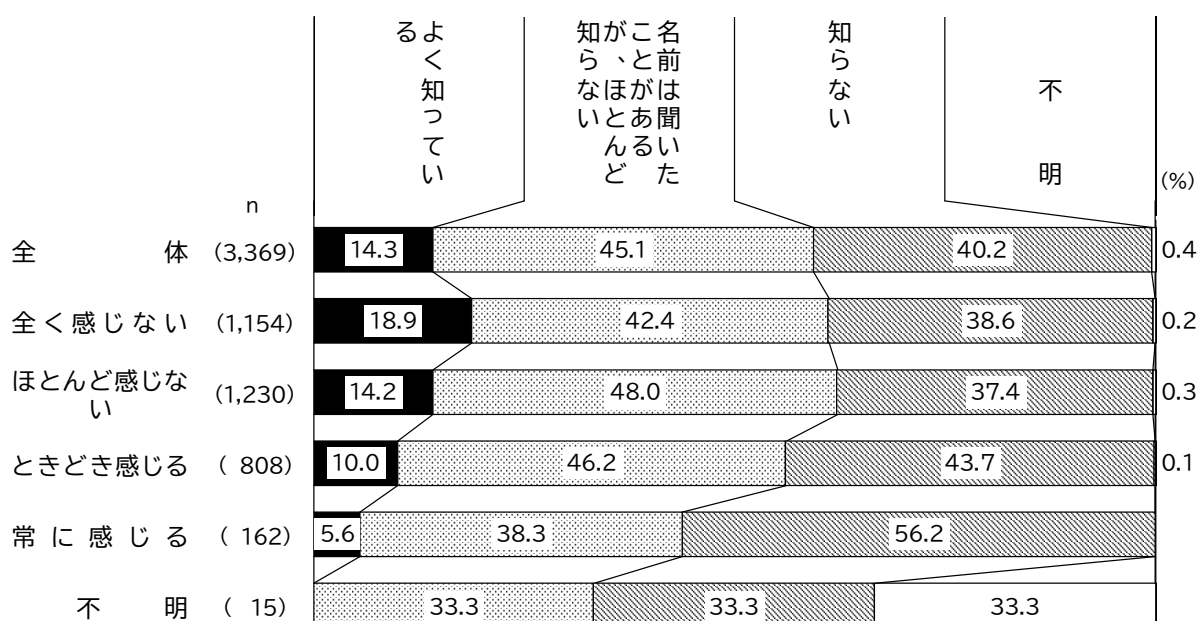


性別にみると、「知らない」と回答した割合は「男性」46.5%、「女性」35.6%で、「男性」の認知度が低い。

問 38 あなたは、「民生委員・児童委員」をご存じですか。(〇はひとつ)

・認知度

「民生委員・児童委員」の認知度(孤立を感じるか別)



孤立を感じるか別にみると、孤立を「常に感じる」人の 56.2%は「知らない」と回答している。

問 38 あなたは、「民生委員・児童委員」をご存じですか。(○はひとつ)

「民生委員・児童委員」の認知度(居住地別)

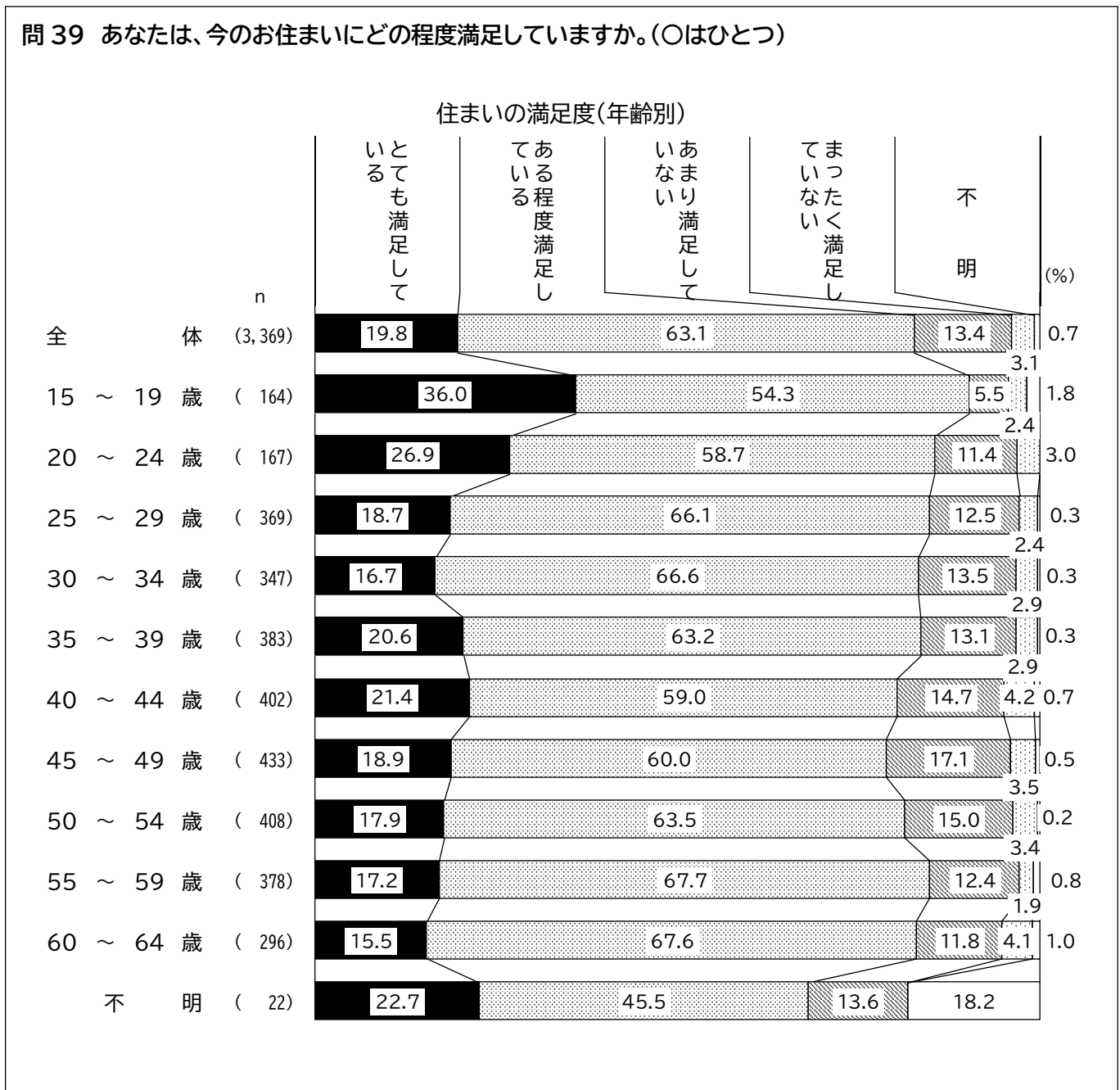
		全 体	よく知って いる	名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない	知らない	不 明
全 体		3369	483	1520	1354	12
		100.0	14.3	45.1	40.2	0.4
居住地	南台	198	26	82	90	0
		100.0	13.1	41.4	45.5	0.0
	弥生町	211	32	92	86	1
		100.0	15.2	43.6	40.8	0.5
	本町	332	43	149	139	1
		100.0	13.0	44.9	41.9	0.3
	中央	273	44	122	106	1
		100.0	16.1	44.7	38.8	0.4
	東中野	261	39	127	95	0
		100.0	14.9	48.7	36.4	0.0
	中野	308	36	139	132	1
		100.0	11.7	45.1	42.9	0.3
	上高田	184	25	87	72	0
		100.0	13.6	47.3	39.1	0.0
	新井	207	34	91	82	0
		100.0	16.4	44.0	39.6	0.0
	沼袋	136	18	55	62	1
		100.0	13.2	40.4	45.6	0.7
	松が丘	34	7	21	6	0
		100.0	20.6	61.8	17.6	0.0
	江原町	79	17	36	26	0
		100.0	21.5	45.6	32.9	0.0
	江古田	126	14	53	59	0
		100.0	11.1	42.1	46.8	0.0
	丸山	40	9	19	11	1
		100.0	22.5	47.5	27.5	2.5
	野方	193	34	81	76	2
		100.0	17.6	42.0	39.4	1.0
大和町	174	20	70	84	0	
	100.0	11.5	40.2	48.3	0.0	
若宮	122	15	64	43	0	
	100.0	12.3	52.5	35.2	0.0	
白鷺	125	26	52	47	0	
	100.0	20.8	41.6	37.6	0.0	
鷺宮	175	21	79	75	0	
	100.0	12.0	45.1	42.9	0.0	
上鷺宮	172	18	96	58	0	
	100.0	10.5	55.8	33.7	0.0	
不 明	19	5	5	5	4	
	100.0	26.3	26.3	26.3	21.1	

居住地別にみると、「名前は聞いたことがあるがほとんど知らない」は「松が丘」(61.8%)、「上鷺宮」(55.8%)、「若宮」(52.5%)で回答率が高く、「知らない」は「大和町」で 48.3%と高くなっている。

3. 住まいや地域のことについて

3.1. 住まいの満足度

◆ 住まいの満足度は、「満足している」が 8 割強

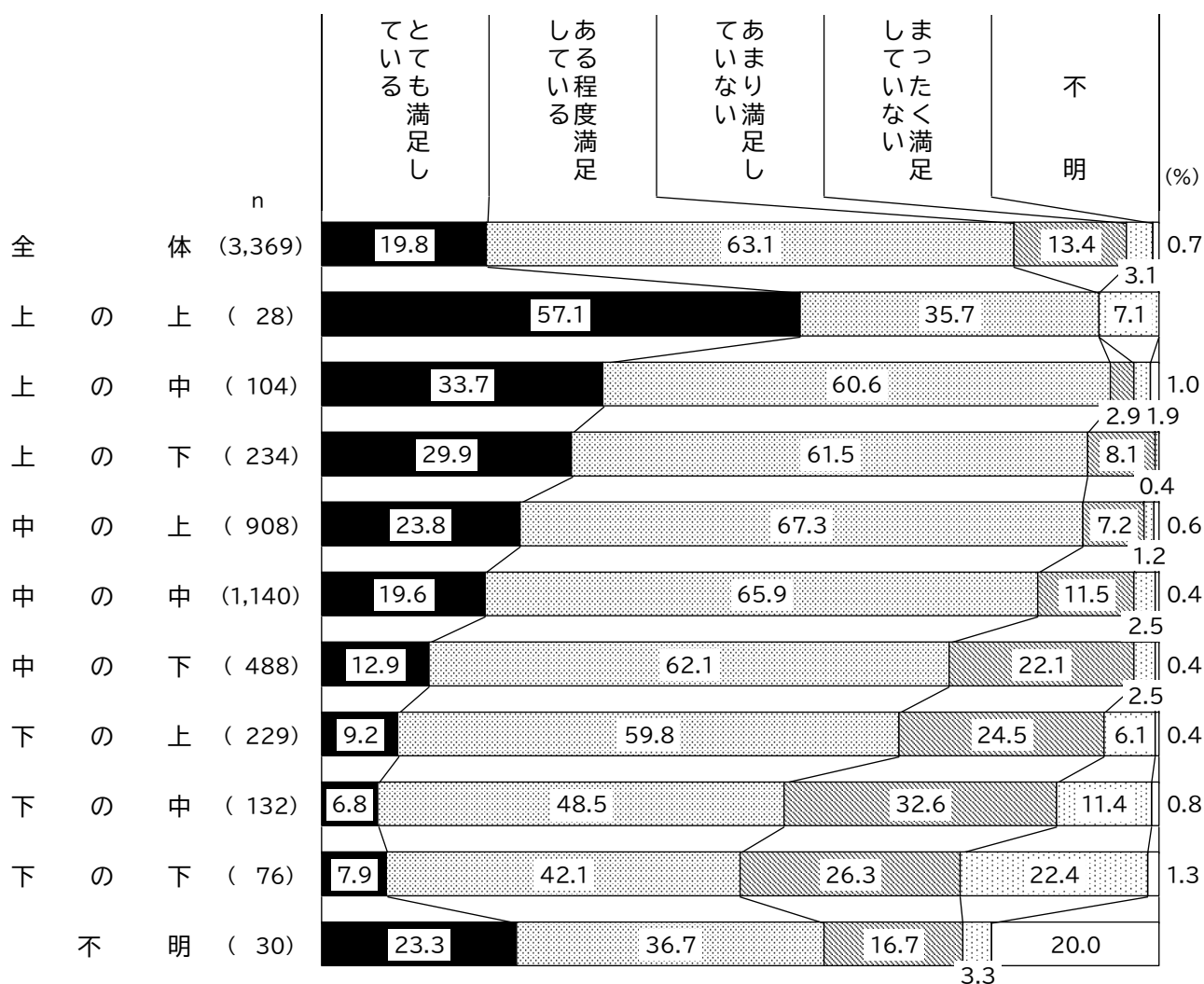


住まいの満足度は、「とても満足している」(19.8%)と「ある程度満足している」(63.1%)を合わせた<満足している>が 82.9%、「あまり満足していない」(13.4%)と「まったく満足していない」(3.1%)を合わせた<満足していない>が 16.5%となっている。

年齢別にみると、「とても満足している」は「15～19歳」(36.0%)、「ある程度満足している」は「55～59歳」(67.7%)、「あまり満足していない」は「45～49歳」(17.1%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 39 あなたは、今のお住まいにどの程度満足していますか。(〇はひとつ)

住まいの満足度 (生活水準別)



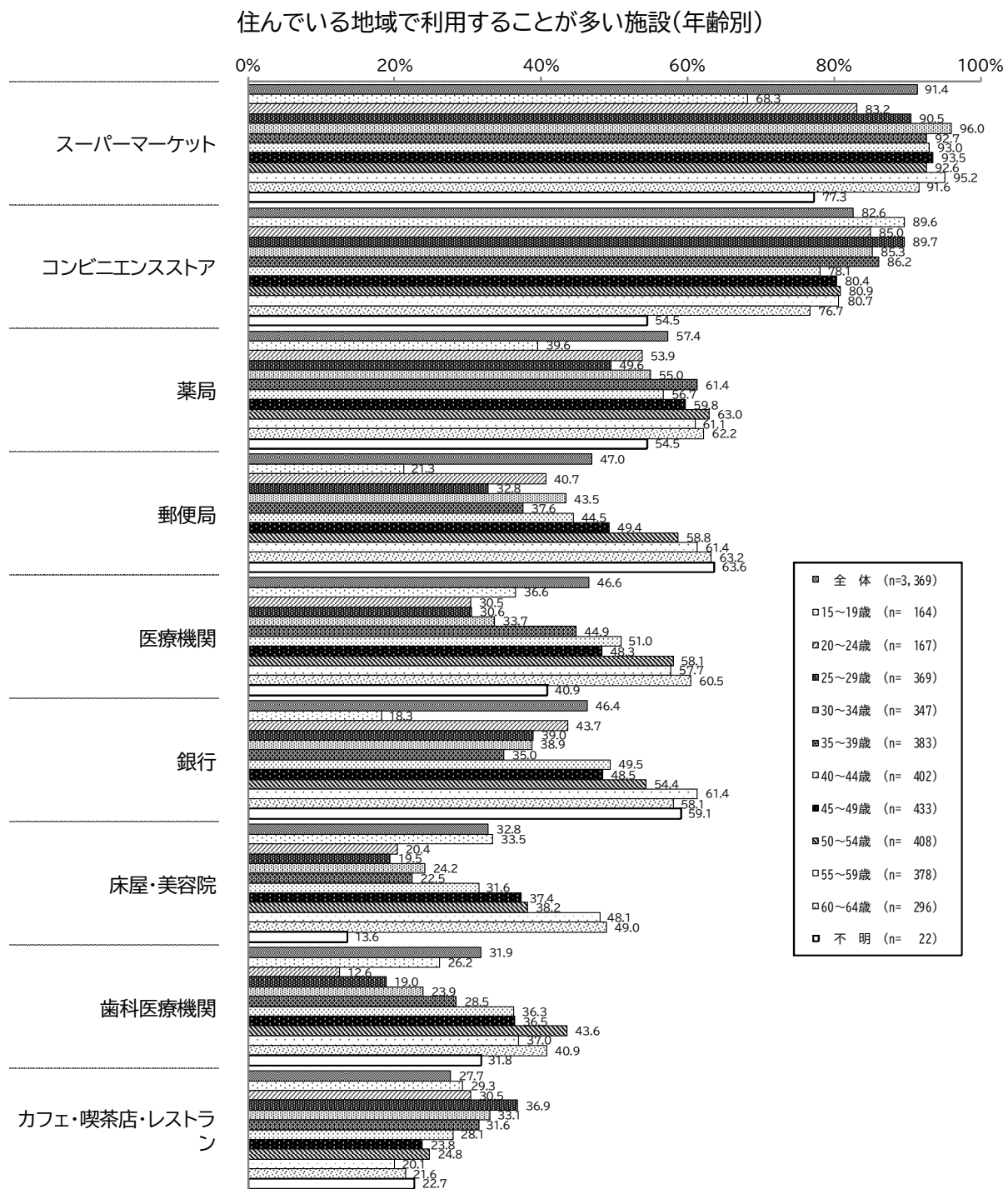
生活水準別にみると、「とても満足している」は「上の上」で57.1%、「ある程度満足している」は「中の上」で67.3%、「あまり満足していない」は「下の中」で32.6%と最も回答率が高くなっている。

3.2.住んでいる地域で利用することが多い施設

◆住んでいる地域で利用することが多い施設は、「スーパーマーケット」が9割強

問 40 お住まいの地域で利用することが多いものすべてに○をお付けください。

(あてはまるもの全てに○)

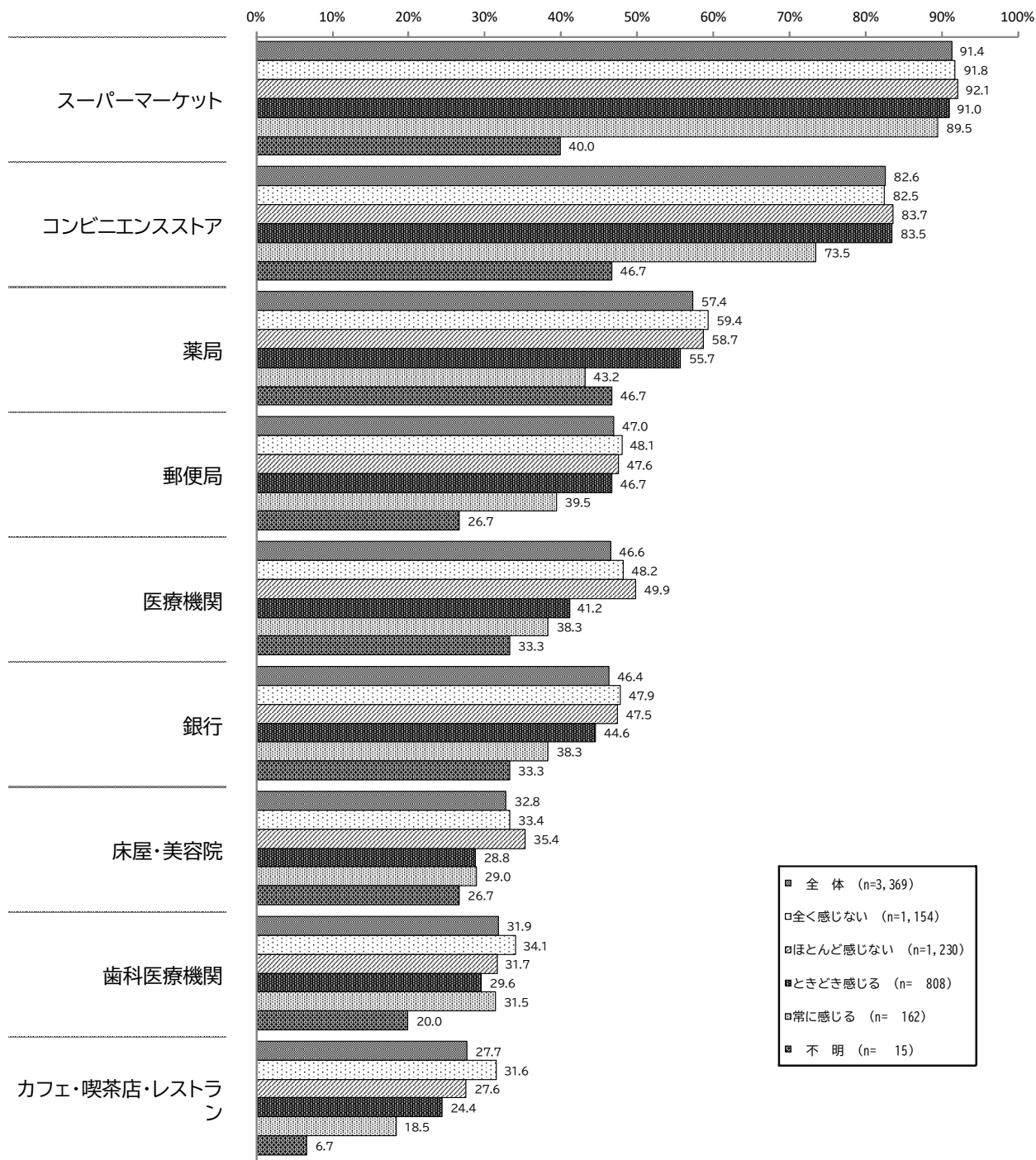


住んでいる地域で利用することが多い施設は、「スーパーマーケット」(91.4%)が最も高く、次いで、「コンビニエンスストア」(82.6%)、「薬局」(57.4%)となっている。

年齢別にみると、「スーパーマーケット」は「30~34歳」(96.0%)、「コンビニエンスストア」は「25~29歳」(89.7%)、「郵便局」は「60~64歳」(63.6%)で、最も回答率が高い。

問 40 お住まいの地域で利用することが多いものすべてに○をお付けください。
 (あてはまるもの全てに○)

住んでいる地域で利用することが多い施設(孤立を感じるか別)

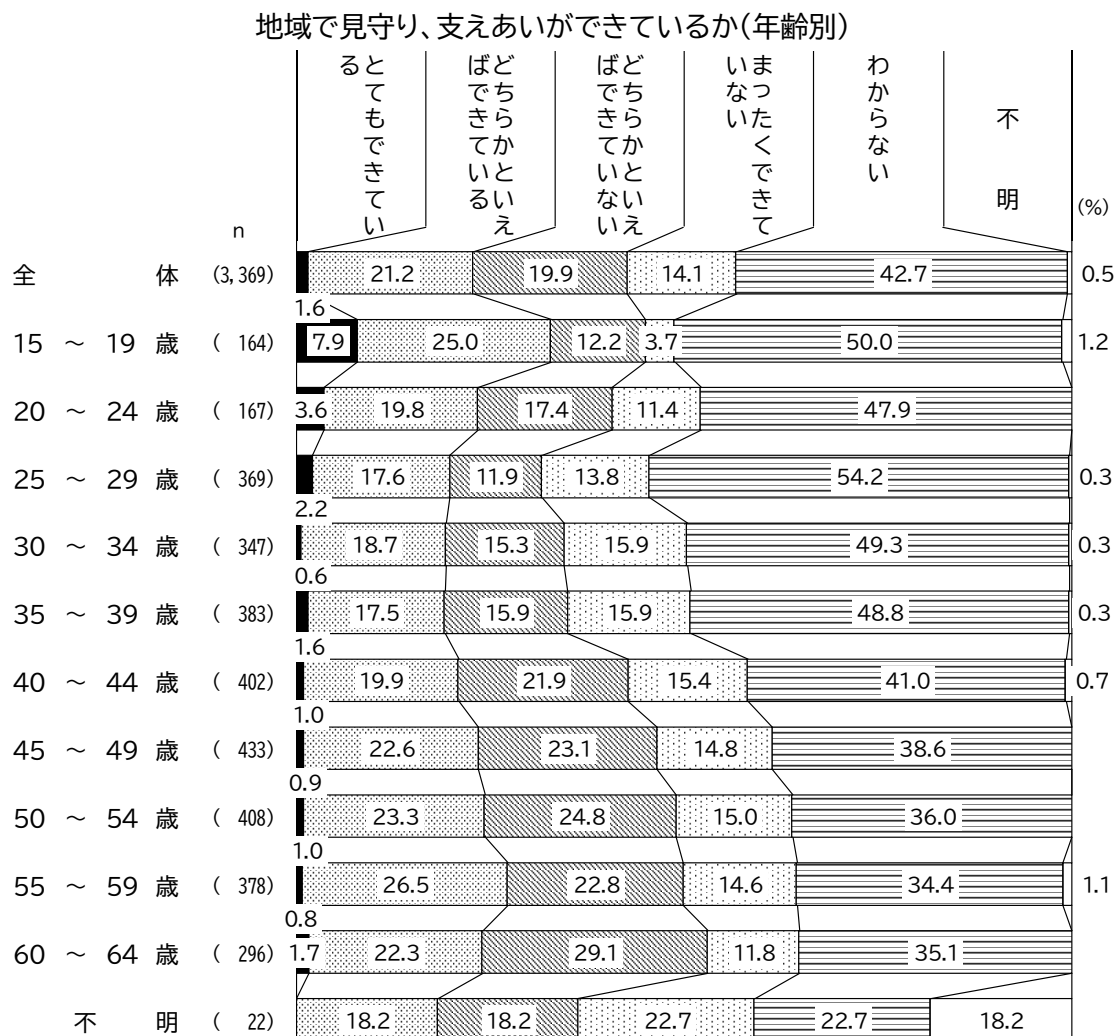


孤立を感じるか別にみると、孤立を「常を感じる」人の回答率が相対的に低いのは「コンビニエンスストア」(73.5%)、「薬局」(43.2%)、「医療機関」(38.3%)、「銀行」(38.3%)、「カフェ・喫茶店・レストラン」(18.5%)である。逆に「スーパーマーケット」は 89.5%と高い回答率を示している。

3.3.地域で見守り、支えあいができているか

◆地域で見守り、支えあいができているかは「どちらかといえばできている」が2割強

問 41 お住まいの地域では、住民同士の見守りや支えあいができていると思いますか。(〇はひとつ)

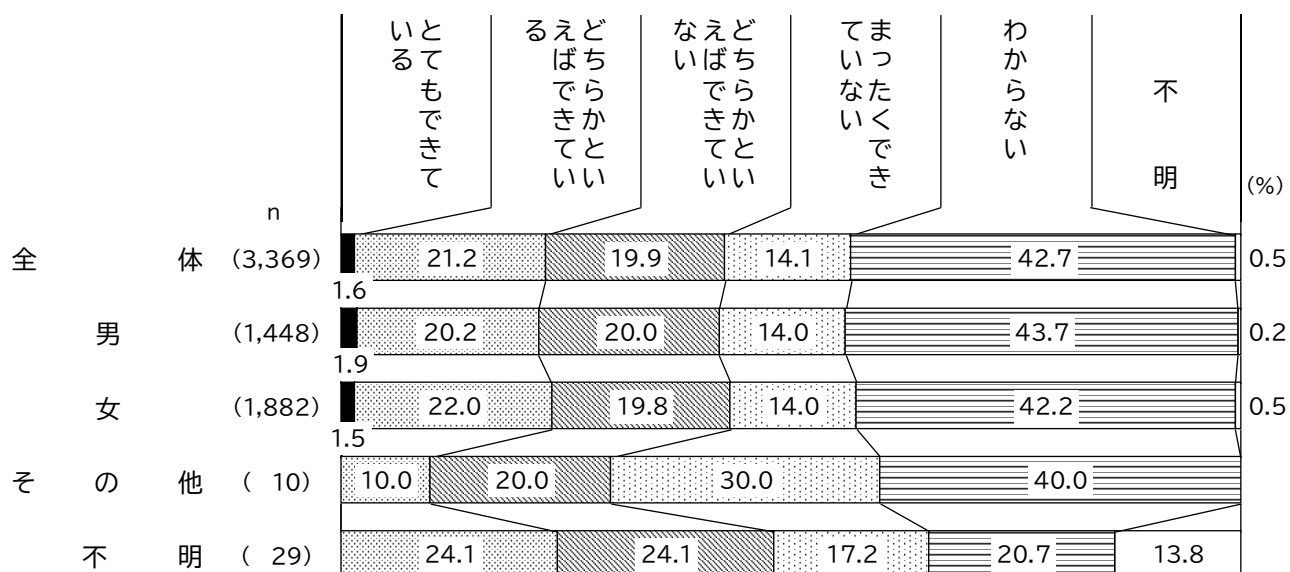


地域で見守り、支えあいができているかは、「どちらかといえばできている」(21.2%)が最も高く、次いで、「どちらかといえばできていない」(19.9%)、「まったくできていない」(14.1%)となっている。一方、「わからない」は42.7%となっている。

年齢別にみると、「どちらかといえばできている」と回答した割合は「55～59歳」で26.5%と高くなっている。一方、「わからない」と回答した割合は「25～29歳」で54.2%と高い。

問 41 お住まいの地域では、住民同士の見守りや支えあいができると思いますか。(〇はひとつ)

地域で見守り、支えあいができるか(性別)



地域で見守り、支えあいができるかについては、性別で大きな差はみられない。

問 41 お住まいの地域では、住民同士の見守りや支えあいができていますか。(〇はひとつ)

地域で見守り、支えあいができていますか(居住地別)

		全 体	とてもでき ている	どちらかとい えばでき ている	どちらかとい えばでき ていない	まったくで きていない	わからない	不 明
全 体		3369	55	714	672	474	1438	16
		100.0	1.6	21.2	19.9	14.1	42.7	0.5
居住地	南台	198	3	46	43	24	82	0
		100.0	1.5	23.2	21.7	12.1	41.4	0.0
	弥生町	211	4	28	45	38	95	1
		100.0	1.9	13.3	21.3	18.0	45.0	0.5
	本町	332	7	53	61	50	160	1
		100.0	2.1	16.0	18.4	15.1	48.2	0.3
	中央	273	2	54	54	44	116	3
		100.0	0.7	19.8	19.8	16.1	42.5	1.1
	東中野	261	9	54	43	45	109	1
		100.0	3.4	20.7	16.5	17.2	41.8	0.4
	中野	308	5	71	61	48	121	2
		100.0	1.6	23.1	19.8	15.6	39.3	0.6
	上高田	184	3	43	31	28	79	0
		100.0	1.6	23.4	16.8	15.2	42.9	0.0
	新井	207	2	46	38	28	93	0
		100.0	1.0	22.2	18.4	13.5	44.9	0.0
	沼袋	136	3	27	22	20	63	1
		100.0	2.2	19.9	16.2	14.7	46.3	0.7
	松が丘	34	0	9	6	6	13	0
		100.0	0.0	26.5	17.6	17.6	38.2	0.0
	江原町	79	0	18	21	9	31	0
		100.0	0.0	22.8	26.6	11.4	39.2	0.0
	江古田	126	2	35	23	17	49	0
		100.0	1.6	27.8	18.3	13.5	38.9	0.0
	丸山	40	0	8	9	5	17	1
		100.0	0.0	20.0	22.5	12.5	42.5	2.5
	野方	193	5	43	42	19	83	1
		100.0	2.6	22.3	21.8	9.8	43.0	0.5
大和町	174	0	36	35	29	73	1	
	100.0	0.0	20.7	20.1	16.7	42.0	0.6	
若宮	122	1	21	25	14	61	0	
	100.0	0.8	17.2	20.5	11.5	50.0	0.0	
白鷺	125	4	34	22	15	50	0	
	100.0	3.2	27.2	17.6	12.0	40.0	0.0	
鷺宮	175	1	38	42	21	73	0	
	100.0	0.6	21.7	24.0	12.0	41.7	0.0	
上鷺宮	172	3	48	42	14	65	0	
	100.0	1.7	27.9	24.4	8.1	37.8	0.0	
不 明	19	1	2	7	0	5	4	
	100.0	5.3	10.5	36.8	0.0	26.3	21.1	

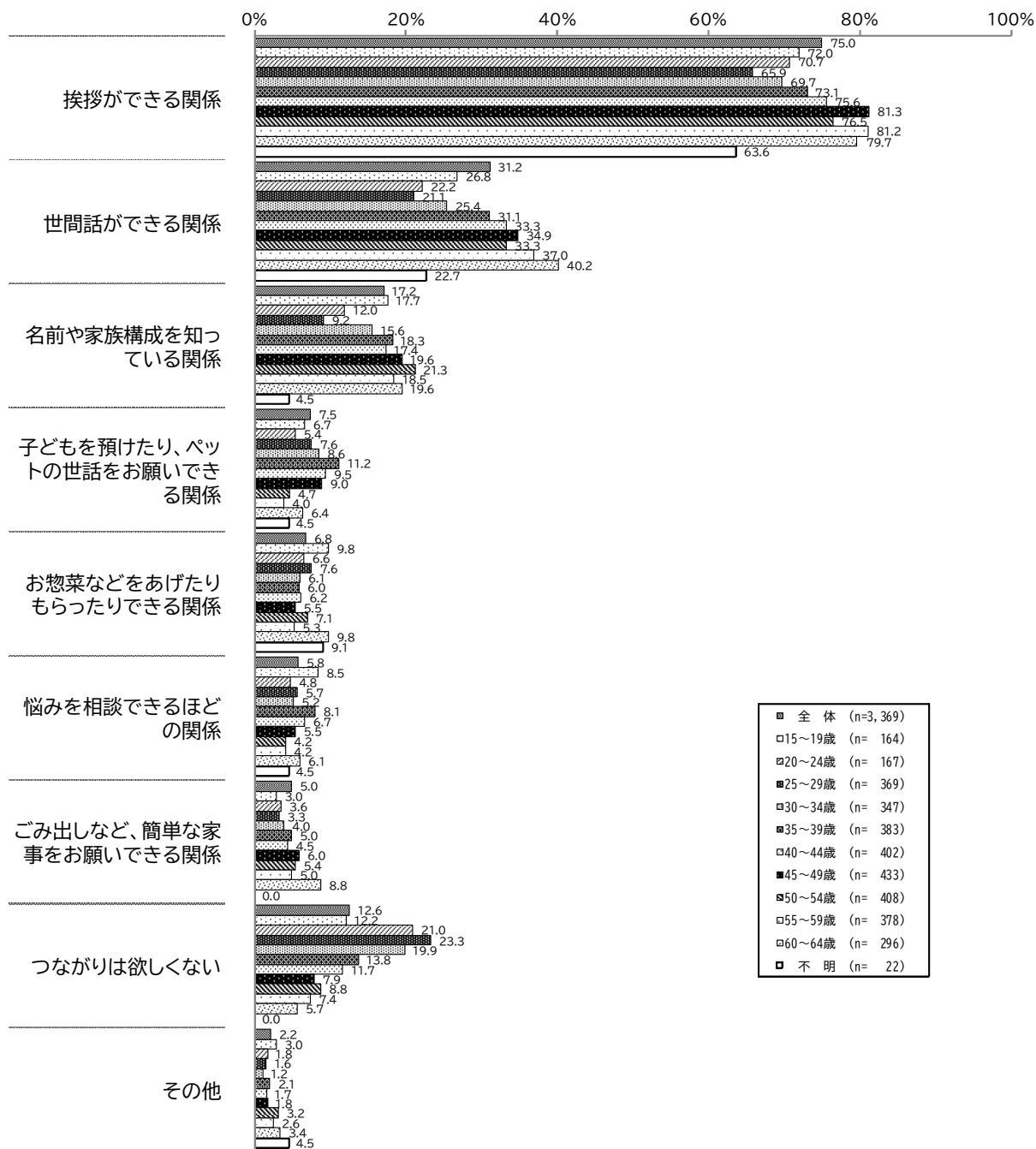
居住地別にみると、「どちらかといえばできている」は「上鷺宮」(27.9%)、「江古田」(27.8%)、「白鷺」(27.2%)で回答率が高い。「どちらかといえばできていない」は「江原町」(26.6%)、「上鷺宮」(24.4%)、「鷺宮」(24.0%)で回答率が高い。

3.4.地域での人とのつながり方

◆地域の人とのつながり方は、「挨拶ができる関係」が7割半ば

問 42 あなたは、お住まいの地域でどのような人とのつながりを望んでいますか。
(あてはまるもの全てに○)

地域での人とのつながり方(年齢別)

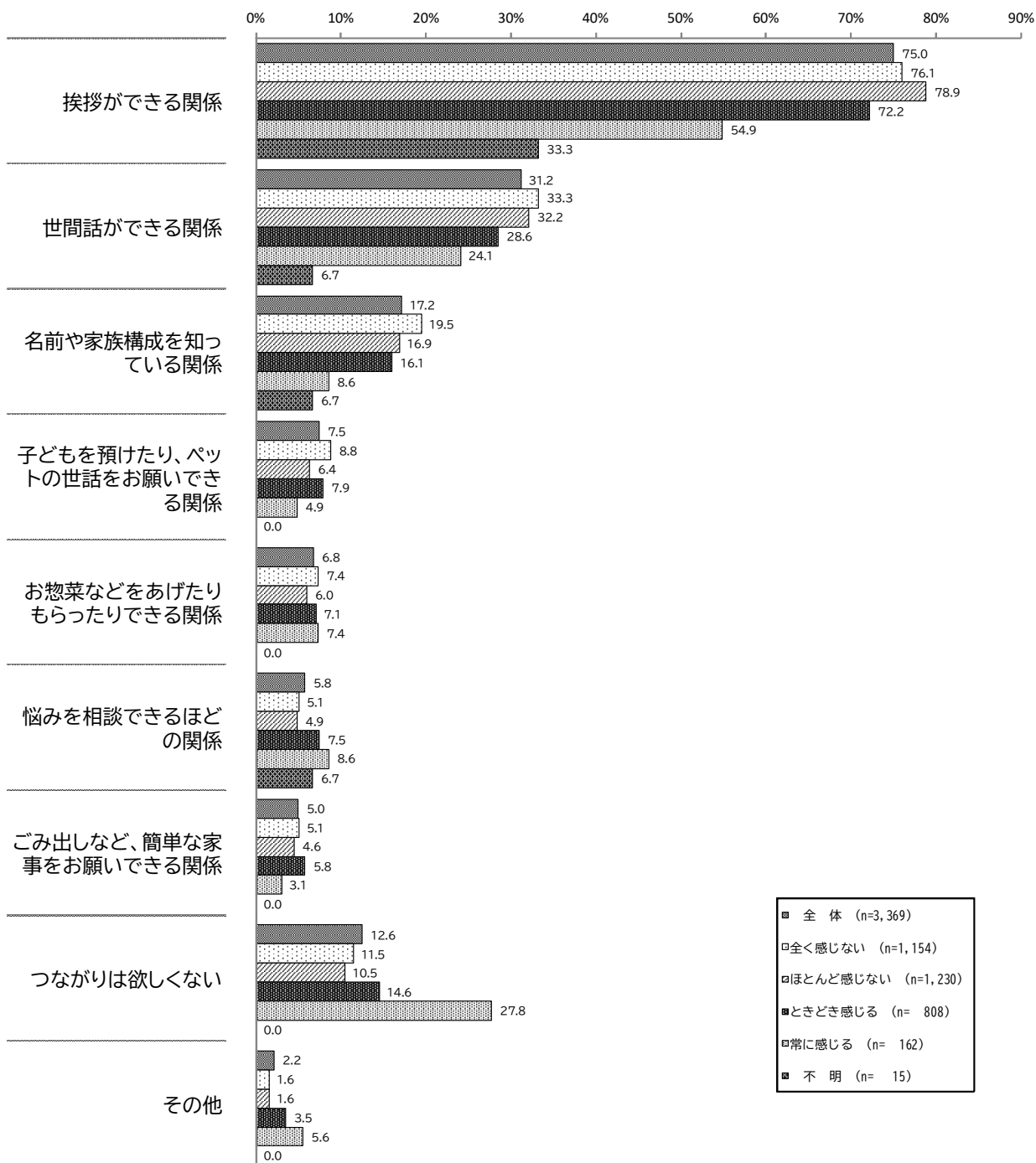


地域での人とのつながり方は、「挨拶ができる関係」(75.0%)が最も高く、次いで、「世間話ができる関係」(31.2%)、「名前や家族構成を知っている関係」(17.2%)となっている。

年齢別にみると、「挨拶ができる関係」は「45~49歳」(81.3%)、「世間話ができる関係」は「60~64歳」(40.2%)、「つながりは欲しくない」は「25~29歳」(23.3%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 42 あなたは、お住まいの地域でどのような人とのつながりを望んでいますか。
(あてはまるもの全てに○)

地域での人とのつながり方(孤立を感じるか別)



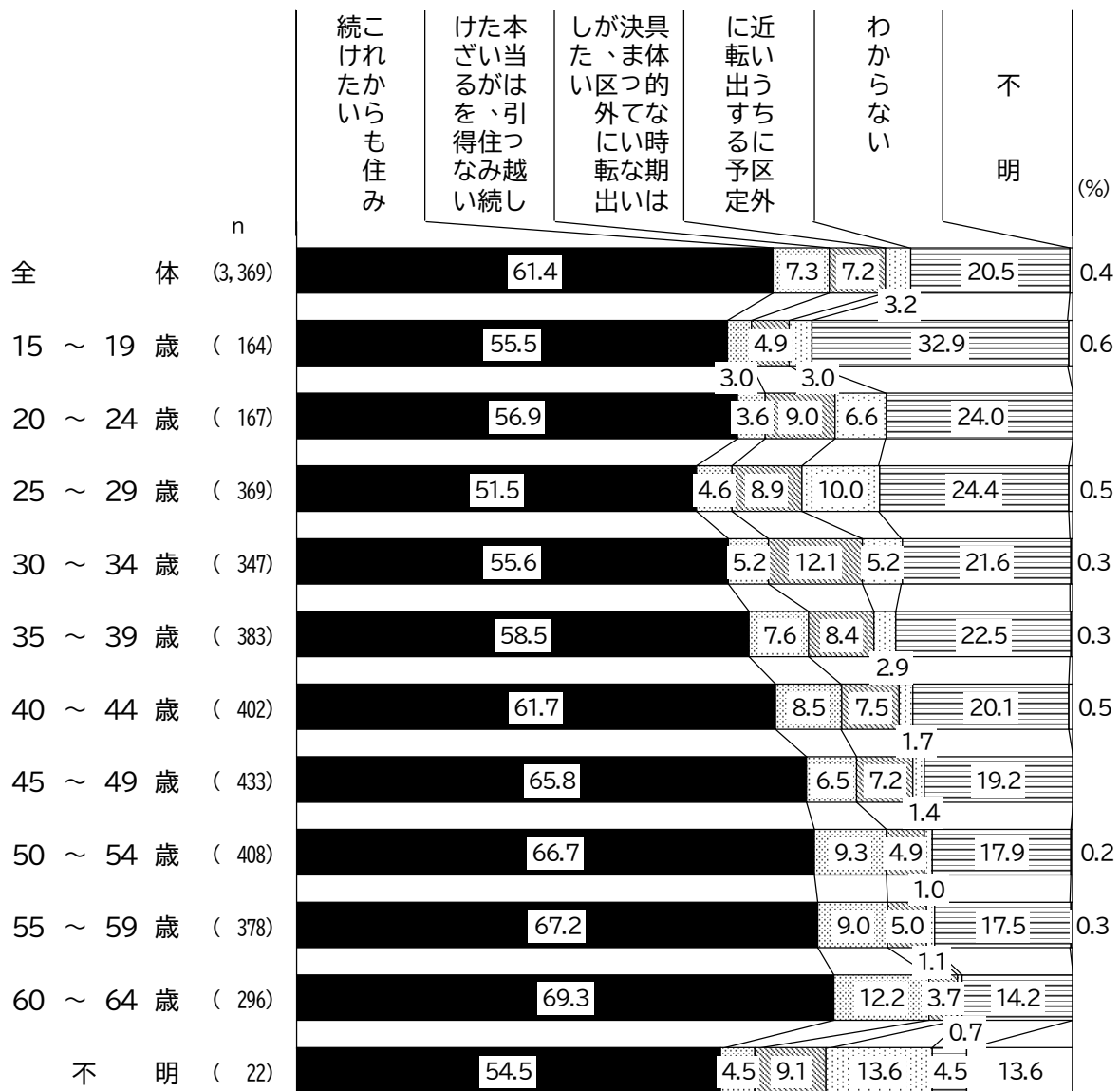
孤立を感じるか別にみると、「挨拶ができる関係」の回答率が最も高いのは孤立を「ほとんど感じない」で78.9%、「世間話ができる関係」の回答率が最も高いのは孤立を「全く感じない」で33.3%となっている。一方、「つながりは欲しくない」の回答率が最も高いのは孤立を「常に感じる」で27.8%となっている。

3.5. 今後も中野区に住みたいと思うか

◆今後も中野区に住みたいと思うかは、「これからも住み続けたい」が6割強

問 43 あなたは、今後も引き続き中野区にお住まいになりたいと考えていますか。(○はひとつ)

今後も中野区に住みたいと思うか(年齢別)

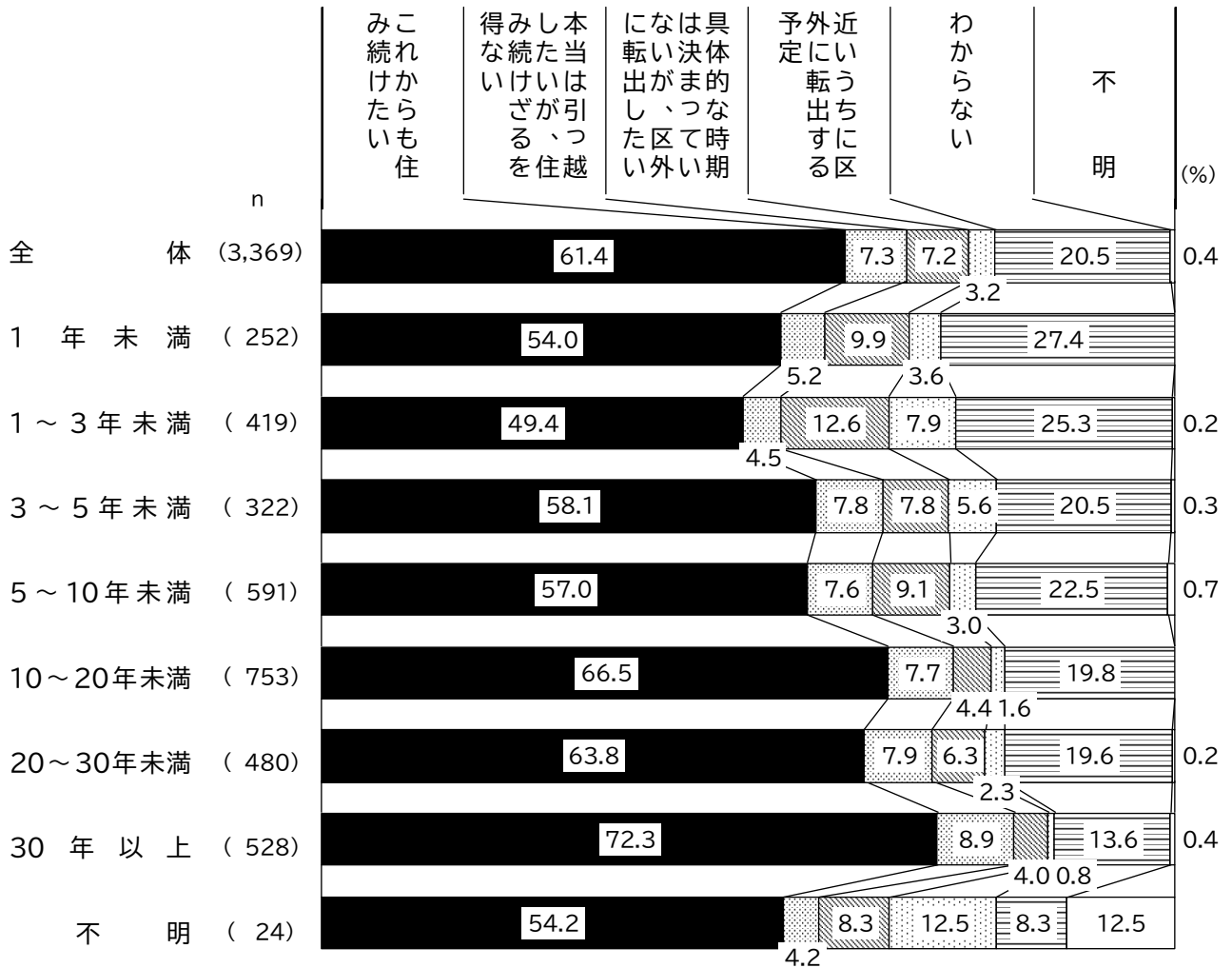


今後も中野区に住みたいと思うかは、「これからも住み続けたい」(61.4%)が最も高く、次いで、「本当は引っ越したいが、住み続けざるを得ない」(7.3%)、「具体的な時期は決まっていないが、区外に転出したい」(7.2%)となっている。

年齢別にみると、「これからも住み続けたい」の回答率が最も高いのは「60~64歳」で69.3%である。また、「本当は引っ越したいが、住み続けざるを得ない」についても回答率が最も高いのは「60~64歳」の12.2%である。一方、「わからない」は「15~19歳」で32.9%と最も高い割合を示している。

問 43 あなたは、今後も引き続き中野区にお住まいになりたいと考えていますか。(〇はひとつ)

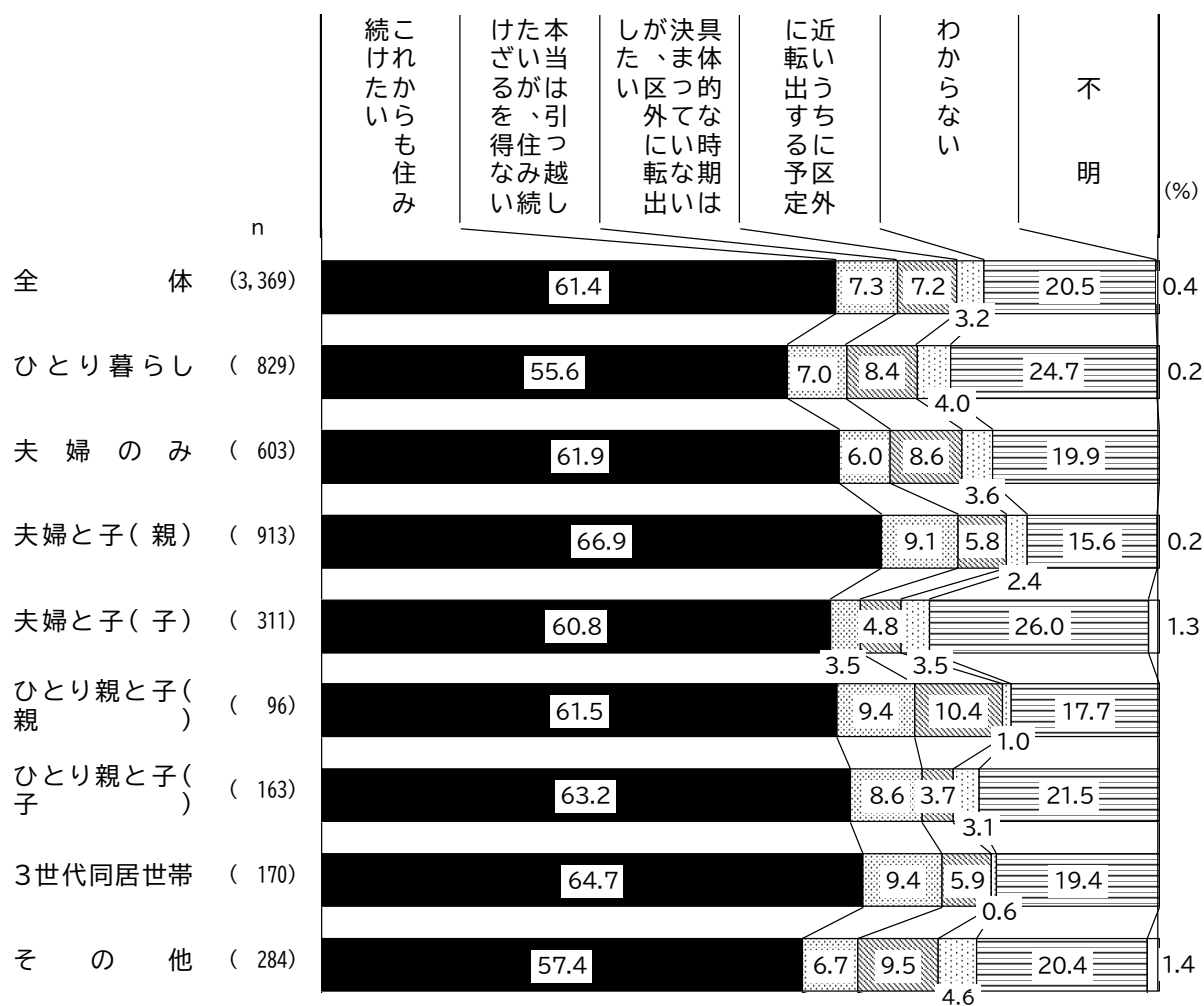
今後も中野区に住みたいと思うか(居住年数別)



居住年数別にみると、「これからも住み続けたい」の回答率が最も高いのは「30年以上」で72.3%であり、逆に最も低いのは「1～3年未満」で49.4%となっている。

問 43 あなたは、今後も引き続き中野区にお住まいになりたいと考えていますか。(○はひとつ)

今後も中野区に住みたいと思うか(家族類型別)



家族類型別にみると、「これからも住み続けたい」と回答した割合が最も高いのは「夫婦と子(親)」(自分が親)で66.9%である。「本当は引っ越したいが、住み続けざるを得ない」と回答した割合が最も高いのは「ひとり親と子(親)」(自分が親)と「3世代同居世帯」でともに9.4%となっている。「具体的な時期は決まっていないが、区外に転出したい」は「ひとり親と子(親)」で10.4%と最も高い割合を示している。

問 43 あなたは、今後も引き続き中野区にお住まいになりたいと考えていますか。(○はひとつ)

今後も中野区に住みたいと思うか(居住地別)

		全 体	これからも 住み続けたい	本当は引っ 越したい が、住み続 けざるを得 ない	具体的な時 期は決まっ ていない が、区外に 転出したい	近いうちに 区外に転出 する予定	わからない	不 明
全 体		3369	2069	246	243	108	691	12
		100.0	61.4	7.3	7.2	3.2	20.5	0.4
居住地	南台	198	130	16	10	8	34	0
		100.0	65.7	8.1	5.1	4.0	17.2	0.0
	弥生町	211	130	16	14	9	42	0
		100.0	61.6	7.6	6.6	4.3	19.9	0.0
	本町	332	186	29	25	13	78	1
		100.0	56.0	8.7	7.5	3.9	23.5	0.3
	中央	273	170	17	22	10	51	3
		100.0	62.3	6.2	8.1	3.7	18.7	1.1
	東中野	261	163	17	25	9	45	2
		100.0	62.5	6.5	9.6	3.4	17.2	0.8
	中野	308	202	14	29	13	50	0
		100.0	65.6	4.5	9.4	4.2	16.2	0.0
	上高田	184	122	11	11	6	34	0
		100.0	66.3	6.0	6.0	3.3	18.5	0.0
	新井	207	137	15	14	5	36	0
		100.0	66.2	7.2	6.8	2.4	17.4	0.0
	沼袋	136	79	21	6	1	29	0
		100.0	58.1	15.4	4.4	0.7	21.3	0.0
	松が丘	34	18	2	2	3	9	0
		100.0	52.9	5.9	5.9	8.8	26.5	0.0
	江原町	79	51	4	4	2	18	0
		100.0	64.6	5.1	5.1	2.5	22.8	0.0
	江古田	126	78	11	11	3	23	0
		100.0	61.9	8.7	8.7	2.4	18.3	0.0
	丸山	40	30	0	3	0	7	0
		100.0	75.0	0.0	7.5	0.0	17.5	0.0
	野方	193	129	10	13	9	32	0
		100.0	66.8	5.2	6.7	4.7	16.6	0.0
大和町	174	97	14	13	4	46	0	
	100.0	55.7	8.0	7.5	2.3	26.4	0.0	
若宮	122	66	13	11	2	30	0	
	100.0	54.1	10.7	9.0	1.6	24.6	0.0	
白鷺	125	73	12	3	2	35	0	
	100.0	58.4	9.6	2.4	1.6	28.0	0.0	
鷺宮	175	99	15	15	4	41	1	
	100.0	56.6	8.6	8.6	2.3	23.4	0.6	
上鷺宮	172	100	8	12	5	47	0	
	100.0	58.1	4.7	7.0	2.9	27.3	0.0	
不 明	19	9	1	0	0	4	5	
	100.0	47.4	5.3	0.0	0.0	21.1	26.3	

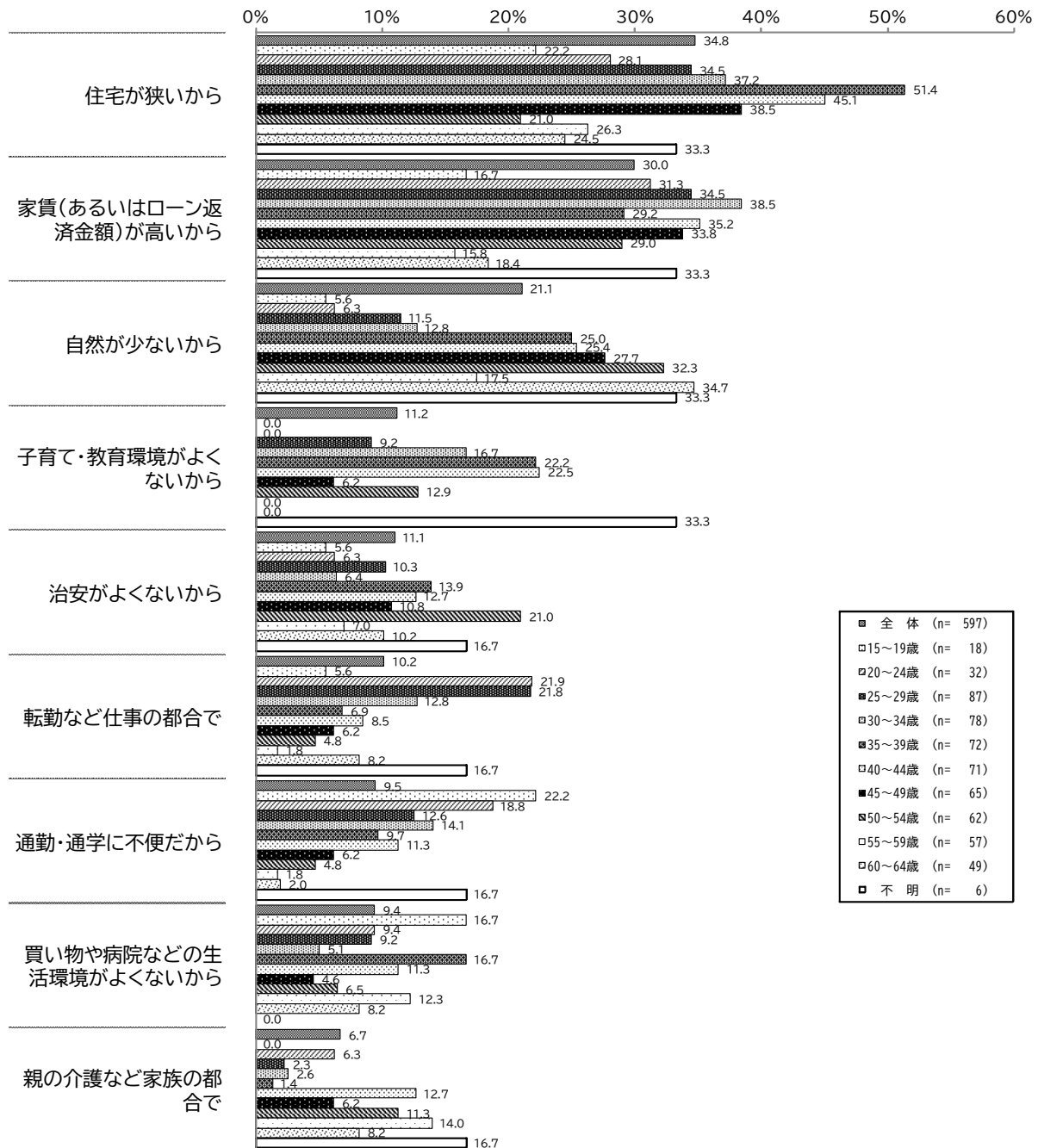
居住地別にみると、「これからも住み続けたい」は「丸山」(75.0%)、「野方」(66.8%)、「上高田」(66.3%)で回答率が高くなっている。

3.5.1.中野区から転出したい理由

◆中野区から転出したい理由は、「住宅が狭いから」が3割半ば近く

問 43-1 「2. 本当は引っ越したいが、住み続けざるを得ない」「3. 転出したい」「4. 転出する予定」と答えた方におたずねします。中野区から転出する(したい)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

中野区から転出したい理由(年齢別)



中野区から転出したい理由は、「住宅が狭いから」(34.8%)が最も高く、次いで、「家賃(あるいはローン返済金額)が高いから」(30.0%)、「自然が少ないから」(21.1%)となっている。

年齢別にみると、「家賃(あるいはローン返済金額)が高いから」は「30~34歳」(38.5%)、「住宅が狭いから」は「35~39歳」(51.4%)で、それぞれ最も回答率が高い。

4. 地域での活動や居場所について

4.1. 地域のために生かせる知識やスキル

◆10～40 代男性、30～40 代女性は「パソコン・IT」、50～60 代男性は「専門的」、10～20 代女性は「芸術系」、50～60 代女性は「保育・子育て」で高い回答率

問 44 あなたは、ご自分の持つ知識やスキル、経験などで、地域のために生かせると思うものはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

地域のために生かせる知識やスキル(性別×年代別)

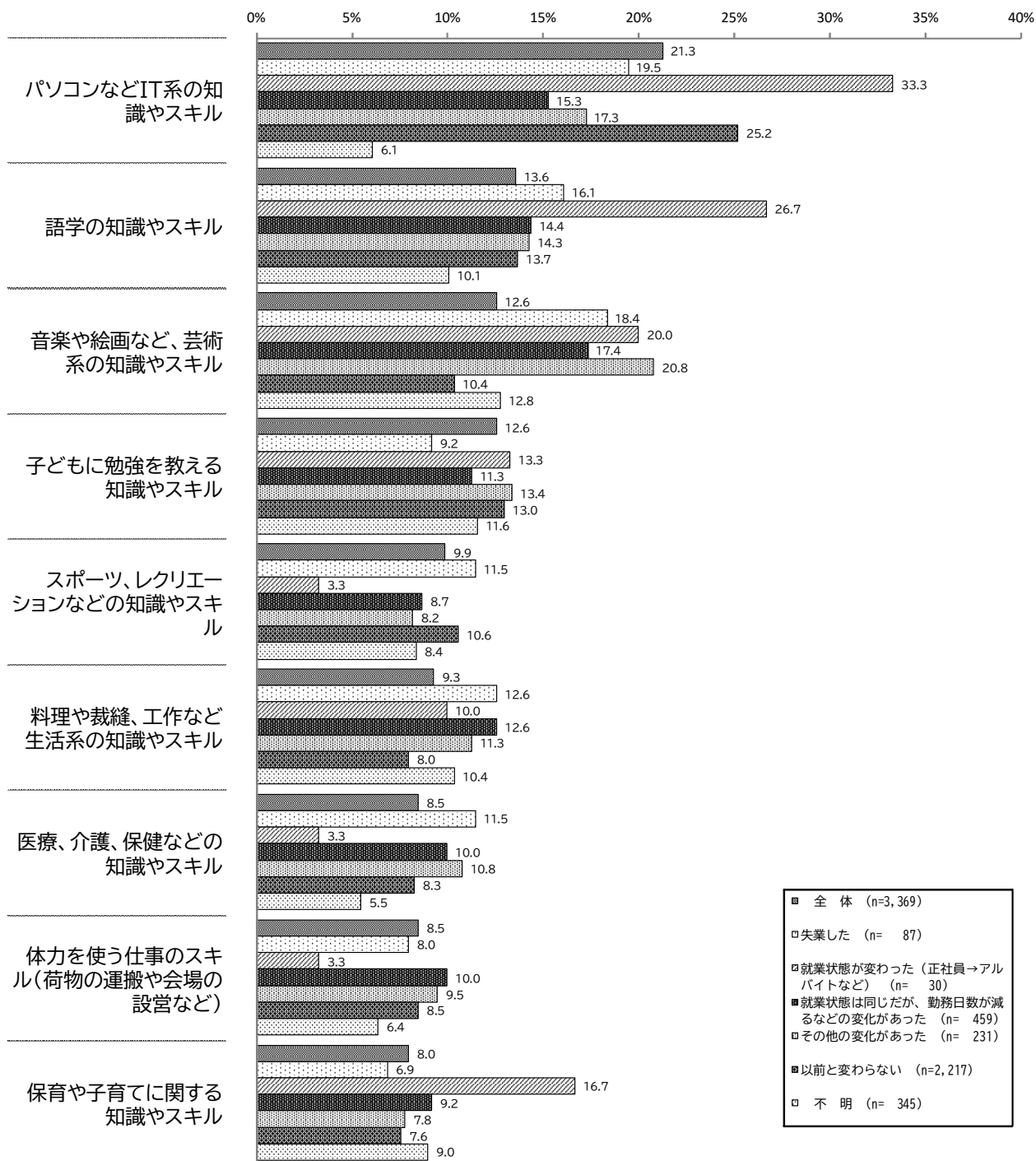
		合計	語学の知識やスキル	パソコンやIT系の知識	法律や会計など、専門的	音楽や絵画など、芸術系	料理や裁縫、工作など生活系の知識やスキル	保育や子育てに関する知識やスキル	子どもに勉強を教える知識やスキル	園芸や農業などの知識やスキル	スポーツ、レクリエーションなどの知識やスキル	医療、介護、保健などの知識やスキル	営(荷物を使う仕事のスキルなど)	その他の知識やスキル
全 体	n	3,369	457	713	181	421	305	266	422	39	330	284	285	177
	%	100.0	13.6	21.2	5.4	12.5	9.1	7.9	12.5	1.2	9.8	8.4	8.5	5.3
男性15～29歳	n	310	59	82	19	38	16	10	55	2	57	25	56	7
	%	100.0	19.0	26.5	6.1	12.3	5.2	3.2	17.7	0.6	18.4	8.1	18.1	2.3
男性30～49歳	n	671	80	236	51	77	34	27	89	8	103	33	93	33
	%	100.0	11.9	35.2	7.6	11.5	5.1	4.0	13.3	1.2	15.4	4.9	13.9	4.9
男性50～64歳	n	466	62	95	48	48	30	5	49	10	65	25	58	31
	%	100.0	13.3	20.4	10.3	10.3	6.4	1.1	10.5	2.1	13.9	5.4	12.4	6.7
女性15～29歳	n	386	62	72	4	77	41	27	62	2	30	37	23	13
	%	100.0	16.1	18.7	1.0	19.9	10.6	7.0	16.1	0.5	7.8	9.6	6.0	3.4
女性30～49歳	n	886	126	171	38	118	105	106	101	7	47	99	33	52
	%	100.0	14.2	19.3	4.3	13.3	11.9	12.0	11.4	0.8	5.3	11.2	3.7	5.9
女性50～64歳	n	609	65	54	18	60	77	91	64	10	28	64	20	40
	%	100.0	10.7	8.9	3.0	9.9	12.6	14.9	10.5	1.6	4.6	10.5	3.3	6.6
性別その他	n	10	3	3	3	3	2	0	2	0	0	1	2	1
	%	100.0	30.0	30.0	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0
不 明	n	31	2	4	1	3	7	4	2	0	4	1	1	0
	%	100.0	6.5	12.9	3.2	9.7	22.6	12.9	6.5	0.0	12.9	3.2	3.2	0.0

性別に特徴がみられる知識やスキルは、「パソコンやIT系の知識やスキル」「法律や会計など、専門的な知識やスキル」「スポーツ、レクリエーションなどの知識やスキル」「体力を使う仕事のスキル」では男性が比較的多く、「料理や裁縫、工作など生活系の知識やスキル」「保育や子育てに関する知識やスキル」「医療、介護、保健などの知識やスキル」では女性が比較的多い傾向がみられる。

このほか、性別・年齢別に特徴的なのは、「音楽や絵画など、芸術系の知識やスキル」は15～29歳の女性が、「子どもに勉強を教える知識やスキル」は男女ともに15～29歳が、「語学の知識やスキル」は15～29歳の男性が多い。

問 44 あなたは、ご自分の持つ知識やスキル、経験などで、地域のために生かせると思うものがありますか。(あてはまるもの全てに○)

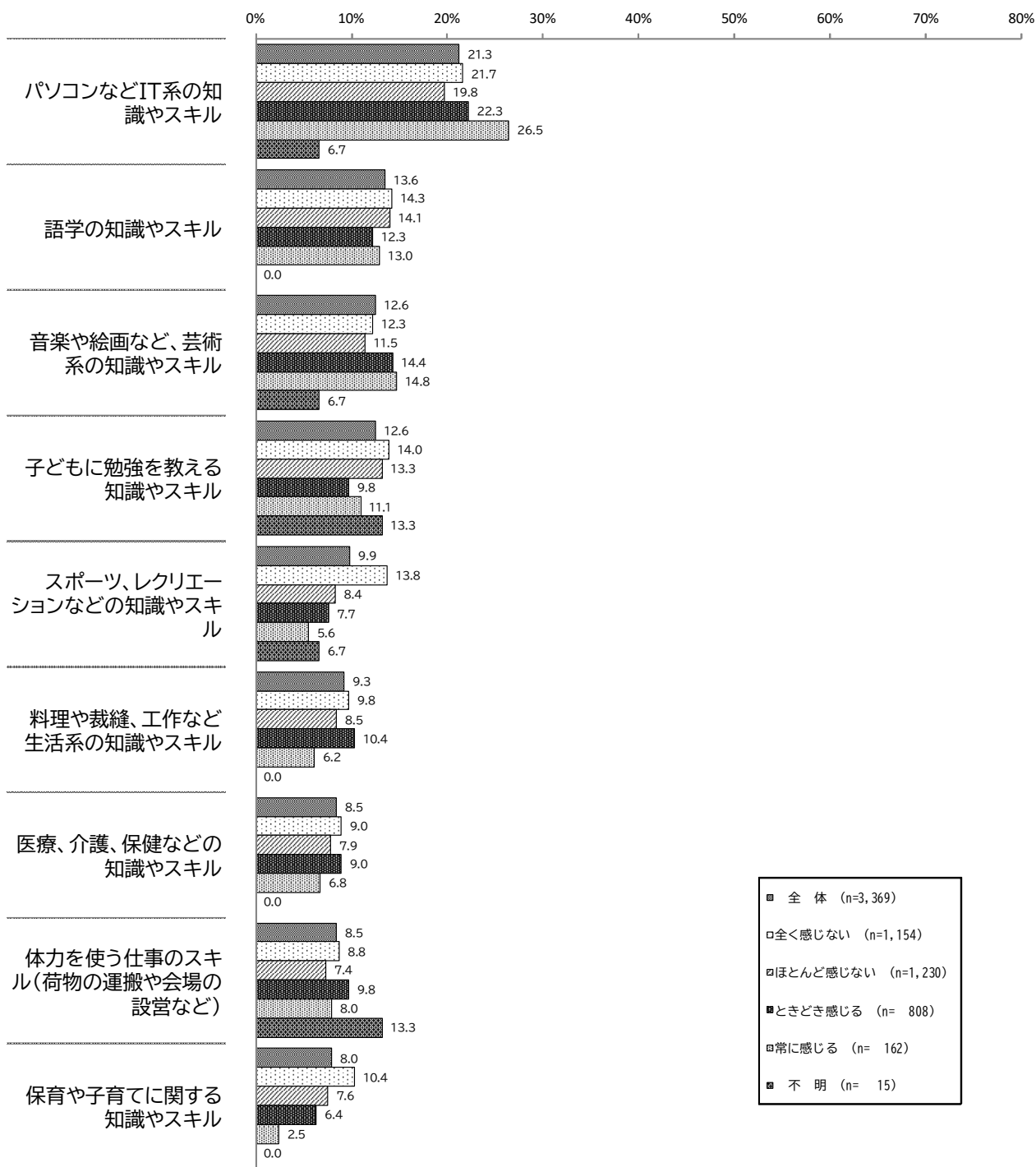
地域のために生かせる知識やスキル(新型コロナウイルスの影響による就業状態の変化別)



新型コロナウイルスの影響による就業状態の変化別にみると、「パソコンなどIT系の知識やスキル」は「就業状態が変わった」で33.3%、「語学の知識やスキル」についても同様に「就業状態が変わった」で26.7%、「音楽や絵画など、芸術系の知識やスキル」は「その他の変化があった」で20.8%と高い回答率を示している。

問 44 あなたは、ご自分の持つ知識やスキル、経験などで、地域のために生かせると思うものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

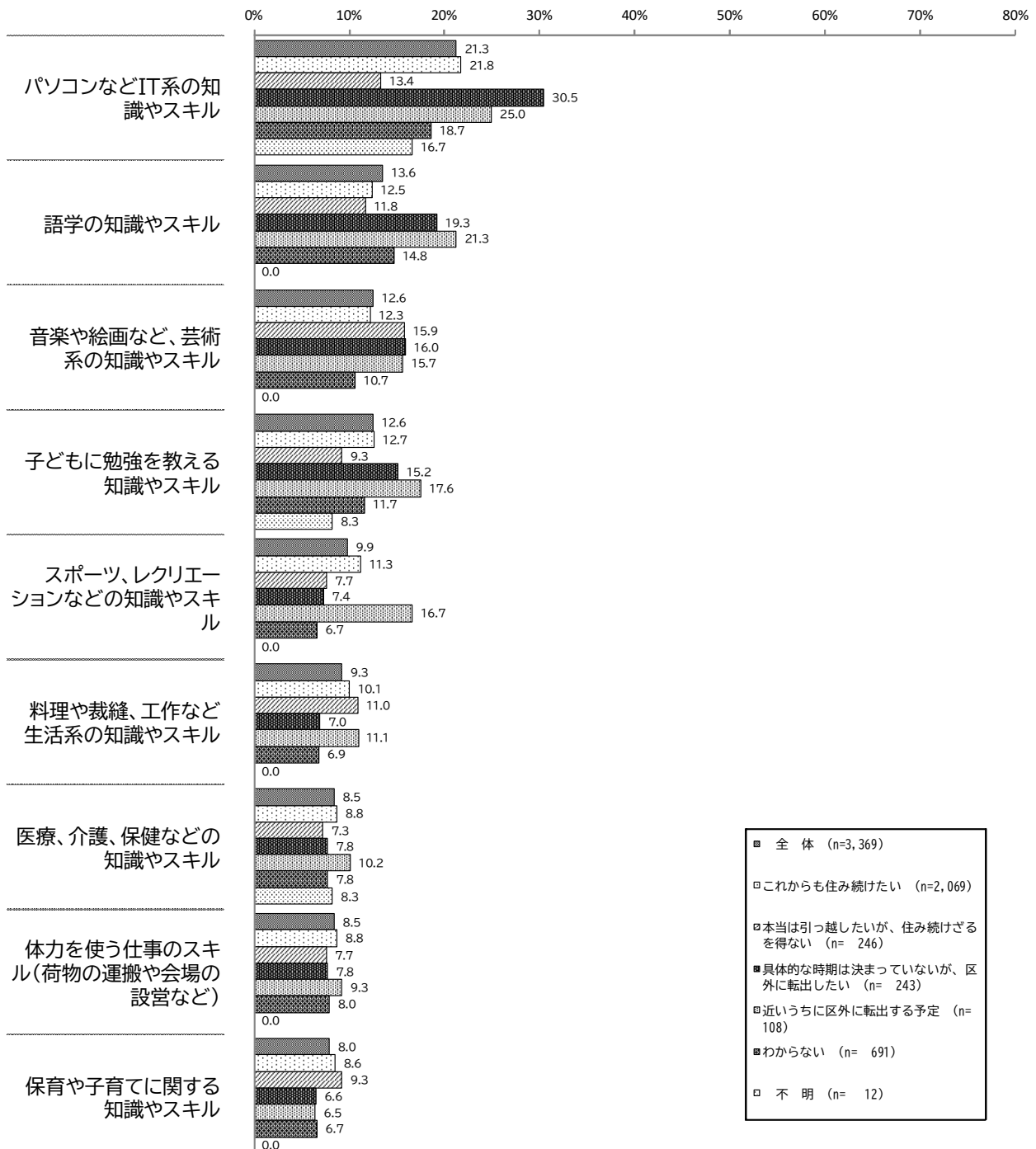
地域のために生かせる知識やスキル(孤立を感じるか別)



孤立を感じるか別にみると、「パソコンなど IT 系の知識やスキル」の回答率が高いのは孤立を「常に感じる」で 26.5%である。また、「音楽や絵画など、芸術系の知識やスキル」についても、孤立を「常に感じる」(14.8%)、「ときどき感じる」(14.4%)で相対的に高い回答率を示している。逆に、「スポーツ、レクリエーションなどの知識やスキル」では孤立を「全く感じない」(13.8%)が高い回答率を示している。

問 44 あなたは、ご自分の持つ知識やスキル、経験などで、地域のために生かせると思うものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

地域のために生かせる知識やスキル(今後も中野に住みたいと思うか別)



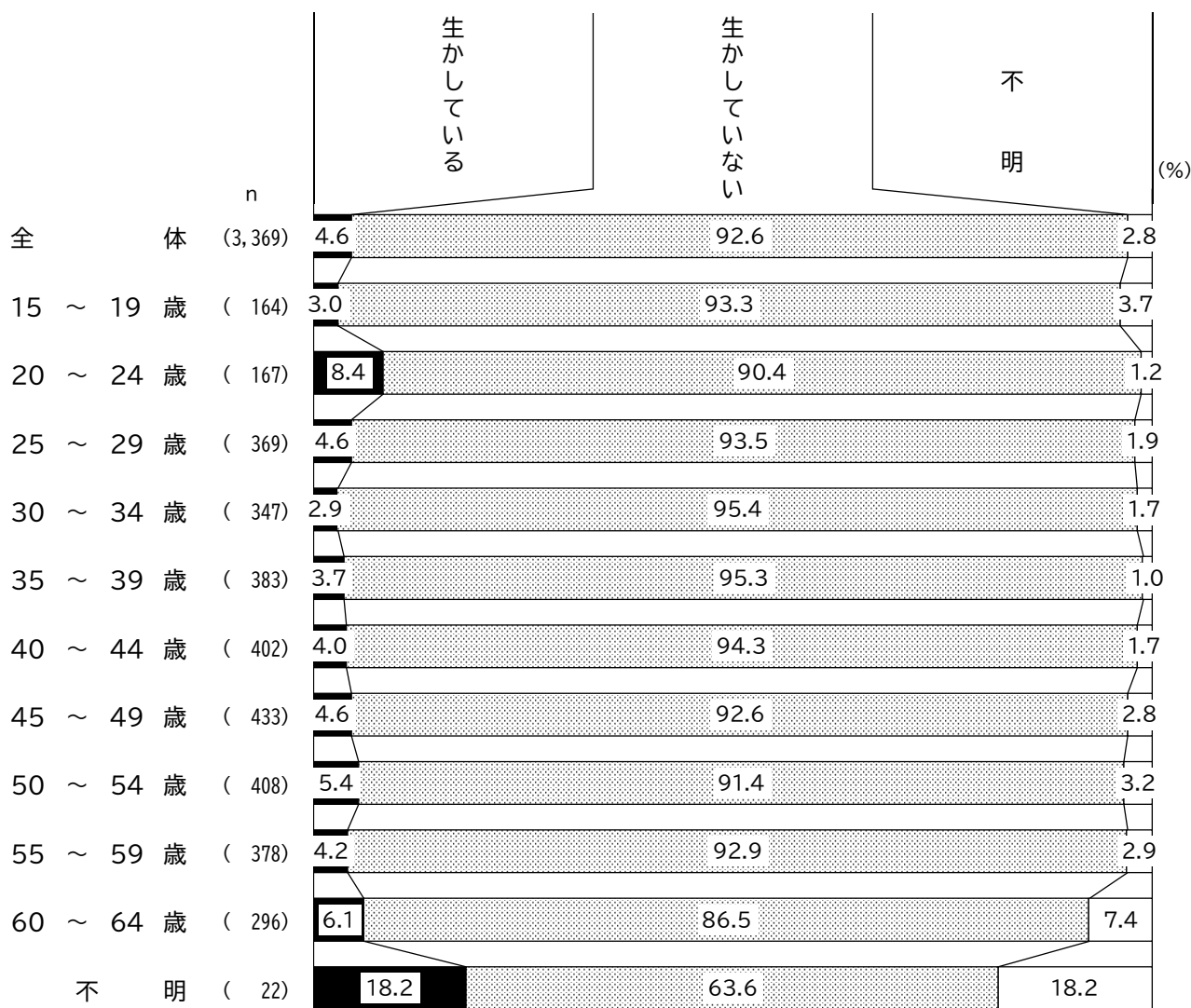
今後も中野に住み続けたいと思うか別にみると、「パソコンなどIT系の知識やスキル」は「具体的な時期は決まっていないが、区外に転出したい」(30.5%)、「近いうちに区外に転出する予定」(25.0%)、「語学の知識やスキル」は「近いうちに区外に転出する予定」(21.3%)で、それぞれ高い回答率となっている。

4.2.知識やスキルを地域のために生かしているか

◆知識やスキルを地域のために生かしているかは、「生かしていない」が9割強

問 45 あなたは、現在、ご自分の知識やスキル、経験などを地域のために生かしていますか。(〇はひとつ)

知識やスキルを地域のために生かしているか(年齢別)

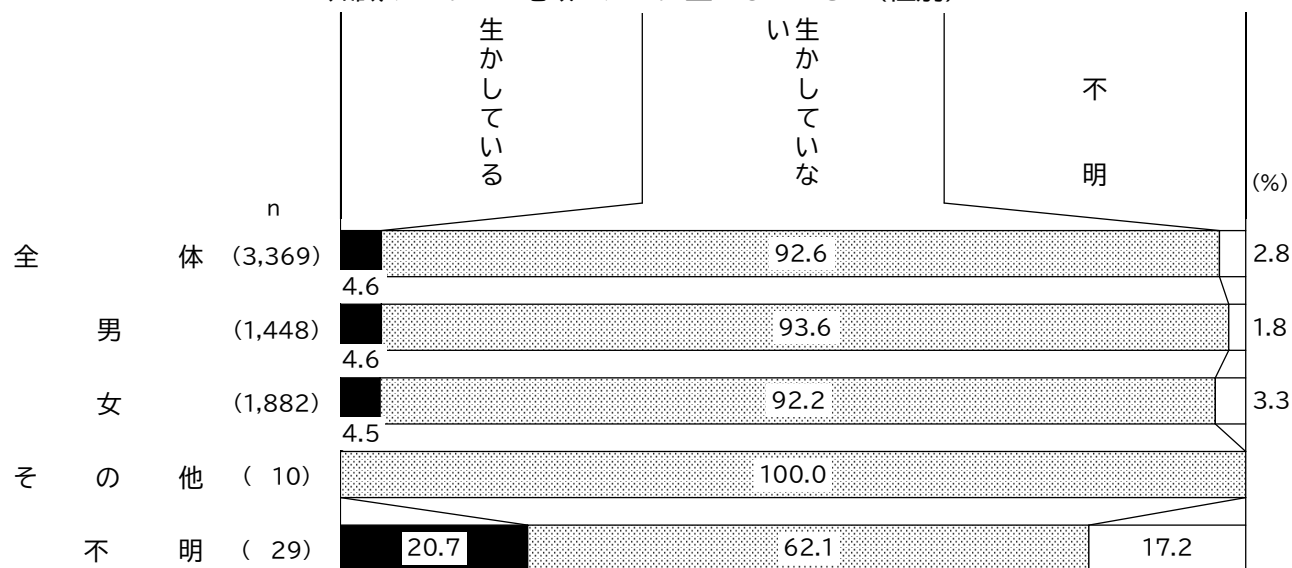


知識やスキルを地域のために生かしているかは、「生かしている」(4.6%)、「生かしていない」(92.6%)となっている。

年齢別にみると、「生かしている」と回答した割合が最も高いのは「20~24 歳」で 8.4%となっている。

問 45 あなたは、現在、ご自分の知識やスキル、経験などを地域のために活かしていますか。(〇はひとつ)

知識やスキルを地域のために活かしているか(性別)



知識やスキルを地域のために活かしているかどうかについては、性別による差はほとんどみられない。

4.2.1.知識やスキルの種別とどのように活かしているか(自由回答)

問 45-1 「1.活かしている」と答えた方におたずねします。

①どのような知識やスキルを、②どのように活かしていますか。具体的にお書きください。

①どのような知識やスキル ※意見を抜粋

- ・語学力(中国語、英語、等)
- ・医療分野(保育、介護、看護、等)
- ・パソコンスキル
- ・趣味(野球、サッカー、音楽、絵画、料理、等)

②どのように活かしていますか。 ※意見を抜粋

- ・仕事(保育士、ホームヘルパー、デイサービス、語学講師、等)
- ・趣味(音楽活動、料理教室、等)
- ・ボランティア

「知識やスキルの種別と、それをどのように活かしているか」について回答した 156 人の内容をみると、「語学力」、「医療分野」、「パソコンスキル」、「趣味」の項目を回答した人が多く、仕事や趣味、ボランティアに活用している人が多く見られた。

4.2.2.知識やスキルを生かす条件

◆知識やスキルを生かす条件は、「自分に時間的な余裕があればできる」が 6 割強

		合計	ば自分 に時間 的な余 裕があ れば可 能	ば相 応の 収入 が得 られ るな らば 可 能	る活 動す る場 所が あ れば 可 能	で一 緒に 活動 する 人 が い れ ば 可 能	ど活 動等 があ れば 可 能 な マ ツ チ ン グ な 研 修 な ど	は地 域の ため に生 かす 気持 ち が あ る	ど んな 条件 がそ ろつ ても あ る	
全 体	n	3,369								
	%	100.0								
問44でひとつ以上「知識やスキルがある」と回答した人※	n	2,426								
	%	72.0								
そのうち、問45で地域のために知識やスキルを「生かしていない」と回答した人※	n	2,266	1,417	861	776	448	419	97		
	%	67.3	62.5	38.0	34.2	19.8	18.5	4.3		
男性15～29歳	n	230	133	105	69	54	37	17		
	%	100.0	57.8	45.7	30.0	23.5	16.1	7.4		
男性30～49歳	n	499	304	233	174	107	96	16		
	%	100.0	60.9	46.7	34.9	21.4	19.2	3.2		
男性50～64歳	n	305	183	83	119	58	66	5		
	%	100.0	60.0	27.2	39.0	19.0	21.6	1.6		
女性15～29歳	n	275	179	106	93	73	47	18		
	%	100.0	65.1	38.5	33.8	26.5	17.1	6.5		
女性30～49歳	n	590	393	242	200	103	102	28		
	%	100.0	66.6	41.0	33.9	17.5	17.3	4.7		
女性50～64歳	n	345	218	86	118	53	66	13		
	%	100.0	63.2	24.9	34.2	15.4	19.1	3.8		
性別・その他	n	9	7	6	3	0	5	0		
	%	100.0	77.8	66.7	33.3	0.0	55.6	0.0		
不 明	n	13	9	3	4	2	3	1		
	%	100.0	69.2	23.1	30.8	15.4	23.1	7.7		

※「合計」欄の%は、「全体」3,369 人に対する数値である

問 44(地域のために生かせる知識やスキルはあるか)でひとつ以上回答した人は 2,426 人で全体の 72.0%である。そのうち、問 45 でその知識やスキルを地域のために「生かしていない」と回答したのは 2,266 人で全体の 67.3%である。

この 2,266 人を対象に、知識やスキルを地域のために生かす条件を性別・年齢別にクロス集計したところ、「時間的な余裕があればできる」の回答率が最も高いのは「女性 30～49 歳」(66.6%)であり、以下、「女性 15～29 歳」(65.1%)、「女性 50～64 歳」(63.2%)と続き、女性のほうが回答率が高い。

2 番目に回答率の高かった「相応の収入が得られるならばできる」については、特に「男性 30～49 歳」(46.7%)、「男性 15～29 歳」(45.7%)で回答率が高い。

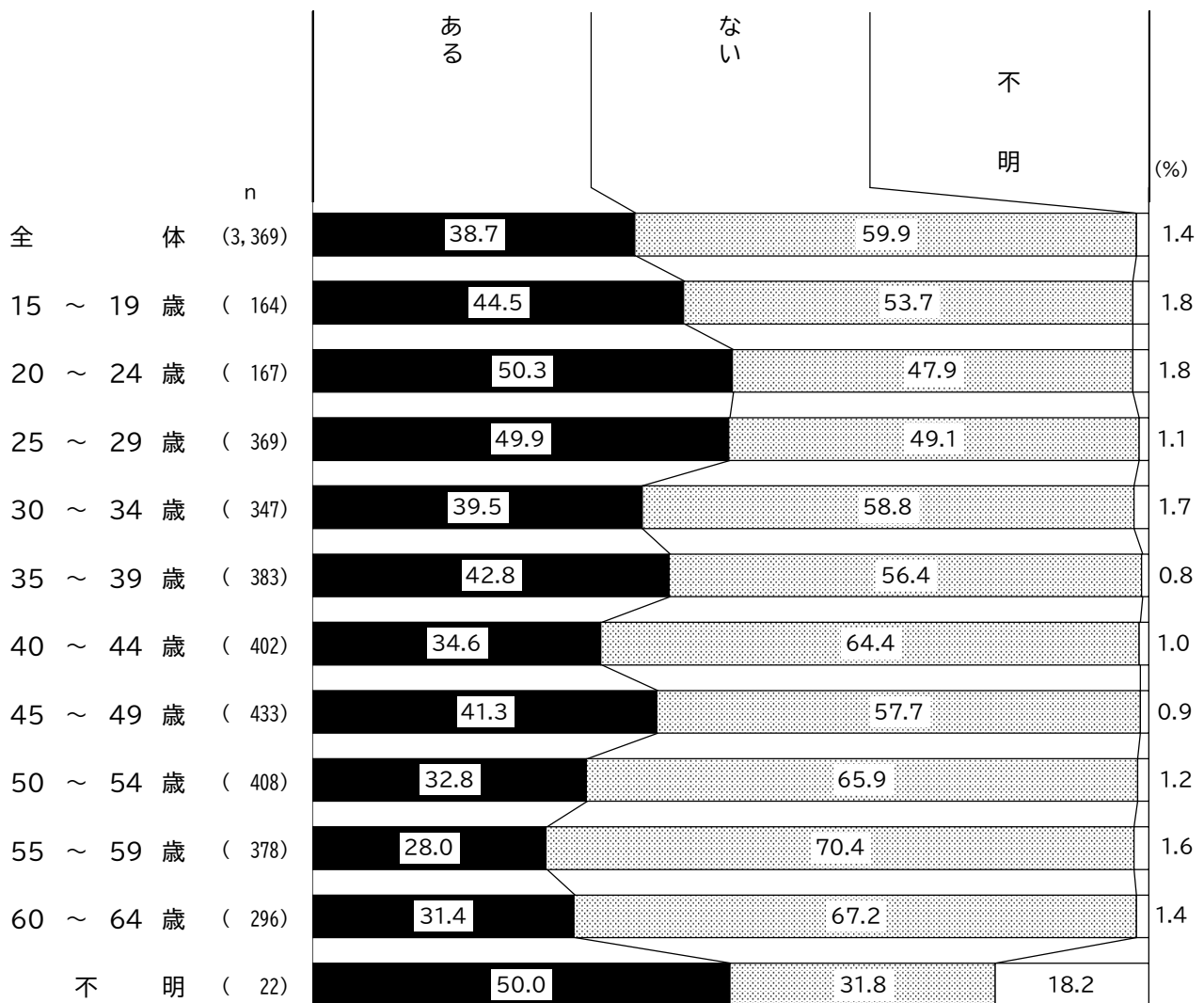
4.3.地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)

◆地域内の「居場所」については「ない」が6割弱

問 46 あなたは、今、お住まいの地域に自宅以外で「居場所」はありますか。(〇はひとつ)

※ここでいう「居場所」に厳密な定義はありません。あなた自身が考える「居場所」についてお答えください。

地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)(年齢別)



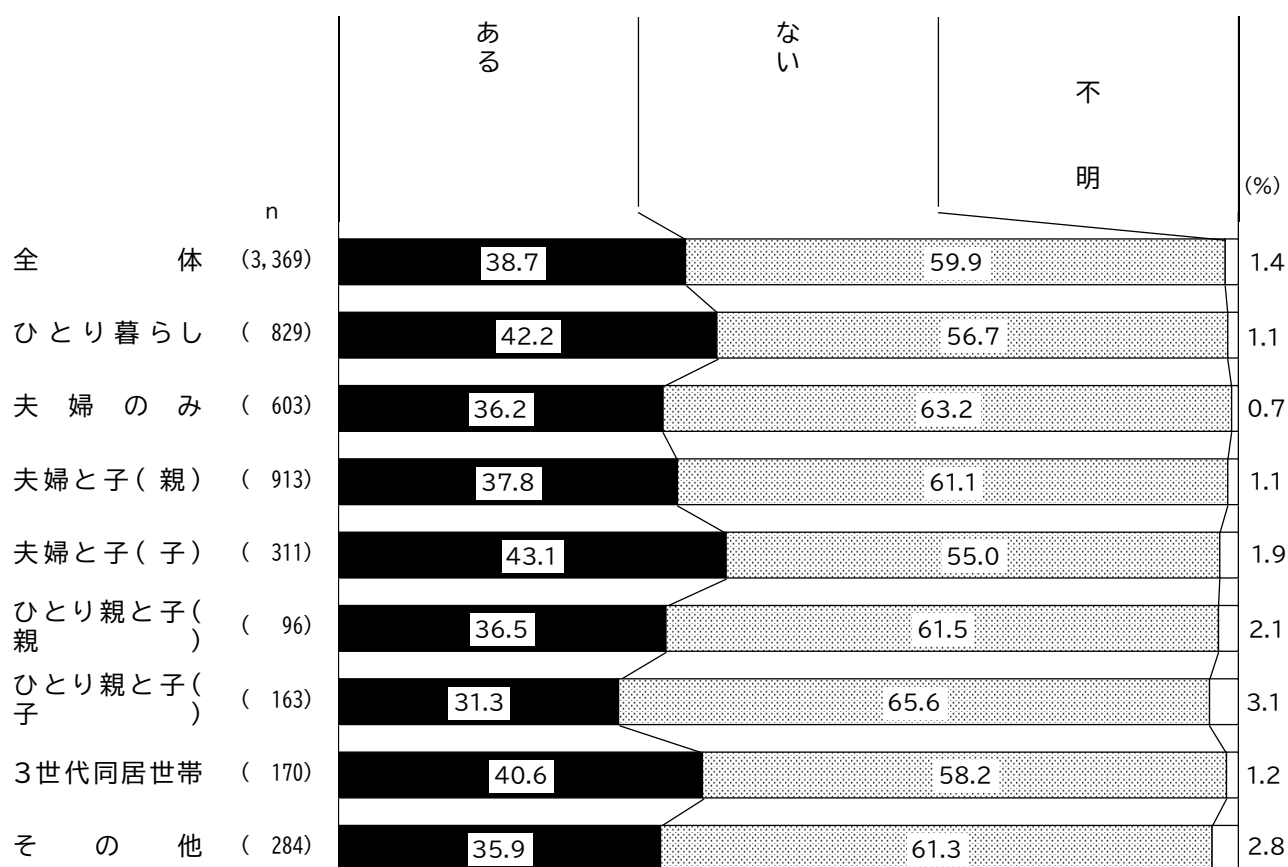
地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)は、「ある」(38.7%)、「ない」(59.9%)となっている。

年齢別にみると、「ある」と回答した割合が最も高いのは「20~24歳」(50.3%)、次いで「25~29歳」(49.9%)と20代で高くなっている。一方、「ない」と回答したのは「55~59歳」で70.4%と最も高い割合を示している。

問 46 あなたは、今、お住まいの地域に自宅以外で「居場所」はありますか。(〇はひとつ)

※ここでいう「居場所」に厳密な定義はありません。あなた自身が考える「居場所」についてお答えください。

地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)(家族類型別)

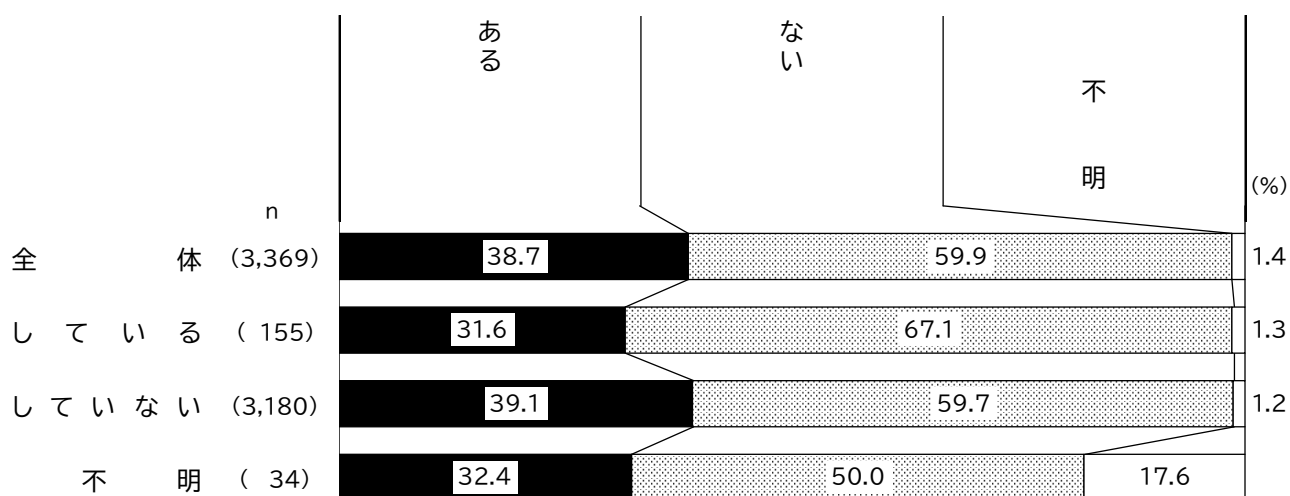


家族類型別にみると、居場所が「ある」と回答した割合が最も高いのは「夫婦と子(子)」(自分が子)で43.1%、次いで「ひとり暮らし」が42.2%となっている。居場所が「ない」と回答した割合が最も高いのは「ひとり親と子(子)」(自分が子)(65.6%)で、次いで「夫婦のみ」(63.2%)と続く。

問 46 あなたは、今、お住まいの地域に自宅以外で「居場所」はありますか。(〇はひとつ)

※ここでいう「居場所」に厳密な定義はありません。あなた自身が考える「居場所」についてお答えください。

地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)(日常的に介護しているか別)

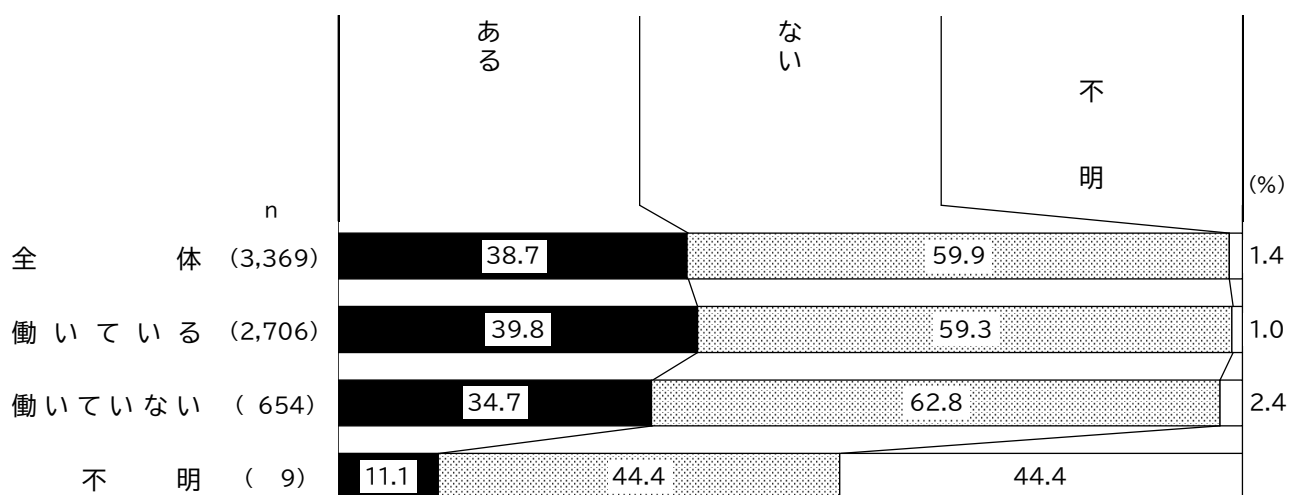


日常的に介護をしているか別にみると、居場所が「ない」と回答した割合は「介護している」が67.1%で、「介護していない」(59.7%)より7.4ポイント高い。

問 46 あなたは、今、お住まいの地域に自宅以外で「居場所」はありますか。(〇はひとつ)

※ここでいう「居場所」に厳密な定義はありません。あなた自身が考える「居場所」についてお答えください。

地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)(現在の勤労状況別)



現在の就労状況別にみると、「働いている」人の39.8%は居場所が「ある」と回答しており、「働いていない」(34.7%)よりも5.1ポイント高い。

問 46 あなたは、今、お住まいの地域に自宅以外で「居場所」はありますか。(○はひとつ)

※ここでいう「居場所」に厳密な定義はありません。あなた自身が考える「居場所」についてお答えください。

地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)(居住地別)

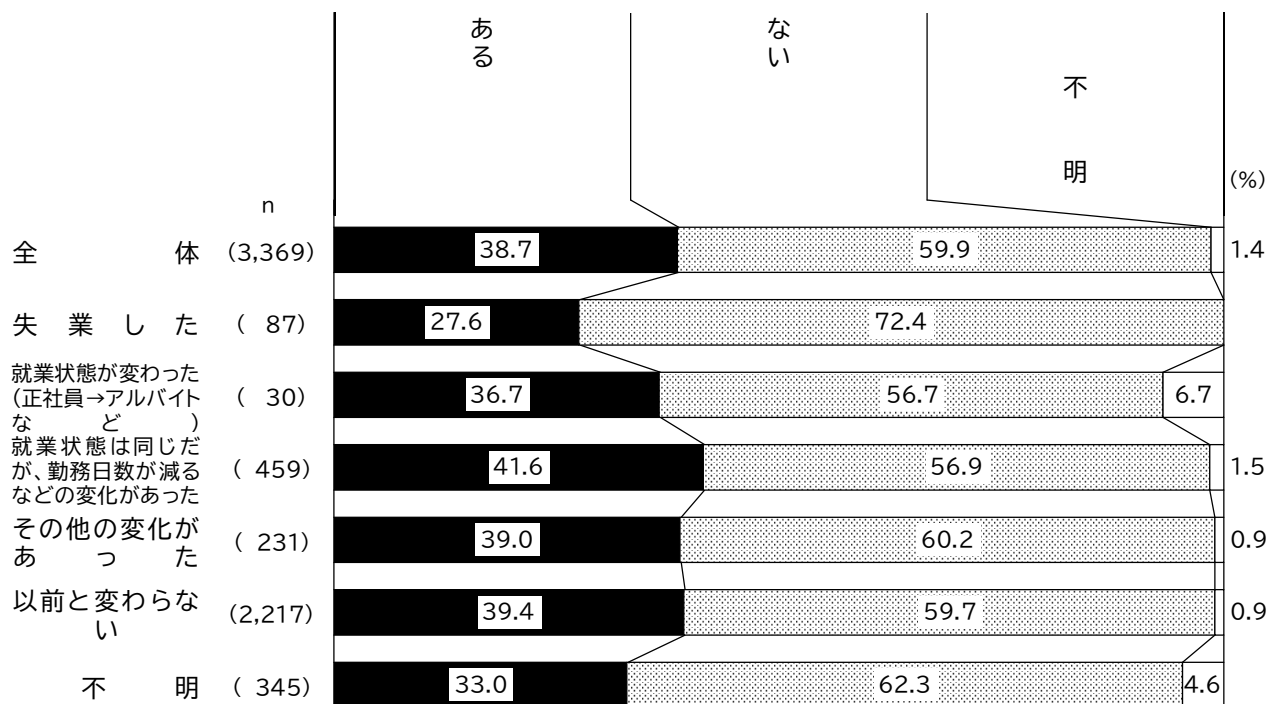
		全 体	ある	ない	不 明
全 体		3369	1304	2019	46
		100.0	38.7	59.9	1.4
居住地	南台	198	86	110	2
		100.0	43.4	55.6	1.0
	弥生町	211	87	121	3
		100.0	41.2	57.3	1.4
	本町	332	127	202	3
		100.0	38.3	60.8	0.9
	中央	273	106	164	3
		100.0	38.8	60.1	1.1
	東中野	261	118	140	3
		100.0	45.2	53.6	1.1
	中野	308	118	182	8
		100.0	38.3	59.1	2.6
	上高田	184	78	103	3
		100.0	42.4	56.0	1.6
	新井	207	83	123	1
		100.0	40.1	59.4	0.5
	沼袋	136	42	93	1
		100.0	30.9	68.4	0.7
	松が丘	34	8	25	1
		100.0	23.5	73.5	2.9
江原町	79	26	53	0	
	100.0	32.9	67.1	0.0	
江古田	126	49	75	2	
	100.0	38.9	59.5	1.6	
丸山	40	11	29	0	
	100.0	27.5	72.5	0.0	
野方	193	87	103	3	
	100.0	45.1	53.4	1.6	
大和町	174	65	106	3	
	100.0	37.4	60.9	1.7	
若宮	122	41	81	0	
	100.0	33.6	66.4	0.0	
白鷺	125	46	75	4	
	100.0	36.8	60.0	3.2	
鷺宮	175	58	117	0	
	100.0	33.1	66.9	0.0	
上鷺宮	172	65	106	1	
	100.0	37.8	61.6	0.6	
不 明	19	3	11	5	
	100.0	15.8	57.9	26.3	

居住地別にみると、居場所が「ある」と回答したのは「東中野」(45.2%)、「野方」(45.1%)で高い回答率となっている。一方、「ない」と回答した割合は「松が丘」(73.5%)、「丸山」(72.5%)、「沼袋」(68.4%)で高くなっている。

問 46 あなたは、今、お住まいの地域に自宅以外で「居場所」はありますか。(〇はひとつ)

※ここでいう「居場所」に厳密な定義はありません。あなた自身が考える「居場所」についてお答えください。

地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)(新型コロナウイルスの影響による就業状態の変化別)

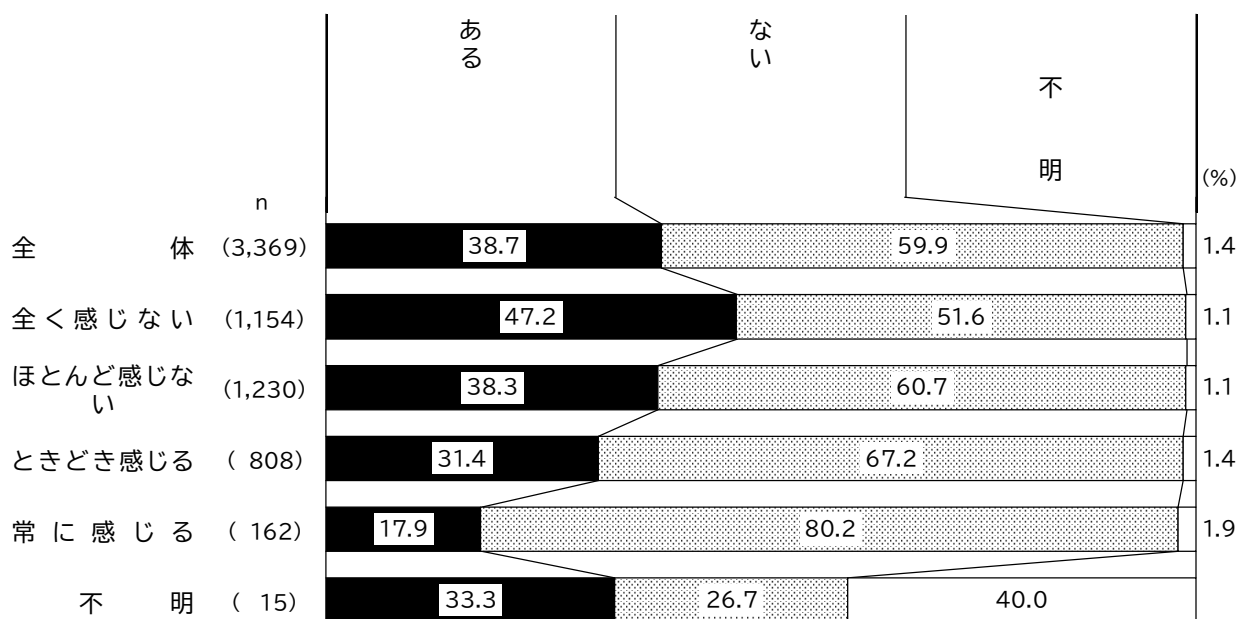


新型コロナウイルスの影響による就業状態の変化別にみると、居場所が「ある」と回答した割合は、「就業状態は同じだが、勤務日数が減るなどの変化があった」(41.6%)で最も高く、居場所が「ない」と回答した割合は、「失業した」で72.4%と最も高くなっている。

問 46 あなたは、今、お住まいの地域に自宅以外で「居場所」はありますか。(○はひとつ)

※ここでいう「居場所」に厳密な定義はありません。あなた自身が考える「居場所」についてお答えください。

地域内の「居場所」の有無(自宅を除く)(孤立を感じるか別)



孤立を感じるか別にみると、居場所が「ある」と回答した割合は孤立を「全く感じない」(47.2%)で最も高く、逆に「ない」は孤立を「常に感じる」(80.2%)と最も高い。

4.3.1.地域内の「居場所」の具体的内容(自由回答)

◆地域内の「居場所」の具体的な内容で、最も多いのは「親せきの家」

問 46-1 「1. ある」と答えた方におたずねします。

あなたの「居場所」はどんな場所なのか、具体的にお書きください。

- ・親せきの家(419 件)
- ・職場、学校(332 件)
- ・友人との関わり (218 件)
- ・飲食店(153 件)
- ・屋内施設(ジムなど)(74 件)
- ・公園などの屋外(63 件)
- ・塾、習い事(56 件)
- ・図書館(48 件)
- ・インターネット(11 件)
- ・ひとりの空間(8 件)
- ・その他(211 件) ※複数の内容を回答している場合は、それぞれに分類し 1 件としてカウントしている

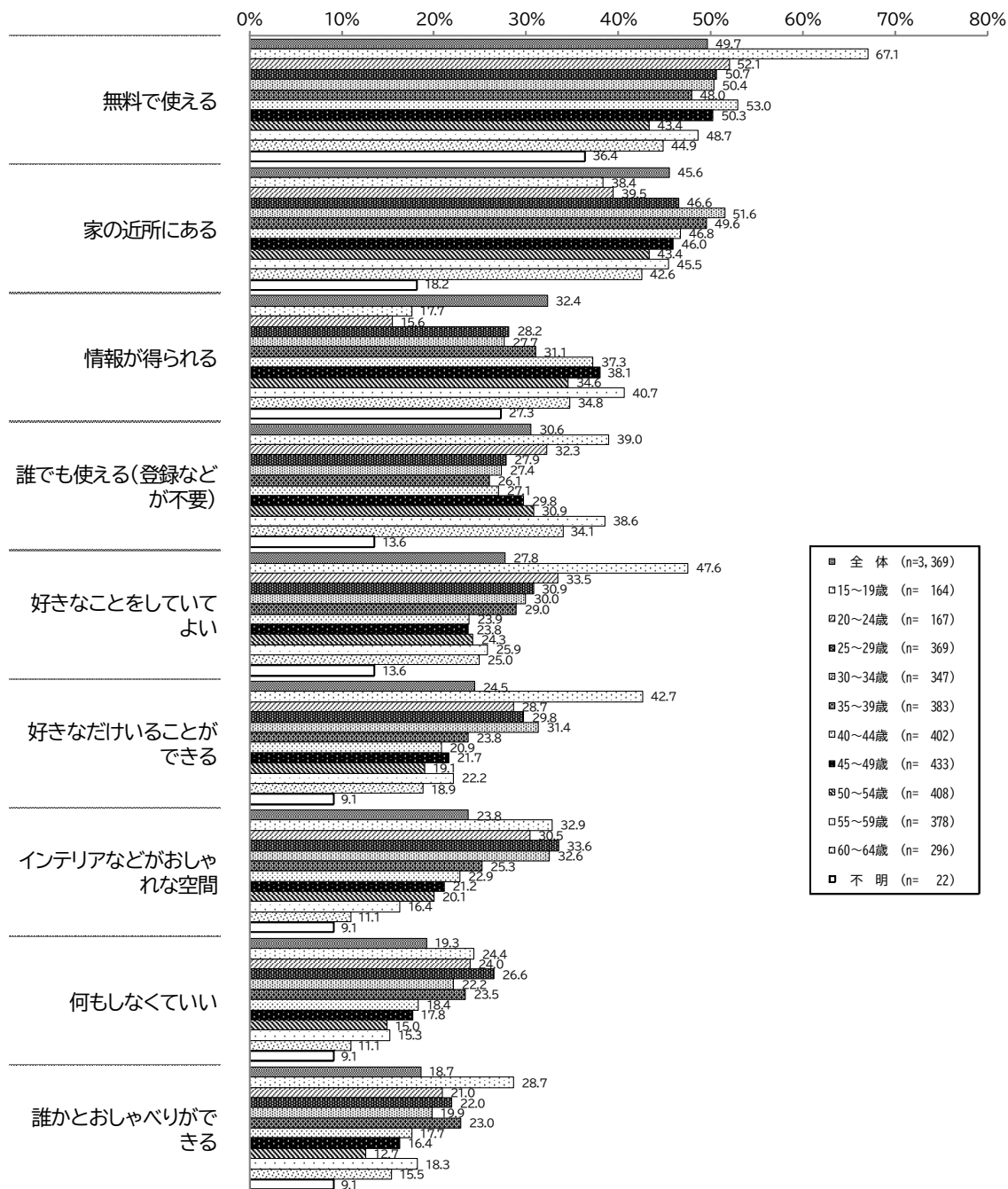
地域内の「居場所」の具体的な内容を 1,260 人の回答者に聞いたところ、「親せきの家」が 419 件と最も多く、次いで、「職場、学校」が 332 件、「友人との関わり」が 218 件となっている。

4.4.区内にあったらよいと思う「居場所」

◆区内にあったらよいと思う「居場所」は、「無料で使える」が5割弱

問 47 あなたは、中野区にどんな「居場所」があるとよいと思いますか。あったらよいと思うものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

区内にあったらよいと思う「居場所」(年齢別)



区内にあったらよいと思う「居場所」は、「無料で使える」(49.7%)が最も高く、次いで、「家の近所にある」(45.6%)、「情報が得られる」(32.4%)となっている。

年齢別にみると、「無料で使える」は「15~19歳」(67.1%)、「家の近所にある」は「30~34歳」(51.6%)、「情報が得られる」は「55~59歳」(40.7%)でそれぞれ最も回答率が高く、年齢による差がみられる。

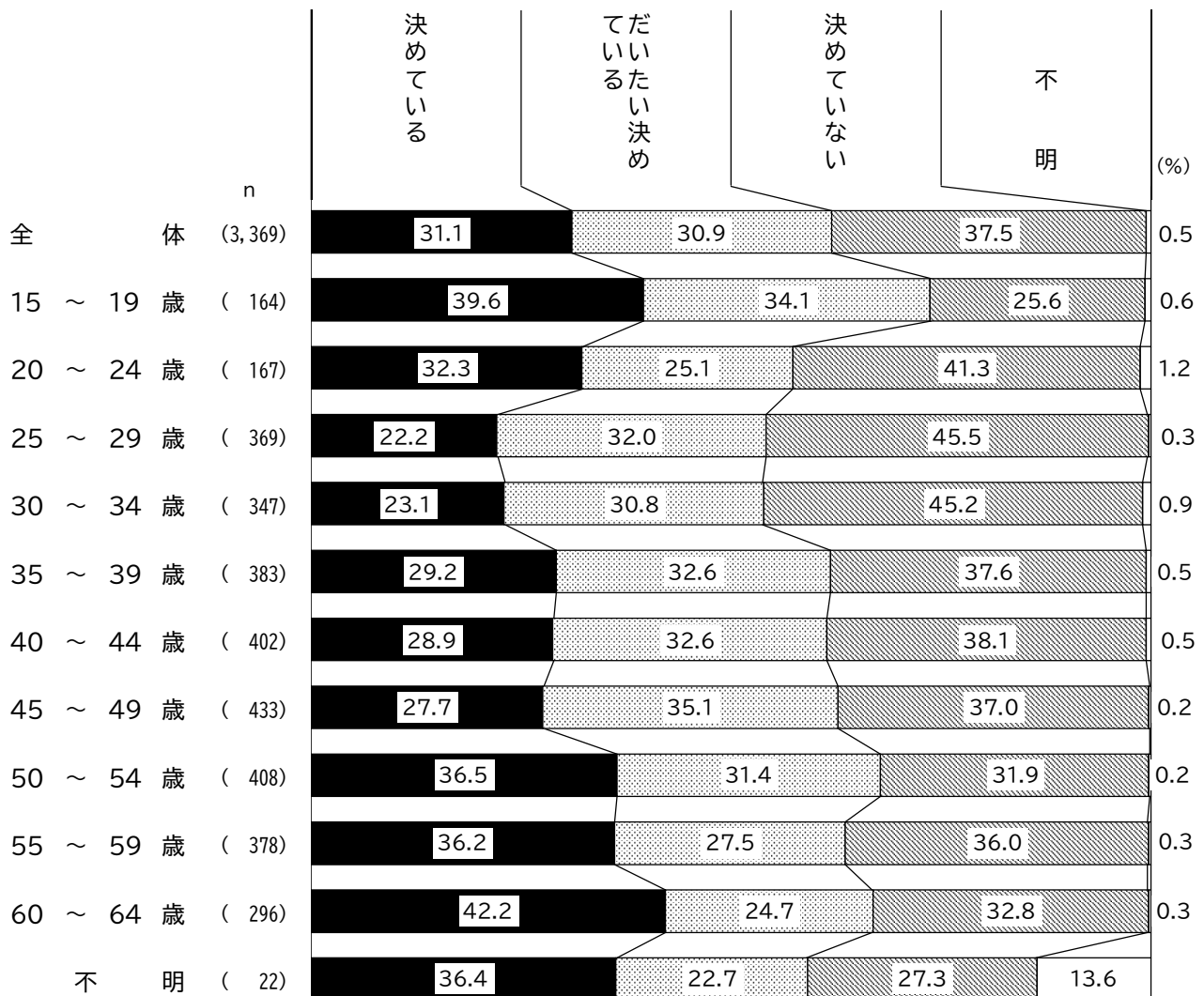
5. 地域での医療と相談場所について

5.1. かかりつけ医を決めているか

◆かかりつけ医を決めているかは、「決めている」が3割強

問 48 あなたは、自宅の近くで受診や健康相談をするかかりつけの診療所(病院は除く)を決めていますか。(〇はひとつ)

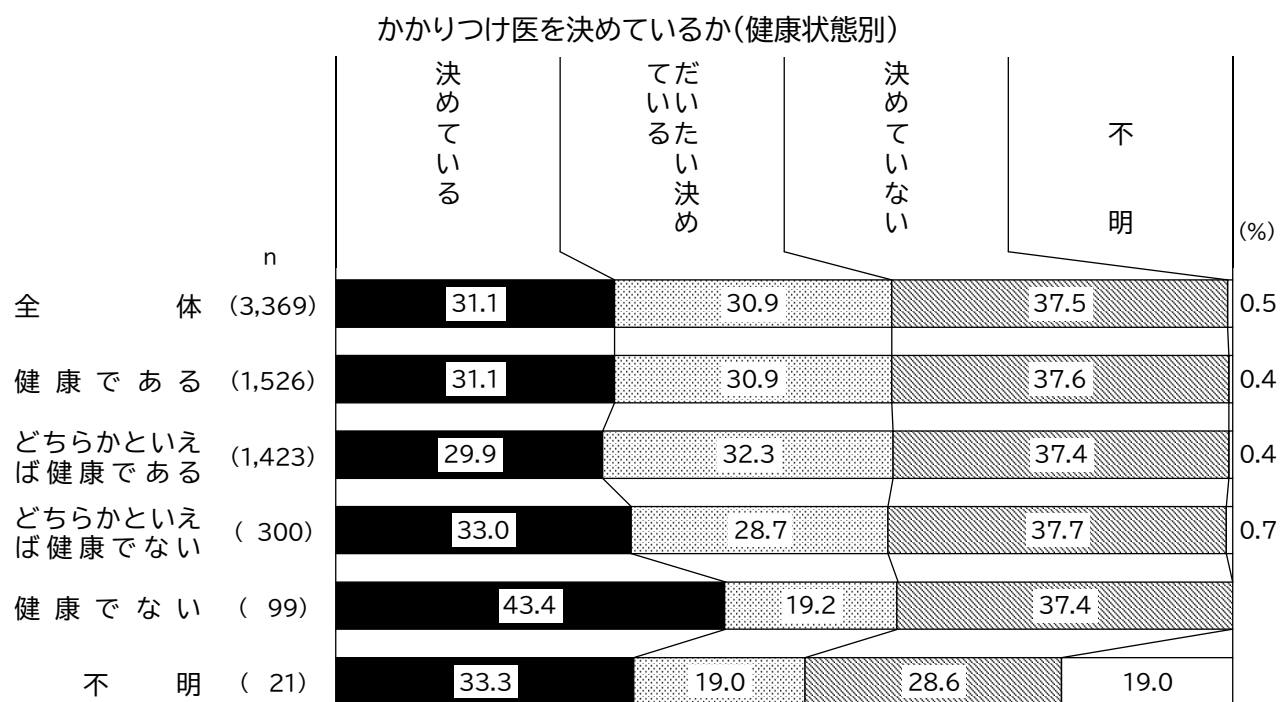
かかりつけ医を決めているか(年齢別)



かかりつけ医を決めているかは「決めている」(31.1%)、「大体決めている」(30.9%)、「決めていない」(37.5%)となっている。

年齢別にみると、「決めている」と回答した割合は「60~64歳」(42.2%)で最も高い。一方、「決めていない」は「25~29歳」(45.5%)で最も高い割合を示している。

問 48 あなたは、自宅の近くで受診や健康相談をするかかりつけの診療所(病院は除く)を決めていますか。(〇はひとつ)

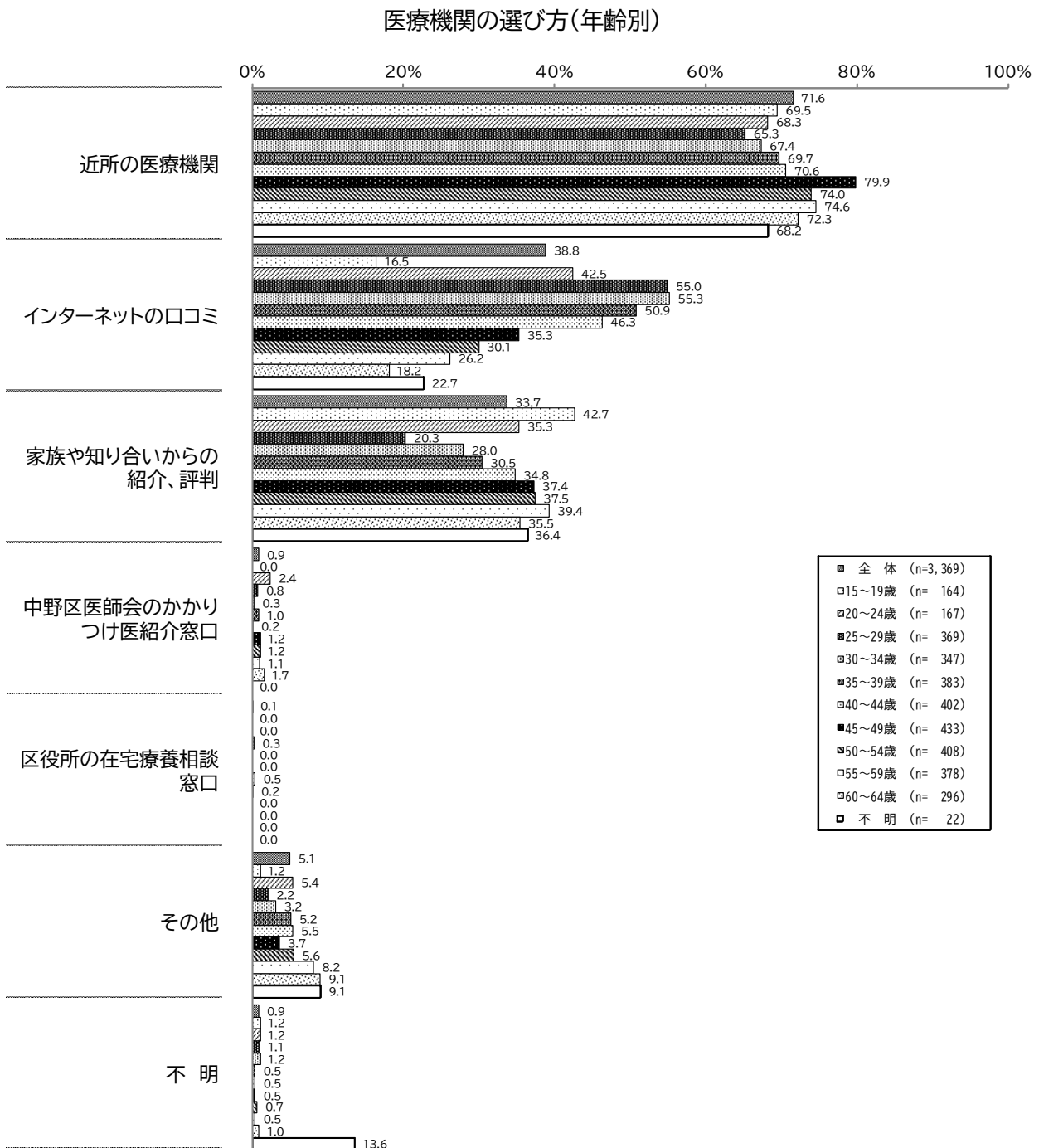


健康状態別で見ると、「決めていない」と回答した割合は、どんな健康状態であっても40%弱であり大きな差はみられない。

5.2.医療機関の選び方

◆医療機関の選び方の中で、最も高いのは「近所の医療機関」

問 49 あなたは、医療機関を受診する際、どうやって選んでいますか。(あてはまるもの全てに○)



医療機関の選び方は、「近所の医療機関」(71.6%)が最も高く、次いで、「インターネットの口コミ」(38.8%)、「家族の知り合いからの紹介、評判」(33.7%)となっている。

年齢別にみると、「近所の医療機関」は「45~49歳」(79.9%)、「インターネットの口コミ」は「30~34歳」(55.3%)、「家族や知り合いからの紹介、評判」は「15~19歳」(42.7%)でそれぞれ最も回答率が高い。

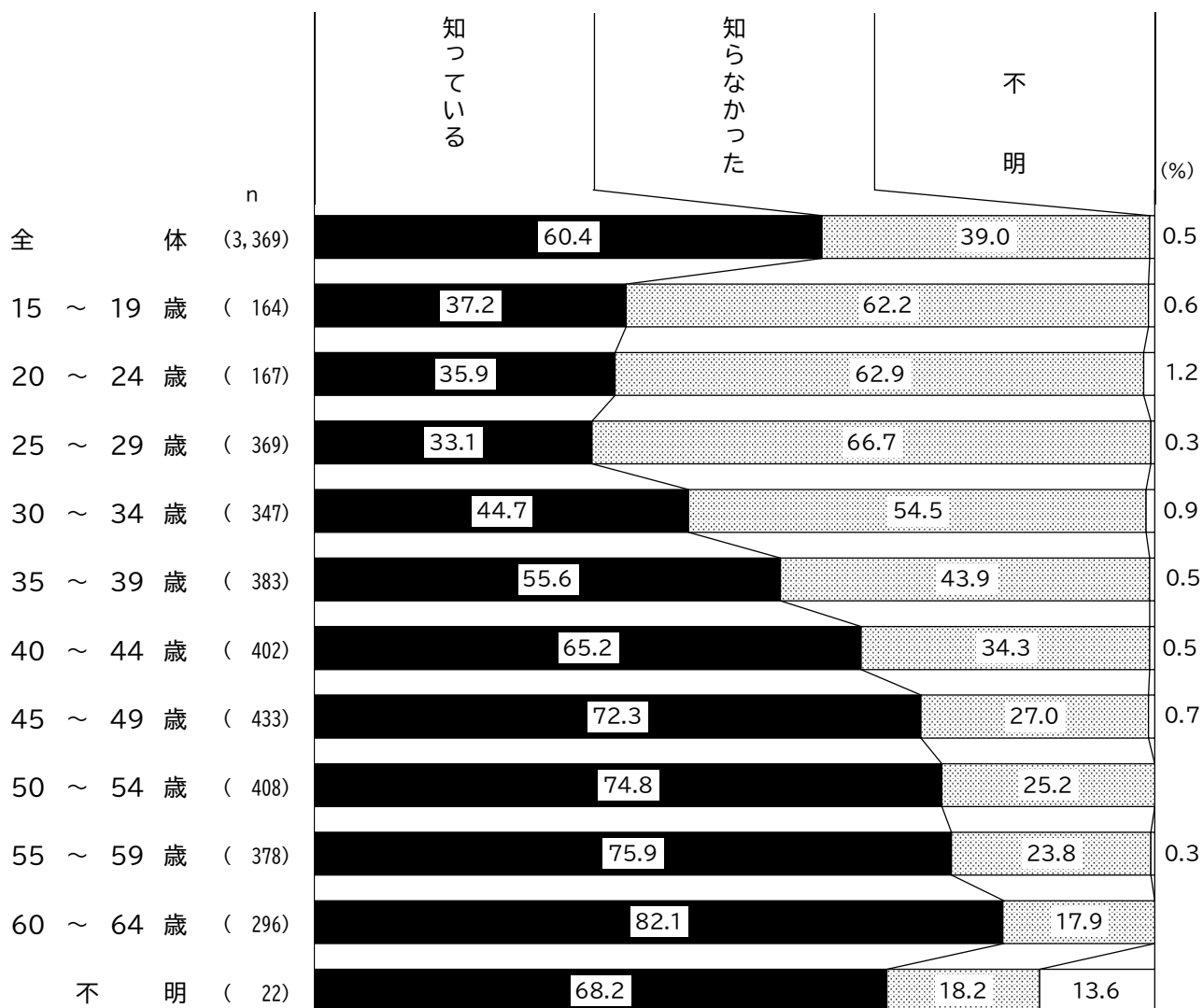
5.3.「休日当番医・当番薬局」の認知度

◆「休日当番医・当番薬局」の認知度は「知っている」が6割

問 50 中野区には、日曜日や祝日に9時から17時の時間帯で受診できる医療機関、歯科医療機関、薬局があることを知っていますか。(○はひとつ)

※中野区のホームページや、毎月5日と20日に発行される「なかの区報」に「休日当番医・当番薬局」として掲載されています

「休日当番医・当番薬局」の認知度(年齢別)



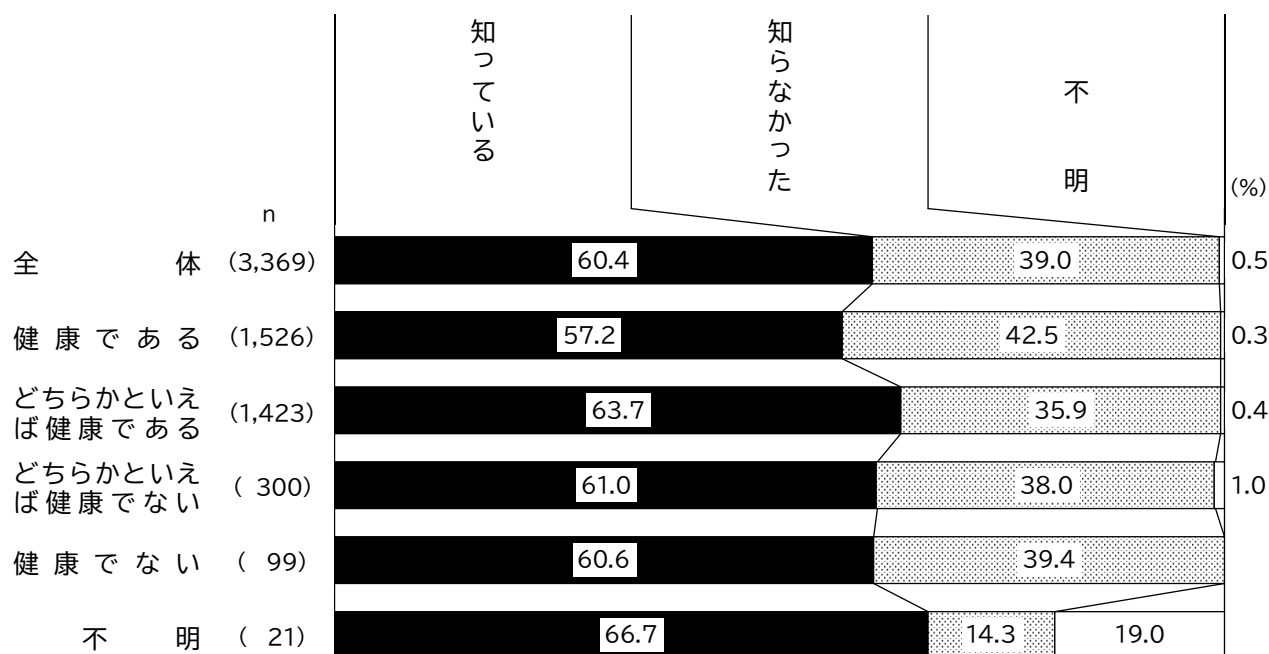
「休日当番医・当番薬局」の認知度は、「知っている」(60.4%)、「知らなかった」(39.0%)となっている。

年齢別にみると、「知っている」は「60~64歳」(82.1%)、「知らなかった」は「25~29歳」(66.7%)で最も回答率が高い。年齢が高くなるほど、休日当番医・当番薬局の認知度は高くなる傾向がある。

問 50 中野区には、日曜日や祝日に 9 時から17時の時間帯で受診できる医療機関、歯科医療機関、薬局があることを知っていますか。(○はひとつ)

※中野区のホームページや、毎月 5 日と 20 日に発行される「なかの区報」に「休日当番医・当番薬局」として掲載されています

「休日当番医・当番薬局」の認知度(健康状態別)



健康状態別にみると、「知っている」の回答率が最も高いのは「どちらかといえば健康である」(63.7%)、「知らなかった」の回答率が高いのは「健康である」(42.5%)となっている。

問 50 中野区には、日曜日や祝日に 9 時から17時の時間帯で受診できる医療機関、歯科医療機関、薬局があることを知っていますか。(○はひとつ)

※中野区のホームページや、毎月 5 日と 20 日に発行される「なかの区報」に「休日当番医・当番薬局」として掲載されています

「休日当番医・当番薬局」の認知度(居住地別)

		全 体	知っている	知らなかつた	不 明
全 体		3369	2036	1315	18
		100.0	60.4	39.0	0.5
居住地	南台	198	110	87	1
		100.0	55.6	43.9	0.5
	弥生町	211	124	87	0
		100.0	58.8	41.2	0.0
	本町	332	199	132	1
		100.0	59.9	39.8	0.3
	中央	273	165	107	1
		100.0	60.4	39.2	0.4
	東中野	261	161	99	1
		100.0	61.7	37.9	0.4
	中野	308	182	123	3
		100.0	59.1	39.9	1.0
	上高田	184	109	74	1
		100.0	59.2	40.2	0.5
	新井	207	137	70	0
		100.0	66.2	33.8	0.0
	沼袋	136	77	59	0
		100.0	56.6	43.4	0.0
	松が丘	34	24	9	1
		100.0	70.6	26.5	2.9
	江原町	79	52	27	0
		100.0	65.8	34.2	0.0
	江古田	126	74	51	1
		100.0	58.7	40.5	0.8
	丸山	40	33	7	0
		100.0	82.5	17.5	0.0
野方	193	123	69	1	
	100.0	63.7	35.8	0.5	
大和町	174	96	78	0	
	100.0	55.2	44.8	0.0	
若宮	122	79	42	1	
	100.0	64.8	34.4	0.8	
白鷺	125	81	44	0	
	100.0	64.8	35.2	0.0	
鷺宮	175	104	71	0	
	100.0	59.4	40.6	0.0	
上鷺宮	172	99	72	1	
	100.0	57.6	41.9	0.6	
不 明	19	7	7	5	
	100.0	36.8	36.8	26.3	

居住地別にみると、「知っている」は「丸山」(82.5%)、「知らない」は「大和町」(44.8%)で最も回答率が高い。

5.4.相談先に選ぶ条件

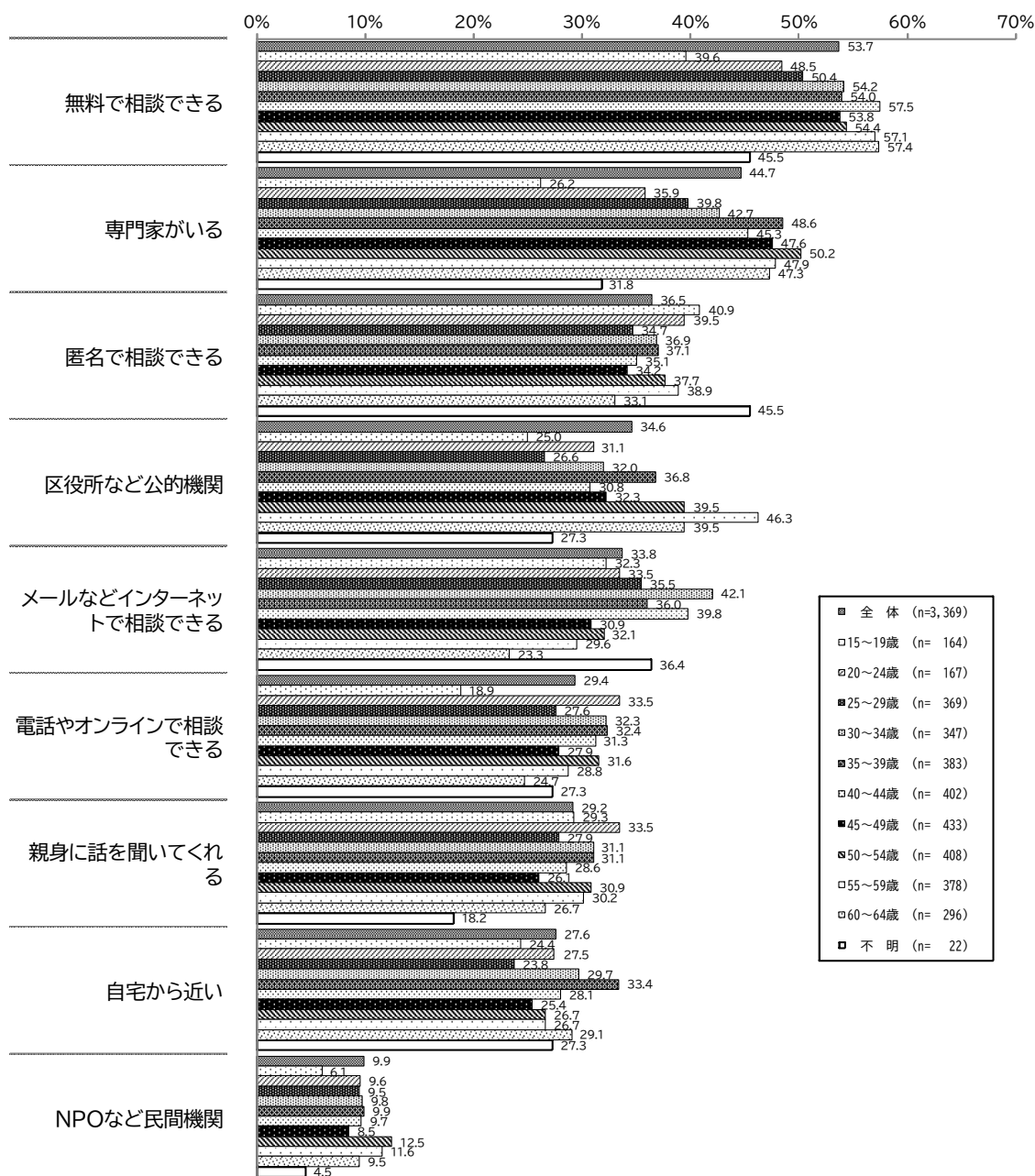
◆経済的な問題の相談先に選ぶ条件は、「無料で相談できる」が5割半ば近く

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。

あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・経済的な問題

経済的な問題の相談先に選ぶ条件(年齢別)



経済的な問題の相談先に選ぶ条件は、「無料で相談できる」(53.7%)が最も高く、次いで、「専門家がいる」(44.7%)、「匿名で相談できる」(36.5%)となっている。

年齢別にみると、「区役所など公的機関」は「55~59歳」(46.3%)、「専門家がいる」は「50~54歳」(50.2%)、「無料で相談できる」は「40~44歳」(57.5%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。

あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・経済的な問題

経済的な問題の相談先に選ぶ条件(居住地別)

		全体	無料で相談 できる	専門家がい る	匿名で相談 できる	区役所など 公的機関	メールなど インターネット で相談で きる	電話やオン ラインで相 談できる	親身に話を 聞いてくれ る	自宅から近 い	NPOなど 民間機関
全体		3369	1809	1505	1229	1166	1138	989	985	930	333
		100.0	53.7	44.7	36.5	34.6	33.8	29.4	29.2	27.6	9.9
居住地	南台	198	105	83	60	57	56	47	53	51	20
		100.0	53.0	41.9	30.3	28.8	28.3	23.7	26.8	25.8	10.1
	弥生町	211	109	86	68	67	72	54	64	49	20
		100.0	51.7	40.8	32.2	31.8	34.1	25.6	30.3	23.2	9.5
	本町	332	168	147	120	110	122	96	95	96	26
		100.0	50.6	44.3	36.1	33.1	36.7	28.9	28.6	28.9	7.8
	中央	273	149	119	101	96	92	80	85	79	31
		100.0	54.6	43.6	37.0	35.2	33.7	29.3	31.1	28.9	11.4
	東中野	261	129	121	89	86	89	73	69	74	23
		100.0	49.4	46.4	34.1	33.0	34.1	28.0	26.4	28.4	8.8
	中野	308	152	124	104	111	114	99	86	76	22
		100.0	49.4	40.3	33.8	36.0	37.0	32.1	27.9	24.7	7.1
	上高田	184	103	90	69	60	73	56	59	59	17
		100.0	56.0	48.9	37.5	32.6	39.7	30.4	32.1	32.1	9.2
	新井	207	119	105	87	83	65	60	68	66	26
		100.0	57.5	50.7	42.0	40.1	31.4	29.0	32.9	31.9	12.6
	沼袋	136	82	58	58	43	31	33	42	32	13
		100.0	60.3	42.6	42.6	31.6	22.8	24.3	30.9	23.5	9.6
	松が丘	34	20	19	15	15	12	8	14	6	4
		100.0	58.8	55.9	44.1	44.1	35.3	23.5	41.2	17.6	11.8
	江原町	79	35	33	31	28	30	29	23	22	3
		100.0	44.3	41.8	39.2	35.4	38.0	36.7	29.1	27.8	3.8
	江古田	126	70	46	48	37	42	33	40	39	8
		100.0	55.6	36.5	38.1	29.4	33.3	26.2	31.7	31.0	6.3
	丸山	40	24	18	11	18	14	11	12	8	3
		100.0	60.0	45.0	27.5	45.0	35.0	27.5	30.0	20.0	7.5
	野方	193	110	95	74	77	61	61	49	52	30
		100.0	57.0	49.2	38.3	39.9	31.6	31.6	25.4	26.9	15.5
大和町	174	98	85	66	58	53	59	48	55	23	
	100.0	56.3	48.9	37.9	33.3	30.5	33.9	27.6	31.6	13.2	
若宮	122	65	55	43	50	40	36	33	22	16	
	100.0	53.3	45.1	35.2	41.0	32.8	29.5	27.0	18.0	13.1	
白鷲	125	72	54	39	45	39	35	36	37	10	
	100.0	57.6	43.2	31.2	36.0	31.2	28.0	28.8	29.6	8.0	
鷲宮	175	93	82	74	62	68	61	58	55	22	
	100.0	53.1	46.9	42.3	35.4	38.9	34.9	33.1	31.4	12.6	
上鷲宮	172	101	81	67	58	64	56	48	48	16	
	100.0	58.7	47.1	39.0	33.7	37.2	32.6	27.9	27.9	9.3	
不明	19	5	4	5	5	1	2	3	4	0	
	100.0	26.3	21.1	26.3	26.3	5.3	10.5	15.8	21.1	0.0	

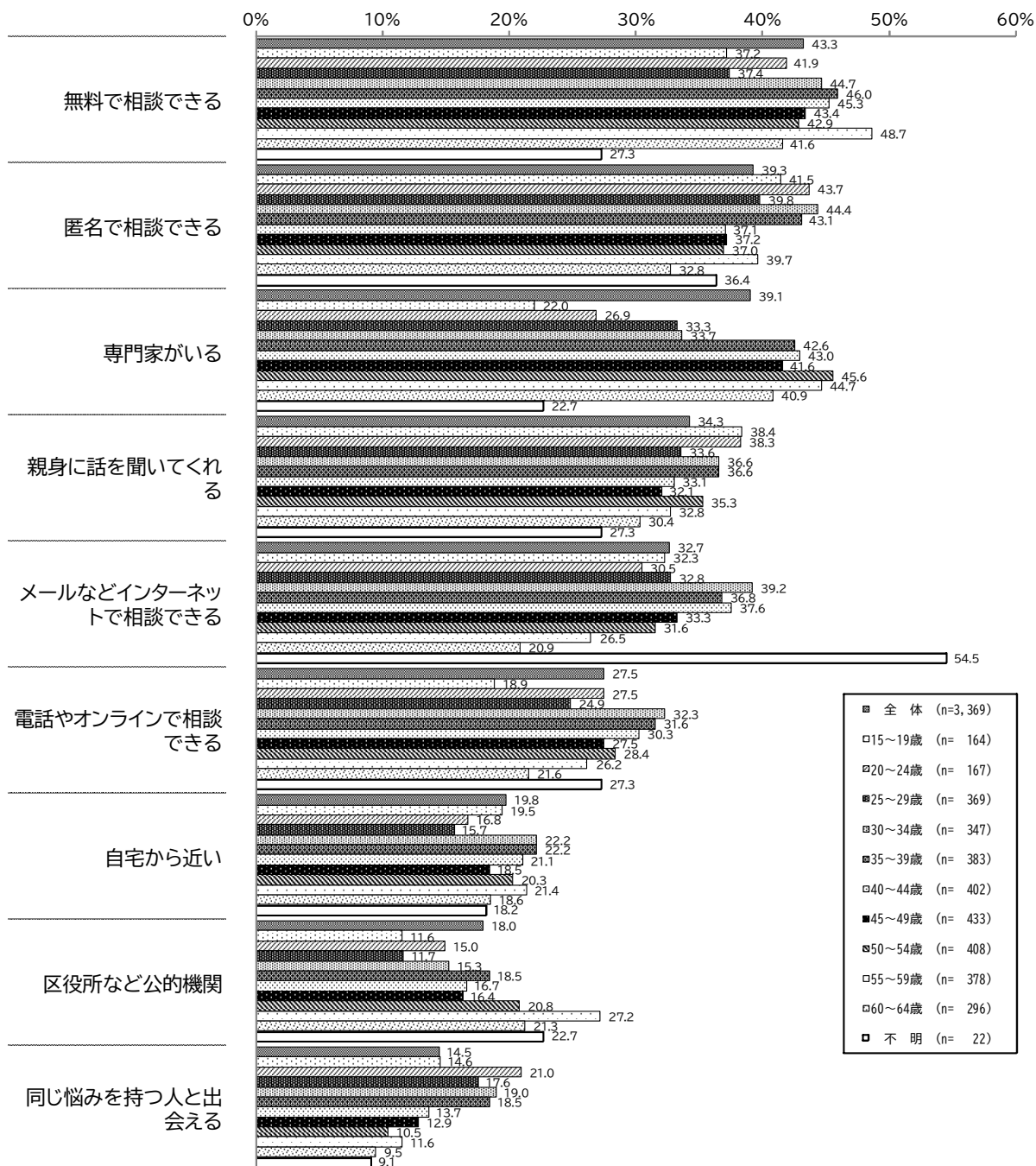
居住地別にみると、「無料で相談できる」は「沼袋」(60.3%)、「専門家がいる」は「松が丘」(55.9%)、「匿名で相談できる」についても「松が丘」(44.1%)で、それぞれ最も回答率が高い。

◆家庭や人間関係の問題の相談先に選ぶ条件は、「無料で相談できる」が4割半ば近く

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。
あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・家庭や人間関係の問題

家庭や人間関係の問題の相談先に選ぶ条件（年齢別）



家庭や人間関係の問題の相談先に選ぶ条件は、「無料で相談できる」(43.3%)が最も高く、次いで、「匿名で相談できる」(39.3%)、「専門家がいる」(39.1%)となっている。

年齢別にみると、「無料で相談できる」は「55~59歳」(48.7%)、「専門家がいる」は「50~54歳」(45.6%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。

あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・家庭や人間関係の問題

家庭や人間関係の問題の相談先に選ぶ条件（居住地別）

	全体	無料で相談できる	匿名で相談できる	専門家が いる	親身に話を 聞いてくれ る	メールなど インターネット で相談で きる	電話やオン ラインで相 談できる	自宅から近 い	区役所など 公的機関	同じ悩みを 持つ人と出 会える	
全体	3369	1458	1323	1318	1154	1100	928	668	605	489	
	100.0	43.3	39.3	39.1	34.3	32.7	27.5	19.8	18.0	14.5	
居住地	南台	198	85	82	70	66	58	39	41	38	23
	100.0	42.9	41.4	35.4	33.3	29.3	19.7	20.7	19.2	11.6	
	弥生町	211	79	74	71	69	65	53	44	32	25
	100.0	37.4	35.1	33.6	32.7	30.8	25.1	20.9	15.2	11.8	
	本町	332	151	140	133	107	119	97	76	62	58
	100.0	45.5	42.2	40.1	32.2	35.8	29.2	22.9	18.7	17.5	
	中央	273	119	111	107	90	88	82	56	48	36
	100.0	43.6	40.7	39.2	33.0	32.2	30.0	20.5	17.6	13.2	
	東中野	261	100	89	99	80	88	69	45	39	29
	100.0	38.3	34.1	37.9	30.7	33.7	26.4	17.2	14.9	11.1	
	中野	308	116	107	101	102	111	94	53	57	44
	100.0	37.7	34.7	32.8	33.1	36.0	30.5	17.2	18.5	14.3	
	上高田	184	85	66	78	66	70	53	36	27	28
	100.0	46.2	35.9	42.4	35.9	38.0	28.8	19.6	14.7	15.2	
	新井	207	83	84	91	80	52	58	46	44	30
	100.0	40.1	40.6	44.0	38.6	25.1	28.0	22.2	21.3	14.5	
	沼袋	136	61	59	54	45	32	24	20	18	18
	100.0	44.9	43.4	39.7	33.1	23.5	17.6	14.7	13.2	13.2	
	松が丘	34	19	20	19	15	13	10	6	7	6
	100.0	55.9	58.8	55.9	44.1	38.2	29.4	17.6	20.6	17.6	
江原町	79	36	31	31	29	28	27	21	14	8	
100.0	45.6	39.2	39.2	36.7	35.4	34.2	26.6	17.7	10.1		
江古田	126	55	50	49	47	38	33	27	24	19	
100.0	43.7	39.7	38.9	37.3	30.2	26.2	21.4	19.0	15.1		
丸山	40	20	17	21	9	14	13	6	10	8	
100.0	50.0	42.5	52.5	22.5	35.0	32.5	15.0	25.0	20.0		
野方	193	97	74	78	61	57	58	42	41	28	
100.0	50.3	38.3	40.4	31.6	29.5	30.1	21.8	21.2	14.5		
大和町	174	84	71	71	62	57	50	31	27	28	
100.0	48.3	40.8	40.8	35.6	32.8	28.7	17.8	15.5	16.1		
若宮	122	48	42	43	45	42	36	14	26	18	
100.0	39.3	34.4	35.2	36.9	34.4	29.5	11.5	21.3	14.8		
白鷺	125	54	42	39	41	38	29	21	26	19	
100.0	43.2	33.6	31.2	32.8	30.4	23.2	16.8	20.8	15.2		
鷺宮	175	84	88	78	75	66	49	44	27	29	
100.0	48.0	50.3	44.6	42.9	37.7	28.0	25.1	15.4	16.6		
上鷺宮	172	78	72	79	62	63	53	37	33	33	
100.0	45.3	41.9	45.9	36.0	36.6	30.8	21.5	19.2	19.2		
不明	19	4	4	6	3	1	1	2	5	2	
100.0	21.1	21.1	31.6	15.8	5.3	5.3	10.5	26.3	10.5		

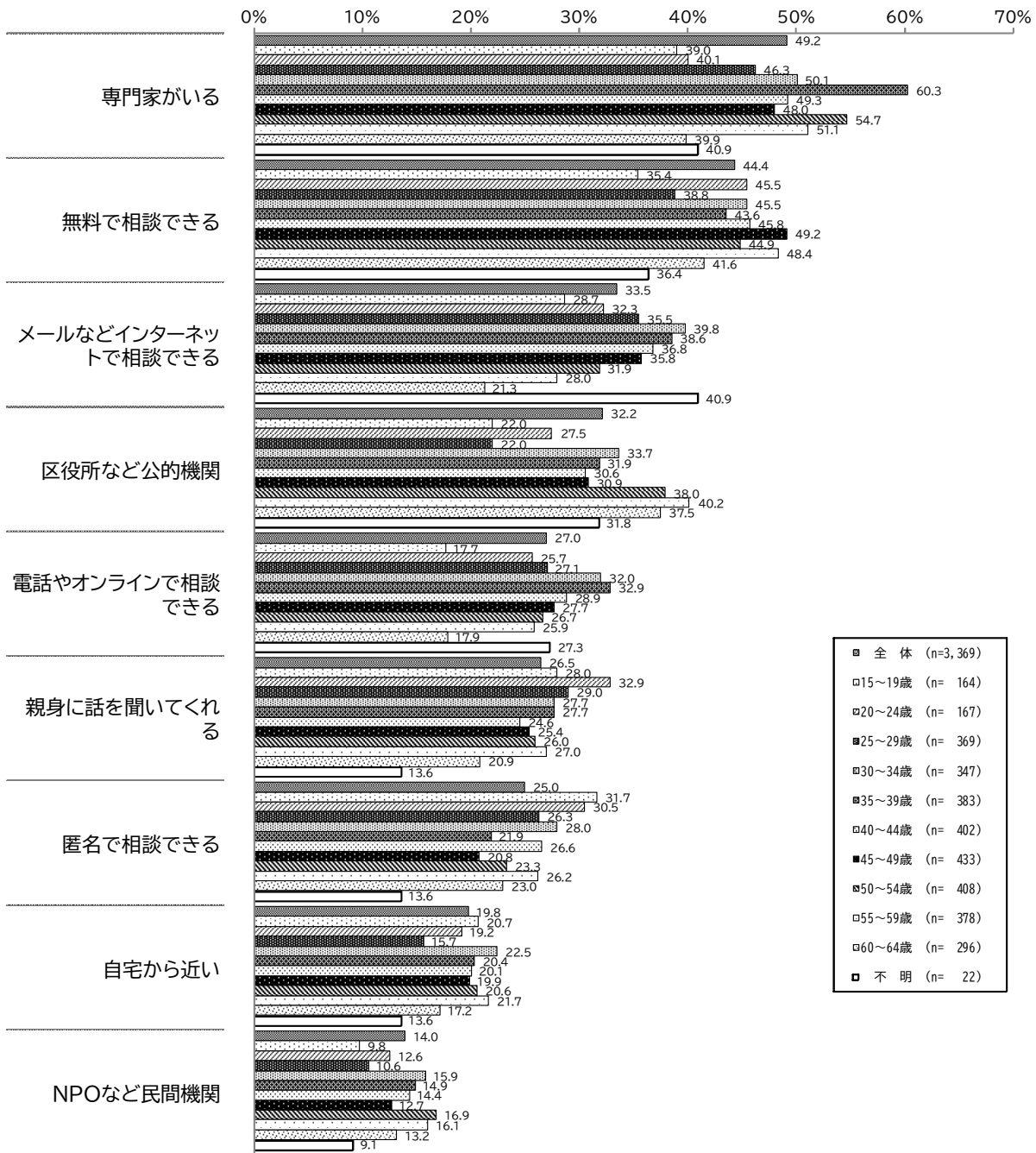
居住地別にみると、「無料で相談できる」「匿名で相談できる」「専門家がいます」の各項目で「松が丘」が最も回答率が高く、それぞれ 55.9%、58.8%、55.9%となっている。

◆雇用など仕事の問題の相談先に選ぶ条件は、「専門家がいる」が5割弱

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。
あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・雇用など仕事の問題

雇用など仕事の問題の相談先に選ぶ条件（年齢別）



雇用など仕事の問題の相談先に選ぶ条件は、「専門家がいる」(49.2%)が最も高く、次いで、「無料で相談できる」(44.4%)、「メールなどインターネットで相談できる」(33.5%)となっている。

年齢別にみると、「専門家がいる」は「35~39歳」(60.3%)、「無料で相談できる」は「45~49歳」(49.2%)でそれぞれ最も回答率が高い。

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。

あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・雇用など仕事の問題

雇用など仕事の問題の相談先に選ぶ条件 (居住地別)

	全体	専門家がいる	無料で相談できる	メールなどインターネットなどで相談できる	郵便所など公的機関	電話やオンラインで相談できる	親身に話を聞いてくれる	匿名で相談できる	自宅に近い	NPOなど民間機関	
全体	3369	1656	1496	1129	1084	911	892	843	667	472	
	100.0	49.2	44.4	33.5	32.2	27.0	26.5	25.0	19.8	14.0	
居住地	南台	198	89	92	64	55	51	50	43	28	
		100.0	44.9	46.5	32.3	27.8	25.8	25.3	21.7	14.1	
	弥生町	211	90	79	71	51	51	63	49	35	29
		100.0	42.7	37.4	33.6	24.2	24.2	29.9	23.2	16.6	13.7
	本町	332	154	143	120	106	89	81	84	65	39
		100.0	46.4	43.1	36.1	31.9	26.8	24.4	25.3	19.6	11.7
	中央	273	135	121	87	83	75	71	73	57	44
		100.0	49.5	44.3	31.9	30.4	27.5	26.0	26.7	20.9	16.1
	東中野	261	125	92	88	73	65	49	57	54	31
		100.0	47.9	35.2	33.7	28.0	24.9	18.8	21.8	20.7	11.9
	中野	308	140	119	112	93	91	77	72	63	33
		100.0	45.5	38.6	36.4	30.2	29.5	25.0	23.4	20.5	10.7
	上高田	184	105	95	83	66	56	47	53	41	26
		100.0	57.1	51.6	45.1	35.9	30.4	25.5	28.8	22.3	14.1
	新井	207	113	95	59	85	53	63	57	46	34
		100.0	54.6	45.9	28.5	41.1	25.6	30.4	27.5	22.2	16.4
	沼袋	136	57	66	37	42	28	38	41	26	18
		100.0	41.9	48.5	27.2	30.9	20.6	27.9	30.1	19.1	13.2
	松が丘	34	19	17	11	10	8	14	11	6	6
		100.0	55.9	50.0	32.4	29.4	23.5	41.2	32.4	17.6	17.6
江原町	79	42	32	23	31	26	24	18	16	10	
	100.0	53.2	40.5	29.1	39.2	32.9	30.4	22.8	20.3	12.7	
江古田	126	57	61	41	47	33	30	29	25	19	
	100.0	45.2	48.4	32.5	37.3	26.2	23.8	23.0	19.8	15.1	
丸山	40	21	20	13	18	13	7	8	7	8	
	100.0	52.5	50.0	32.5	45.0	32.5	17.5	20.0	17.5	20.0	
野方	193	100	101	54	69	58	57	51	39	30	
	100.0	51.8	52.3	28.0	35.8	30.1	29.5	26.4	20.2	15.5	
大和町	174	91	83	56	53	44	48	37	32	27	
	100.0	52.3	47.7	32.2	30.5	25.3	27.6	21.3	18.4	15.5	
若宮	122	61	56	41	41	33	38	31	14	14	
	100.0	50.0	45.9	33.6	33.6	27.0	31.1	25.4	11.5	11.5	
白鷺	125	59	52	35	48	28	32	23	26	20	
	100.0	47.2	41.6	28.0	38.4	22.4	25.6	18.4	20.8	16.0	
鷺宮	175	93	87	65	53	50	55	50	39	34	
	100.0	53.1	49.7	37.1	30.3	28.6	31.4	28.6	22.3	19.4	
上鷺宮	172	96	80	68	54	56	44	47	30	22	
	100.0	55.8	46.5	39.5	31.4	32.6	25.6	27.3	17.4	12.8	
不明	19	9	5	1	6	3	4	2	3	0	
	100.0	47.4	26.3	5.3	31.6	15.8	21.1	10.5	15.8	0.0	

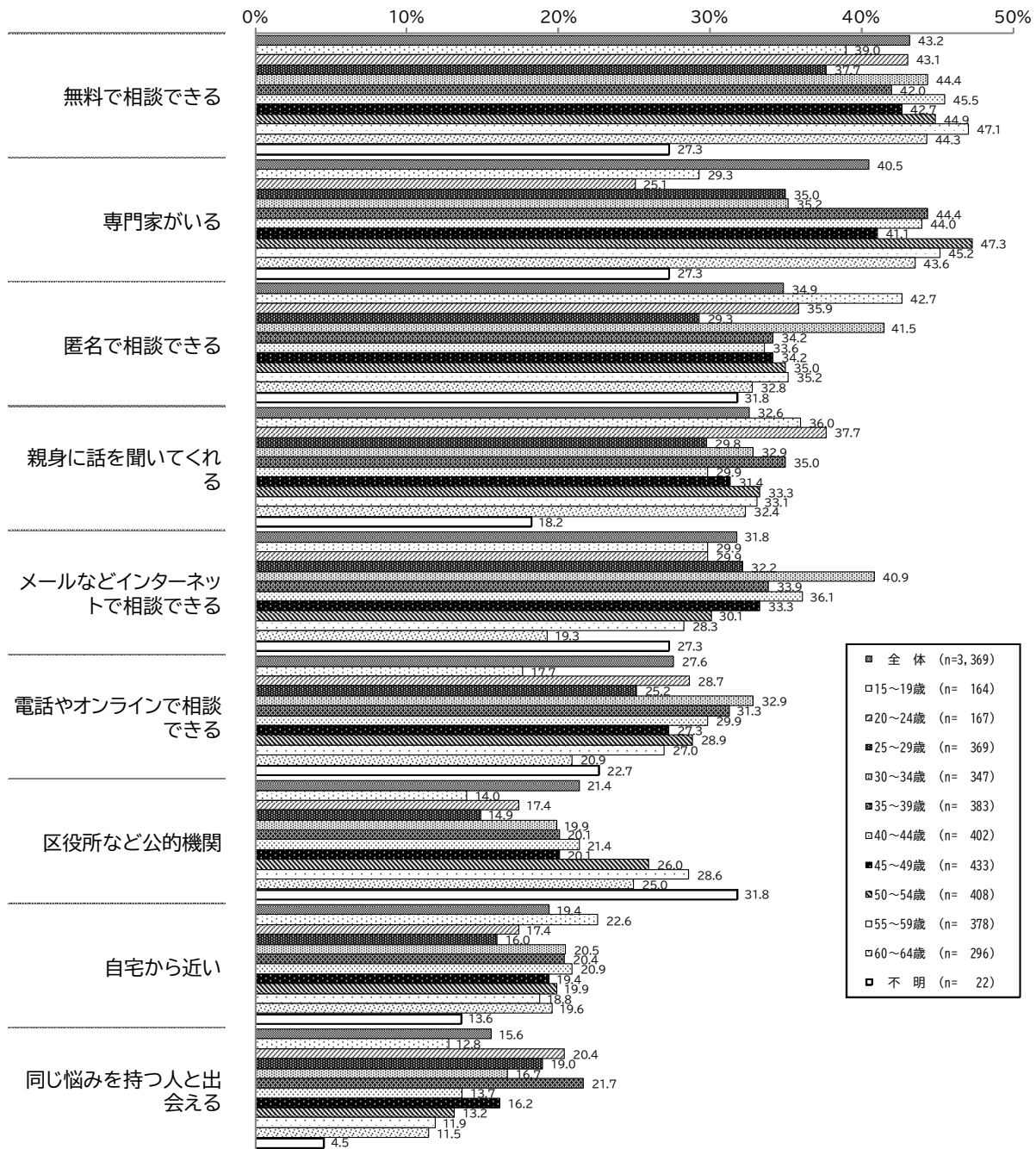
居住地別にみると、「専門家がいます」は「上高田」(57.1%)、「松が丘」(55.9%)、「上鷺宮」(55.8%)で回答率が高い。また、「無料で相談できる」は「野方」(52.3%)、「メール・インターネットなどで相談できる」は「上高田」(45.1%)でそれぞれ高い回答率を示している。

◆その他の問題の相談先に選ぶ条件は、「無料で相談できる」が4割半ば近く

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。
あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・その他の問題

その他の問題の相談先に選ぶ条件（年齢別）



その他の問題の相談先に選ぶ条件は、「無料で相談できる」(43.2%)が最も高く、次いで、「専門家がいる」(40.5%)、「匿名で相談できる」(34.9%)となっている。

年齢別にみると、「無料で相談できる」は「55~59歳」(47.1%)、「専門家がいる」は「50~54歳」(47.3%)、「匿名で相談できる」は「15~19歳」(42.7%)で、それぞれ最も回答率が高い。

問 51 あなたは下記のそれぞれの問題について、どんな場所だったら相談しやすいと思いますか。

あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全てに○)

・その他の問題

その他の問題の相談先を選ぶ条件（居住地別）

		全体	無料で相談 できる	専門家が いる	匿名で相談 できる	親身に話を 聞いてくれ る	メールなど インターネット で相談で きる	電話やオン ラインで相 談できる	郵便所など 公的機関	自宅から近 い	同じ悩みを 持つ人と出 会える
全体		3369	1456	1365	1176	1097	1072	929	721	655	525
		100.0	43.2	40.5	34.9	32.6	31.8	27.6	21.4	19.4	15.6
居住地	南台	198	80	70	65	60	59	48	36	41	26
		100.0	40.4	35.4	32.8	30.3	29.8	24.2	18.2	20.7	13.1
	弥生町	211	82	62	73	66	67	55	39	37	26
		100.0	38.9	29.4	34.6	31.3	31.8	26.1	18.5	17.5	12.3
	本町	332	139	130	113	109	117	100	71	75	57
		100.0	41.9	39.2	34.0	32.8	35.2	30.1	21.4	22.6	17.2
	中央	273	119	110	90	90	89	76	56	50	37
		100.0	43.6	40.3	33.0	33.0	32.6	27.8	20.5	18.3	13.6
	東中野	261	99	111	83	73	84	72	47	50	37
		100.0	37.9	42.5	31.8	28.0	32.2	27.6	18.0	19.2	14.2
	中野	308	126	103	102	99	104	87	77	56	53
		100.0	40.9	33.4	33.1	32.1	33.8	28.2	25.0	18.2	17.2
	上高田	184	85	77	64	60	68	51	34	36	30
		100.0	46.2	41.8	34.8	32.6	37.0	27.7	18.5	19.6	16.3
	新井	207	89	93	78	76	58	55	51	47	37
		100.0	43.0	44.9	37.7	36.7	28.0	26.6	24.6	22.7	17.9
	沼袋	136	63	57	54	47	32	27	28	18	29
		100.0	46.3	41.9	39.7	34.6	23.5	19.9	20.6	13.2	21.3
	松が丘	34	17	16	16	17	13	9	7	8	5
		100.0	50.0	47.1	47.1	50.0	38.2	26.5	20.6	23.5	14.7
江原町	79	32	29	29	28	23	29	18	19	7	
	100.0	40.5	36.7	36.7	35.4	29.1	36.7	22.8	24.1	8.9	
江古田	126	54	48	45	44	34	29	29	28	28	
	100.0	42.9	38.1	35.7	34.9	27.0	23.0	23.0	22.2	22.2	
丸山	40	23	21	15	11	11	14	13	6	6	
	100.0	57.5	52.5	37.5	27.5	27.5	35.0	32.5	15.0	15.0	
野方	193	91	93	70	62	52	57	46	42	25	
	100.0	47.2	48.2	36.3	32.1	26.9	29.5	23.8	21.8	13.0	
大和町	174	81	77	64	58	57	52	40	32	23	
	100.0	46.6	44.3	36.8	33.3	32.8	29.9	23.0	18.4	13.2	
若宮	122	50	52	38	37	40	33	29	14	19	
	100.0	41.0	42.6	31.1	30.3	32.8	27.0	23.8	11.5	15.6	
白鷺	125	55	43	36	37	37	29	26	21	22	
	100.0	44.0	34.4	28.8	29.6	29.6	23.2	20.8	16.8	17.6	
鷺宮	175	85	86	75	70	67	52	35	39	33	
	100.0	48.6	49.1	42.9	40.0	38.3	29.7	20.0	22.3	18.9	
上鷺宮	172	82	78	63	50	58	52	35	33	23	
	100.0	47.7	45.3	36.6	29.1	33.7	30.2	20.3	19.2	13.4	
不明	19	4	9	3	3	2	2	4	3	2	
	100.0	21.1	47.4	15.8	15.8	10.5	10.5	21.1	15.8	10.5	

居住地別にみると、「無料で相談できる」は「丸山」(57.5%)、「専門家が」についても「丸山」(52.5%)、「匿名で相談できる」は「松が丘」(47.1%)で、それぞれ最も回答率が高い。

6. その他

6.1. 地域全体が元気になっていくような仕組みのあり方・アイデア(自由回答)

◆地域全体が元気になっていくような仕組みのあり方・アイデアで、最も多いのは「広報活動」

問 52 現在、中野区では、これまで地域での活動に関心がなかった方にも、地域でご自分のやりたい活動をしていただくことで、地域全体が元気になっていくような仕組みを検討しています。そのような仕組みのあり方について、何かアイデアなどがあれば、ご自由にお書きください。

分類項目名	回答数(件)	記述内容の抜粋
広報活動	173	・SNS、HPや広告誌などを利用した種別報告 ・活動の周知・目的を同じくする人々を収集する方法を工夫する ・ボランティアについてサイトや紙面、イベントなどで紹介して、参加しやすい仕組みづくりをしてほしい
地域活動	149	・だれでも参加できるイベント(お祭り、フリーマーケット、等)を増やしてほしい ・外国人との交流(食文化、運動、等)を増やしてほしい ・いろいろな趣味、実用の一泊講座を開いてほしい
スポーツ・イベント	118	・スポーツの大会やレッスンなどのイベントを開催してほしい ・大人と子供が、スポーツを低価格で習えるようにしてほしい ・音楽のイベントなどを開催し活性化してほしい
マッチングシステム・SNS活用	98	・地域固別のSNS開設 ・文字媒体からデジタルへ移行する ・住民同士の繋がりについて、オンラインやITを利用したシステム構築
生活環境	88	・無料で使えるワーキングスペースの設置 ・公園を整備し、もっと緑を増やしてほしい ・ゴミ出しのマナーを周知してほしい
区役所対応	88	・人の創造性や能力や才能を活かせる環境と参加しやすい仕組みづくりをしてほしい ・経済的安定を保障してくれる仕組みや精神的安定が得られる仕組みづくりをしてほしい ・助成金の仕組みや申請などを補助してくれる仕組み作りをしてほしい
子育て	52	・子供たちの安全を配慮した見回り活動 ・小さい子どもと一緒にできる活動を増やしてほしい ・育児手当などを充実してほしい
教育	37	・一時保育の受け入れを増やしてもらいたい ・地域全体で子供達の育ちを見守れる、取り組みや活動をしてほしい ・地域のコミュニティ(自治体や学校など)が幅広く連携してほしい
有料	21	・ボランティアから生計をたてる仕事に結びつく求職、求人までカバーできる仕組みづくり ・やりがいや新しい経験、収入が得られる場の提供 ・ネットを利用したインセンティブのあるサービスの提供
健康	18	・高齢者や心の問題をかかえている人を支える場の提供 ・心の問題をかかえている人の経済的自立が可能な場の提供 ・臨床心理士や精神科医による無料相談等を積極的に行ってほしい
高齢者・障害者の活躍	11	・障害者雇用を積極的に行う ・高齢者雇用を積極的に行う ・若い世代と高齢者世代の交流ができる場の提供
その他	128	・自立と自律の向上の仕組み作りをしてほしい ・単身者が協力できる場の提供 ・潜在的な人材を発掘する仕組みづくりをしてほしい

※複数の内容を回答している場合は、それぞれに分類し1件としてカウントしている

地域全体が元気になっていくような仕組みのあり方・アイデアを聞いたところ、「広報活動」が173件と最も多く、次いで、「地域活動」が149件、「スポーツ・イベント」が118件となっている。